

授業評価 2025

—学生による授業評価報告書—

【2025年度新規開設科目】

2026年3月



授業評価 2025
— 学生による授業評価報告書 —
【2025 年度新規開設科目】

<u>I. 「学生による授業評価 2025」の概要</u>	1
I-1. 目的	
I-2. 構成と内容	
I-3. 方法と期間	
I-4. 時系列分析	
I-5. 回答者の特性	
I-6. 評価結果の提供と公表	
I-6-1. 評価結果の提供	
I-6-2. 評価結果の公表	
I-7. その他	
<u>II. 評定尺度調査の分析結果</u>	21
II-1. 学部の分析結果	
II-1-1. 項目平均から見た全体的傾向	
II-1-2. 学習への取組み姿勢	
II-1-3. 学部の授業評価	
II-1-4. 学部の重回帰分析	
II-2. 大学院の分析結果	
II-2-1. 項目平均から見た全体的傾向	
II-2-2. 学習への取組み姿勢	
II-2-3. 大学院の授業評価	
II-2-4. 大学院の重回帰分析	
<u>III. 自由記述のまとめ</u>	122
III-1. 学部（放送授業）	
III-2. 学部（オンライン授業）	
III-3. 大学院（放送授業）	
III-4. 大学院（オンライン授業）	
<u>付録</u>	248

2025 年度学生による授業評価集計結果の概要等について

I. 「学生による授業評価 2025」の概要

I-1. 目的

本学では、授業に関する学生の理解の状況や満足感・充実感等を把握することによって、教育内容や教授方法、講義資料及び学習支援システム・施設等の改善に資することを目的とし、2005年度より自己点検・評価の一環として学生による授業評価を導入した。本年度は、第21回目となり、例年の通り2025年度に新規開設した科目を評価の対象とした。

以下、その量的分析結果及び自由記述の内容を報告する。

学生による授業評価は、個々の科目に対する学習者の視点からの具体的で詳細なフィードバックを得ることを企図して実施される調査である。その主な目的は、次の通りである。

- (1) 個別授業科目の改善支援……個々の科目を受講者がどのように学習し、どう評価しているかを項目ごとに把握することにより、次の科目改訂等に際して改善すべき点の発見を容易にするような資料を提供する。
- (2) カリキュラム全体の改善支援……コースまたは領域、プログラム（群）における、より効果的なカリキュラム構成や水準のバランス等を検討する上での有効な資料を提供する。
- (3) 認証評価に関わる資料提供……大学に対して社会的に強く求められている定期的な認証評価に際しての重要な資料を提供する。

しかし、一般の大学とは異なり、放送大学においては授業評価の結果をそうした目的にストレートに用いることが必ずしも容易ではない。そこには、次のような放送大学に固有のいくつかの条件と特殊事情があり、結果の利用には一定の留保が求められることになるからである。

第1に、放送大学では、収録された放送授業を4年間継続して放送する原則になっていることである。そのため、たとえ授業評価で改善点が明確に示唆されたとしても、即座にそれを改善する（つまり、評価の次年度に改訂版を収録する）ことが非常に難しいのである。

第2に、放送大学の主任講師は半数程度が客員教員であり、その場合、必ずしも科目の改訂を同一教員がするとは限らないことである。主任講師が交代すると、科目の内容や構成が変わってしまう場合があるため、前科目に対する評価は往々にして参考程度の意味しか持たないことになるのである。

第 3 に、放送大学は公開大学であり学部には入学試験がないこともあって、他の一般大学に比して学生集団は多様で流動的であり、そこに一定のまとまった特性を求めることは難しい。授業評価で得られた結果も他の大学よりはるかに分散が大きいことが容易に予想される。したがって、たとえ結果を得たとしても、どの層の学生をターゲットとして授業改善をしていったらよいのか、必ずしも明確ではないのである。事実、過去の数次にわたる授業調査で毎回見られることであるが、例えば、「放送授業と印刷教材はできるだけ同一の内容に」と「放送授業と印刷教材の内容が同じでは別の教材である意味がない」とは、常に同じくらい多く書かれる意見である。もちろん、そうした意見の平均や中間点を採用してもあまり意味がないことは言うまでもない。

そして、第 4 に、放送大学は教員の 5 年任期制を採っており、再任のためには 5 年ごとの内部審査の通過が必要とされることである。そのため、個々の教員の評価にストレートに結びつきがちな授業評価の実施に対しては、当初より慎重論も決して少なくなかった。したがって、上述した第 3 の特性を持つ授業評価に関しては、授業改善あるいはカリキュラム改善のためにのみ結果を用いる、という確たる合意が必要とされるのである。

I-2. 構成と内容

本学生による授業評価調査（放送授業）は、大きく分けて 3 つの部分からなっている。

第 1 は、当該科目への取組姿勢、放送授業、印刷教材、単位認定試験等について 4 段階で評価する評定尺度質問である。その内容は、①当該科目にどれだけ熱心に取り組んだかを示す回答者自身の自己評価と、②授業の難易度・分量、放送授業、印刷教材、通信指導・単位認定試験および全体的に見た授業評価の 2 つに分かれる。

第 2 は、当該科目のよかった点、改善すべきだと感じた点、本学の教育システム全般への意見に関する質問であり、自由に記述してもらう形態を採った。

そして、第 3 は回答者の属性に関する質問である。

実際に使用した調査票については 14,15,16 頁と 19,20 頁を参照されたい。

I-3. 方法と期間

評価の対象としたのは、2025 年度第 1 学期に本学で開講していた放送授業のうち、本年度に開設した科目及び前年度第 2 学期に開設した科目（開講 1 年目の科目）、学部 39 科目（オンライン授業 10 科目を除く）、大学院 10 科目（オンライン授業 5 科目を除く）、計 49 科目である（表 1-1 参照）。このような選定システムにすることで、開設後 4 年間継続して放送することとされている全科目が、開講期間中に必ず 1 回授業評価の対象とされることになる。

表1-1 コース・プログラム別の評価対象科目数および有効回答数（オンライン授業を除く）

【学部】

コース	科目数		有効回答	
	2025年度		2025年度	
	全開設	評価対象	人数	構成比
基盤科目	21	2	743	15%
基盤科目(外国語)	16	4	694	14%
生活と福祉	42	7	1133	22%
心理と教育	56	4	824	16%
社会と産業	53	9	568	11%
人間と文化	46	4	423	8%
情報	43	4	324	6%
自然と環境	36	3	208	4%
看護師資格取得	5	2	191	4%
夏季集中科目	5	0	0	0%
全体	323	39	5108	100%

【大学院】

プログラム	科目数		有効回答	
	2025年度		2025年度	
	全開設	評価対象	人数	構成比
生活健康科学	21	3	56	22%
人間発達科学	10	3	116	46%
臨床心理学	11	2	43	17%
社会経営科学	12	0	0	0%
人文学	11	0	0	0%
情報学	14	2	35	14%
自然環境科学	12	0	0	0%
全体	91	10	250	100%

※構成比は、小数点第一位を四捨五入しているため、各項目の数値を合計しても100%にならない場合がある。

2018年度より、教務情報システム（システムWAKABA）のアンケート機能を用いたオンライン調査とし、評価対象科目を受講した学部 26,241名、大学院 870名、計 27,111名（いずれも延べ人数）に対し、学内連絡及びメールにて周知を行い、実施した。

調査期間は第1学期単位認定試験終了後の7月24日から9月30日までの65日間とし、有効回答数は学部 5,108人、大学院 250人、計 5,358人であった。有効回答率は学部 19.5%、大学院 28.7%、全体で 19.8%と、2024年度の有効回答率（2024年度新規開設科目学部 9.6%、大学院 16.0%、全体 9.7%）と比較すると学部、大学院共に有効回答率が上昇した。

※オンライン授業を除く

表1-2 調査対象者数および有効回答率

	2025年新規開設科目			2024年新規開設科目			2023年新規開設科目		
	対象者数	有効回答者数	有効回答率	対象者数	有効回答者数	有効回答率	対象者数	有効回答者数	有効回答率
学部	26,241	5,108	19.5%	28,833	2,772	9.6%	25,824	4,881	18.9%
大学院	870	250	28.7%	319	51	16.0%	343	90	26.2%
計	27,111	5,358	19.8%	29,152	2,823	9.7%	26,167	4,971	19.0%

I-4. 時系列分析

報告書の一部に過去2年度の調査との比較を掲載した。

本調査は原則として開講1年目の科目を対象とするため、調査対象科目は年度ごとに異なっているという事情がある。本来ならば、時系列分析は同一の科目同士あるいは同一科目から構成されるコース（プログラム）を比較対象としてこそ、その意義が発揮されるであろう。しかし、対象科目が異なるとはいえ、年度ごとに開設された放送授業の全体的な傾向及びその方向性を見る上では参考になると思われる。

I-5. 回答者の特性

(1) 回答者の属性分布と母集団との比較

※ pt:ポイント

(次頁表1-3)は、回答者の属性分布と母集団(全受講登録者)の属性分布を比較したものである。両者を比較して、回答者の属性分布と母集団の属性分布間に乖離がないか確認を行う。

学部では、男性は-5.0pt、女性は+5.0ptで、母集団より男性が少なく、女性が多かった。

年齢階層別では19歳以下~30歳代までがマイナスで、20歳代(-11.7pt)と30歳代(-6.4pt)が、母集団との差が大きかった。

一方で母集団より高かったのは50歳代~70歳以上で、50歳代(+8.1pt)と60歳代(+8.1pt)の差が特に大きかった。

学生種別では選科履修生が-2.4ptと科目履修性が+2.5%と母集団との乖離がやや大きかった。

大学院の性別では男性が-10.5pt、女性は+10.5ptで、学部同様、母集団より女性が多く、男性が少なかった。年齢階層別では、30~50歳代までが母集団より低くなっていた。学生種別では修士全科生は母集団より1.1pt高く、修士科目生は逆に1.1pt低かった。

1-3 回答者の属性分布

【学部】

		2025年新規開設科目			2024年新規開設科目			2023年新規開設科目		
		回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団 との差	回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団 との差	回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団 との差
性別	男性	39.6%	44.6%	▲5.0pt	43.8%	40.3%	3.4pt	43.6%	43.6%	0.0pt
	女性	60.4%	55.4%	5.0pt	56.2%	59.7%	▲3.4pt	56.4%	56.4%	0.0pt
年齢階層別	19歳以下	3.0%	4.6%	▲1.6pt	2.2%	2.5%	▲0.3pt	1.2%	1.9%	▲0.7pt
	20～29歳	10.6%	22.3%	▲11.7pt	9.9%	18.1%	▲8.2pt	8.2%	18.0%	▲9.8pt
	30～39歳	11.3%	17.7%	▲6.4pt	9.7%	15.2%	▲5.5pt	8.9%	14.8%	▲5.9pt
	40～49歳	20.1%	20.0%	0.0pt	17.4%	21.5%	▲4.1pt	18.8%	20.1%	▲1.3pt
	50～59歳	27.1%	19.1%	8.1pt	28.4%	20.6%	7.7pt	29.5%	21.8%	7.7pt
	60～69歳	18.7%	10.7%	8.1pt	22.9%	12.8%	10.1pt	21.9%	13.4%	8.5pt
	70歳以上	9.2%	5.7%	3.5pt	9.6%	9.3%	0.3pt	11.5%	10.0%	1.5pt
学生種別	全科履修生	70.6%	70.7%	▲0.1pt	79.8%	71.0%	8.8pt	76.3%	75.9%	0.4pt
	選科履修生	19.0%	21.4%	▲2.4pt	16.7%	24.3%	▲7.6pt	16.8%	17.5%	▲0.7pt
	科目履修生	10.4%	7.9%	2.5pt	3.5%	4.7%	▲1.3pt	6.9%	6.6%	0.3pt
人数(N)		5,108	-	-	2,772	-	-	4,881	-	-

pt: ポイント

【大学院】

		2025年新規開設科目			2024年新規開設科目			2023年新規開設科目		
		回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団 との差	回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団 との差	回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団 との差
性別	男性	51.6%	62.1%	▲10.5pt	58.8%	61.1%	▲2.3pt	53.5%	50.7%	2.8pt
	女性	48.4%	37.9%	10.5pt	41.2%	38.9%	2.3pt	46.7%	49.3%	▲2.6pt
年齢階層別	20～29歳	0.0%	0.0%	0.0pt	0.0%	0.0%	0.0pt	1.1%	5.0%	▲3.9pt
	30～39歳	4.0%	7.6%	▲3.6pt	2.0%	5.0%	▲3.1pt	7.8%	11.7%	▲3.9pt
	40～49歳	7.6%	19.4%	▲11.8pt	11.8%	25.7%	▲13.9pt	23.3%	25.1%	▲1.8pt
	50～59歳	20.4%	27.9%	▲7.5pt	37.3%	32.0%	5.3pt	33.3%	31.5%	1.8pt
	60～69歳	32.0%	21.9%	10.1pt	27.5%	14.4%	13.0pt	32.2%	22.7%	9.5pt
	70歳以上	25.2%	9.0%	16.2pt	21.6%	4.7%	16.9pt	2.2%	4.1%	▲1.9pt
	学生種別	修士全科生	30.8%	29.7%	1.1pt	37.3%	12.9%	24.4pt	34.4%	12.8%
修士選科生		60.8%	60.8%	0.0pt	54.9%	66.1%	▲11.2pt	61.1%	80.8%	▲19.7pt
修士科目生		8.4%	9.5%	▲1.1pt	7.8%	21.0%	▲13.2pt	4.4%	6.4%	▲2.0pt
人数(N)		250	-	-	51	-	-	90	-	-

pt: ポイント

以下、今回の評価結果を分析する上で、回答者の特性からみて留意すべき点を明らかにするために、回答者の属性についてさらに見ていくことにする。

(2) 年齢階層別の分布 (2025 年新規開設科目)

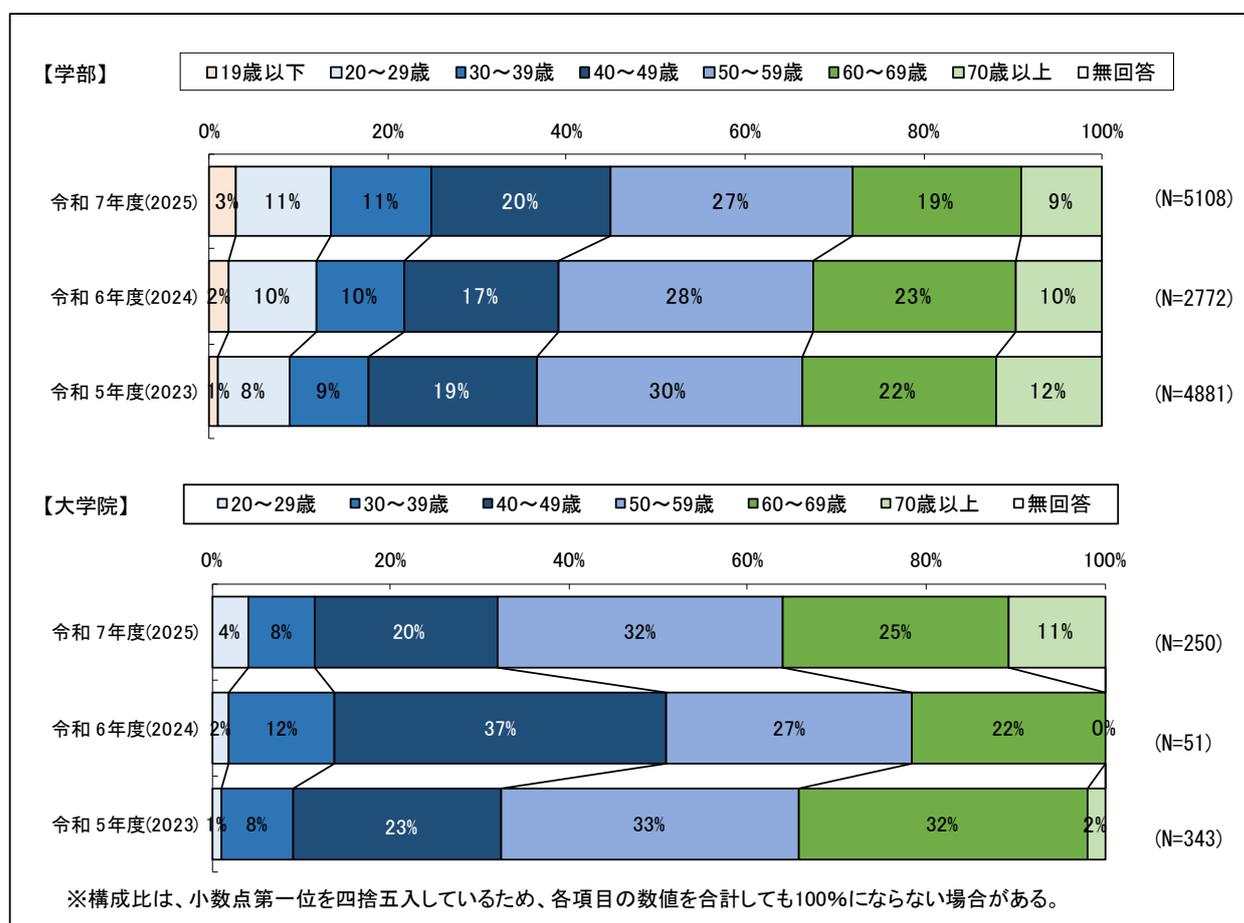
年齢階層別に本年度 (2025 年新規開設科目) の回答者の分布を見ると (図 1-1)、学部では 50 歳代が最も多く 27%、次いで 40 歳代が 20%、60 歳代が 19% となり、40 歳代から 60 歳代で約 7 割を占めていた。

昨年度と比べると、19 歳以下、20 歳代、30 歳代、40 歳代が増え、50 歳代、60 歳代、70 歳以上が減少した。

大学院は学部同様、50 歳代が 32% で最も多く、40 歳代から 60 歳代の構成比が全体の約 8 割に達していた。

昨年度と比べると、20 歳代、50 歳代、60 歳代、70 歳以上が増加し、30 歳代、40 歳代が減少した。

図 1-1 年齢階層別回答者



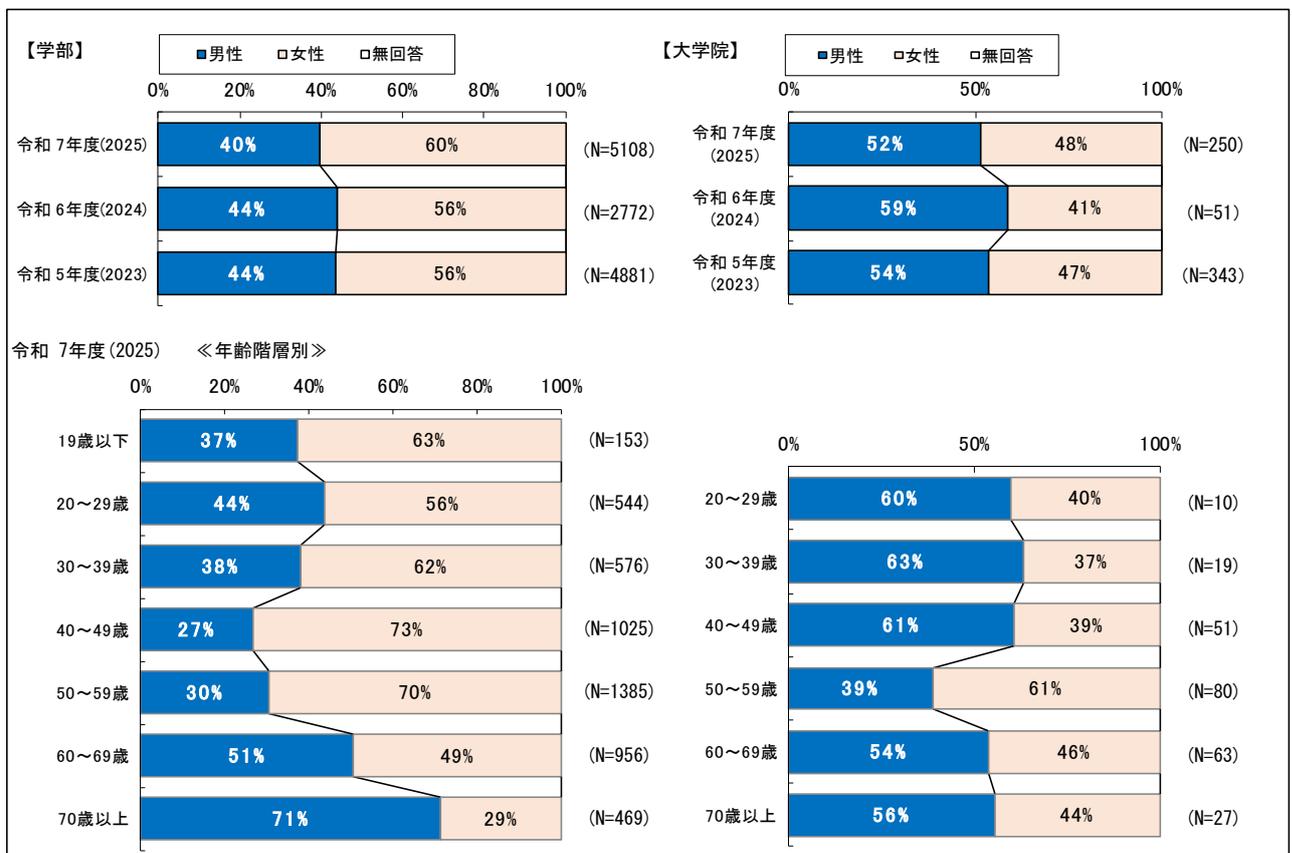
(3) 性別の傾向（2025年新規開設科目）

学部について、男女別全体では（図1-2）、「男性」は40%、「女性」は60%となり、昨年度より女性の割合が増加した。

年代毎の男女の構成を見ると、19歳以下から50歳代までは女性の割合が多く、逆に60歳代以上から男性が多くなり、70歳以上は男性が約7割を占めていた。

大学院では、「男性」52%、「女性」48%で、昨年度より女性が7ポイント増加していた。年代別では総じて男性の割合が多く、中でも20歳代、30歳代、40歳代は6割以上を占めていた。

図1-2 性別回答者



(4) 職業別分布 (2025 年新規開設科目)

学部在籍者の職業は (図 1-3)、「会社員」が最も多く 20%、次いで「無職」(17%) 「パート・アルバイト」(16%) が続いている。

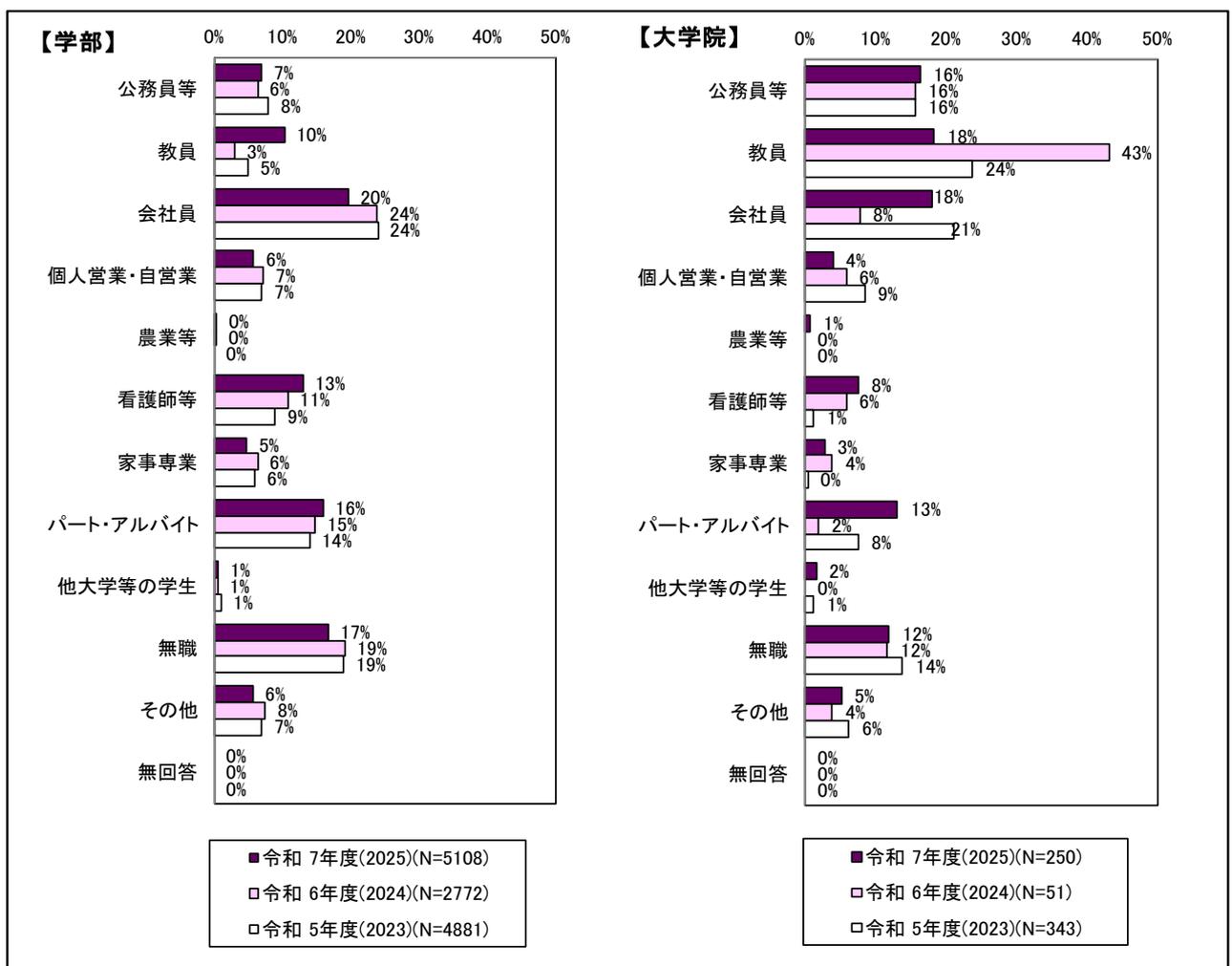
時系列で見ると、昨年度と比べ、「教員(10%)」が 7 ポイント増と大きく増加。また「看護師等(13%)」が 2 ポイント増加したのに対して、「会社員 (20%)」が 4 ポイント減少した。

大学院では「教員」「会社員」が 18%と最も多く、次いで「公務員等 (16%)」、「パート・アルバイト (13%)」が続いていた。

時系列で見ると、年々増加していた「教員」が 25 ポイント減と大幅に減少する一方、「パート・アルバイト」「会社員」が 10 ポイント以上増加した。

なお、ここでの年齢別、性別、職業別の回答者の割合は、調査対象年度の科目による相違も影響しているので、放送大学の全学生の構成や時系列変化とは必ずしも同じではないことに注意されたい。

図 1-3 回答者の職業



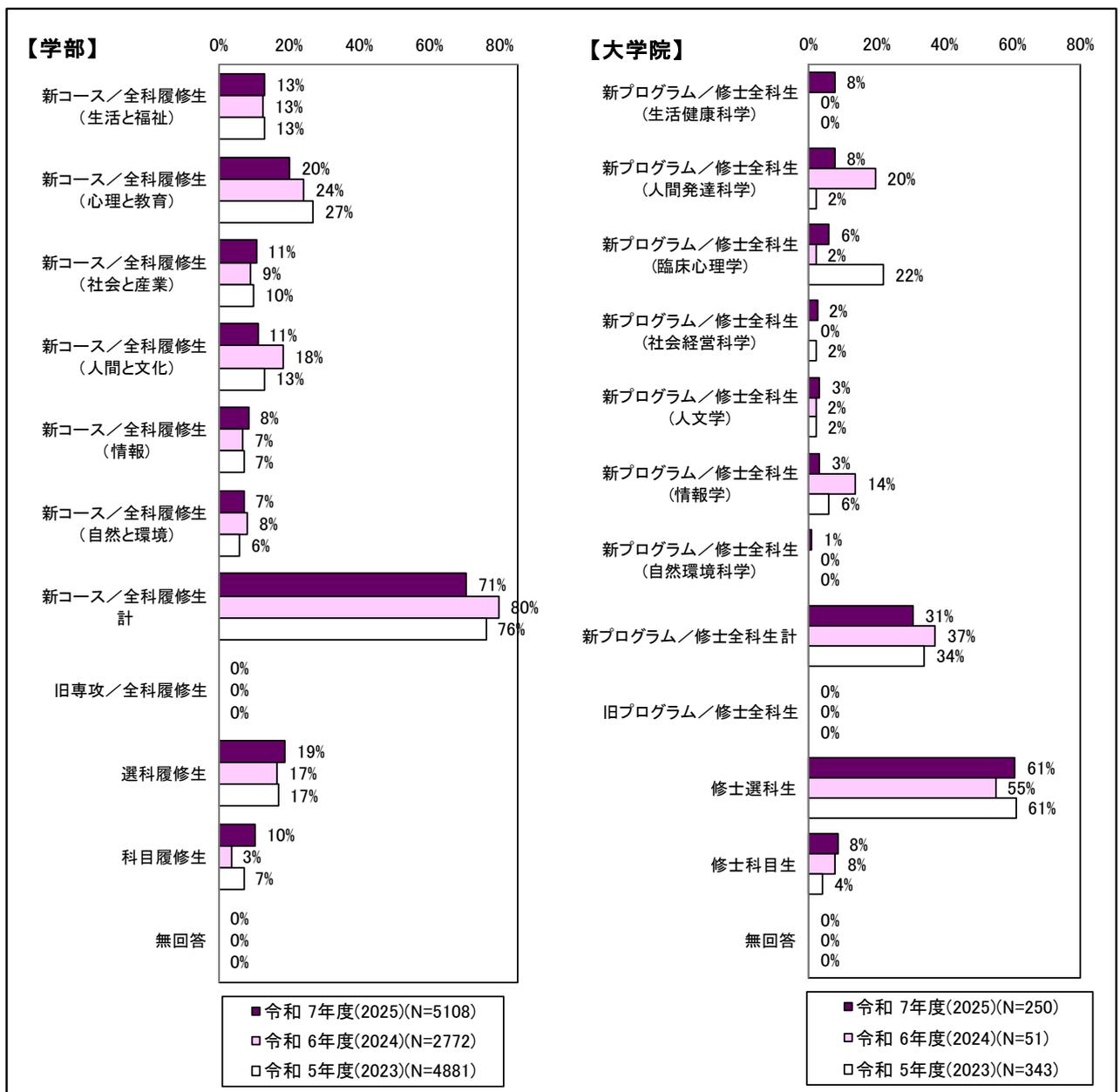
(5) 所属コース（プログラム）別分布（2025 年新規開設科目）

所属コース（プログラム）別の分布では（図1-4）、学部は全科履修生（新コース）が71%となるも、昨年度より9ポイント減少していた。内訳では、「心理と教育（20%）」が最多となるも、昨年度より4ポイント減少。

大学院では修士選科生が61%を占めており、修士全科生（新プログラム）が31%、修士科目生が8%であった。

修士全科生の所属プログラムでは「人間発達科学（8%）」と「生活健康科学（8%）」が上位であった。

図1-4 回答者の所属コース（プログラム）



I-6. 評価結果の提供と公表

I-6-1. 評価結果の提供

本授業評価は、先にも掲げたように「個別授業科目の改善支援」「カリキュラム全体の改善支援」「認証評価に関わる資料提供」という3つの大きな目的のもとに実施開始年度当初に企画された。また、当時の授業評価小委員会（以下「小委員会」という。）での検討の結果、得られたデータは次のように資料提供されることとなった。

- (1) 当該科目を担当した主任講師への提供……担当科目の詳細な評価結果を主任講師に提供する。担当科目の評価結果には、担当科目と比較可能な全科目平均等及び自由記述部分が含まれる。
- (2) コース主任及びプログラム・コーディネーターへの提供……全てのコース・プログラムに対して、その関係する資料一式を提供する。
- (3) 教授会及び教務委員会等関連委員会への提供……大学全体のカリキュラム編成に関しての検討や意思決定に際しての資料とするため、教授会及び各委員会に提供する。実際に主任講師等へ提供した個別科目に関する資料の内容は、12頁～20頁の「提供資料サンプル」に示した通りである。

I-6-2. 評価結果の公表

さて、収集された授業評価の結果は授業改善の目的で用いることに加えて、現在では大学の社会的責務として評価結果の公表を強く求められていることから、以下のことを基本的な方針とすることとしている。

(1) 公表への基本姿勢

授業評価の結果については、基本的にできる限り広く社会に提示することが必要である。放送大学に課せられた社会的使命、教育体系全体における位置付け、そして納税者国民への説明責任等を勘案するならば、言うまでもなくそれが理の当然である。そこで、当面は以下に示す形態で公表していくこととする。

(2) 公表する内容

以下のデータに関して公表することとする。

- ① 調査の概要 : 授業評価の目的、方法、実施時期、調査対象者数、調査票等
- ② 回答者の概要 : 基本属性別に見た有効回答者数
- ③ 評点平均 : 全対象科目を総計した結果について、回答者の属性別、科目の分野別、メディア別等の各設問の評点平均値
- ④ 自由記述の概略 : 特徴的・代表的な記述

(3) 公表の方法

(2)の内容について、放送大学ホームページ等で適宜公表することを基本とする。

I-7. その他

オンライン授業科目について

2015 年度から開設されたオンライン授業科目については、原則放送授業に準じた授業評価項目をアンケート調査することとしているが、次の理由により全体集計には入れず、「Ⅲ. 自由記述のまとめ」に当該科目の自由記述の集計等を参考情報として掲載するに留める。

- ・調査時期が異なること
- ・放送授業と同様に調査できない項目が一部あること（例：印刷教材を作成していない）
- ・対象科目が少ない（学部 10 科目、大学院 5 科目）こと

提供資料サンプル【学部】

学部1 2025年度学生による授業評価の調査結果【2025年度新規開設科目】（単純集計）

コース・プログラム等 ○○○○

科目名（コード） ○○○○

(○○○○)

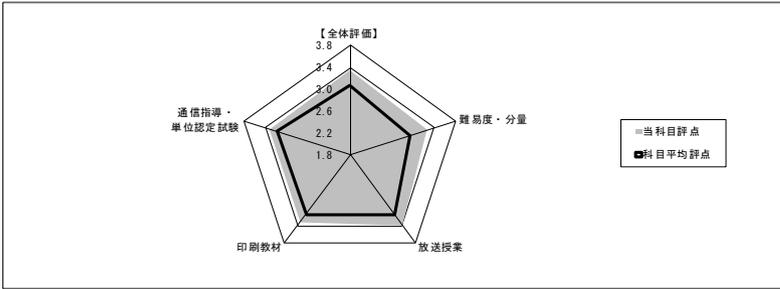
教員氏名 ○○○○

(注) 平均評点は、「あてはまる：4点」「ややあてはまる：3点」「あまりあてはまらない：2点」「あてはまらない：1点」として算出。

1. 取組み姿勢

	設問内容	有効回答	回答割合				平均評点			【当科目評点と、TV科目平均評点との差】
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	当科目評点	全体平均評点	科目平均評点	
取組み姿勢	A-1 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ	208	44%	33%	18%	5%	3.46	3.44	3.17	0.29
	A-2 放送授業を十分に視聴した	208	46%	33%	17%	5%	3.32	3.25	3.20	0.12
	A-3 印刷教材を熱心に学習した	208	30%	46%	21%	3%	3.39	3.39	3.03	0.36

2. 授業評価



	設問内容	有効回答	回答割合				平均評点			【当科目評点と、TV科目平均評点との差】
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	当科目評点	全体平均評点	科目平均評点	
難易度・分量	B-1 放送授業の難易度は適切だった	208	23%	52%	18%	8%	3.23	3.25	2.89	0.34
	B-2 放送授業の内容は適切な分量であった	208	29%	44%	21%	6%	3.29	3.31	2.95	0.34
	B-3 印刷教材の難易度は適切だった	208	21%	52%	23%	5%	3.23	3.25	2.89	0.34
	B-4 印刷教材の内容は適切な分量であった	208	30%	50%	15%	5%	3.30	3.32	3.06	0.24
放送授業	B-5 講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	208	33%	36%	24%	6%	3.35	3.31	2.97	0.38
	B-6 放送授業は教材としてよくできていると感じた	208	53%	36%	6%	5%	3.54	3.50	3.38	0.16
	B-7 テレビの特性が十分に生かされていると感じた	208	35%	44%	14%	8%	3.37	3.34	3.06	0.31
	B-8 ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった	208	50%	32%	9%	9%	3.32	3.23	3.23	0.09
	B-9 ゲストや聞き手によって、理解が深まった	208	36%	47%	14%	3%	3.35	3.34	3.17	0.18
印刷教材	B-10 印刷教材と放送教材との内容的関連性は適切だった	208	29%	46%	21%	5%	3.25	3.25	2.98	0.27
	B-11 印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	208	46%	47%	6%	2%	3.31	3.18	3.36	-0.05
	B-12 図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った	208	33%	50%	14%	3%	3.34	3.32	3.14	0.20
	B-13 印刷教材は教材としてよくできていると感じた	208	30%	52%	11%	8%	3.32	3.32	3.05	0.27
通信指導・単位認定試験	B-14 通信指導のコメントは、納得のいくものだった	208	47%	42%	8%	3%	3.42	3.42	3.33	0.09
	B-15 通信指導は学習内容の理解に役立った	208	38%	35%	20%	8%	3.22	3.25	3.03	0.19
	B-16 単位認定試験の問題は、科目内容の理解度ををはかるのにふさわしい内容だった	208	39%	46%	11%	5%	3.34	3.34	3.20	0.14
全体評価	B-17 授業科目内はこの科目の内容を知る上で役に立った	208	39%	41%	15%	5%	3.42	3.42	3.15	0.27
	B-18 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった	208	56%	35%	5%	5%	3.51	3.52	3.42	0.09
	B-19 新しい知識が身につく視野が広がった	208	20%	47%	24%	9%	3.20	3.21	2.77	0.43
	B-20 この科目の内容を全体としてよく理解できた	208	33%	42%	20%	5%	3.40	3.39	3.05	0.35
	B-21 この科目の内容には全体として満足している	208	29%	46%	21%	5%	3.25	3.25	2.98	0.27

3. 回答者の属性（単位：人）

学生種別	全科履修生（新コース所属）					全科履修生（旧コース所属）		選科履修生	科目履修生	無回答	計			
	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報	自然と環境	全科履修生【小計】							
	17	38	33	51	10	12	0	161	38	9	208			
性別	男性	女性	無回答	計	年齢	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	計
	100	108	0	208		8	13	29	44	59	44	11	0	208
職業	公務員等	教員	会社員	個人営業・自営業	農業等	看護師等	家事専業	パート・アルバイト	他大学等の学生	無職	その他	無回答	計	
	18	6	61	13	0	5	14	39	1	37	14	0	208	
通信指導・単位認定試験	単位認定試験受検	単位認定試験未受検	通信指導未提出	無回答	計	単位認定のための学習方法	ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ	ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ	放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ	無回答	計			
	188	7	7	6	208		19	27	162	0	208			

提供資料サンプル【学部】

2025年度学生による授業評価の調査結果【2025年度新規開設科目】（学生種別、通信指導提出状況・単位認定試験出席状況別クロス集計）【全体一覧】

学部	A-1 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ。										A-2 放送授業を十分に視聴した。									
	回答数	選択肢別の回答割合・回答数					肯定評価	平均	回答数	選択肢別の回答割合・回答数					肯定評価	平均				
		4	3	2	1	レポなし				無回答	4	3	2	1			レポなし	無回答		
合計（全体）	5108	50%	40%	9%	1%	0%	89%	3.38	5108	47%	34%	14%	4%	0%	81%	3.24				
学 生 種 別	生活と福祉	670	332	287	48	3	619	3.41	670	286	260	99	25	0	546	3.20				
	心理と教育	1039	499	426	99	15	925	3.36	1039	44%	37%	15%	5%	0	81%	3.20				
	社会と産業	543	48%	41%	11%	1%	89%	3.36	543	48%	32%	15%	5%	0	80%	3.23				
	人間と文化	562	270	232	53	7	502	3.36	562	283	196	61	22	0	479	3.32				
	情報	432	194	173	49	16	367	3.26	432	48%	32%	15%	6%	0	80%	3.22				
	自然と環境	362	169	140	45	8	309	3.30	362	48%	30%	18%	5%	0	77%	3.20				
	旧専攻所属																			
	全科履修生	3608	48%	41%	10%	2%	89%	3.35	3608	46%	35%	14%	5%	0	81%	3.23				
	【小計】		1725	1478	351	54	3203			1665	1260	518	165	0	2925					
	選科履修生	969	51%	39%	10%	0%	90%	3.40	969	47%	33%	17%	4%	0	80%	3.23				
科目履修生	531	331	158	36	6	489	3.53	531	54%	32%	10%	4%	0	86%	3.36					
単		52%	40%	8%	1%	91%			49%	35%	13%	4%	0	83%						
認定試験	4525	2340	1791	366	28	4131	3.42	4525	2215	1559	593	158	0	3774	3.29					
試験	108	22%	39%	29%	10%	61%			23%	32%	31%	14%	0	56%						
未受験		24	42	31	11	66	2.73	108	25	35	33	15	0	60	2.65					
通信指導未提出	178	39%	26%	23%	12%	65%	2.92	178	41%	24%	19%	16%	0	65%	2.89					
		69	47	41	21	116			73	42	34	29	0	115						

2025年度学生による授業評価調査票（学部）

次の科目についてお答えください。

科目名	
科目コード	

- I. この授業科目を学習して、あなたはどのような印象や感想をお持ちになりましたか。次の①～④及び(1)～(21)の項目について、あてはまる程度を4段階で評価し、4～1の番号にそれぞれ1つだけ○を付けてください。（この面が済みましたら、裏面にもお答えください。）

（注）通信指導を提出していない方、単位認定試験を受験していない方についても、回答できる範囲でお答えください。

あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
-------	---------	------------	---------

A. 授業評価をしていただく前に、あなたの授業への取組みについてお尋ねします。

①	全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ。	4	3	2	1
②	放送授業を十分に視聴した。	4	3	2	1
③	印刷教材を熱心に学習した。	4	3	2	1
④	単位認定のための学習方法について、次の1～3のいずれか一つを選んでください。 1. ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ。 2. ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ。 3. 放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ。				

B. 以下のアンケートにお答えください。

＜授業の難易度・分量＞					
(1)	放送授業の難易度は適切だった。	4	3	2	1
(2)	放送授業の内容は適切な分量であった。	4	3	2	1
(3)	印刷教材の難易度は適切だった。	4	3	2	1
(4)	印刷教材の内容は適切な分量であった。	4	3	2	1
＜放送授業＞					
(5)	講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった。	4	3	2	1
(6)	放送授業は教材としてよくできていると感じた。	4	3	2	1
(7)	（テレビ科目についてのみお答えください） テレビの特性が十分に生かされていると感じた。	4	3	2	1
	（ラジオ科目についてのみお答えください） 映像がなくても十分理解できる内容だと感じた。				
(8)	（テレビ科目についてのみお答えください） ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった	4	3	2	1
	（ラジオ科目についてのみお答えください） ロケ音声や資料音声によって、理解が深まった				
(9)	ゲストや聞き手によって、理解が深まった	4	3	2	1
＜印刷教材＞					
(10)	印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった。	4	3	2	1
(11)	印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった。	4	3	2	1
(12)	図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った。	4	3	2	1
(13)	印刷教材は教材としてよくできていると感じた。	4	3	2	1
＜通信指導・単位認定試験＞					
(14)	通信指導のコメントは、納得のいくものだった。	4	3	2	1
(15)	通信指導は学習内容の理解に役立った。	4	3	2	1
(16)	単位認定試験の問題は、科目内容の理解度ををはかるのにふさわしい内容だった。	4	3	2	1

提供資料サンプル【学部】

＜全体評価＞					
(17)	授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った。	4	3	2	1
(18)	学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった。	4	3	2	1
(19)	新しい知識が身につく視野が広がった。	4	3	2	1
(20)	この科目の内容を全体としてよく理解できた。	4	3	2	1
(21)	この科目の内容には全体として満足している。	4	3	2	1

Ⅱ. 次の点について、ご自由にお書きください。

- (1) この科目を受講してよかったと思う点をお書きください。

- (2) この科目を受講して、放送授業をさらによくするために改善すべきだと感じた点（例：ロケ、ゲスト、図表等の画像、演出の工夫等）をお書きください。

- (3) この科目を受講して、その他のことで改善すべきだと感じた点をお書きください。

- (4) この科目に限らず、本学の教育内容や教育方法等についてご意見やご感想があれば、どんなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。

Ⅲ. この科目の通信指導と単位認定試験についてお答えください。（あてはまる番号に○を付けてください。）

1. 通信指導を提出し、単位認定試験を受験した。
2. 通信指導を提出したが、単位認定試験は受験しなかった。
3. 通信指導を提出しなかった。

提供資料サンプル【学部】

IV. あなたご自身についてお答えください。(あてはまる番号にそれぞれ○を付けてください。)

(1) 学生種別	<p>【全科履修生 新コース所属の方】</p> <p>1. 生活と福祉 2. 心理と教育 3. 社会と産業 4. 人間と文化 5. 情報 6. 自然と環境</p> <p>【全科履修生 旧専攻所属の方】</p> <p>7. 生活と福祉 8. 発達と教育 9. 社会と経済 10. 産業と技術 11. 人間の探究 12. 自然の理解</p> <p>【選科履修生・科目履修生】</p> <p>13. 選科履修生 14. 科目履修生</p>
(2) 性別	1. 男性 2. 女性
(3) 年齢	1. 19歳以下 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳 5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70歳以上
(4) 職業	1. 公務員等 2. 教員 3. 会社員 4. 個人営業・自営業 5. 農業等 6. 看護師等 7. 家事専業 8. パート・アルバイト 9. 他大学等の学生 10. 無職 11. その他 ()

どうもありがとうございました。

提供資料サンプル【大学院】

大学院1 2025年度学生による授業評価の調査結果【2025年度新規開設科目】（単純集計）

コース・プログラム等 ○○○○

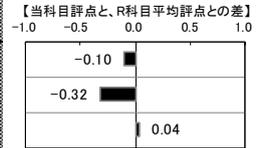
科目名（コード） ○○○○ （○○○○）

教員氏名 ○○○○

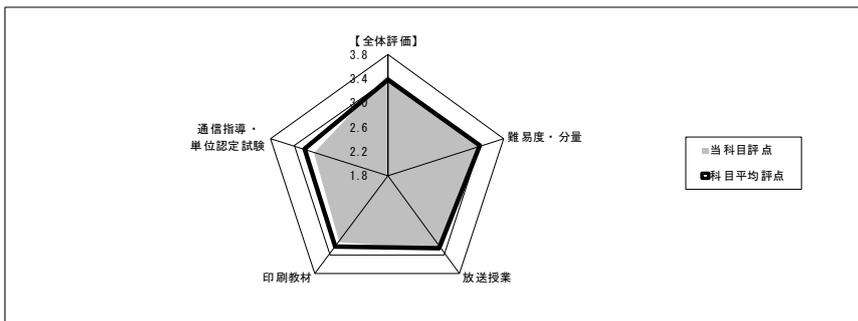
（注）平均評点は、「あてはまる：4点」「ややあてはまる：3点」「あまりあてはまらない：2点」「あてはまらない：1点」として算出。

1. 取組み姿勢

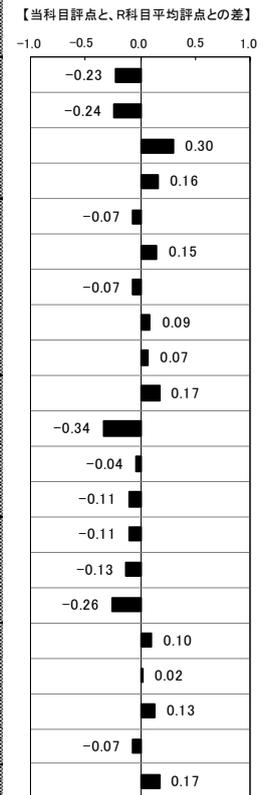
取組み姿勢	設問内容	有効回答	回答割合				平均評点		
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	当科目評点	全体平均評点	R科目平均評点
A-1	全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ	学部、大	43%	57%	0%	0%	3.43	3.53	3.53
A-2	放送授業を十分に視聴した	45	29%	43%	29%	0%	3.00	3.32	3.32
A-3	印刷教材を熱心に学習した	45	57%	43%	0%	0%	3.57	3.53	3.53



2. 授業評価



	設問内容	有効回答	回答割合				平均評点		
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	当科目評点	全体平均評点	R科目平均評点
難易度・分量	B-1 放送授業の難易度は適切だった	45	14%	86%	0%	0%	3.14	3.37	3.37
	B-2 放送授業の内容は適切な分量であった	45	14%	86%	0%	0%	3.14	3.38	3.38
	B-3 印刷教材の難易度は適切だった	45	71%	29%	0%	0%	3.71	3.41	3.41
	B-4 印刷教材の内容は適切な分量であった	45	57%	43%	0%	0%	3.57	3.41	3.41
放送授業	B-5 講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	45	29%	57%	14%	0%	3.14	3.21	3.21
	B-6 放送授業は教材としてよくできていると感じた	45	57%	43%	0%	0%	3.57	3.42	3.42
	B-7 テレビの特性が十分に生かされていると感じた	45	29%	71%	0%	0%	3.29	3.36	3.36
	B-8 ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった	45	29%	57%	14%	0%	3.14	3.05	3.05
	B-9 ゲストや聞き手によって、理解が深まった	45	29%	71%	0%	0%	3.29	3.22	3.22
印刷教材	B-10 印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった	45	43%	57%	0%	0%	3.43	3.26	3.26
	B-11 印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	45	0%	86%	14%	0%	2.86	3.20	3.20
	B-12 図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った	45	29%	71%	0%	0%	3.29	3.33	3.33
	B-13 印刷教材は教材としてよくできていると感じた	45	14%	71%	14%	0%	3.00	3.11	3.11
通信指導・単位認定試験	B-14 通信指導のコメントは、納得のいくものだった	45	14%	86%	0%	0%	3.14	3.25	3.25
	B-15 通信指導は学習内容の理解に役立った	45	29%	43%	29%	0%	3.00	3.13	3.13
	B-16 単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった	45	14%	71%	14%	0%	3.00	3.26	3.26
全体評価	B-17 授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った	45	57%	43%	0%	0%	3.57	3.47	3.47
	B-18 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった	45	71%	14%	14%	0%	3.57	3.55	3.55
	B-19 新しい知識が身につく視野が広がった	45	43%	57%	0%	0%	3.43	3.30	3.30
	B-20 この科目の内容を全体としてよく理解できた	45	29%	71%	0%	0%	3.29	3.36	3.36
	B-21 この科目の内容には全体として満足している	45	43%	57%	0%	0%	3.43	3.26	3.26



3. 回答者の属性（単位：人）

学生種別	修士全科生（新コース所属）							修士全科生（旧コース所属）					計	
	生活健康科学	人間発達科学	臨床心理学	社会経営科学	人文学	情報学	自然環境科学	修士全科生【小計】	修士選科生	修士科目生	無回答			
生活健康科学	3	9	0	0	1	1	0	14	26	5	0	45		
性別	男性	女性	無回答	計	年齢	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	計
	27	18	0	45		0	0	7	7	11	14	6	0	45
職業	公務員等	教員	会社員	個人営業・自営業	農業等	看護師等	家事専業	パート・アルバイト	他大学等の学生	無職	その他	無回答	計	
	3	7	7	6	0	4	2	1	2	10	3	0	45	
通信指導・単位認定試験	単位認定試験受験	単位認定試験未受験	通信指導未提出	無回答	計	単位認定のための学習方法	ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ	ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ	放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ	無回答	計			
	43	2	0	0	45		5	13	27	0	45			

2025年度学生による授業評価の調査結果【2025年度新規開設科目】（学生種別、通信指導提出状況・単位認定試験出席状況別クロス集計）【全体一覧】

学 生 種 別	A-1 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ。										A-2 放送授業を十分に視聴した。									
	回答数	選択肢別の回答割合・回答数					肯定 評価	平均 評価	回答数	選択肢別の回答割合・回答数					肯定 評価	平均 評価				
		4	3	2	1	レボなし 無回答				4	3	2	1	レボなし 無回答						
合計（全体）	250	62%	34%	4%	1%	0%	96%	3.57	250	61%	27%	9%	3%	0%	88%	3.46				
生活健康科学	19	79%	16%	5%	0%	0%	95%	3.74	19	74%	21%	5%	0%	0%	95%	3.68				
人間発達科学	19	68%	21%	11%	0%	0%	90%	3.58	19	63%	26%	5%	0%	0%	90%	3.47				
臨床心理学	15	73%	27%	0%	0%	0%	100%	3.73	15	93%	0%	7%	0%	0%	93%	3.87				
社会経営科学	6	17%	83%	0%	0%	0%	100%	3.17	6	50%	50%	0%	0%	0%	100%	3.50				
人文学	8	75%	25%	0%	0%	0%	100%	3.75	8	75%	25%	0%	0%	0%	100%	3.75				
情報学	8	63%	38%	0%	0%	0%	100%	3.63	8	63%	13%	25%	0%	0%	75%	3.38				
自然環境科学	2	100%	0%	0%	0%	0%	100%	4.00	2	50%	50%	0%	0%	0%	100%	3.50				
旧プログラム所属																				
修士全科目	77	69%	27%	4%	0%	0%	96%	3.65	77	71%	21%	7%	1%	0%	92%	3.62				
【小計】	152	61%	35%	3%	1%	0%	95%	3.55	152	55%	30%	11%	5%	0%	85%	3.36				
修士選科生	21	48%	48%	5%	0%	0%	95%	3.43	21	62%	33%	5%	0%	0%	95%	3.57				
単	224	64%	32%	4%	0%	0%	96%	3.59	224	63%	26%	9%	2%	0%	89%	3.50				
試験認定	10	50%	40%	10%	0%	0%	90%	3.40	10	30%	60%	0%	10%	0%	90%	3.10				
試験未認定	6	33%	67%	0%	0%	0%	100%	3.33	6	67%	33%	0%	0%	0%	100%	3.67				
通信指導未提出		2	4	0	0	0	6		6	4	2	0	0	0	6					

2025年度学生による授業評価調査票（大学院）

次の科目についてお答えください。

科目名	
科目コード	

- I. この授業科目を学習して、あなたはどのような印象や感想をお持ちになりましたか。次の①～④及び(1)～(21)の項目について、あてはまる程度を4段階で評価し、4～1の番号にそれぞれ1つだけ○を付けてください。（この面が済みましたら、裏面にもお答えください。）

（注）通信指導を提出していない方、単位認定試験を受験していない方についても、回答できる範囲でお答えください。

A. 授業評価をしていただく前に、あなたの授業への取組みについてお尋ねします。

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
① 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ。	4	3	2	1
② 放送授業を十分に視聴した。	4	3	2	1
③ 印刷教材を熱心に学習した。	4	3	2	1
④ 単位認定のための学習方法について、次の1～3のいずれか一つを選んでください。 1. ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ。 2. ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ。 3. 放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ。				

B. 以下のアンケートにお答えください。

<授業の難易度・分量>				
(1) 放送授業の難易度は適切だった。	4	3	2	1
(2) 放送授業の内容は適切な分量であった。	4	3	2	1
(3) 印刷教材の難易度は適切だった。	4	3	2	1
(4) 印刷教材の内容は適切な分量であった。	4	3	2	1
<放送授業>				
(5) 講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった。	4	3	2	1
(6) 放送授業は教材としてよくできていると感じた。	4	3	2	1
(7) (テレビ科目についてのみお答えください) テレビの特性が十分に生かされていると感じた。 (ラジオ科目についてのみお答えください) 映像がなくても十分理解できる内容だと感じた。	4	3	2	1
(8) (テレビ科目についてのみお答えください) ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった。 (ラジオ科目についてのみお答えください) ロケ音声や資料音声によって、理解が深まった。	4	3	2	1
(9) ゲストや聞き手によって、理解が深まった。	4	3	2	1
<印刷教材>				
(10) 印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった。	4	3	2	1
(11) 印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった。	4	3	2	1
(12) 図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った。	4	3	2	1
(13) 印刷教材は教材としてよくできていると感じた。	4	3	2	1
<通信指導・単位認定試験>				
(14) 通信指導のコメントは、納得のいくものだった。	4	3	2	1
(15) 通信指導は学習内容の理解に役立った。	4	3	2	1
(16) 単位認定試験の問題は、科目内容の理解度ををはかるのにふさわしい内容だった。	4	3	2	1
<全体評価>				
(17) 授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った。	4	3	2	1
(18) 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった。	4	3	2	1
(19) 新しい知識が身につく視野が広がった。	4	3	2	1
(20) この科目の内容を全体としてよく理解できた。	4	3	2	1
(21) この科目の内容には全体として満足している。	4	3	2	1

裏面に続きます。

Ⅱ. 次の点について、ご自由にお書きください。

(1) この科目を受講してよかったと思う点をお書きください。

(2) この科目を受講して、放送授業をさらによくするために改善すべきだと感じた点（例：ロケ、ゲスト、図表等の画像、演出の工夫等）をお書きください。

(3) この科目を受講して、その他のことで改善すべきだと感じた点をお書きください。

(4) この科目に限らず、本学の教育内容や教育方法等についてご意見やご感想があれば、どんなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。

Ⅲ. この科目の通信指導と単位認定試験についてお答えください。（あてはまる番号に○を付けてください。）

1. 通信指導を提出し、単位認定試験を受験した。
2. 通信指導を提出したが、単位認定試験は受験しなかった。
3. 通信指導を提出しなかった。

Ⅳ. あなたご自身についてお答えください。（あてはまる番号にそれぞれ○を付けてください。）

(1) 学生種別	【修士全科生 新プログラム所属の方】 1. 生活健康科学 2. 人間発達科学 3. 臨床心理学 4. 社会経営科学 5. 人文学 6. 情報学 7. 自然環境科学 【修士全科生 旧プログラム所属の方】 8. 文化情報学 9. 文化情報科学群 10. 環境システム科学群 11. 政策経営 12. 教育開発 13. 臨床心理 【修士選科生・修士科目生】 14. 修士選科生 15. 修士科目生
(2) 性別	1. 男性 2. 女性
(3) 年齢	1. 19歳以下 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳 5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70歳以上
(4) 職業	1. 公務員等 2. 教員 3. 会社員 4. 個人営業・自営業 5. 農業等 6. 看護師等 7. 家事専業 8. パート・アルバイト 9. 他大学等の学生 10. 無職 11. その他（ ）

どうもありがとうございました。

Ⅱ. 評定尺度調査の分析結果

【評定尺度調査の分析にあたって】

今回用いた評定尺度は、「あてはまる」「ややあてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」による4段階評価である。

本報告書においては、データの理解や分析のしやすさを考慮し、便宜的に4段階のカテゴリーに4～1の点数を振り、その平均値を算出することによって、データの代表値とした。

ただし評定尺度の各カテゴリーに振られた「数字」を「数値」として加減乗除の演算をすることは、厳密に言えば統計処理として適切でない。

3が2よりもあてはまる程度が大きいことは言えても、4と3の間と3と2の間が等距離（つまり1の間隔）だという保証はどこにもないからである。

しかし4つのカテゴリーごとの相対度数（パーセント）から何らかの傾向を掴み取るとは容易ではないため、平均値を回答の傾向を推察する目安の1つとして用いたい。

また、ここでの平均値は何らかの単位を持つものではないので、データ同士の相対比較でのみ、その傾向を読み取ることになる。仮にある項目の平均値が、他の項目より低かったとしても、大部分の回答者がその項目に対して肯定的な評価をしていれば、その項目の評価は低いと簡単に断言できるものではないからである。つまり絶対的な評価が把握しにくいと言える。そこで、「あてはまる」もしくは「ややあてはまる」と回答した対象者の割合を合計して提示した。

これによって、その評価項目に対し肯定的評価をしている学生がいかにどの割合で存在するかを推測する目安とする。

さらに回答者の属性ごとの回答者数について、本来ならば、グラフ等のデータごとに回答者数を示すべきであるが、全てのデータに回答者数を掲載すると極めて煩雑になるため、ここに一括して掲載することにした（次頁表2-1）。

以下、本章においては、常に次頁の回答者数に基づいてデータを見る必要がある。特に回答者数の少ない層ほど誤差が大きくなり、%表記がそぐわないため、いずれも参考値としてグラフに記載しているが、コメントを割愛する事にする。

例えば、大学院では職業別の「家事専業」（7人）「他大学等の学生」（4人）、「農業等」（2人）が挙げられる。

表 2-1 回答者数一覧

【学部】

全体	5,108	(単位:人)	
メディア		年齢階層	
テレビ科目(TV)	3,222	19歳以下	153
ラジオ科目(R)	1,886	20～29歳	544
職業		30～39歳	576
公務員等	355	40～49歳	1,025
教員	526	50～59歳	1,385
会社員	1,005	60～69歳	956
個人営業・自営業	299	70歳以上	469
農業等	21	コース	
看護師等	665	基盤科目	743
家事専業	246	基盤科目(外国語)	694
パート・アルバイト	816	生活と福祉	1,133
他大学等の学生	30	心理と教育	824
無職	853	社会と産業	568
その他	292	人間と文化	423
		情報	324
		自然と環境	208
		看護師資格取得	191

【大学院】

全体	250	(単位:人)	
メディア		年齢階層	
テレビ科目(TV)	0	20～29歳	10
ラジオ科目(R)	250	30～39歳	19
職業		40～49歳	51
公務員等	41	50～59歳	80
教員	46	60～69歳	63
会社員	45	70歳以上	27
個人営業・自営業	10	プログラム	
農業等	2	生活健康科学	56
看護師等	19	人間発達科学	116
家事専業	7	臨床心理学	43
パート・アルバイト	33	情報学	35
他大学等の学生	4		
無職	30		
その他	13		

Ⅱ－1. 学部の分析結果

Ⅱ－1－1. 項目平均から見た全体的傾向

ここからは、A-1～B-21 の評価項目（14～16 頁の提供資料サンプルを参照）ごとに、平均値と肯定的評価のグラフを基に、そのデータから目立つ点や、特徴的傾向を記述していくことにする。

平均値は、評価項目の選択肢である「あてはまる」「ややあてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」に対して順に 4 点、3 点、2 点、1 点の得点を与え、その得点合計を回答者数で割った値である。全員が「あてはまる」とした場合、平均値は 4.00 で最も高くなり、全員が「あてはまらない」とすると最低の 1.00 となる。

また、肯定的評価は文字通り「あてはまる」と「ややあてはまる」の比率の合計である。平均値より肯定的な評価の方が（例えば回答者の 80% と）イメージしやすく、平均値と肯定的評価に齟齬が出た場合、どちらを採るか合理的な判断ができないので、記述については肯定的評価を用いて、平均値は参考値として扱っていきたい。

図 2－1 の肯定的評価では各項目とも 80% 以上で、『通信指導・単位認定試験』『全体評価』が 90% と最も高く、一方で『放送授業』が 84% で最も低い評価となった。

図 2－1 【学部】項目平均による全体的傾向

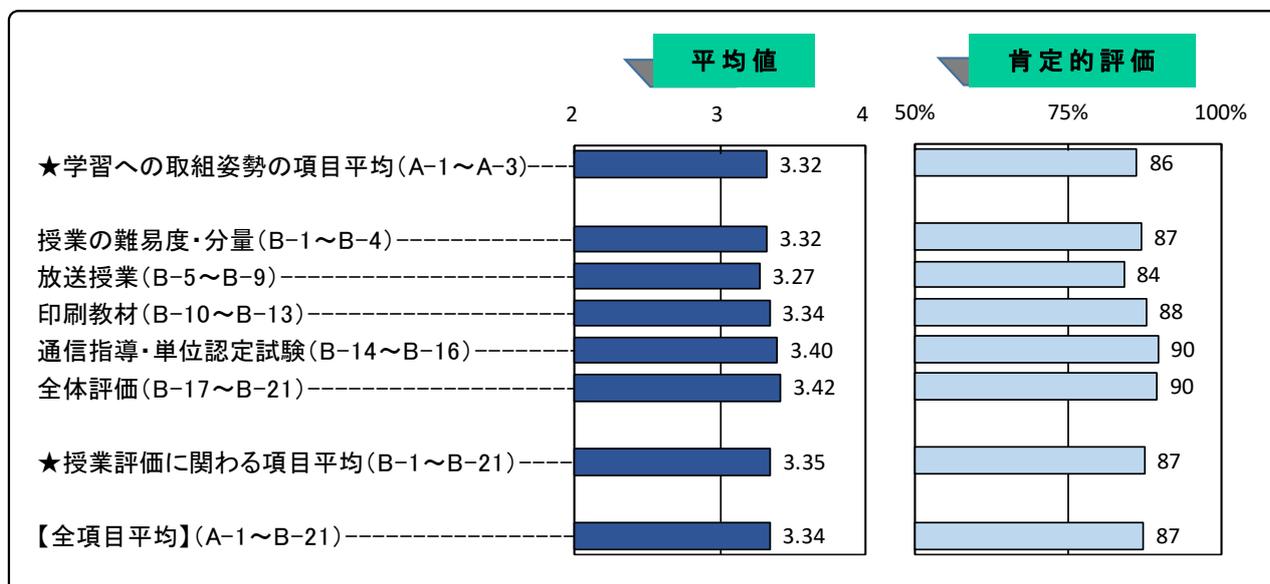
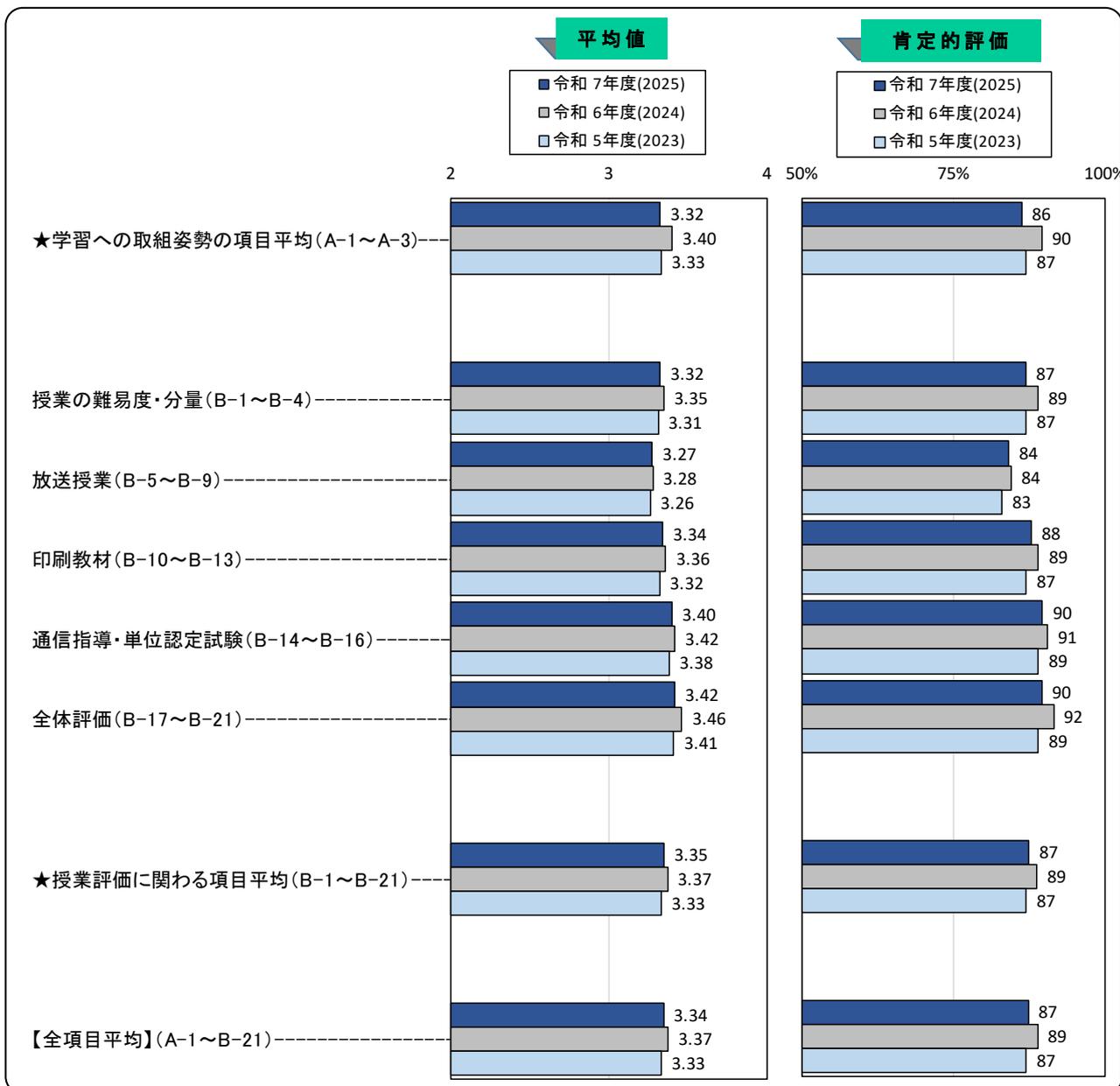


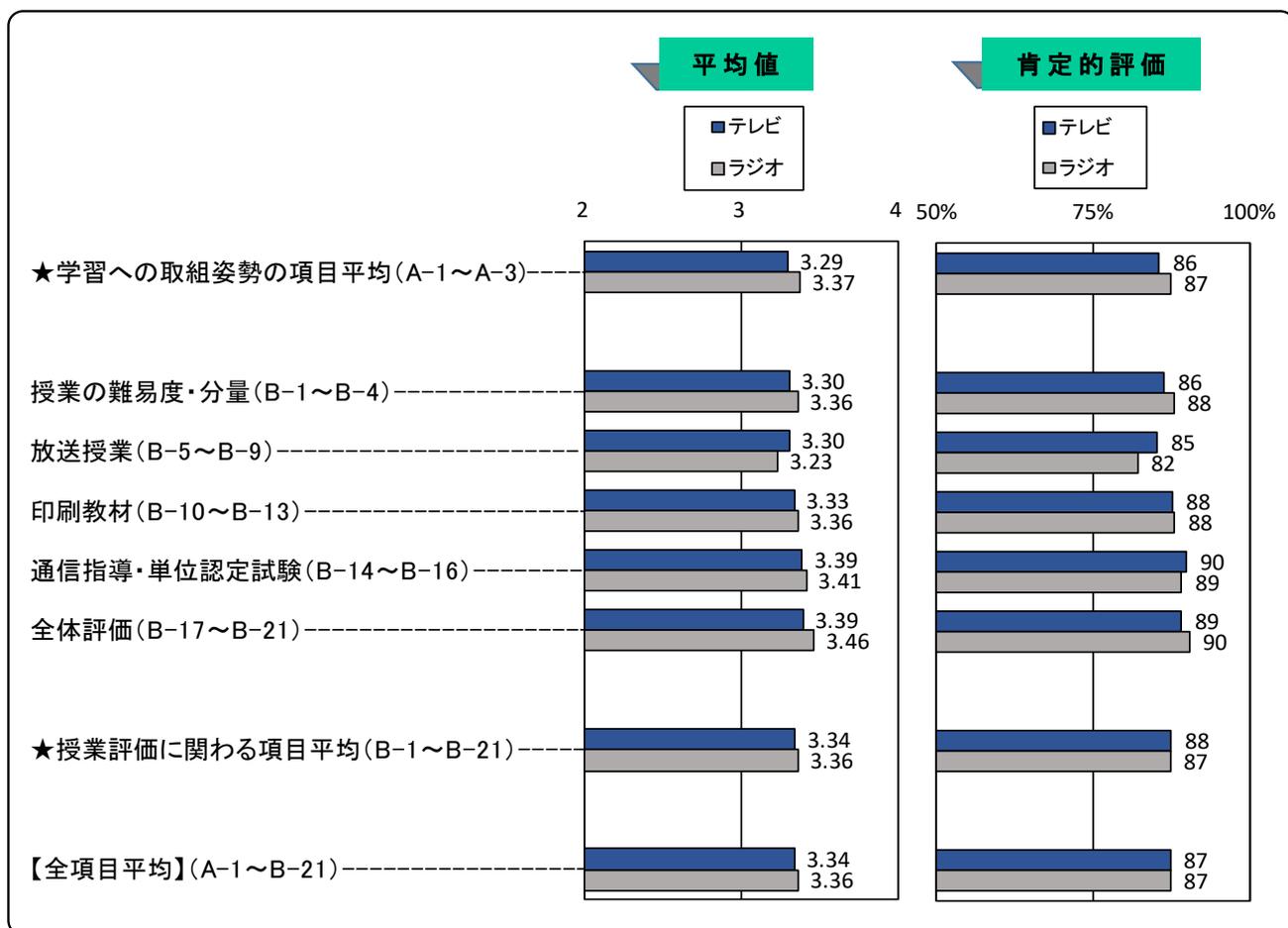
図2-2の項目平均による全体的傾向では、本年度は『放送授業』が横ばいとなった以外は、昨年度より1~4ポイント減少した。

図2-2【学部】項目平均による全体的傾向（開設年度比較）



メディア別では（図2-3）、テレビ科目とラジオ科目のメディア間では、『授業の難易度・分量』ではラジオが2ポイント、『全体評価』では1ポイント上回っていた。一方で、『放送授業』についてはテレビが3ポイント、『通信指導・単位認定試験』においては1ポイント高くなっていた。

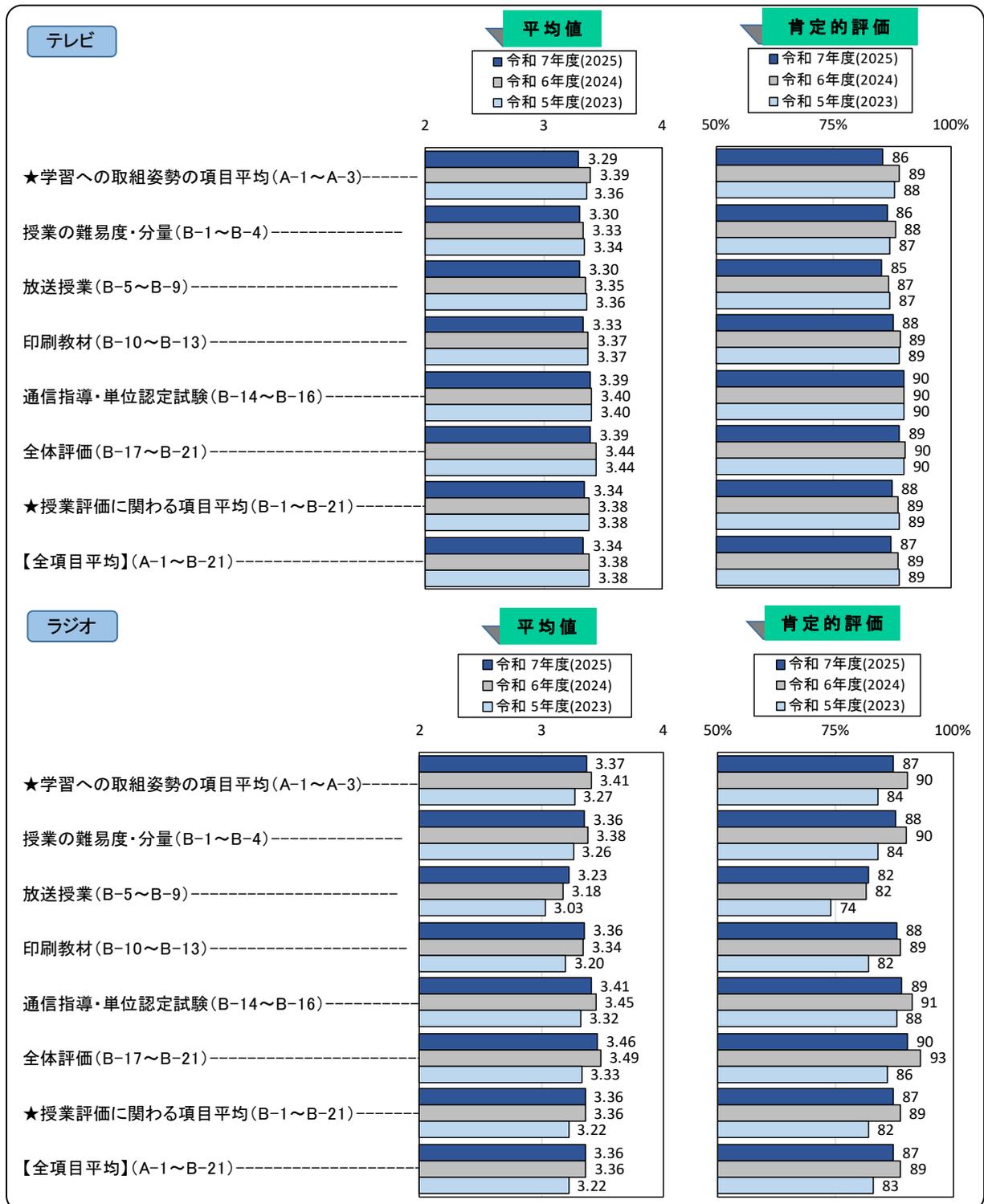
図2-3 【学部】項目平均によるメディア別全体的傾向



メディア別の項目平均を時系列で比較してみると（図2-4）、テレビ科目では、『通信指導・単位認定試験』が横ばいとなった以外は、全項目で昨年度を下回った。

併せてラジオ科目でも、『放送授業』を除く全項目で評価が昨年度を下回っており、中でも『★学習への取組姿勢の項目平均』『全体評価』は3ポイント減となった。

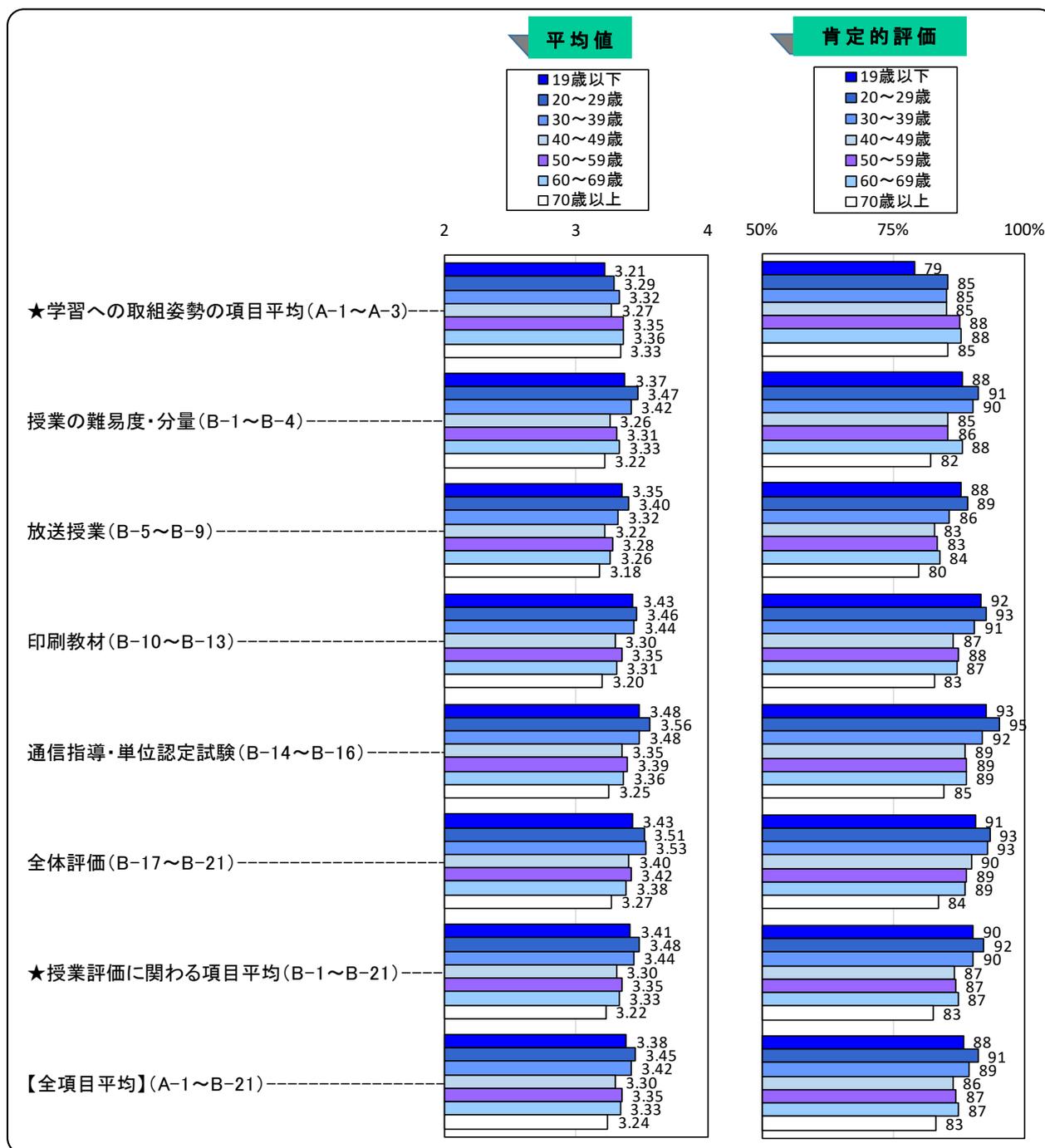
図2-4 【学部】項目平均によるメディア別全体的傾向（開設年度比較）



年齢階層別（図2-5）では、『★学習への取組姿勢の項目平均』以外は20歳代の評価が最も高かった。

一方で70歳以上は総じて評価が低く、特に『放送授業』の評価が80%と最も低かった。

図2-5 【学部】項目平均による年齢階層別全体的傾向

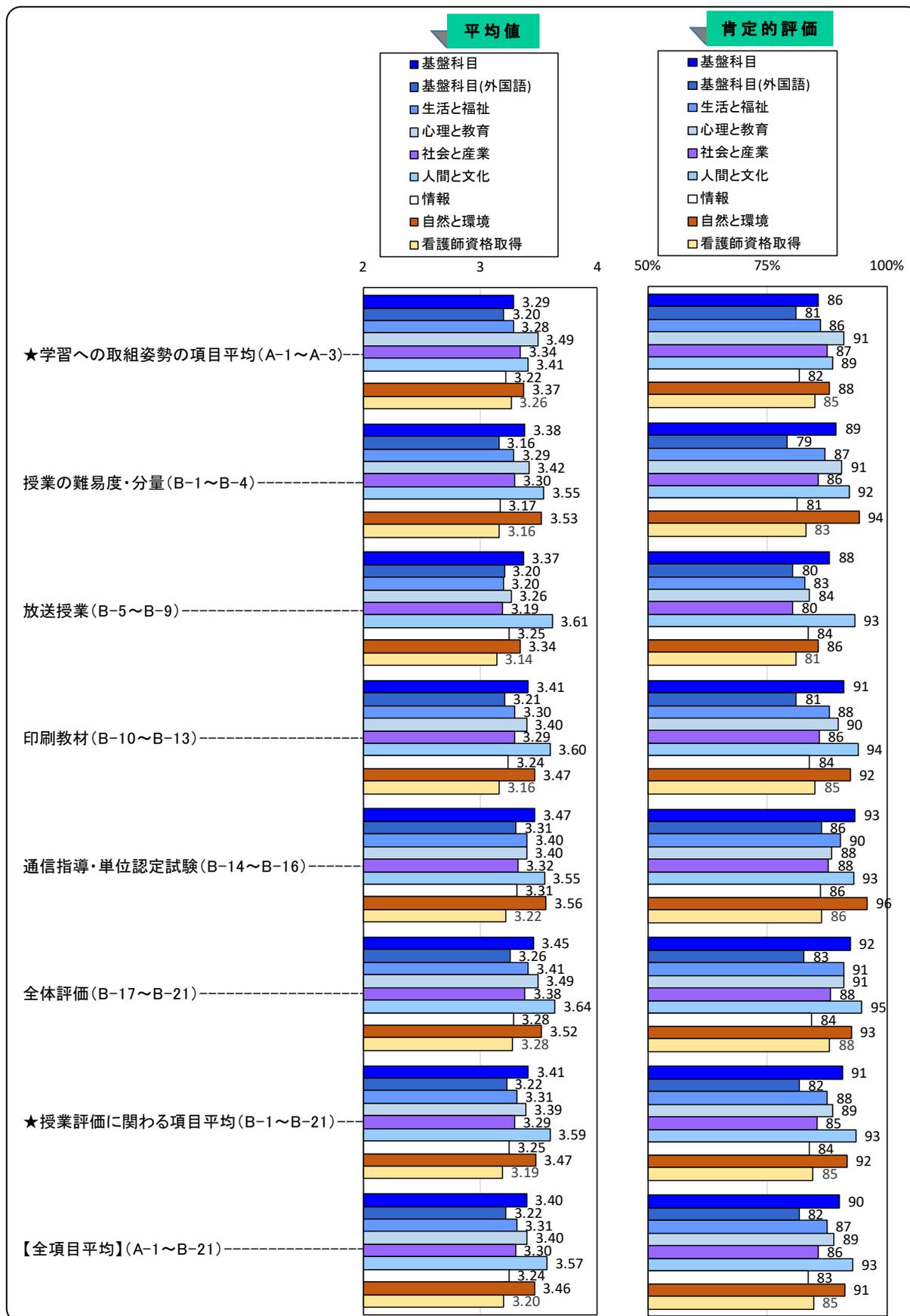


所属コース別に項目平均を見ると（次頁図 2 - 6）、『★学習への取組姿勢の項目平均』では「心理と教育」、『授業の難易度・分量』『通信指導・単位認定試験』では「自然と環境」、その他の項目では「人間と文化」の肯定的評価が最も高かった。

逆に「基盤科目(外国語)」は全項目で他の所属コースより低く、最も評価の低い『授業の難易度・分量』では 79%と、最も評価の高かった「自然と環境」(94%) とは大きな差が見られた。

結果、『授業評価に関わる項目平均』と『全項目平均』において、「人間と文化」の肯定的評価が最も高く、「基盤科目(外国語)」が最も低かった。

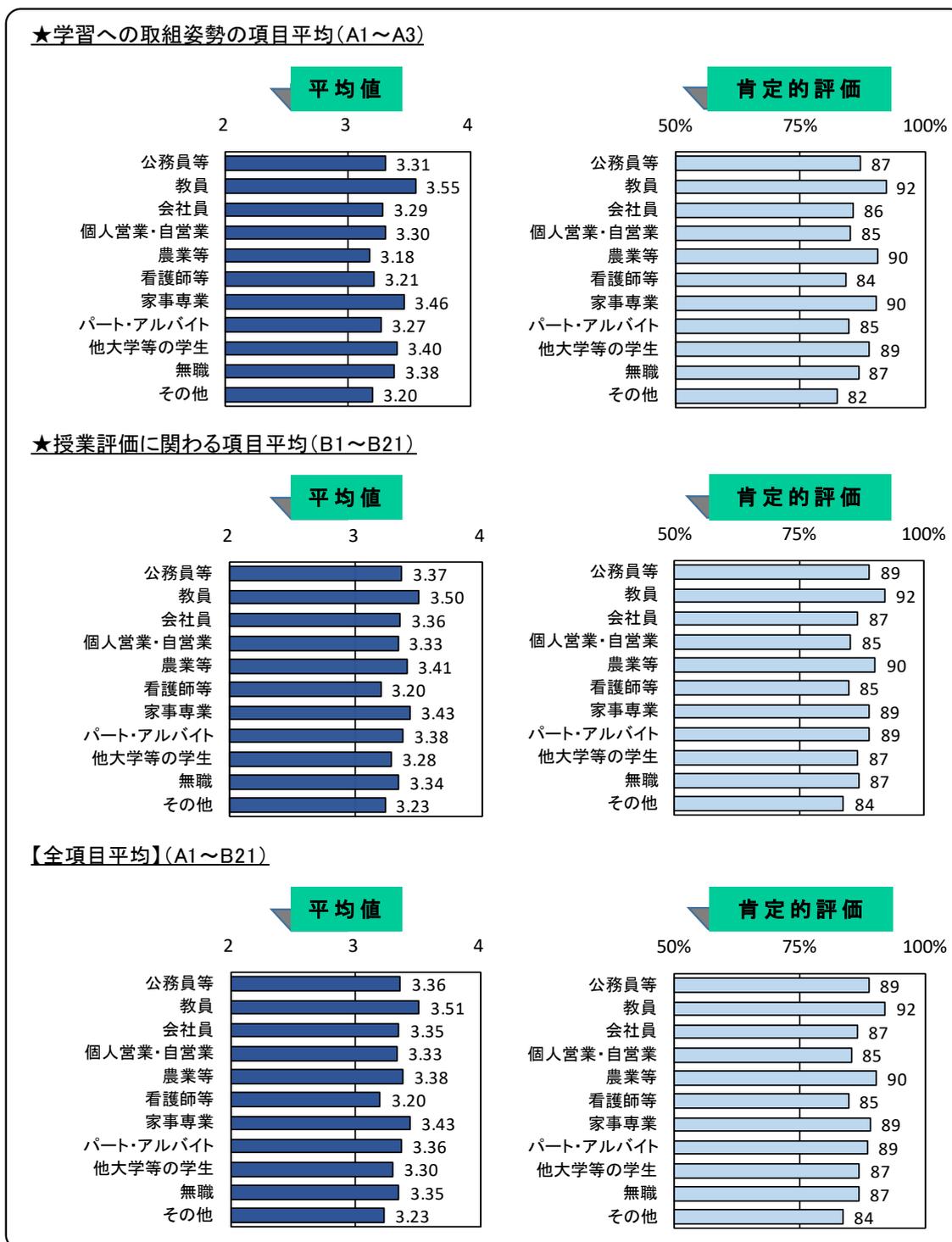
図2-6 【学部】 項目平均による所属コース別全体的傾向



職業別（図2-7）の肯定的評価は、全項目で「教員」が92%と最も多く、続いて「農業等」が90%で続いた。

一方で「その他」は全ての項目で最も評価が低く、「教員」と比較して8~10ポイント低かった。他に「看護師等」も『学習への取組姿勢の項目平均』の84%を始め、評価が低かった。

図2-7【学部】項目平均による職業別全体的傾向



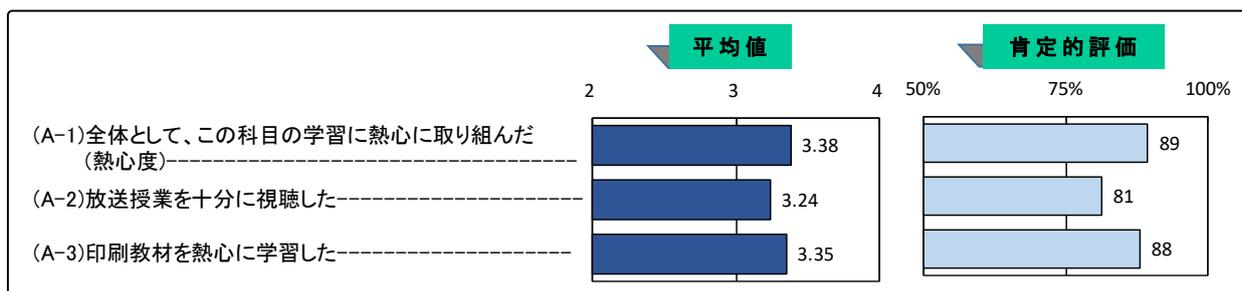
Ⅱ-1-2. 学習への取組み姿勢

ここからはそれぞれの評価項目ごとに調査結果を見ていく。

全回答者の学習への取組み姿勢（図2-8）は、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ」が89%と高かった。

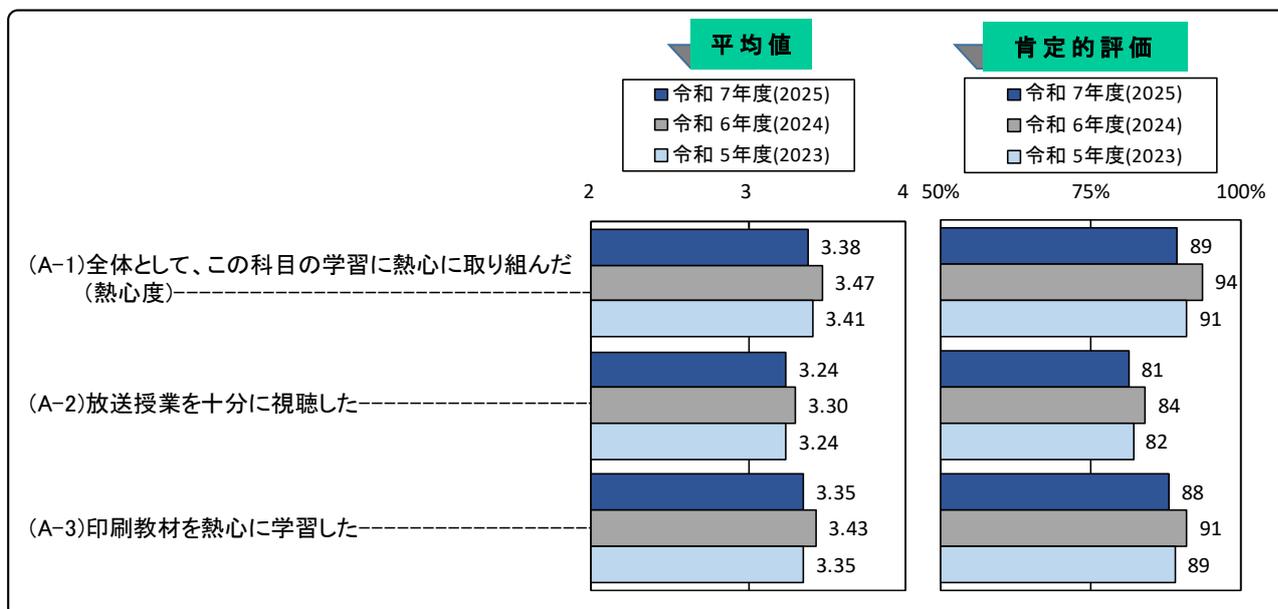
一方で(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は81%と、他の2項目に比べ低く、印刷教材での学習のウエイトの方が高かった。

図2-8 【学部】回答者全体の取組み姿勢



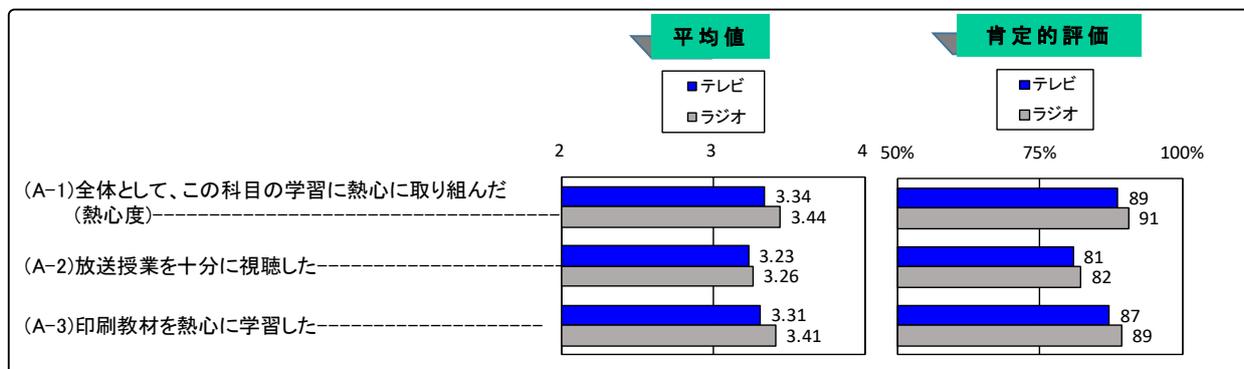
取組み姿勢を時系列で見ると（図2-9）、全ての項目で本年度の結果が、昨年度を下回っていた。

図2-9 【学部】回答者全体の取組み姿勢（時系列）



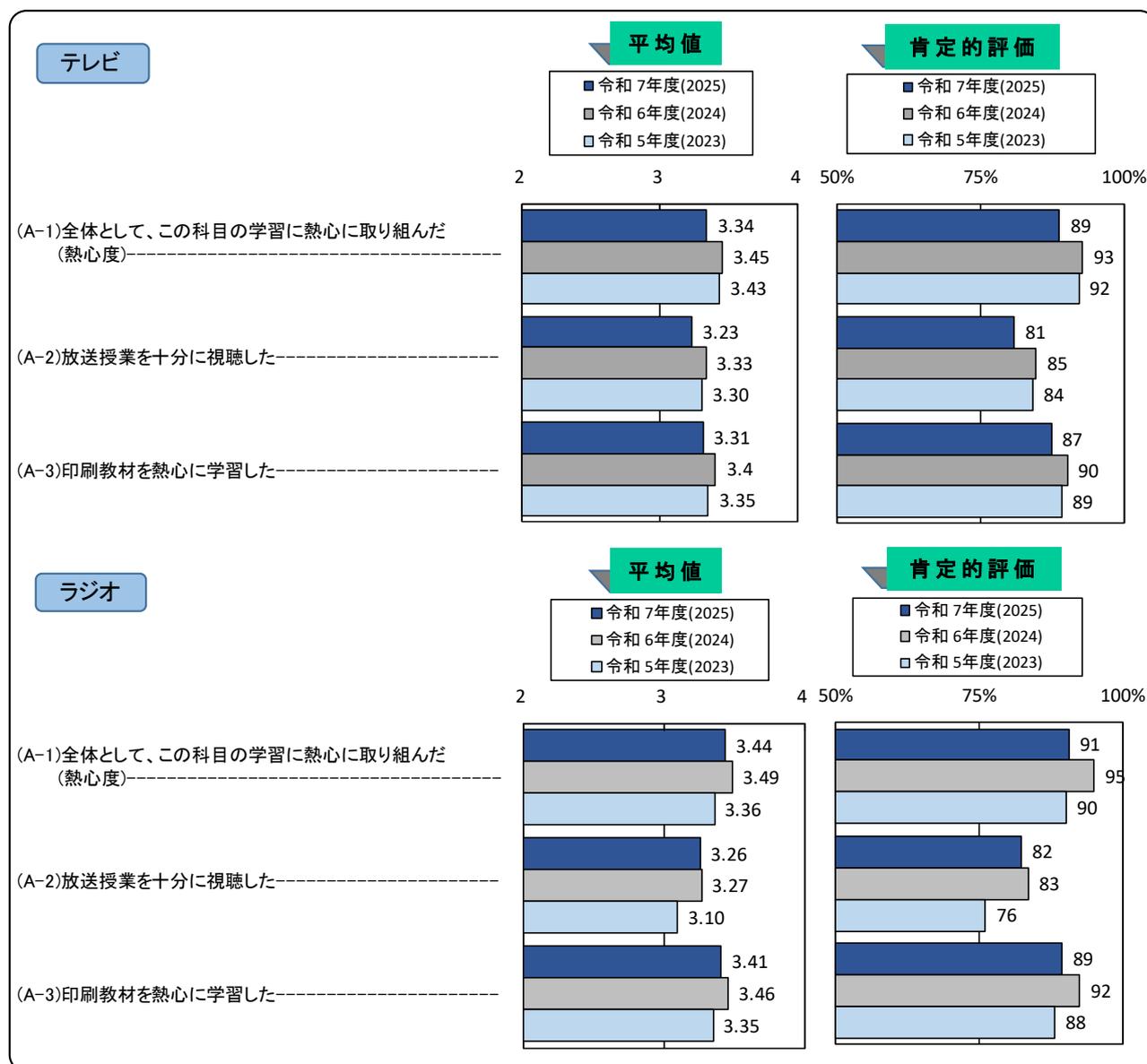
次にメディア別の取組姿勢では（図2-10）、テレビ科目とラジオ科目を比べると、ラジオ科目の方が全項目で1～2ポイント、テレビ科目を上回った。

図2-10【学部】メディア別の取組姿勢



メディア別の取組姿勢を時系列で見ると（図2-11）、テレビ科目、ラジオ科目ともに全項目で昨年度から1～4ポイント減少。特に（A-1）「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ」はラジオ・テレビ共に、4ポイントと減少幅が大きかった。

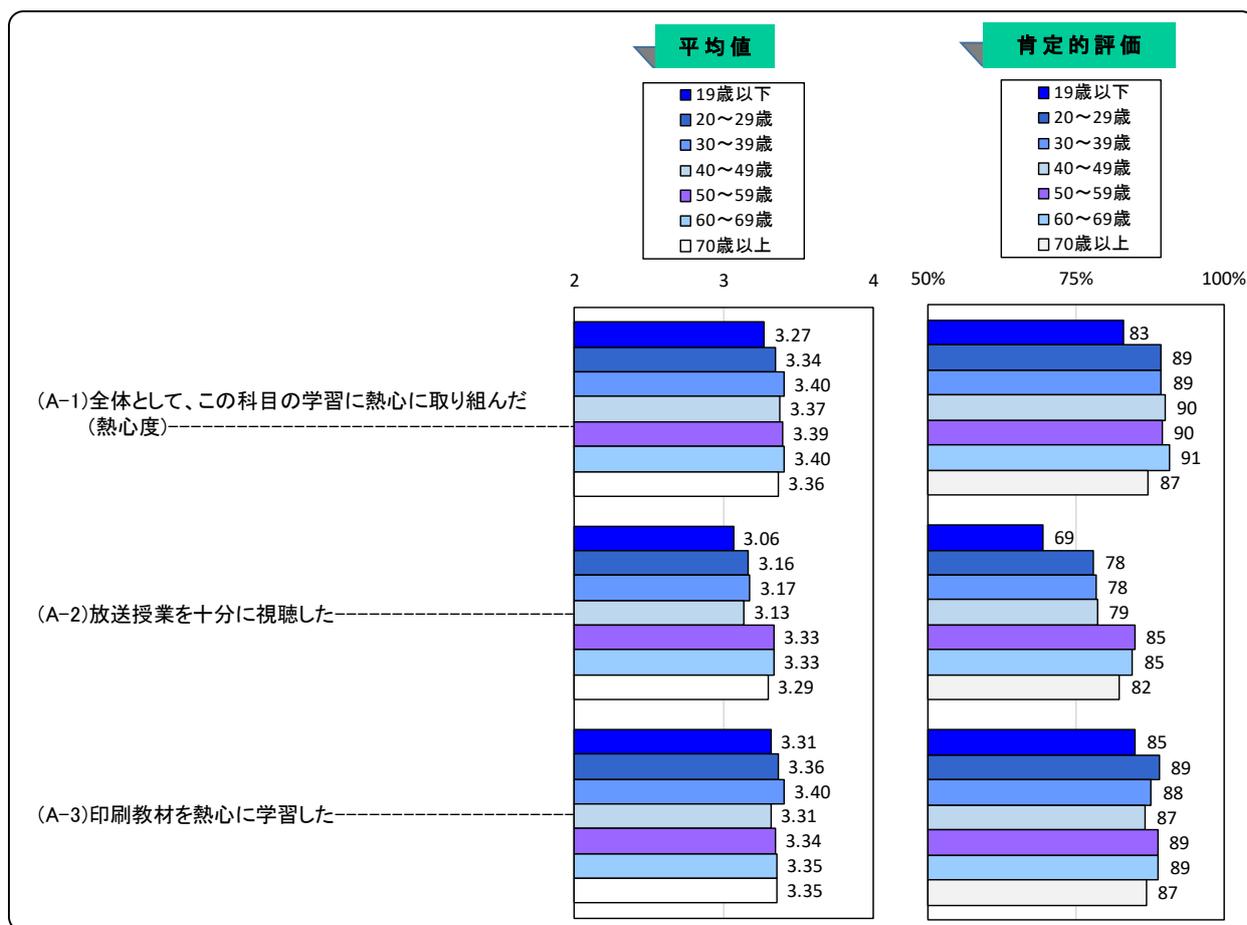
図2-11 【学部】メディア別の取組姿勢（時系列）



年齢階層別に取り組姿勢を見ると（図2-12）、全項目で19歳以下が最も低く、特に(A-2)「放送授業を十分に視聴した」では69%と、最も高かった50歳代・60歳代（85%）との差が大きかった。

一方で(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」は、最も高かった20歳代、50歳代、60歳代が89%であったのに対して、最も低かった19歳以下も85%と世代間の差が小さかった。

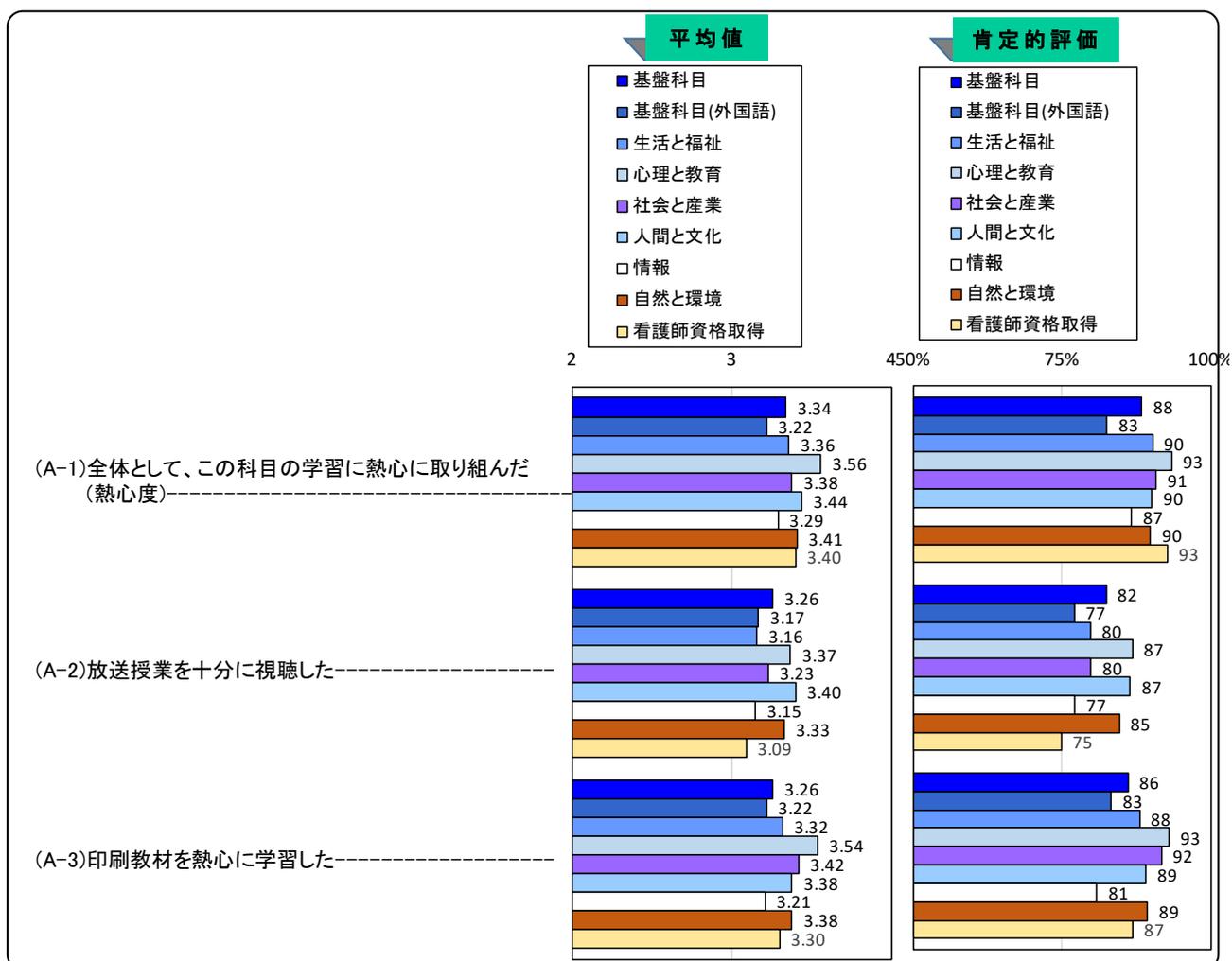
図2-12 【学部】年齢階層別に取り組姿勢



所属コース別に取り組姿勢を見ると（図2-13）、「心理と教育」は、全項目で最も高かった。（A-1）「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ」では「看護師資格取得」、（A-2）「放送授業を十分に視聴した」では「人間と文化」、（A-3）「印刷教材を熱心に学習した」では「社会と産業」が、同数もしくは僅差の次点となった。

一方で（A-2）「放送授業を十分に視聴した」は、「基盤科目(外国語)」「情報」「看護師資格取得」が70%台となるなど、放送授業よりも印刷教材の評価が高かった。

図2-13 【学部】所属コース別の取組姿勢



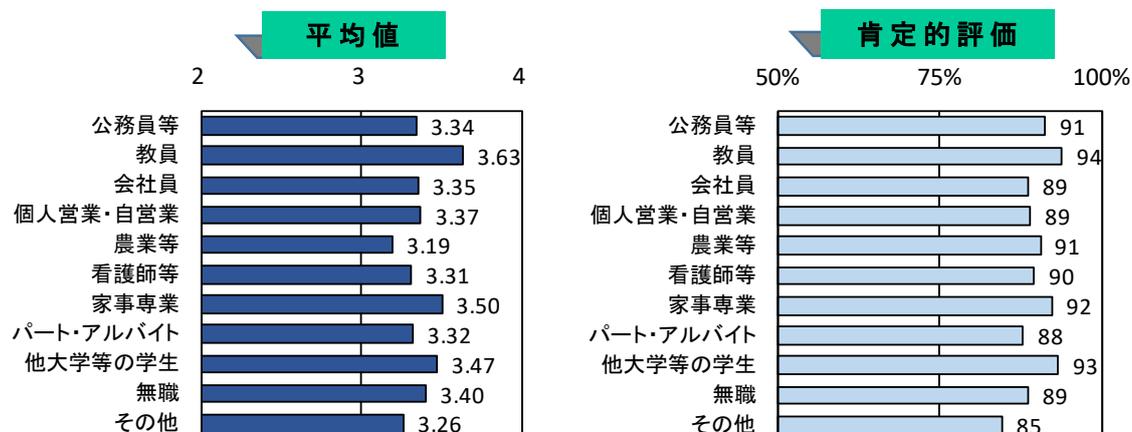
職業別に取組姿勢を見ると（次頁図2-14）、（A-1）「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ」は「教員」が94%と最も高かった。

（A-2）「放送授業を十分に視聴した」については、「看護師等」の76%を始めとして、（A-1）「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ」や（A-3）「印刷教材を熱心に学習した」と比較して全体的に評価が低かった。

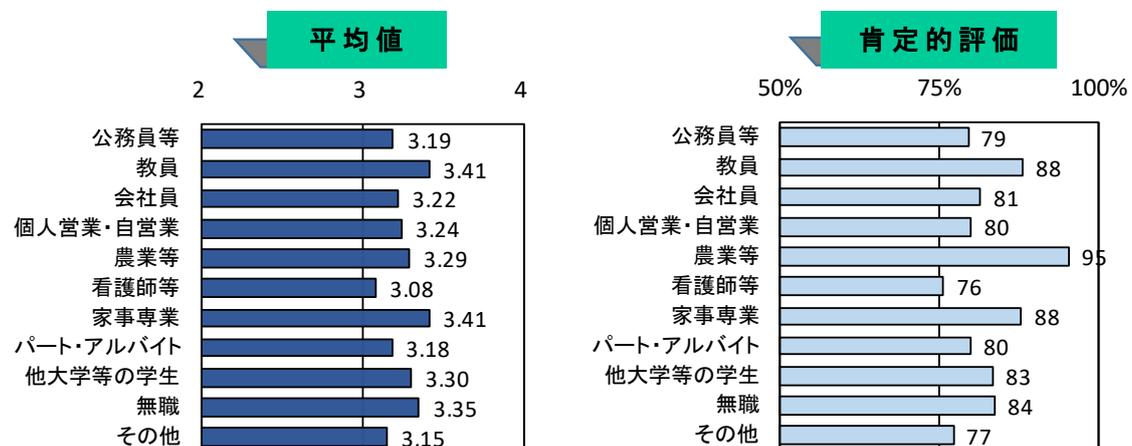
また、（A-3）「印刷教材を熱心に学習した」では「教員」が94%と最も高かった一方で、「その他」は（A-3）を含め全般的に評価が低かった。

図2-14【学部】職業別の取組姿勢

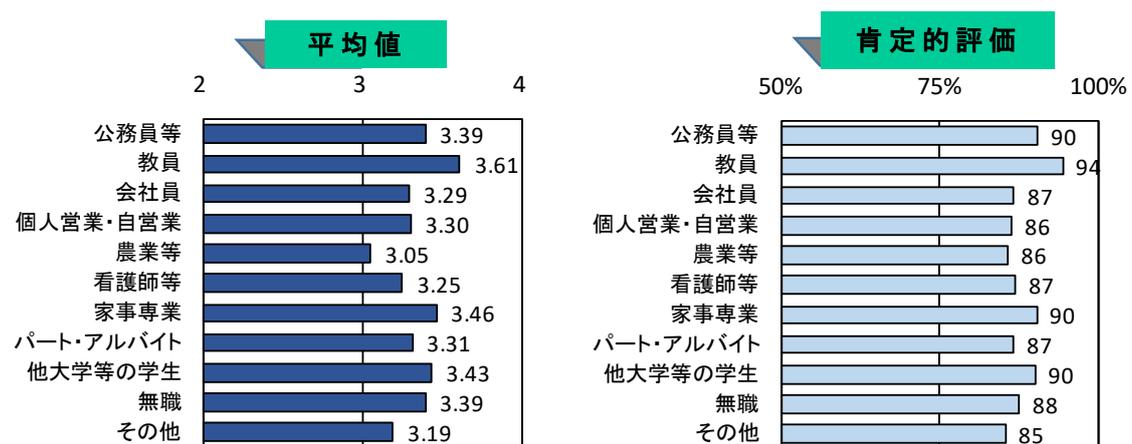
(A-1)全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)



(A-2)放送授業を十分に視聴した



(A-3)印刷教材を熱心に学習した



単位認定のための学習方法（次頁図 2 - 1 5）では、全体は「放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ」が 70%で最多。一方で「ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ」が 21%、「ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ」は 9%に過ぎず、「印刷教材の学習」で見ると、その利用は 9 割超となった。

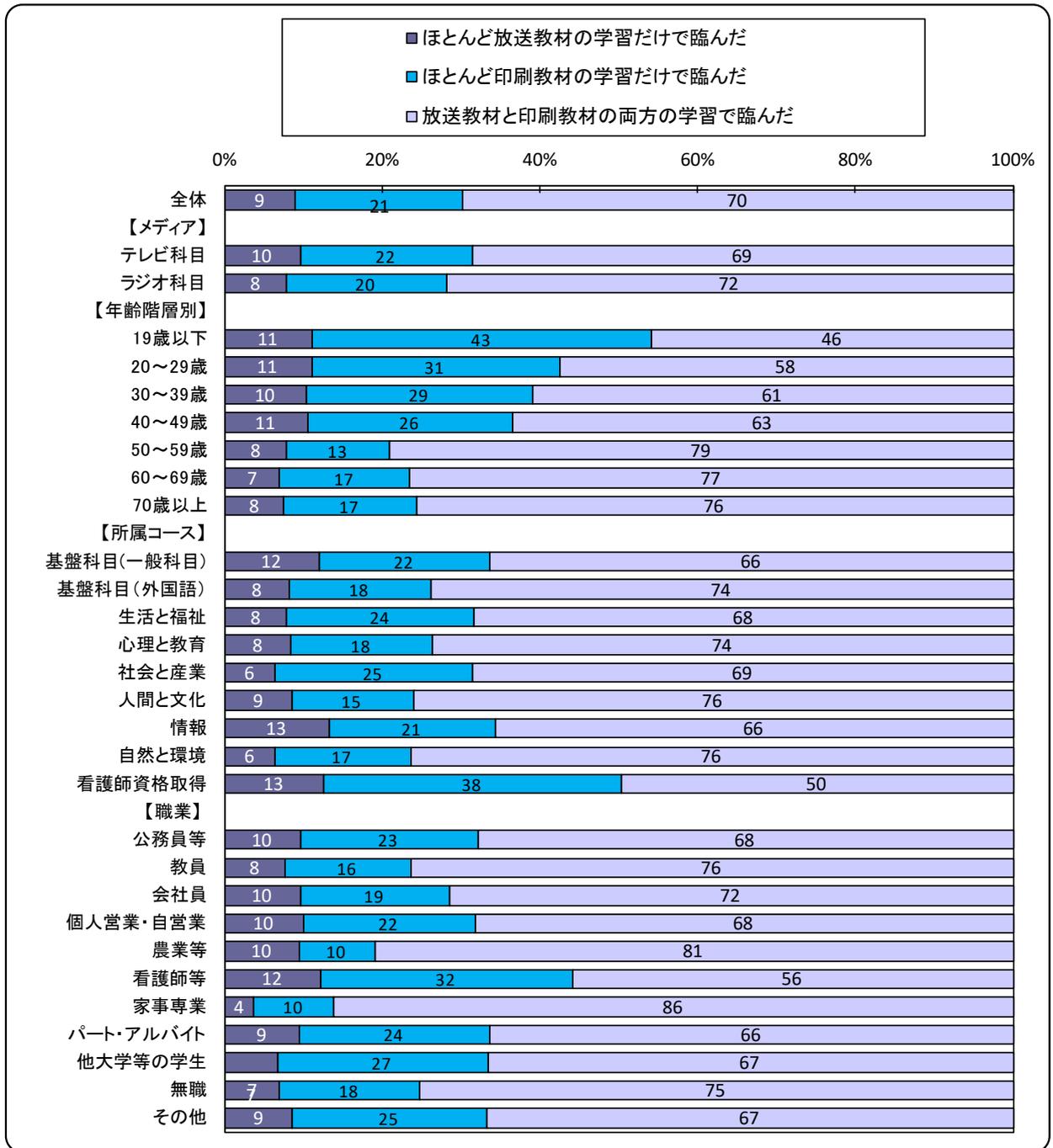
メディア別では「ラジオ科目」は「放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ」が「テレビ科目」より多く、「テレビ科目」は「ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ」が「ラジオ科目」より多かった。

年齢階層別では、若い世代ほど「ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ」の割合が高くなる傾向が見られた。

所属コース別では「看護師資格取得」は、「ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ」が他の所属コースと比べ高く、38%であった。

職業別では、「公務員等」「個人営業・自営業」「看護師等」「パート・アルバイト」「他大学等の学生」「その他」については、「ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ」がそれぞれ 20%以上と比較的高い割合となった。

図2-15 【学部】単位認定のための学習方法



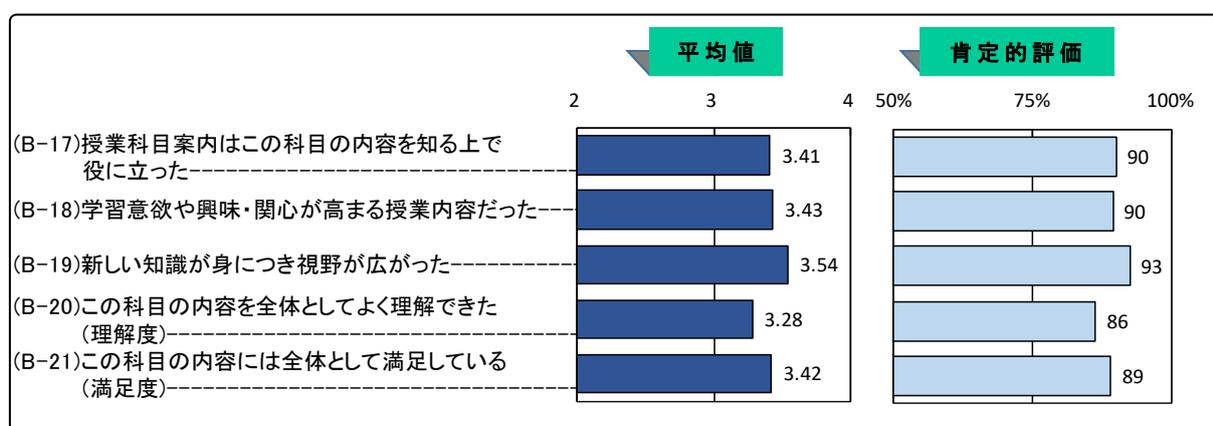
Ⅱ-1-3. 学部の授業評価

(1) 全体評価

次に学部の授業評価について、評価項目ごとに見ていく。

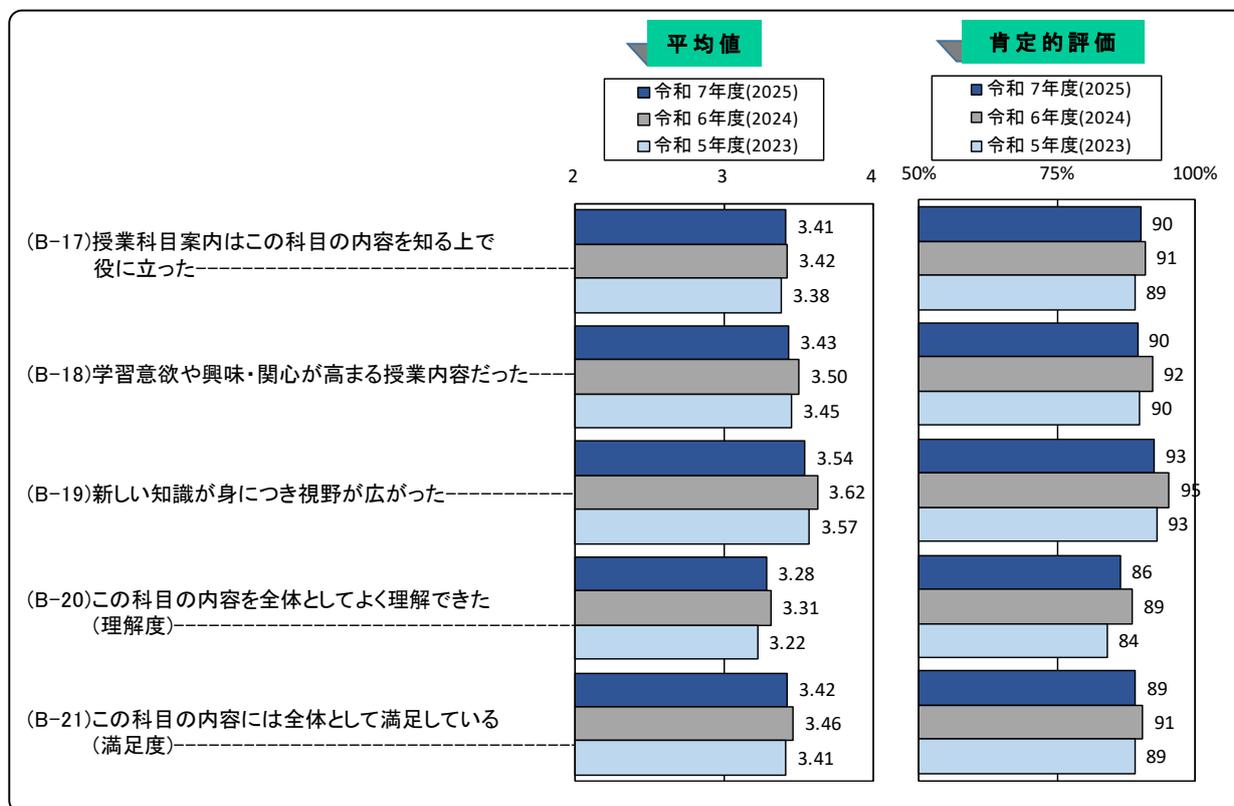
全体評価の各項目（図2-16）については、(B-19)「新しい知識が身につき視野が広がった」が93%と最も高かった。それ以外の項目については肯定的評価が86~90%であった。

図2-16 【学部】回答者全体の全体評価



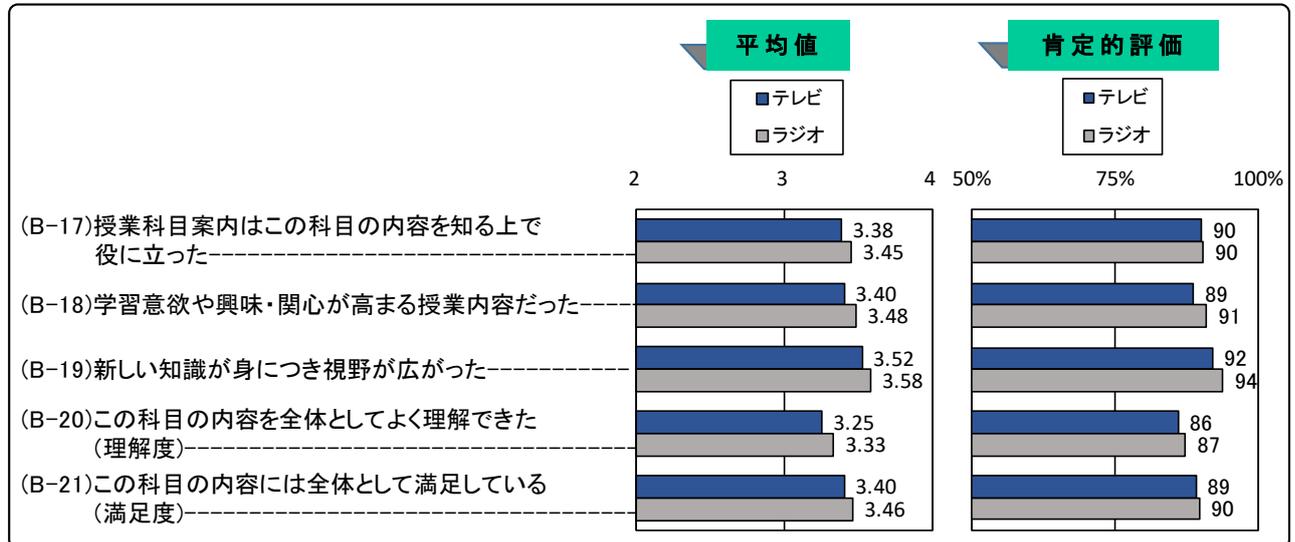
全体評価を時系列で見ると（図2-17）、本年度は全ての項目で、昨年度より横ばい
ないし評価を落としており、中でも(B-20)「この科目の内容を全体としてよく理解でき
た」は3ポイント減少した。

図2-17 【学部】回答者全体の全体評価（時系列）



メディア別に全体評価を見ると（図2-18）、下記全項目でラジオ科目の評価が横ばいないし高かった。

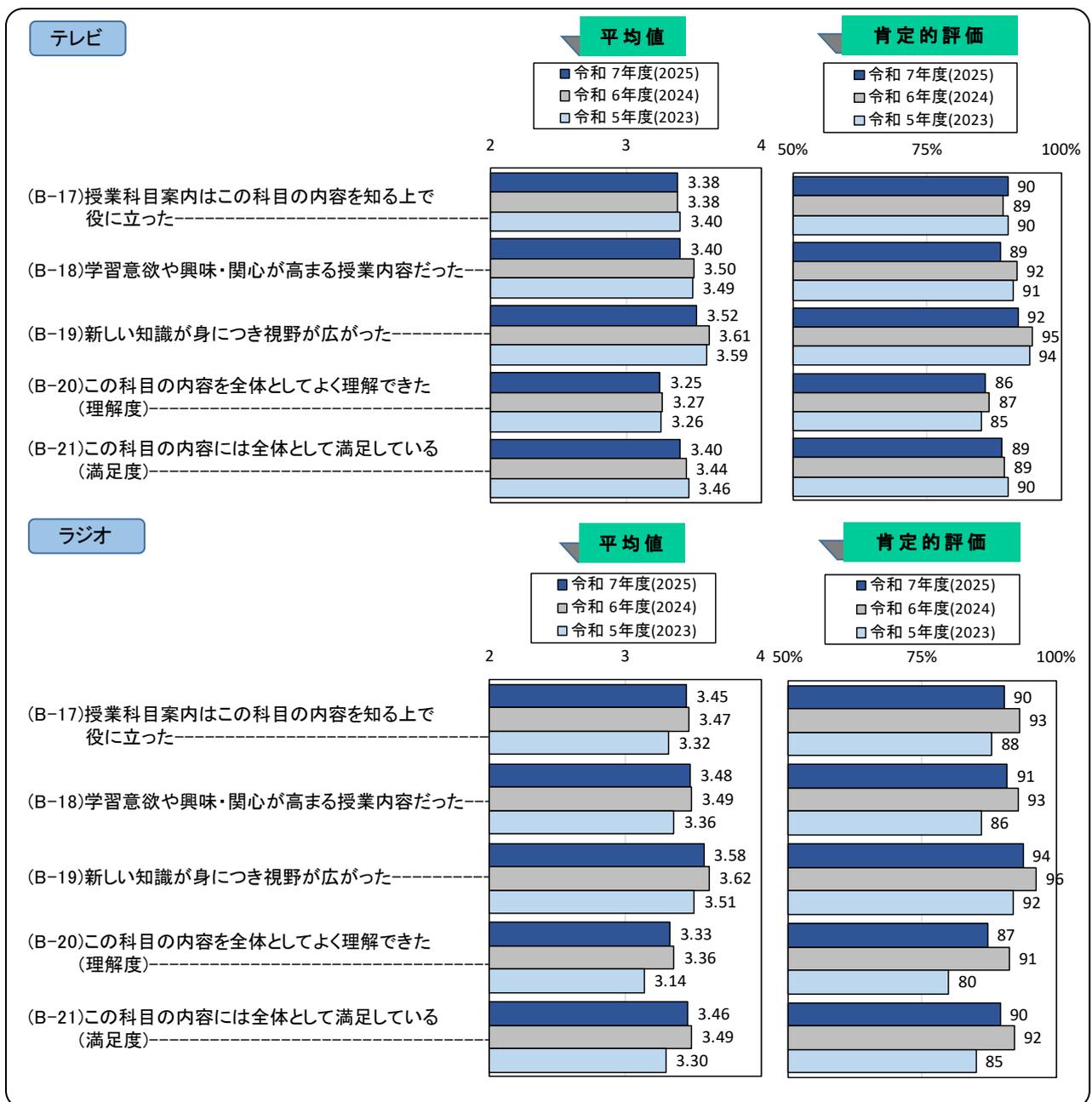
図2-18 【学部】メディア別の全体評価



メディア別の全体評価を時系列で見ると（図2-19）、ラジオ科目の評価は、下記全ての項目において、昨年度から評価が低くなっており、中でも(B-20)「この科目の内容を全体としてよく理解できた」は4ポイント減少した。

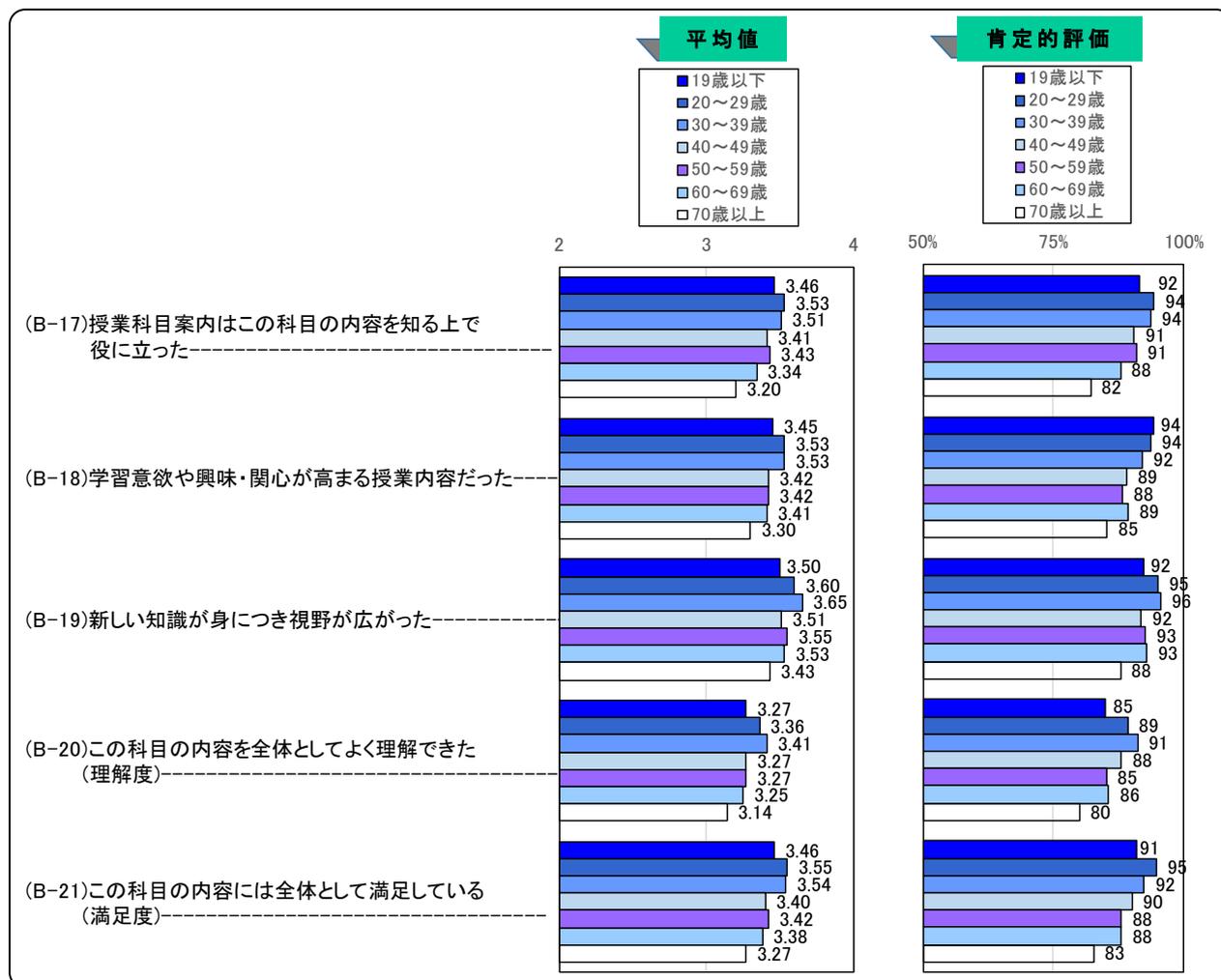
また、テレビ科目の評価については、(B-17)「授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った」が昨年度より1ポイント増加した以外は、(B-18)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」、(B-19)「新しい知識が身につく視野が広がった」が3ポイント減少するなど、総じて評価が低くなった。

図2-19 【学部】メディア別の全体評価



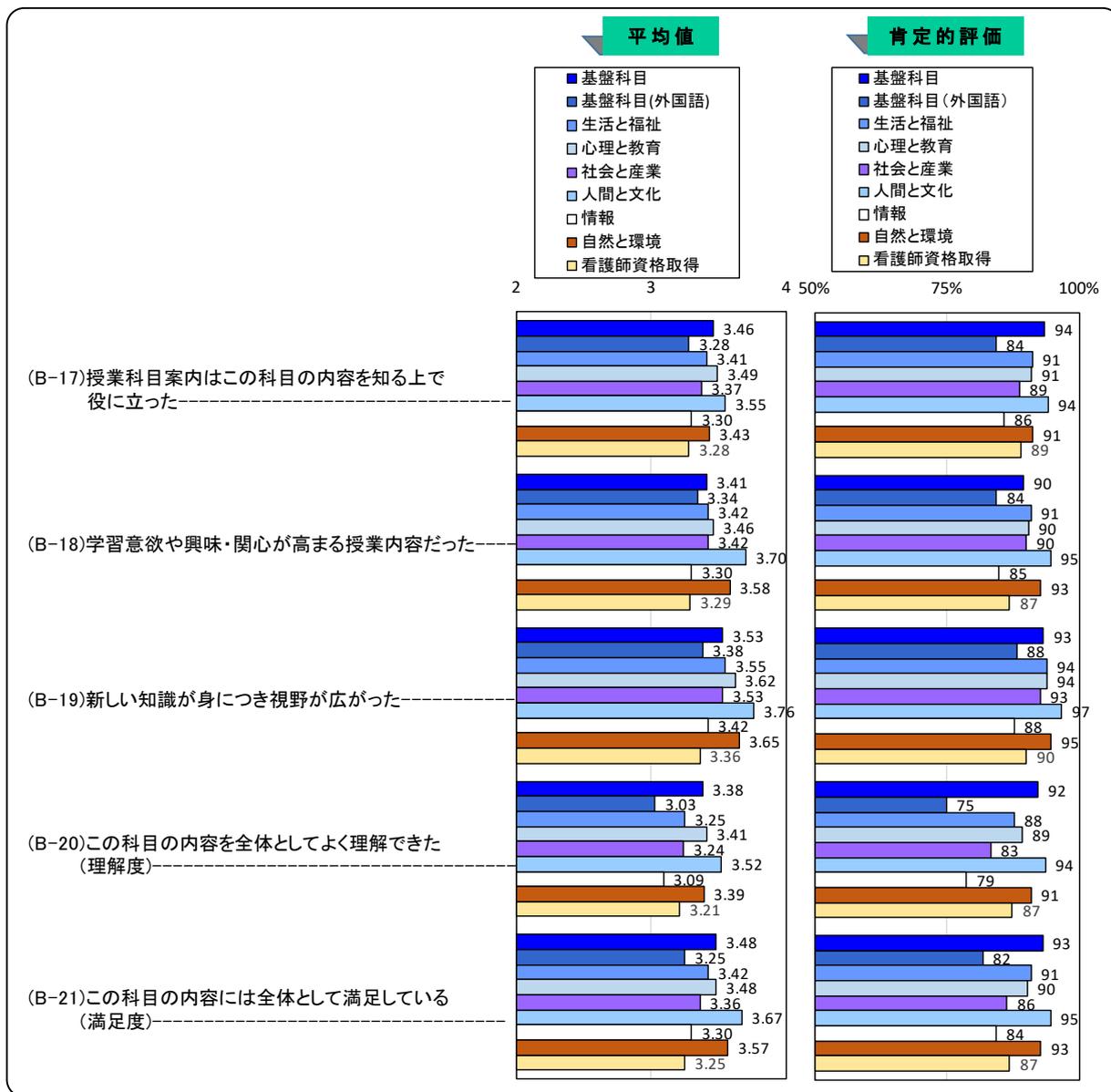
年齢階層別に全体評価（図2-20）を見ると、総じて若い世代（10歳代～30歳代）の評価が高かった。一方で他の年代と比べ評価が全般的に低かったのは、70歳以上であり、全項目で肯定的評価が80%台となっていた。

図2-20【学部】年齢階層別の全体評価



所属コース別の全体評価では（図2-21）、全項目で「人間と文化」の評価が高かった。一方で「基盤科目（外国語）」は全項目で最も低くなっており、特に(B-20)「この科目の内容を全体としてよく理解できた」においては75%と顕著に低い評価となった。

図2-21 【学部】所属コース別の全体評価

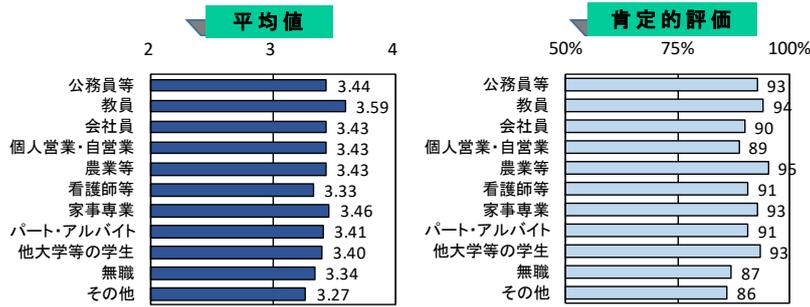


職業別の全体評価（次頁図2-22）では、(B-20)「この科目の内容を全体としてよく理解できた」以外の項目で「農業等」の評価が95～100%と最も高かった。また、(B-19)「新しい知識が身につく視野が広がった」については、全ての職業で90%を上回った。

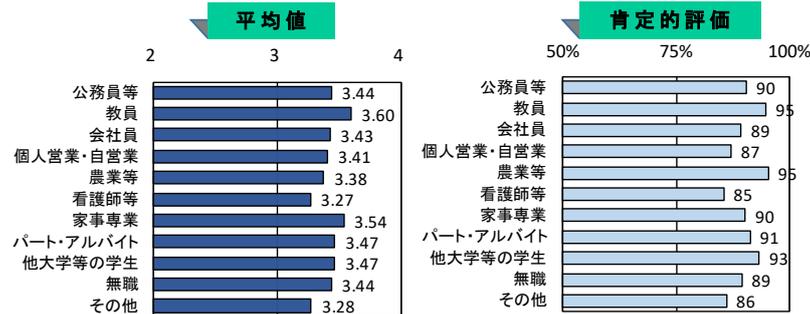
一方で、(B-18)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」では「看護師」(85%)、(B-20)「この科目の内容を全体としてよく理解できた」では「会社員」「無職」「その他」(84～85%)の評価が低かった。

図2-22【学部】職業別の全体評価

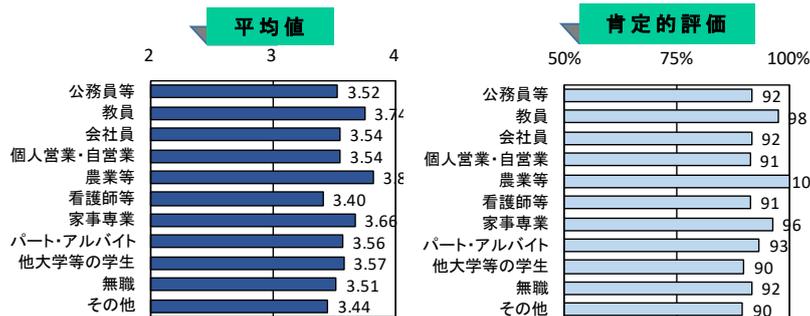
(B-17) 授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った



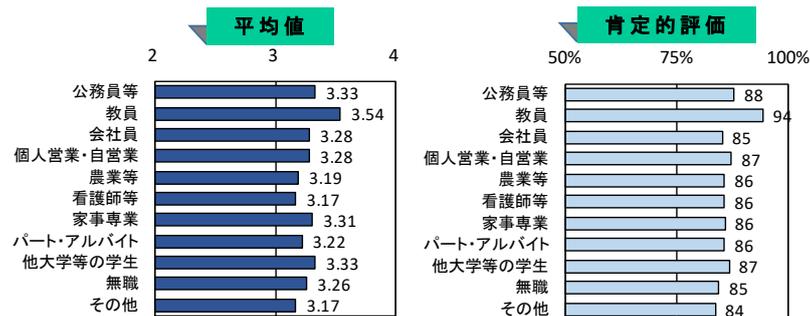
(B-18) 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった



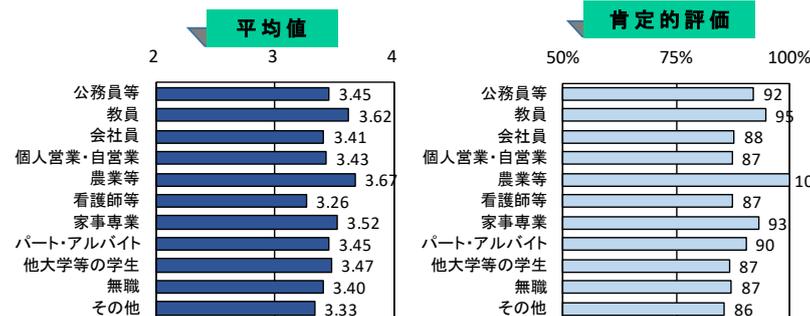
(B-19) 新しい知識が身につく視野が広がった



(B-20) この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)



(B-21) この科目の内容には全体として満足している(満足度)

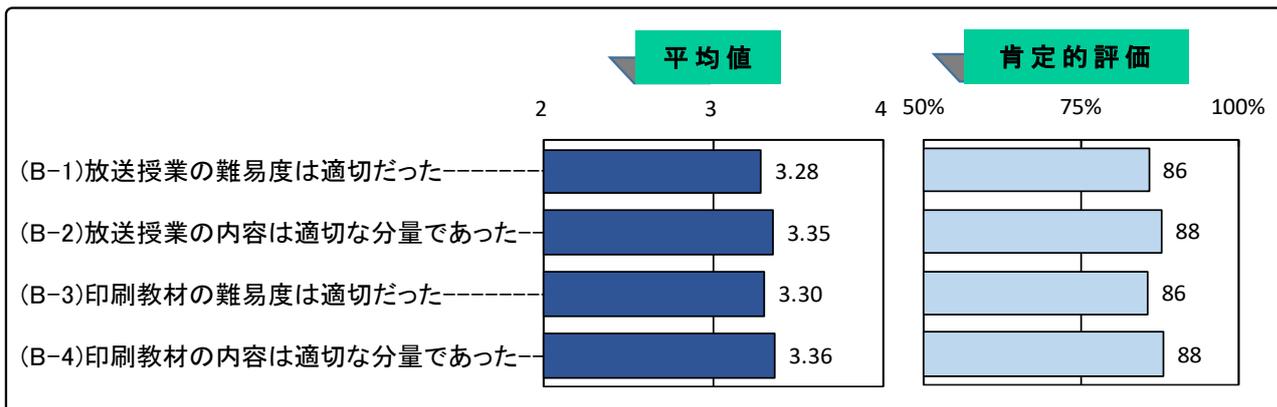


(2) 授業の難易度・分量

次に授業の難易度・分量（図2-23）について、評価項目ごとに見ていくことにする。

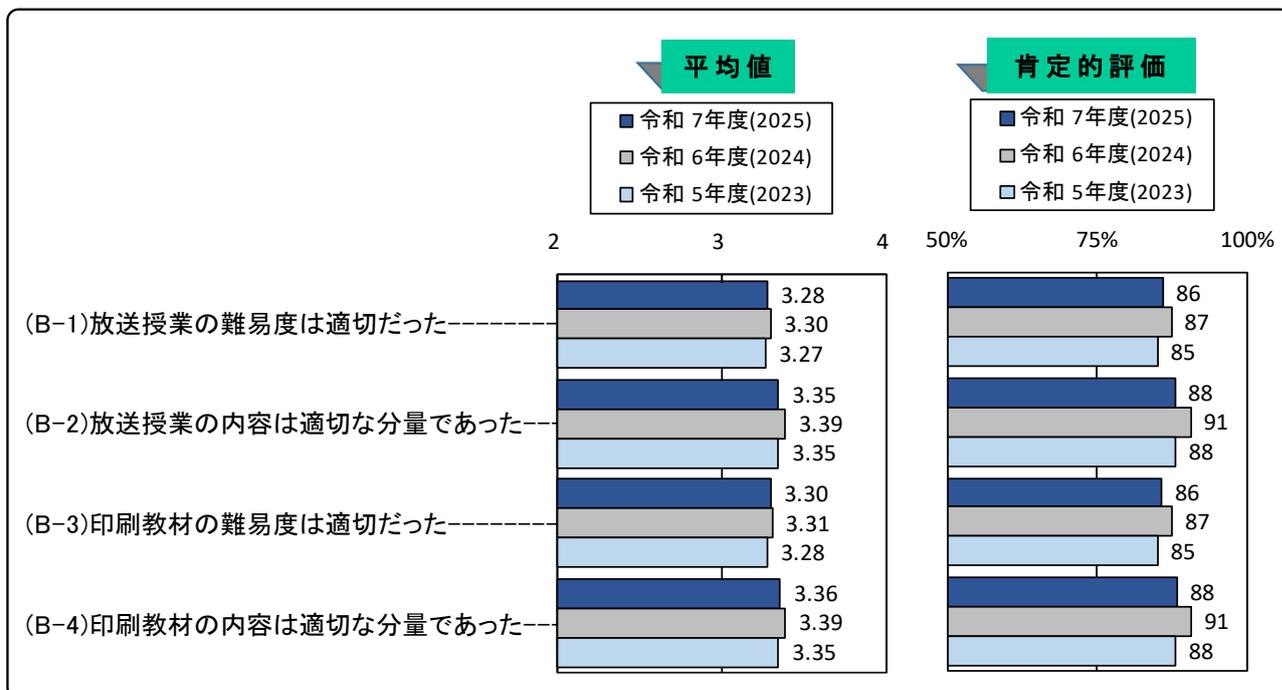
肯定的評価は、(B-2)「放送授業の内容は適切な分量であった」と(B-4)「印刷教材の内容は適切な分量であった」の難易度については、両項目とも88%、(B-1)「放送授業の内容は適切な分量であった」の難易度については、両項目とも88%、(B-1)「放送授業の難易度は適切だった」、(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」が86%とそれぞれの「分量」についての評価の方が高かった。

図2-23【学部】回答者全体の授業難易度・分量の評価



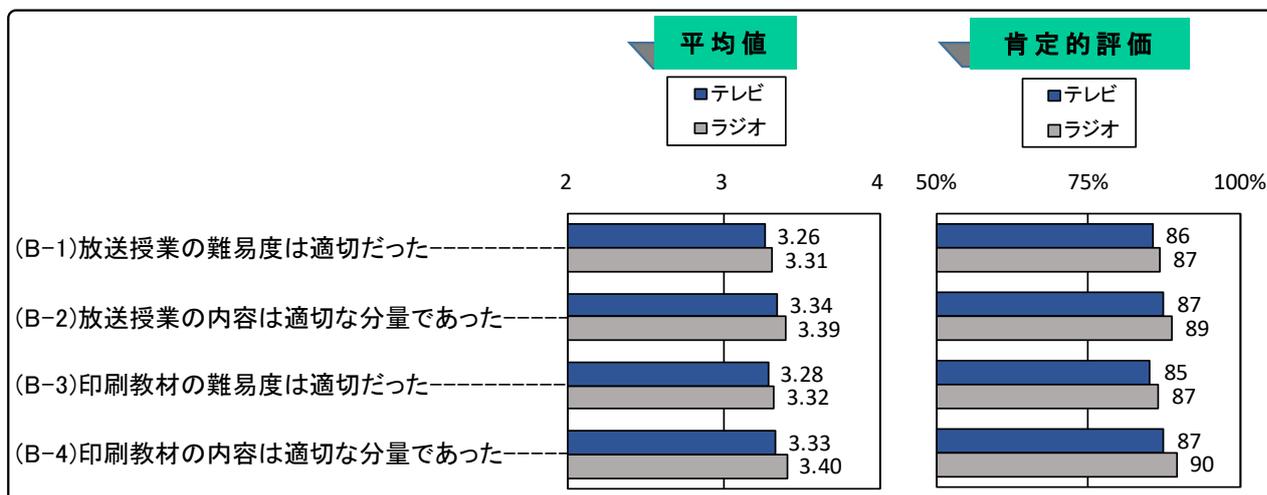
開設年度で比較すると（図2-24）、本年度は、下記4項目全てで、昨年度から肯定的評価が下がった

図2-24【学部】回答者全体の授業難易度・分量の評価（開設年度比較）



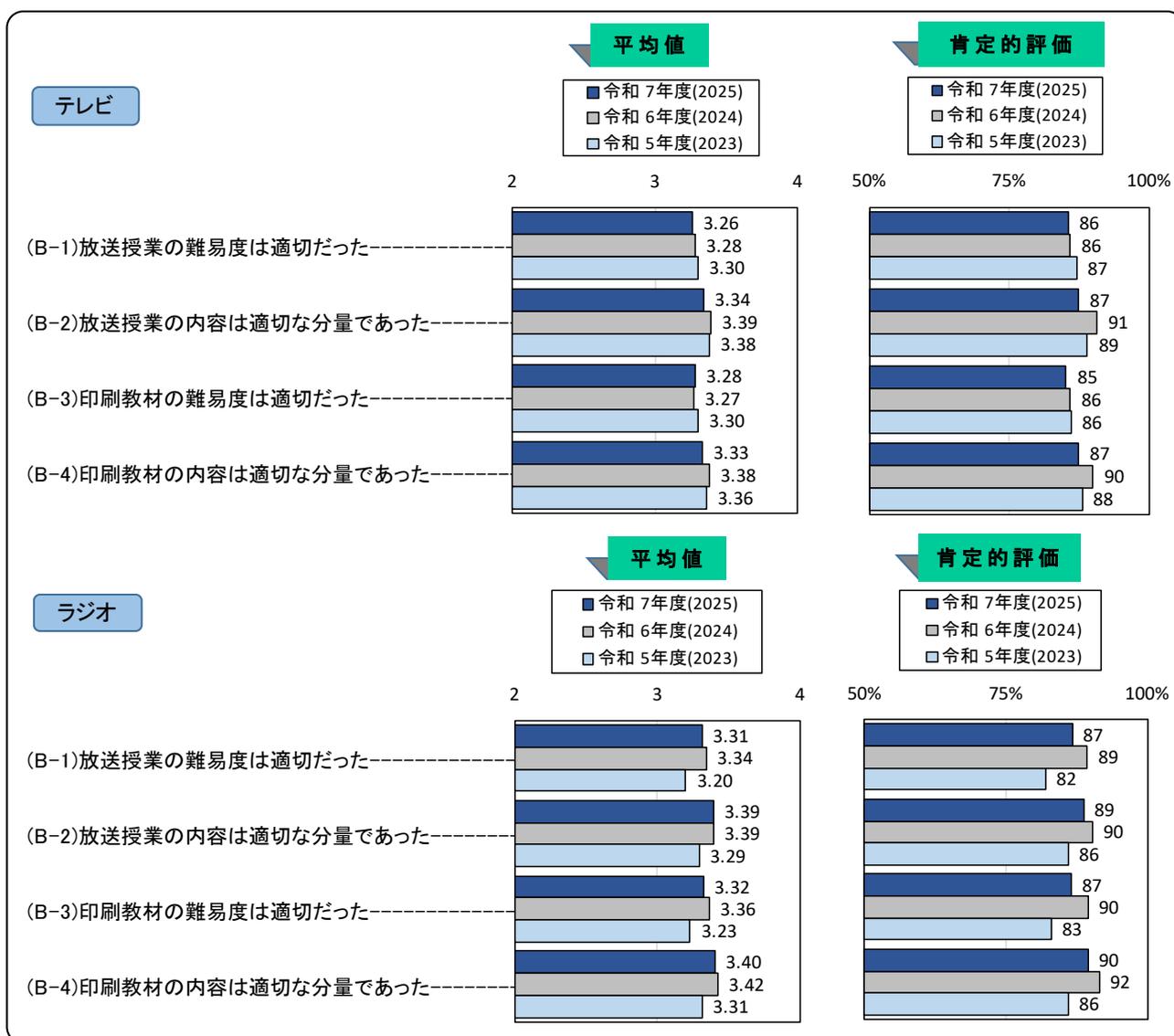
メディア別に授業の難易度・分量を見ると（図2-25）、テレビ科目よりラジオ科目の評価が高く、特に(B-4)「印刷教材の内容は適切な分量であった」では、3ポイント上回った。

図2-25 【学部】メディア別の授業難易度・分量の評価



メディア別の授業の難易度・分量を開設年度で比較すると（図2-26）、テレビ科目・ラジオ科目ともに肯定的評価は昨年よりも減少。特にテレビ科目では(B-2)「放送授業の内容は適切な分量であった」が4ポイント、ラジオ科目では(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」が3ポイントと減少幅が大きかった。

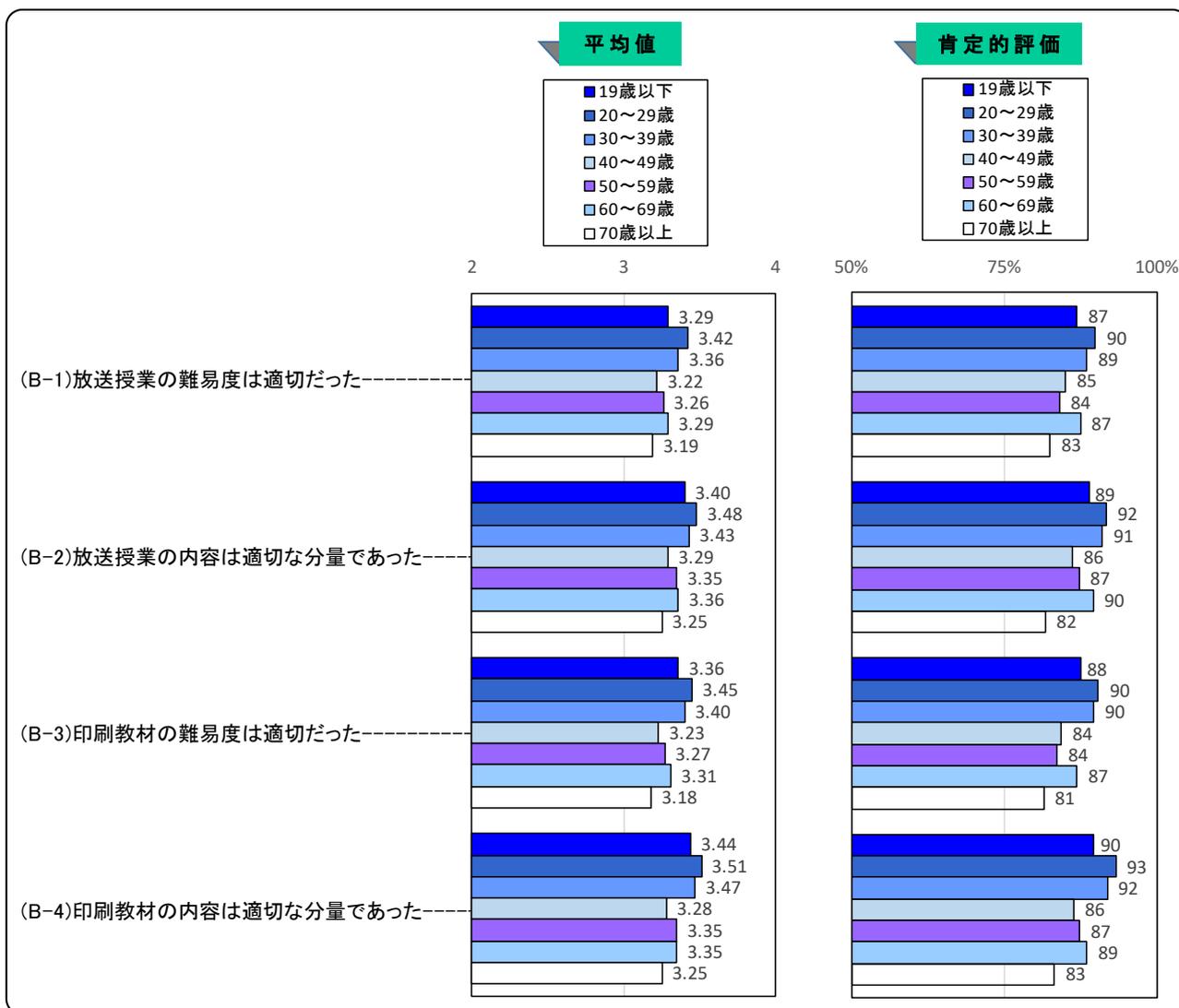
図2-26 【学部】メディア別の授業難易度・分量の評価（開設年度比較）



年齢階層別に授業の難易度・分量を見ると（図2-27）全項目において20歳代の評価が最も高かった。

一方、全項目で70歳以上の評価が低く、(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」の81%を始め、全項目で80%台前半となっていた。

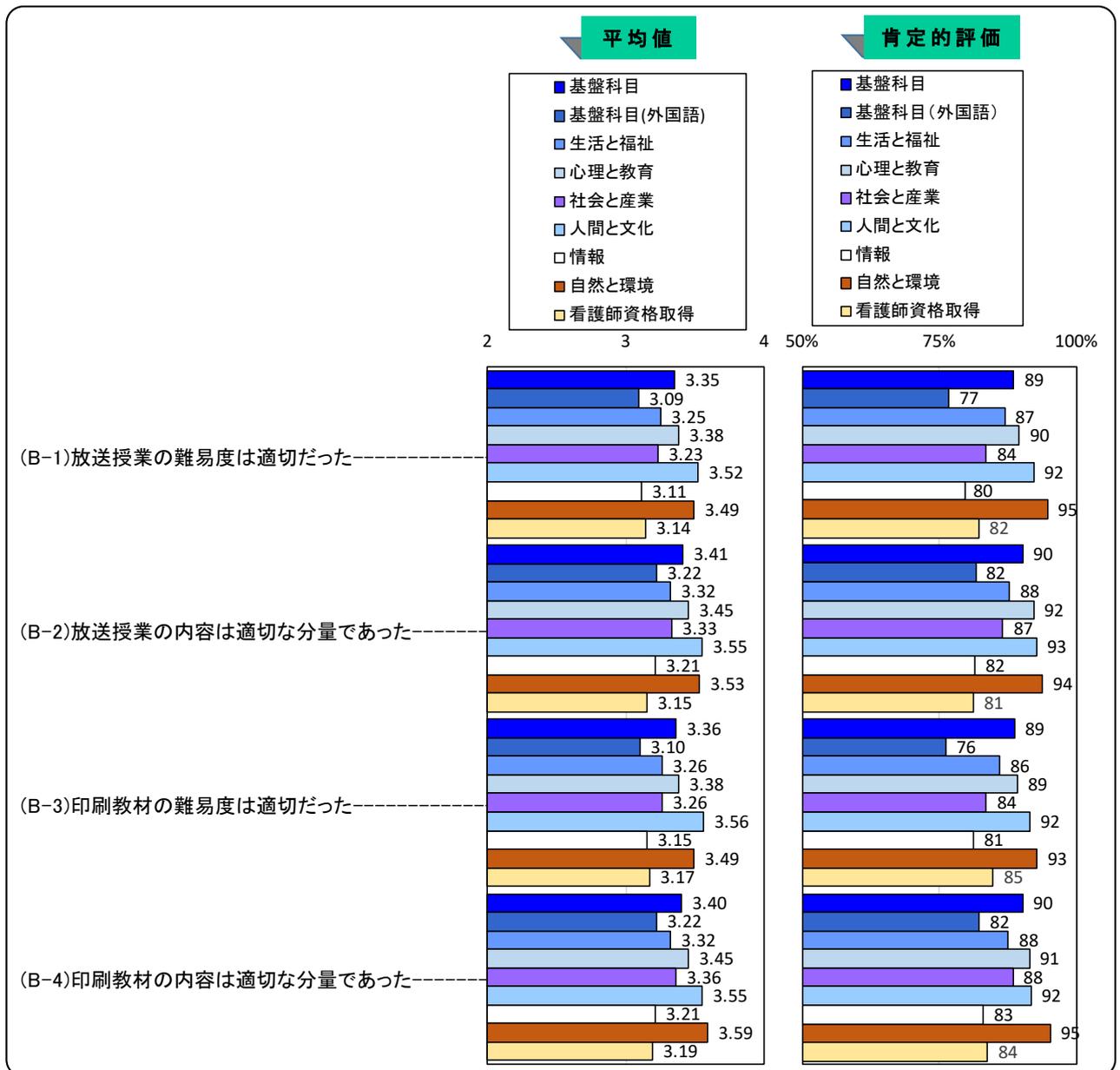
図2-27【学部】年齢階層別の授業難易度・分量の評価



所属コース別に授業の難易度・分量を見ると（図2-28）、全項目で「自然と環境」が93～95%と最も高い評価となった。

一方、「基盤科目（外国語）」の評価が総じて低く、(B-1)「放送授業の難易度は適切だった」、(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」が70%台と「難易度」に関わる項目の評価が特に低かった。

図2-28 【学部】所属コース別の授業難易度・分量の評価



職業別に見ると（次頁図2-29）、全項目で「教員」が93～94%と最も高い評価となった。

また、(B-1)「放送授業の難易度は適切だった」については、「他大学等の学生」が90%と比較的高く、「農業等」「看護師等」「その他」が81%と最も低かった。

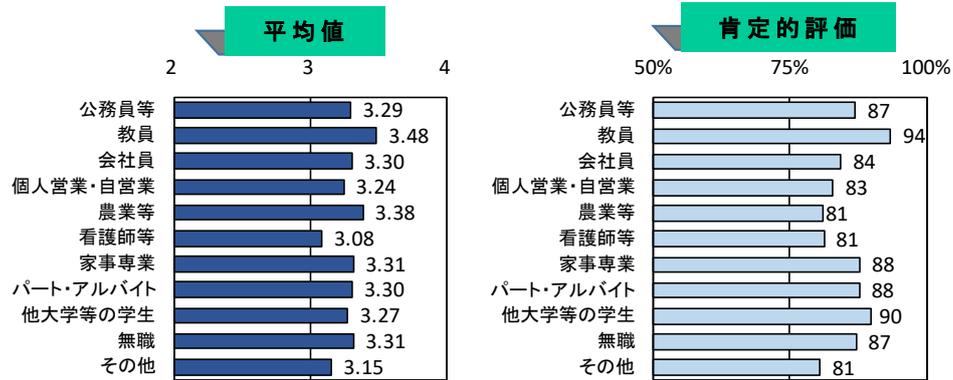
(B-2)「放送授業の内容は適切な分量であった」では、「農業等」が91%と比較的高く、「看護師等」が83%と最も低かった。

(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」については、「公務員等」が89%と比較的高く、「農業等」が76%と最も低かった。

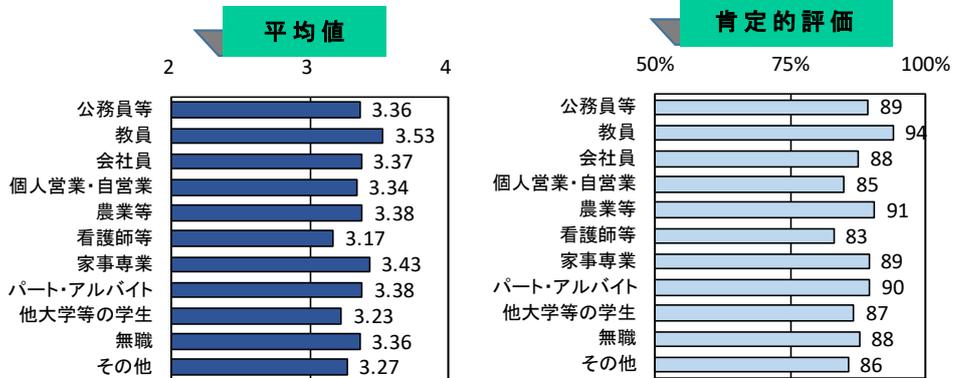
(B-4)「印刷教材の内容は適切な分量であった」については、「公務員等」「パート・アルバイト」「他大学等の学生」が90～92%と高く、「農業等」が81%と最も低かった。

図2-29【学部】職業別の授業難易度の評価

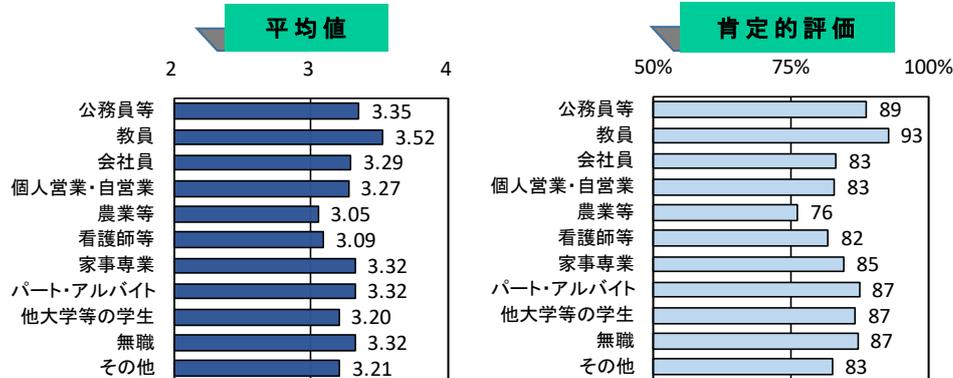
(B-1)放送授業の難易度は適切だった



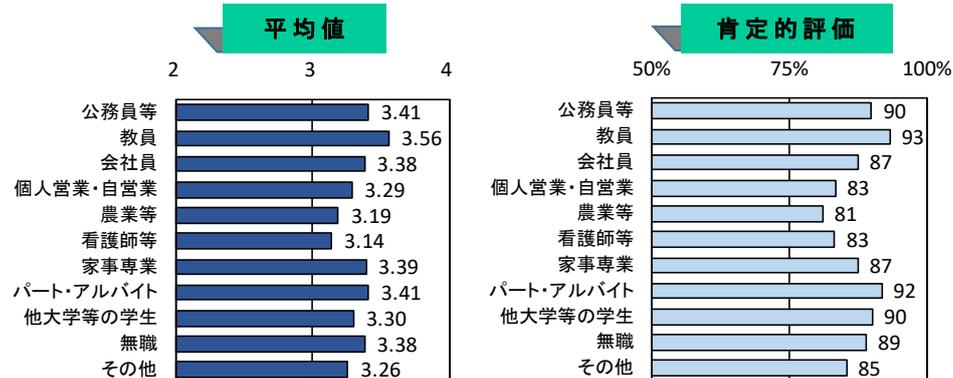
(B-2) 放送授業の内容は適切な分量であった



(B-3)印刷教材の難易度は適切だった



(B-4) 印刷教材の内容は適切な分量であった

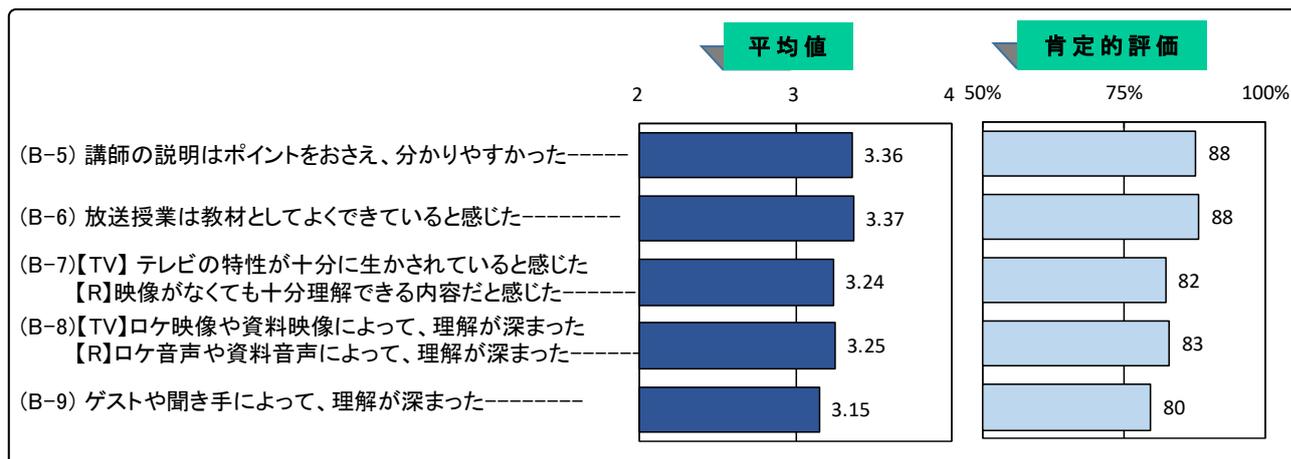


(3) 放送授業

ここからは放送授業について、評価項目ごとに見ていくことにする。

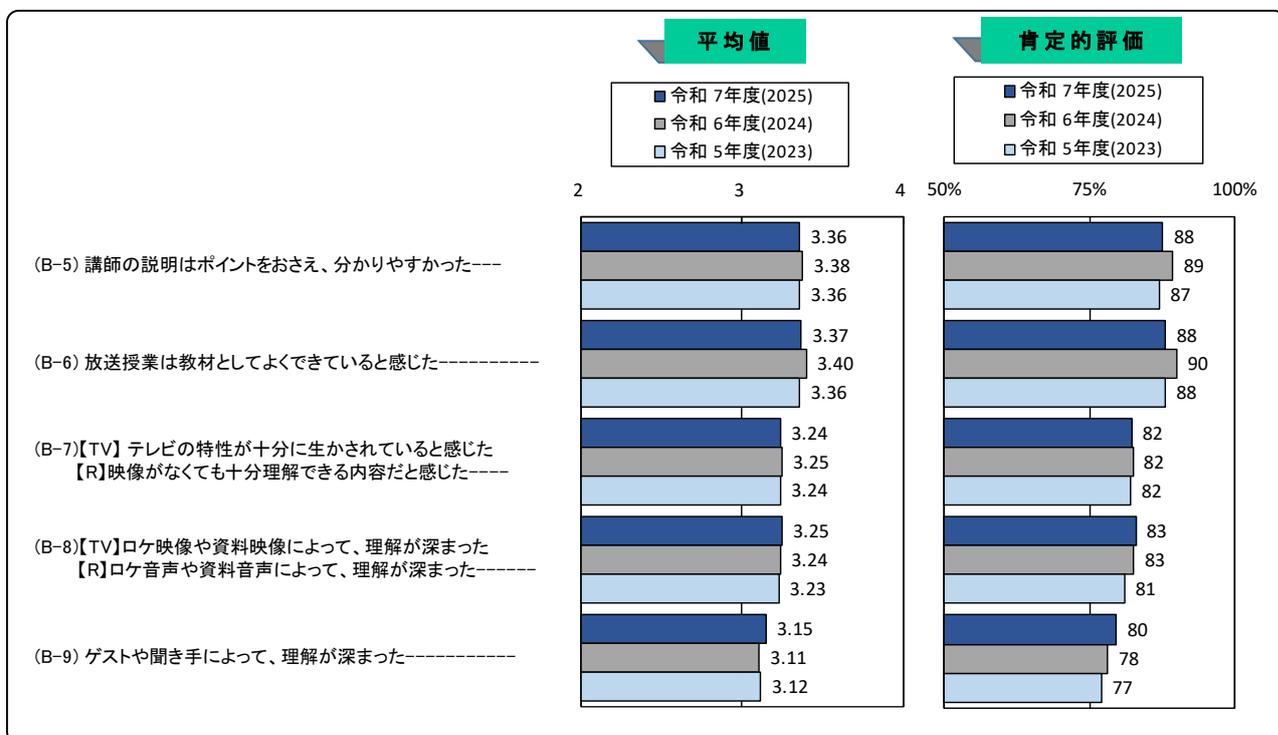
放送授業に関する評価項目（図2-30）では、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」と(B-6)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」が88%と高く、(B-9)「ゲストや聞き手によって、理解が深まった」は80%と、他の項目に比べると評価が低かった。

図2-30 【学部】回答者全体の放送授業の評価



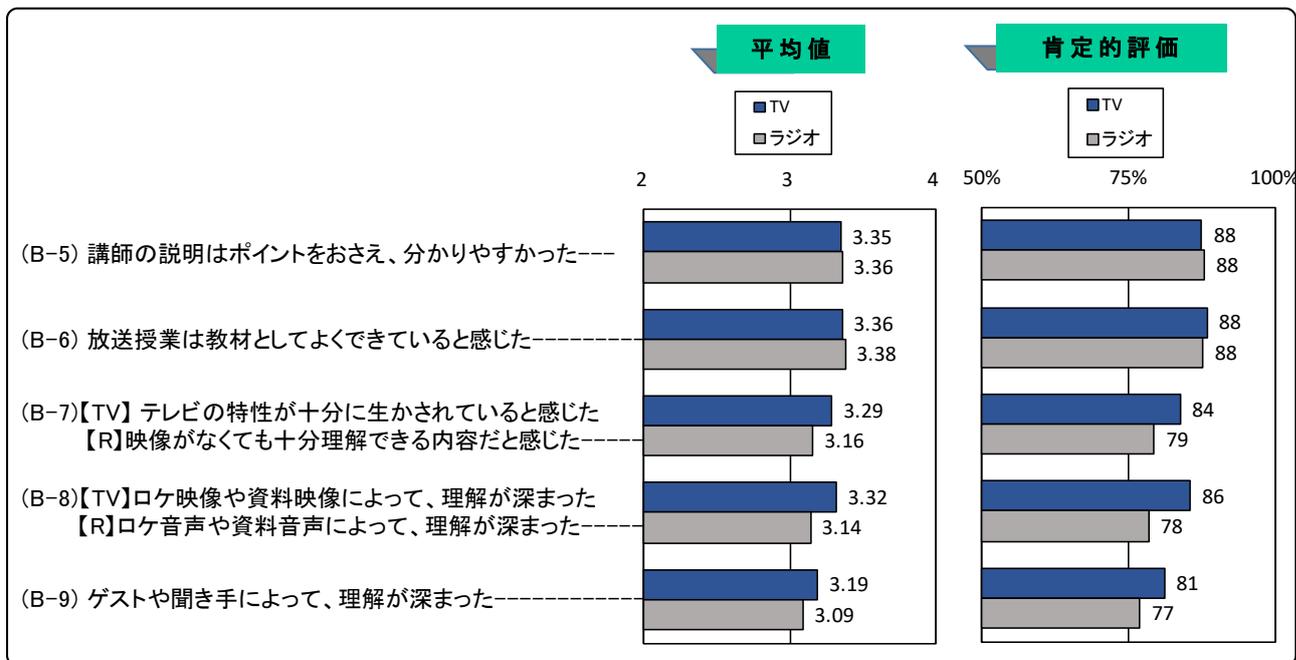
放送授業の評価を時系列で見ると（図2-31）本年度は、昨年度と比べると、(B-9)「ゲストや聞き手によって、理解が深まった」は2ポイント評価が高くなったものの、他項目は横ばいないし評価が下がった。

図2-31 【学部】回答者全体の放送授業の評価（時系列）



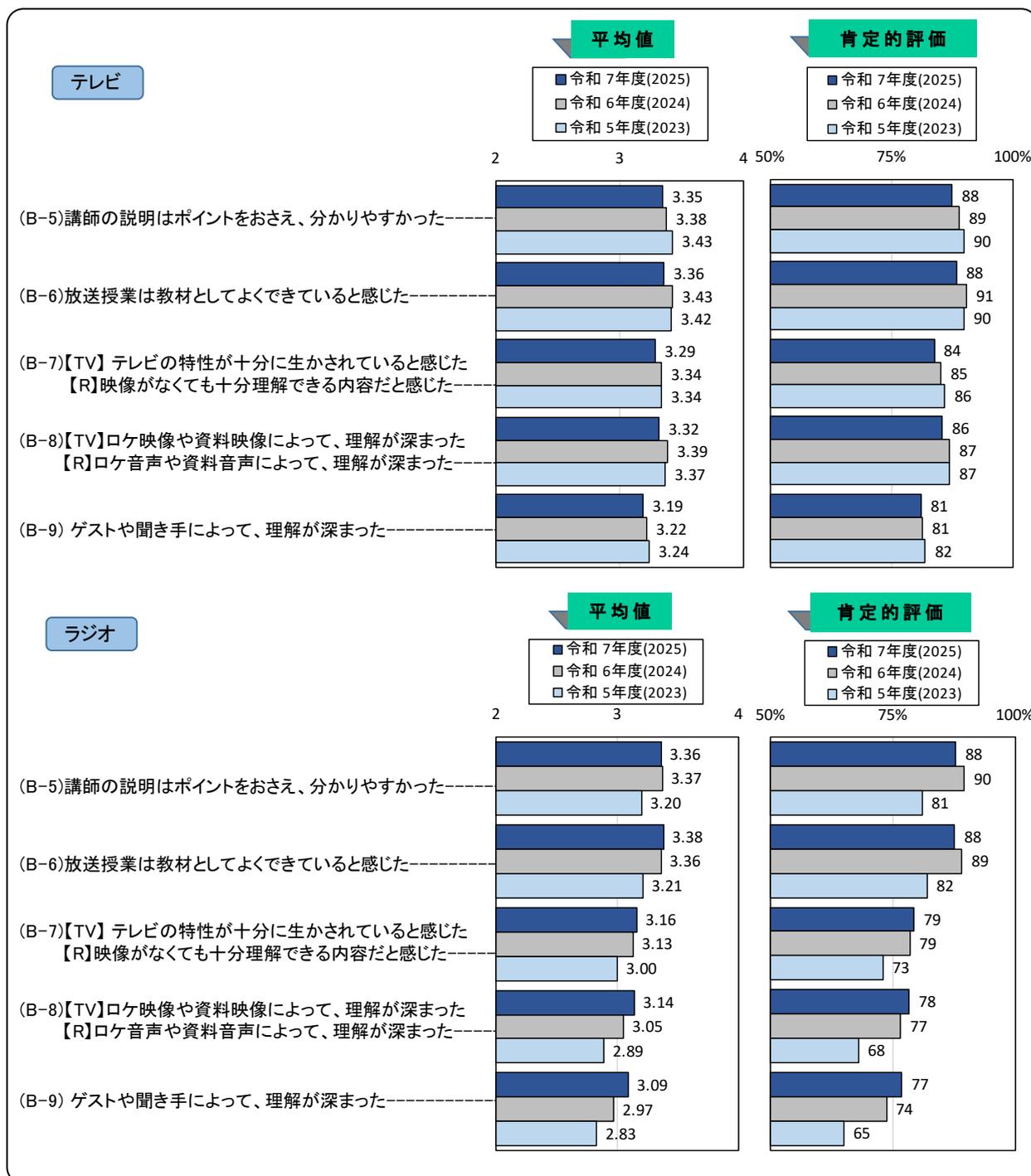
メディア別に放送授業の肯定的評価を見ると（図2-32）、総じてテレビ科目の評価が高く、特に、(B-7)「【TV】テレビの特性が十分に活かされていると感じた／【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」では5ポイント、(B-8)「【TV】ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった／【R】ロケ音声や資料音声によって、理解が深まった」では8ポイント、テレビ科目の評価が上回った。

図2-32 【学部】メディア別の放送授業の評価



また、メディア別の放送授業の評価を時系列で見ると（図2-33）、テレビ科目については全項目で昨年度と比較して横ばいないし減少。一方でラジオ科目では、（B-5）「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」、（B-6）「放送授業は教材としてよくできていると感じた」が1～2ポイント減少する一方で、（B-7）「【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた／【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」（B-8）「【TV】ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった／【R】ロケ音声や資料音声によって、理解が深まった」については、1～3ポイント増加した。

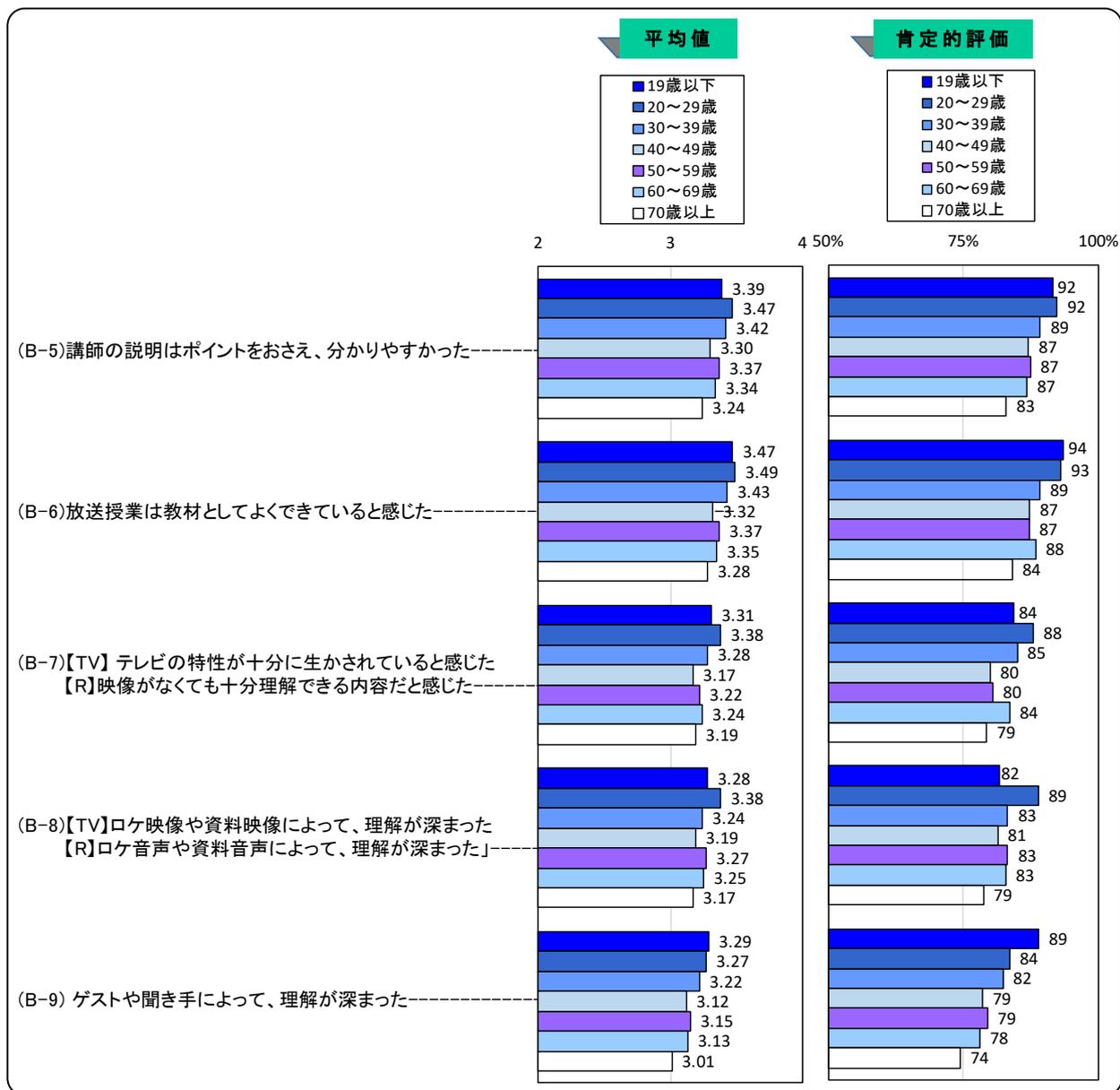
図2-33【学部】メディア別の放送授業の評価（時系列）



年齢階層別の放送授業の評価（図2-34）では、総じて19歳以下・20歳代の評価が高く、(B-6)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」では93～94%に達していた。

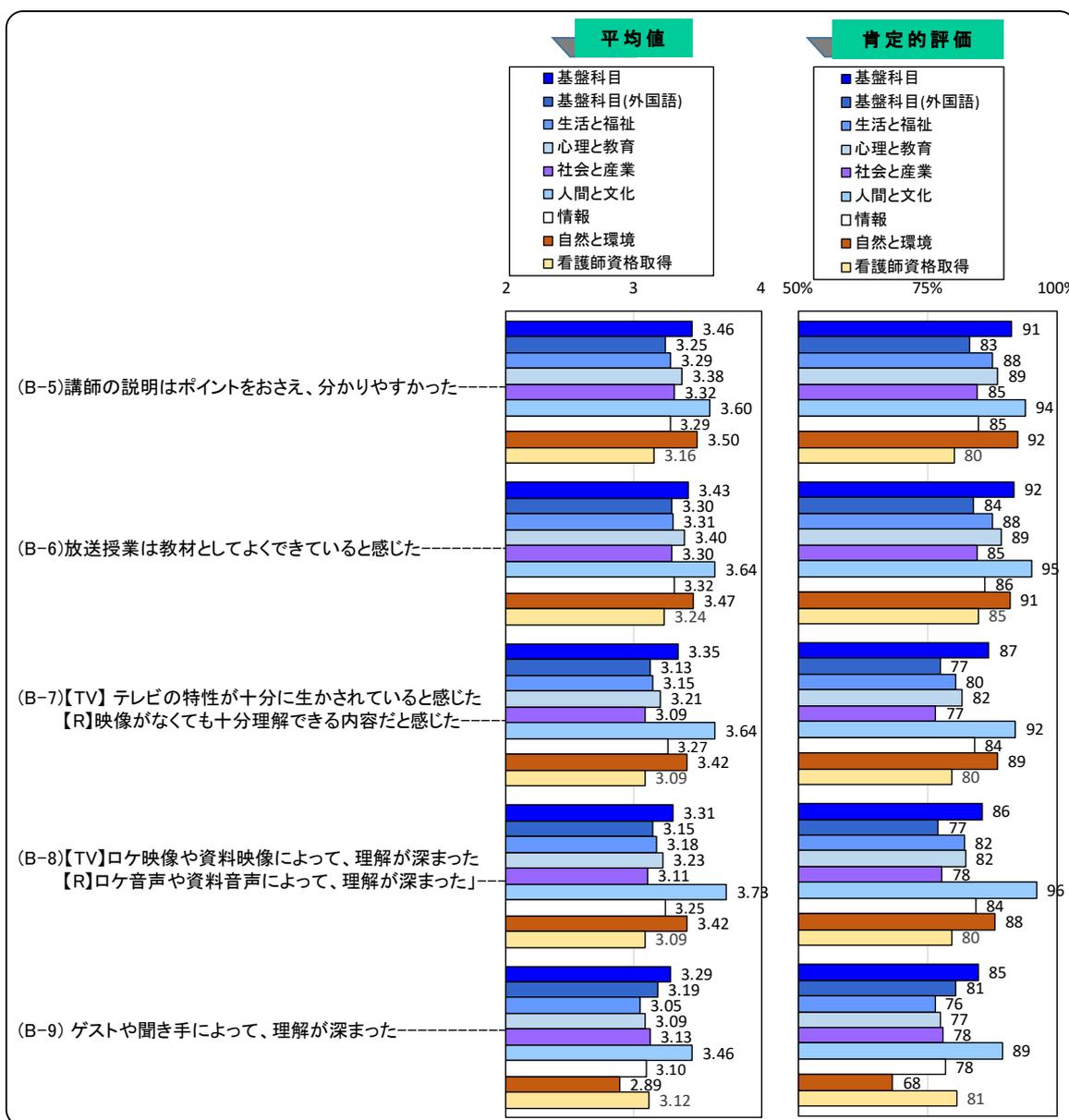
一方で全ての項目で評価が低かったのは70歳代で、(B-9)「ゲストや聞き手によって、理解が深まった」では74%と特に評価が低かった。

図2-34 【学部】年齢階層別の放送授業の評価



所属コース別に放送授業の評価を見ると（図2-35）、「人間と文化」は全ての項目で最も評価が高かった。一方で、「基盤科目(外国語)」「看護師資格取得」「社会と産業」は総じて評価が低く、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」、(B-6)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」は80～85%、(B-7)「【TV】テレビの特性が十分に活かされていると感じた／【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」、(B-8)「【TV】ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった【R】ロケ音声や資料音声によって、理解が深まった」では77～80%であった。また(B-9)「ゲストや聞き手によって、理解が深まった」では「自然と環境」が68%と全項目中、最も評価が低かった。

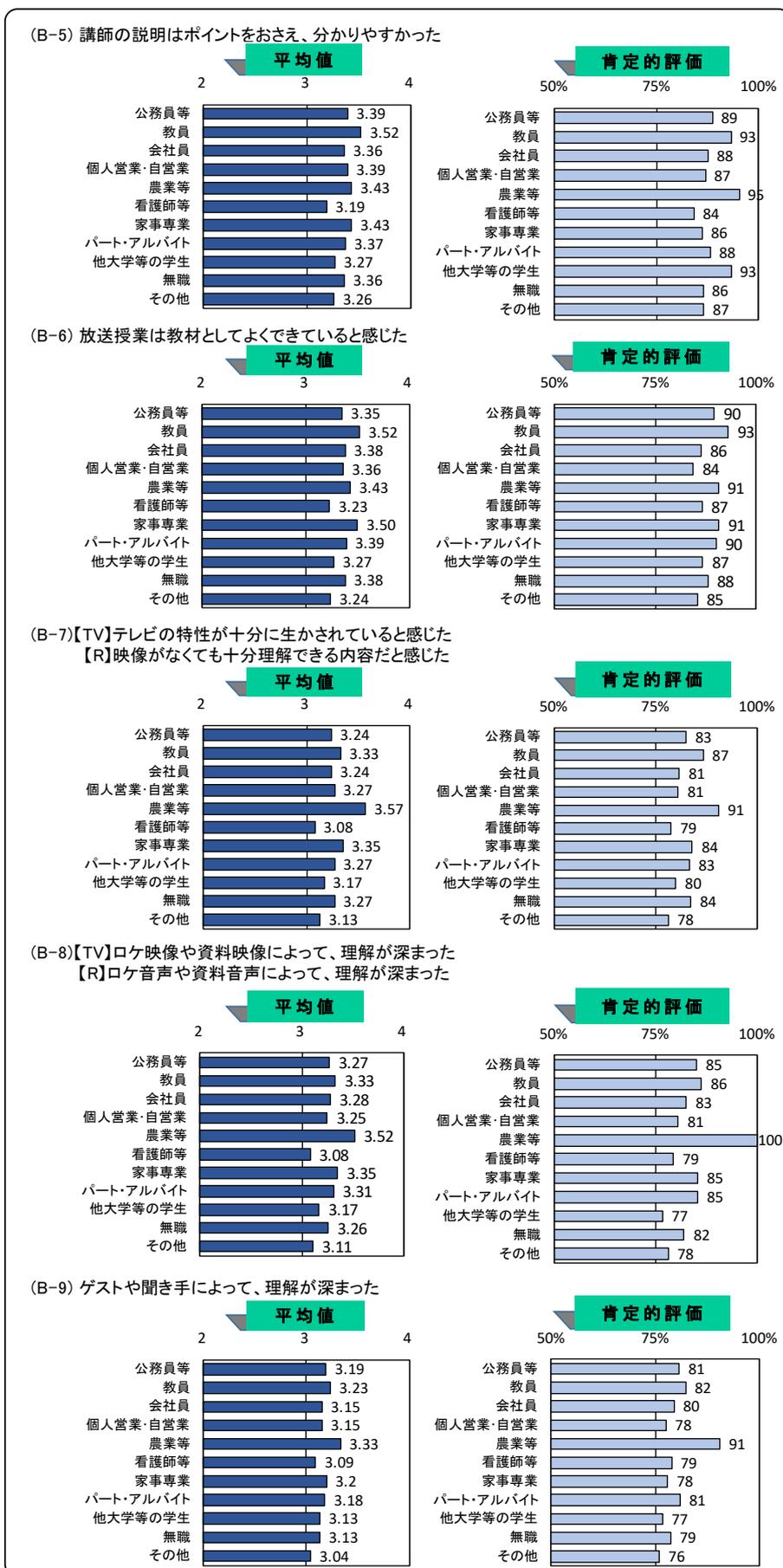
図2-35 【学部】所属コース別の放送授業の評価



職業別の放送授業の評価（次頁図2-36）では、(B-6)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」を除く全ての項目で「農業等」が最も高い評価であった。(B-6)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」については「教員」が93%と最も高い評価であった。

一方、総じて「その他」「個人営業・自営業」「他大学等の学生」の評価が低く、特に(B-9)「ゲストや聞き手によって、理解が深まった」では「その他」が76%と全項目で最も評価が低かった。

図2-36 【学部】職業別の放送授業の評価

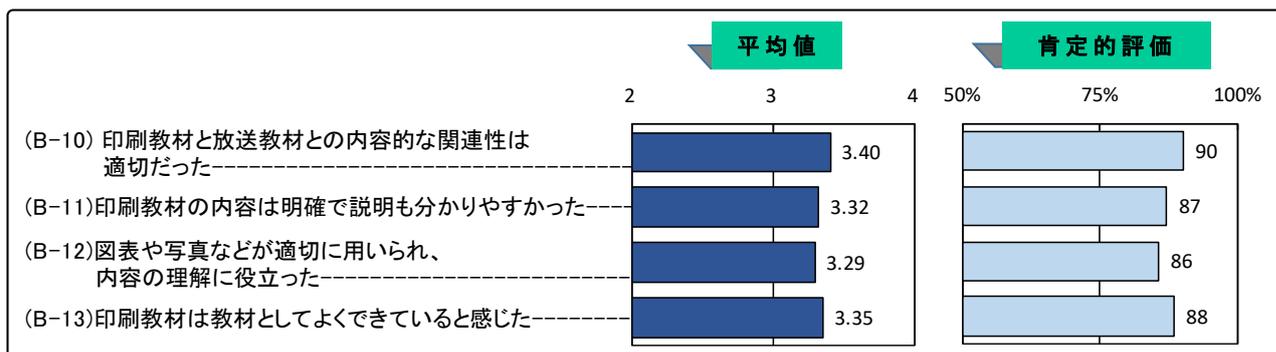


(4) 印刷教材

ここからは印刷教材について、評価項目ごとに見ていくことにする。

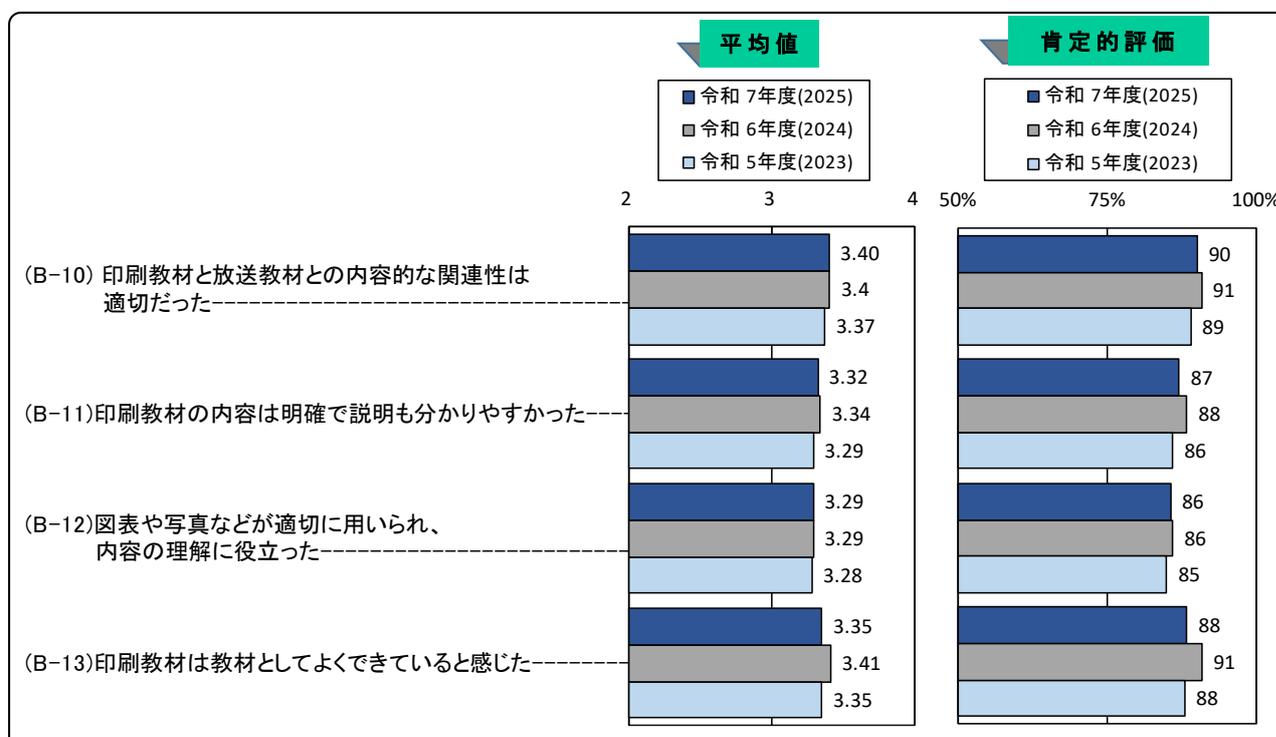
印刷教材の評価項目では（図2-37）、(B-10)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」が90%と最も高く、(B-12)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」が86%と最も低かった。

図2-37【学部】回答者全体の印刷教材の評価



印刷教材の評価を時系列で見ると（図2-38）、本年度は全ての項目において、昨年度と比較して横ばいないし評価が下がった。

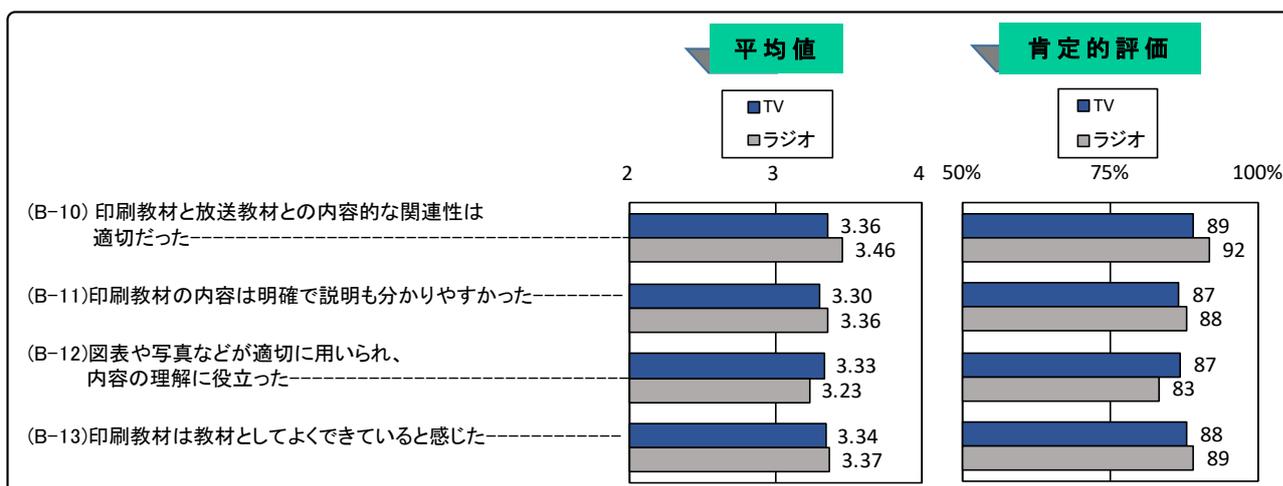
図2-38【学部】回答者全体の印刷教材の評価（時系列）



メディア別に印刷教材の評価を見ると（図2-39）、(B-12)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」以外の項目において、ラジオ科目の評価の方が高かった

一方で、(B-12)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」では、テレビ科目の評価の方がラジオ科目よりも4ポイント高かった。

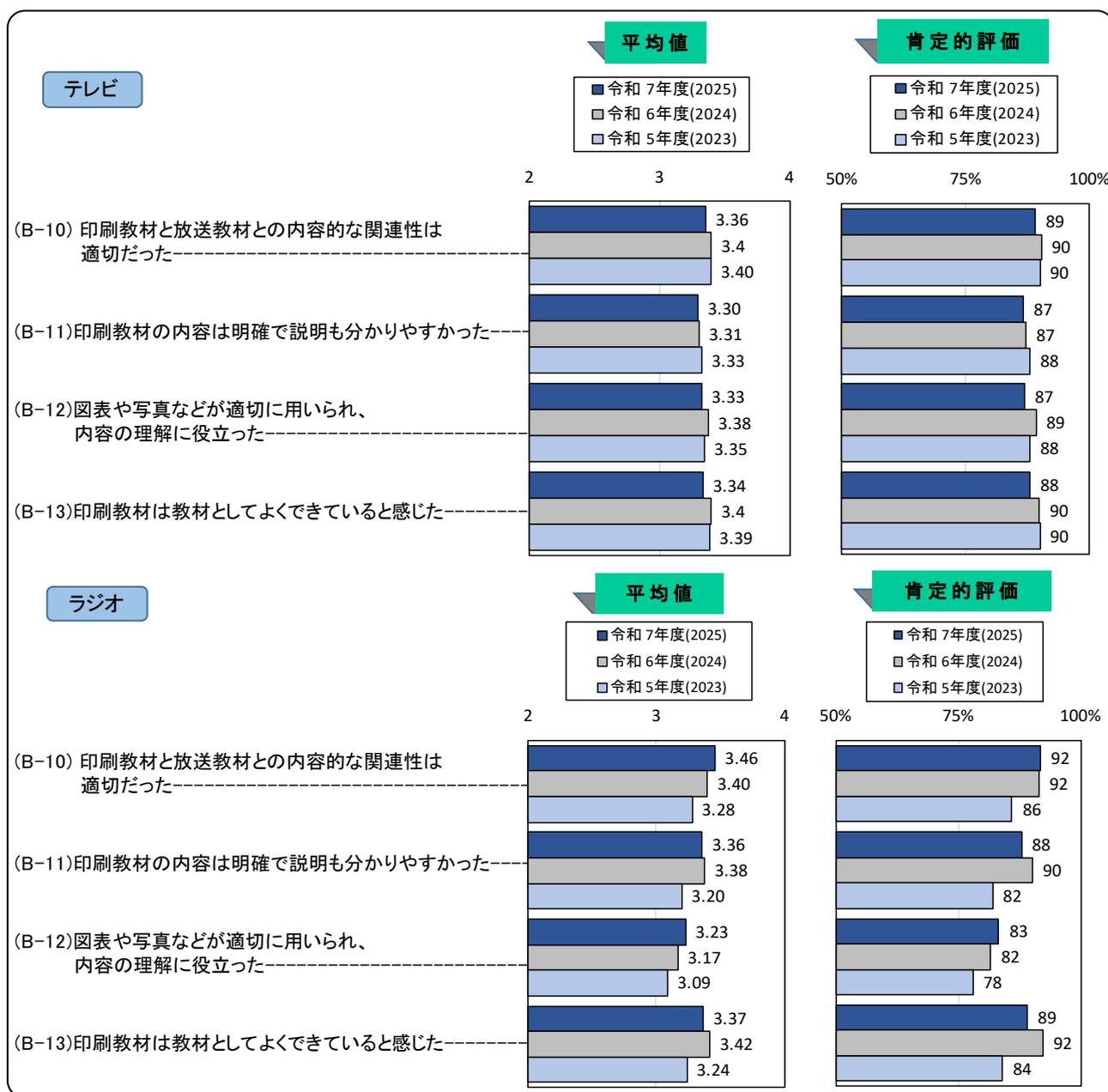
図2-39【学部】メディア別の印刷教材の評価



メディア別の印刷教材の結果を時系列で見ると（図2-40）、テレビ科目では、本年度は、全ての項目で昨年度から1～2ポイント減少した。

一方、ラジオ科目については、(B-12)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」が1ポイント増加するなど評価が高まった項目も見られたが、(B-11)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」は2ポイント、(B-13)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」は3ポイント減少するなど、評価が下がった項目の方が多かった。

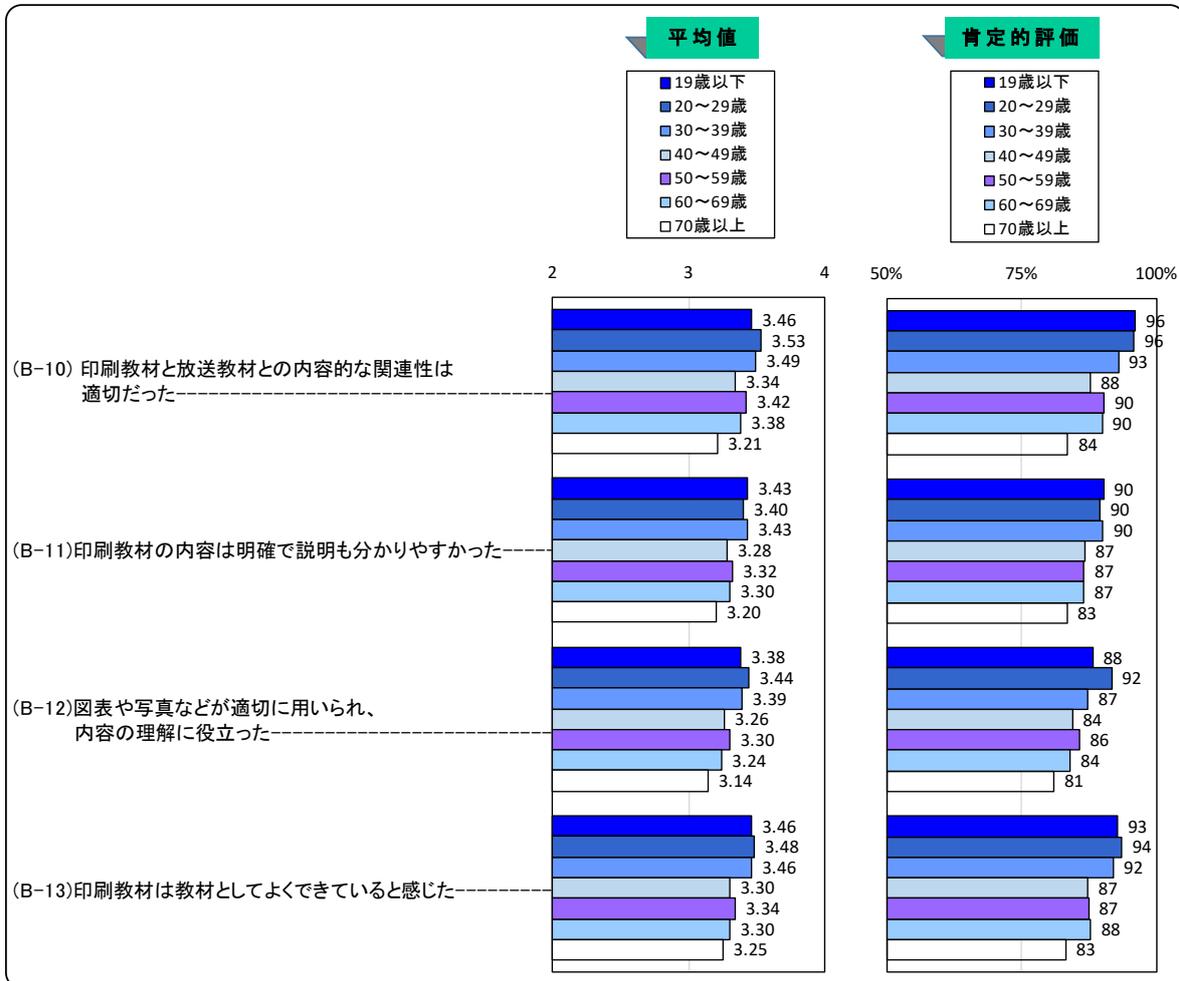
図2-40【学部】メディア別の印刷教材の評価（時系列）



年齢階層別に印刷教材の評価を見ると（図2-41）、全ての項目で若い世代（19歳以下～30歳代）の評価が上位を占めた。

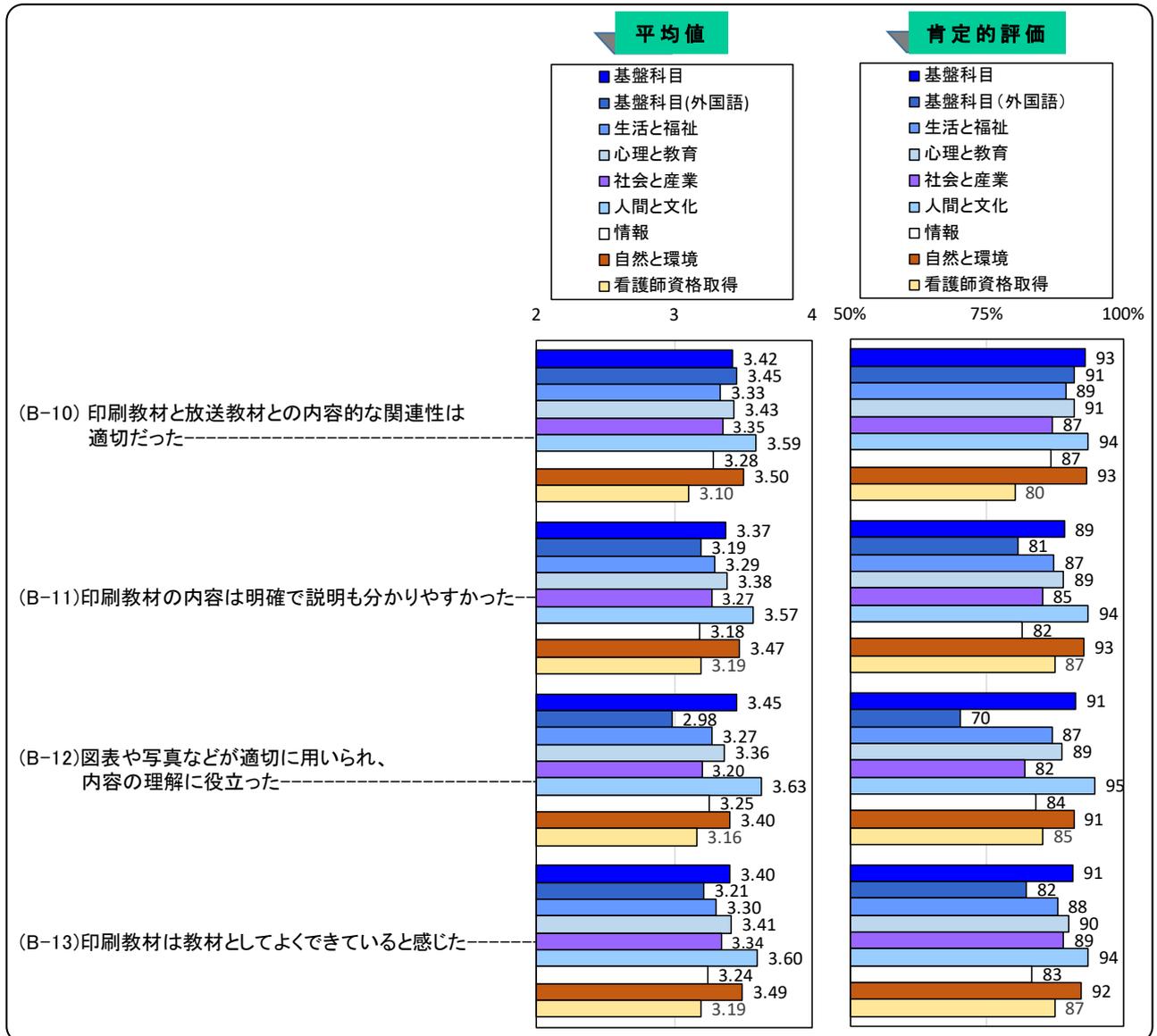
一方で70歳以上は、全ての項目において最も評価が低かった。

図2-41 【学部】年齢階層別の印刷教材の評価



所属コース別に印刷教材の評価を見ると（図2-42）、「人間と文化」「自然と環境」が、全ての項目で90%以上と評価が高かった。一方で、「基盤科目（外国語）」は(B-10)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」を除き、最も低い評価となっており、特に(B-12)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」は70%と他コース比で最大25ポイント低い評価となっていた。

図2-42 【学部】所属コース別の印刷教材の評価

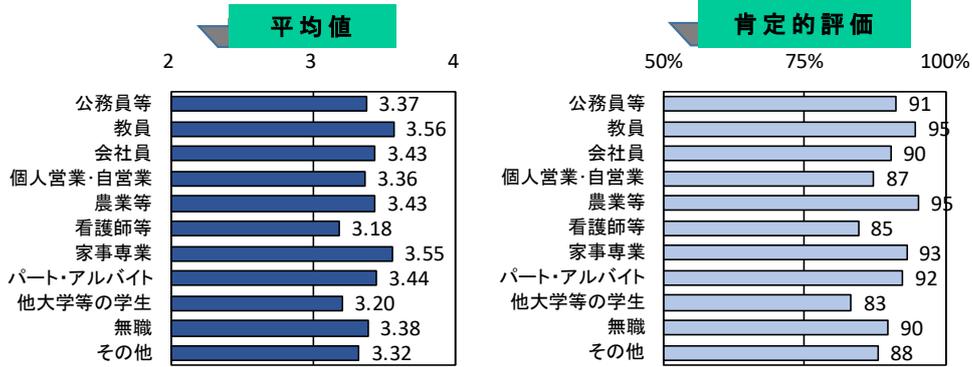


職業別の印刷教材の評価（次頁図2-43）では、「公務員等」と「教員」が、全ての項目において90%以上と高い評価となった。

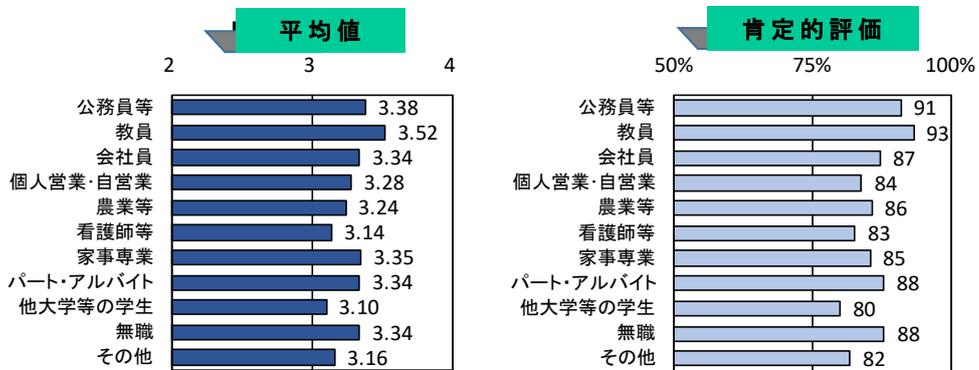
一方で評価が低かったのは「他大学等の学生」で、全項目で最も低い評価となった。また、総じて「看護師等」「その他」の評価が低めであり、(B-10)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」では「看護師等」、(B-11)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」・(B-12)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」(B-13)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」では「その他」が、「他大学等の学生」に次ぐ低い評価であった。

図 2-43 【学部】職業別の印刷教材の評価

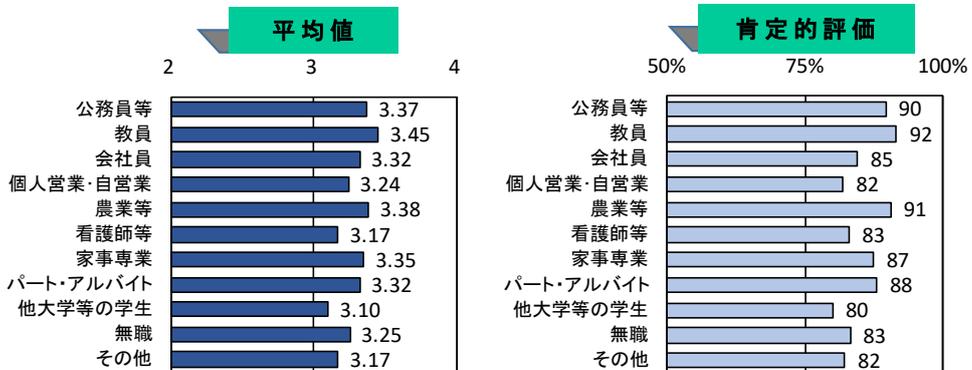
(B-10) 印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった



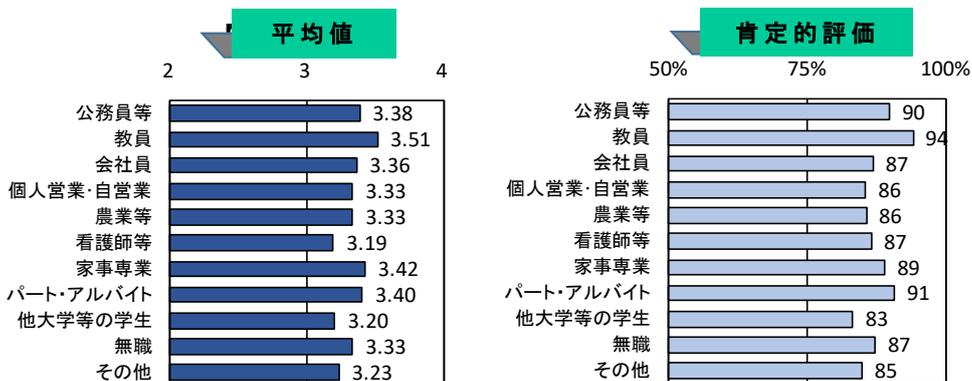
(B-11) 印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった



(B-12) 図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った



(B-13) 印刷教材は教材としてよくできていると感じた

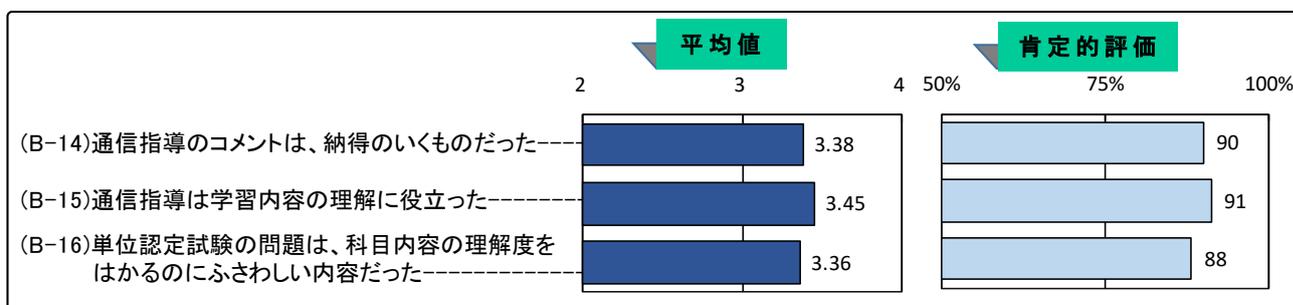


(5) 通信指導・単位認定試験

最後に通信指導・単位認定試験の評価について項目ごとに見ていくことにする。

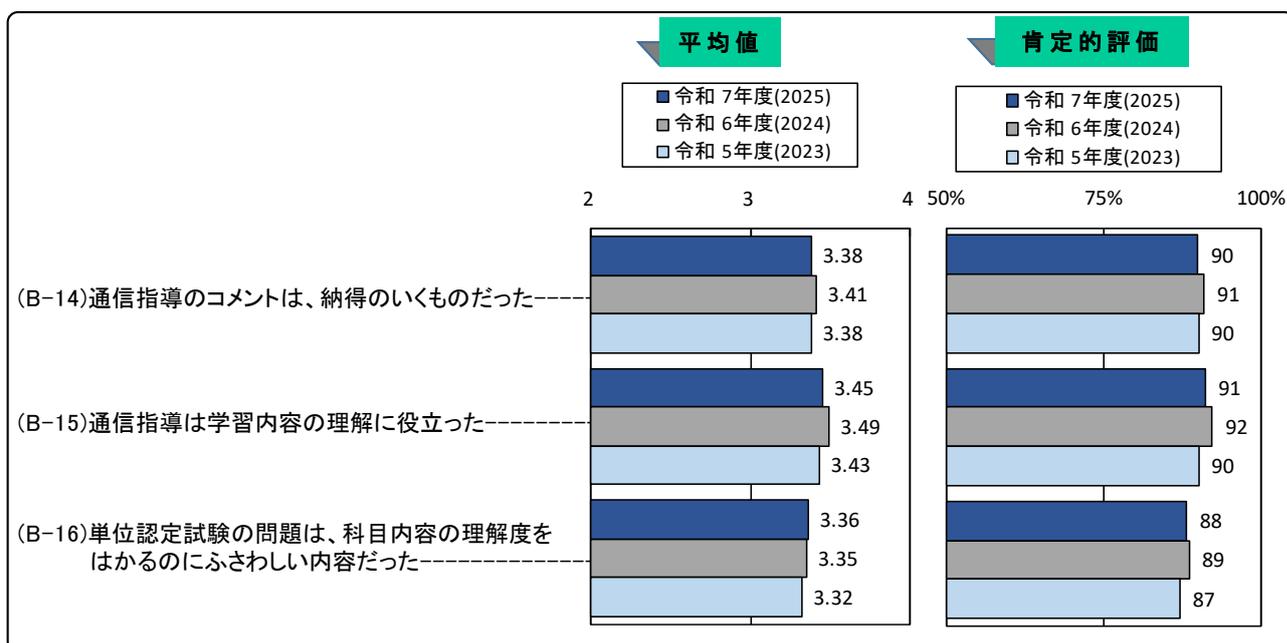
通信指導・単位認定試験については（図2-44）、全ての項目で88～91%と同じような水準であった。

図2-44【学部】回答者全体の通信指導・単位認定試験の評価



通信指導・単位認定試験の評価を時系列で見ると（図2-45）、本年度は、下記3項目全てで、昨年度より1ポイント、評価が下がった。

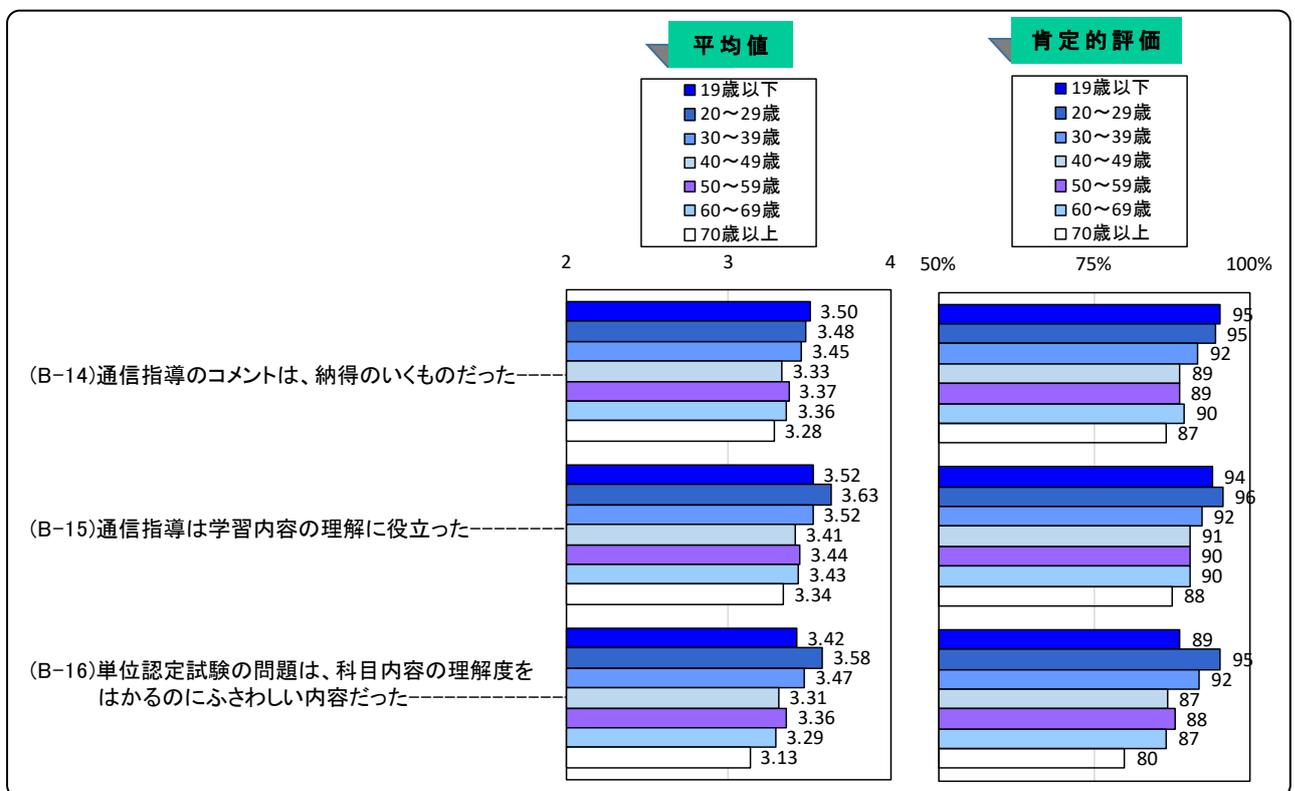
図2-45【学部】回答者全体の通信指導・単位認定試験の評価（時系列）



年齢階層別に通信指導・単位認定試験の評価を見ると（図2-46）、全ての項目で20歳代の評価が高かった。また、(B-14)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」、(B-15)「通信指導は学習内容の理解に役立った」は、比較的评价が低めの70歳代以上でも87～88%と全体的に一定の評価を得られていた。

一方で(B-16)「単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった」は(B-14)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」、(B-15)「通信指導は学習内容の理解に役立った」と比較すると評価が低めであり、特に70歳以上では80%と、最も高かった20歳代と比較して15ポイント差がついた。

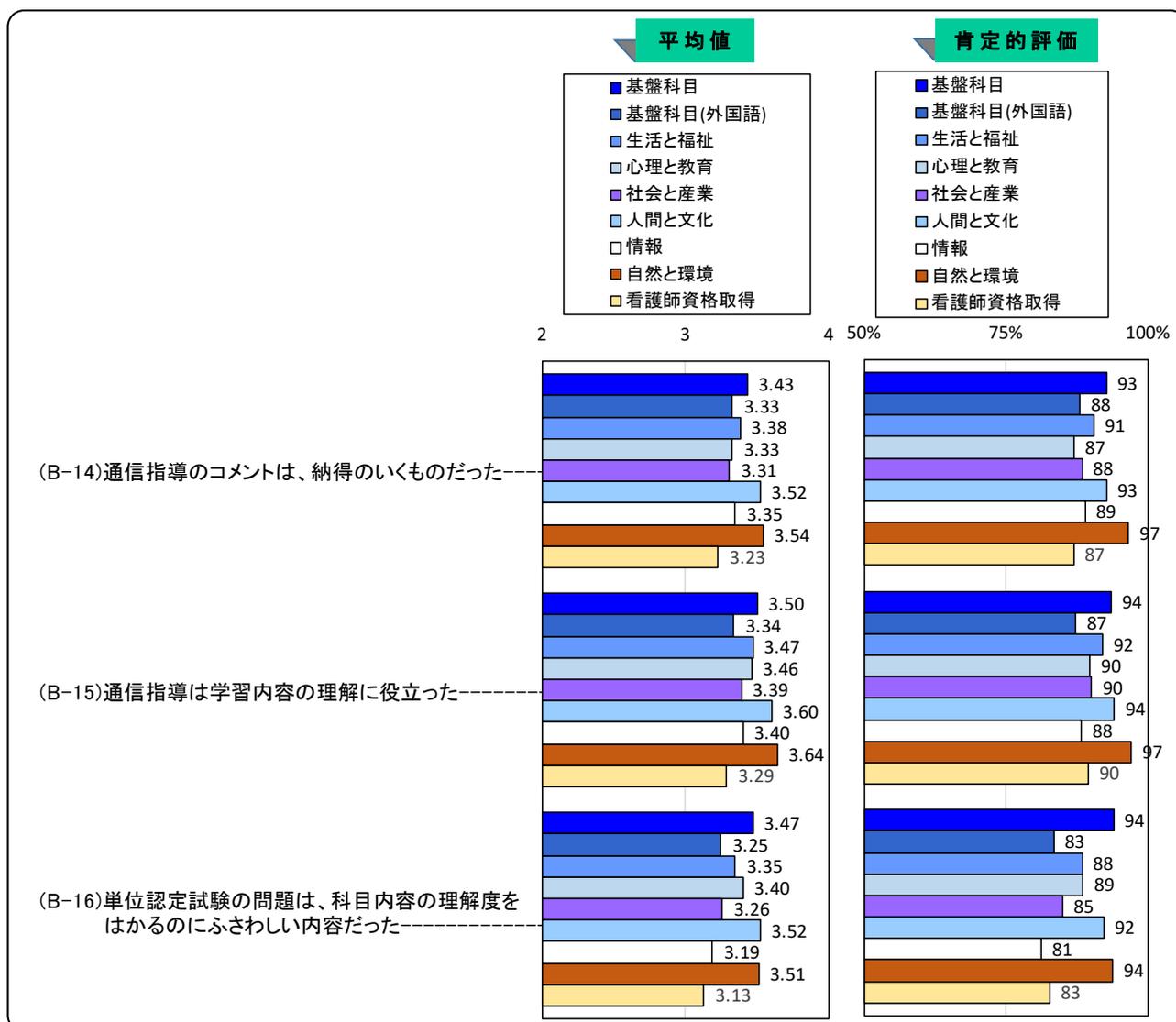
図2-46 【学部】年齢階層別の通信指導・単位認定試験の評価



所属コース別に通信指導・単位認定試験の評価を見ると（図2-47）、「基盤科目」「人間と文化」「自然と環境」が全項目で90%以上となった。

一方で、(B-14)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」では「心理と教育」「看護師資格取得」が87%、(B-15)「通信指導は学習内容の理解に役立った」では「基盤科目(外国語)」が87%、「(B-16)「単位認定試験の問題は、科目内容の理解度ををはかるのにふさわしい内容だった」では「情報」が81%と、評価が低かった。

図2-47【学部】所属コース別の通信指導・単位認定試験の評価



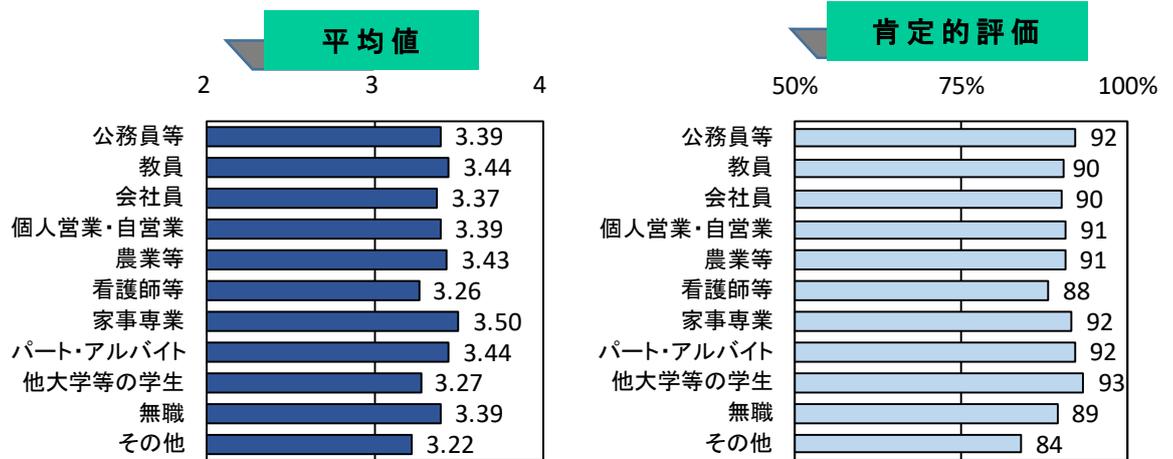
職業別に通信指導・単位認定試験の評価を見ると（次頁図2-48）、(B-14)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」は「他大学等の学生」(93%)と「公務員等」「家事専業」「パート・アルバイト」(92%)の評価が高く、一方で「その他」が84%と低かった。

(B-15)「通信指導は学習内容の理解に役立った」は、「家事専業」が96%で最も高く、「パート・アルバイト」が93%で続いた。最も評価が低かったのは「農業等」で86%であった。

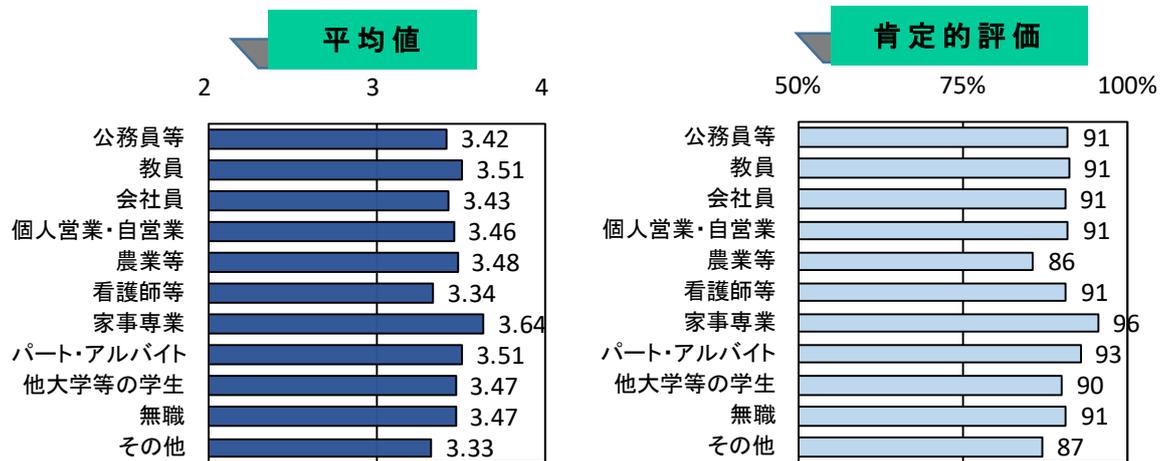
(B-16)「単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった」は「家事専業」「他大学等の学生」が93%と最も高く、他に「農業等」「パート・アルバイト」がそれぞれ91%と比較的高かった。一方で、「その他」が84%と最も低かった。

図2-48【学部】職業別の通信指導・単位認定試験の評価

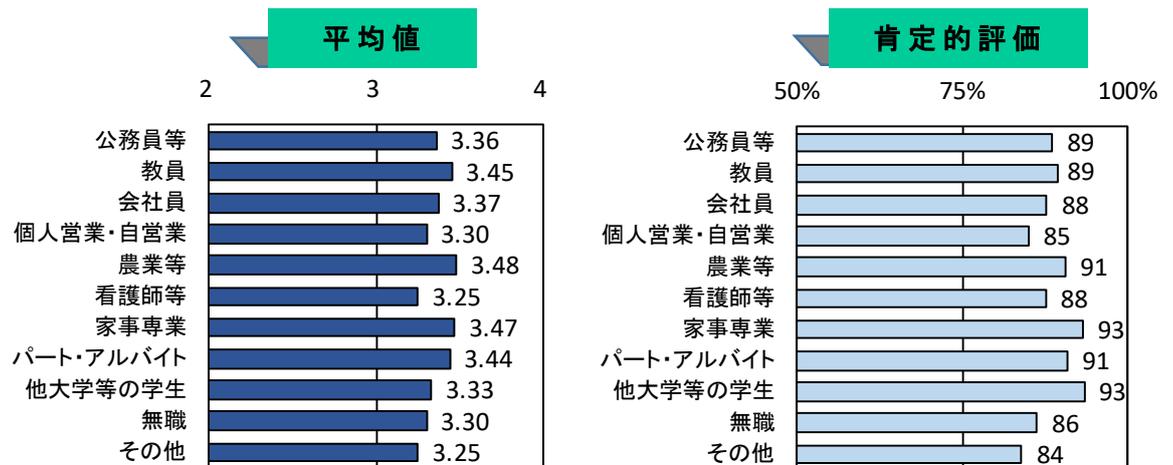
(B-14) 通信指導のコメントは、納得のいくものだった



(B-15) 通信指導は学習内容の理解に役立った



(B-16) 単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった



Ⅱ-1-4. 学部の重回帰分析

重回帰分析とは、数量データである目的変数と説明変数の関係を調べ、重回帰式（モデル式）を導き出す解析手法である。

今回も、全体の満足度（B-21）「この科目の内容には全体として満足している」を目的変数とし、調査票 I.A「授業への取り組み姿勢」を除く B-1～B-20 の各項目を説明変数として分析を試みる。

本調査の選択肢はカテゴリーデータであるが、平均値の算出と同様『あてはまる→4』のように数値をポイント化する事で数量として扱い、重回帰分析を適用する。

最終的には「全体の満足度」に寄与する項目を明らかにすると共に、その影響力の強さを知る事を目的としている。

項目名	変数	対象
目的変数	y	全体の満足度：B-21
説明変数	x_1, x_2, \dots	各項目 B-1～B-20：全 20 問（項目）
係数	a_1, a_2, \dots	重回帰分析によって得られる偏回帰係数

重回帰式 $y = a_0 + a_1x_1 + a_2x_2 + \dots + a_{20}x_{20}$ （説明変数が全 20 問の場合）

分析には、IBM SPSS Statistics 24 を使用した。変数選択方法は、ステップワイズ法を採用した。変数の選択基準は、F 検定有意確率で、投入 $F \leq .05$ 、除去 $F \geq .10$ とした。VIF はすべて 10 未満で多重共線性がないことを確認したうえで重回帰分析を行った。

使用したデータは質問項目 I.B の全設問を全て回答した 5,108 人のローデータを使用した。

最終的に 9 変数が除去され、11 変数のモデルとなった。結果は以下の通りである。

■分析精度

自由度修正済み決定係数とは、得られた重回帰式が目的変数に対してどれだけ説明力（寄与度）があるかを示す指標で、「1」に近いほど良い結果で、この分析では 0.746 となった。

ダーヴィンワトソン比とは、残差同士の系列相関（自己相関）を示す指標で 0～4 までの値を示し、1 以下や 3 以上だと残差（誤差）に規則性があり、解析自体あるいはデータ自体に問題があり、「2」近辺の値ならよいとされるもので、その値は 1.987 となった。以上の結果から、問題のない結果が得られた事が示されている。

◆分析精度

決定係数	0.746
自由度修正済み決定係数	0.746
ダーヴィンワトソン比	1.987
残差の標準偏差	0.381

今回の重回帰分析は、分散分析表が示すとおり、有意水準 0.01 の判定で、かなりの精度で式の当てはまりの良さが確認できた。

(有意水準とは危険率と同義で 0.01 の場合、判定を誤る確率が 1%である事を表している。)

◆分散分析表

変動	偏差平方和	自由度	不偏分散	分散比	p値	判定
全体変動	2930.300	5,107				
回帰による変動	2187.387	11	199	1,364.031	0.000	[**]
回帰からの残差変動	742.913	5,096	0.146			

凡例	有意水準	凡例	有意水準
[**]	0.01	[*]	0.05

下表にある標準偏回帰係数とは説明変数の相互比較を可能にするためのもので、各説明変数の目的変数に対する影響力の度合いがこれで分かる。

その結果から「全体の満足度(B-21)」に寄与する項目で、その寄与度が最も高かったのは、B-20「この科目の内容を全体としてよく理解できた。」(0.249)、次いで B-18「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった。」(0.205)、B-19「新しい知識が身につく視野が広がった。」(0.169)と続いていた。

今後、「全体の満足度」(本年度の肯定的評価 87.4%)を上げるためには、前述の3項目、さらには、印刷教材・放送授業を充実させ、肯定的評価を上げる事が効果的であると考えられる。

目的変数	標準変回帰係数	説明変数	判定
B-21-全体の満足度	0.249	B-20-この科目の内容を全体としてよく理解できた。	[**]
	0.205	B-18-学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった。	[**]
	0.169	B-19-新しい知識が身につく視野が広がった。	[**]
	0.097	B-13-印刷教材は教材としてよくできていると感じた。	[**]
	0.083	B-6-放送授業は教材としてよくできていると感じた。	[**]
	0.063	B-5-<放送授業>講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった。	[**]
	0.058	B-16-単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった。	[**]
	0.055	B-17-<全体評価>授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った。	[**]
	0.042	B-3-印刷教材の難易度は適切だった。	[**]
	0.034	B-7-(テレビ科目の場合) テレビの特性が十分に生かされていると感じた。 (ラジオ科目の場合) 映像がなくても十分理解できる内容だと感じた。	[**]
	0.023	B-14-<通信指導・単位認定試験>通信指導のコメントは、納得のいくものだった。	[*]
	定数項	[**]	

Ⅱ-2. 大学院の分析結果

Ⅱ-2-1. 項目平均から見た全体的傾向

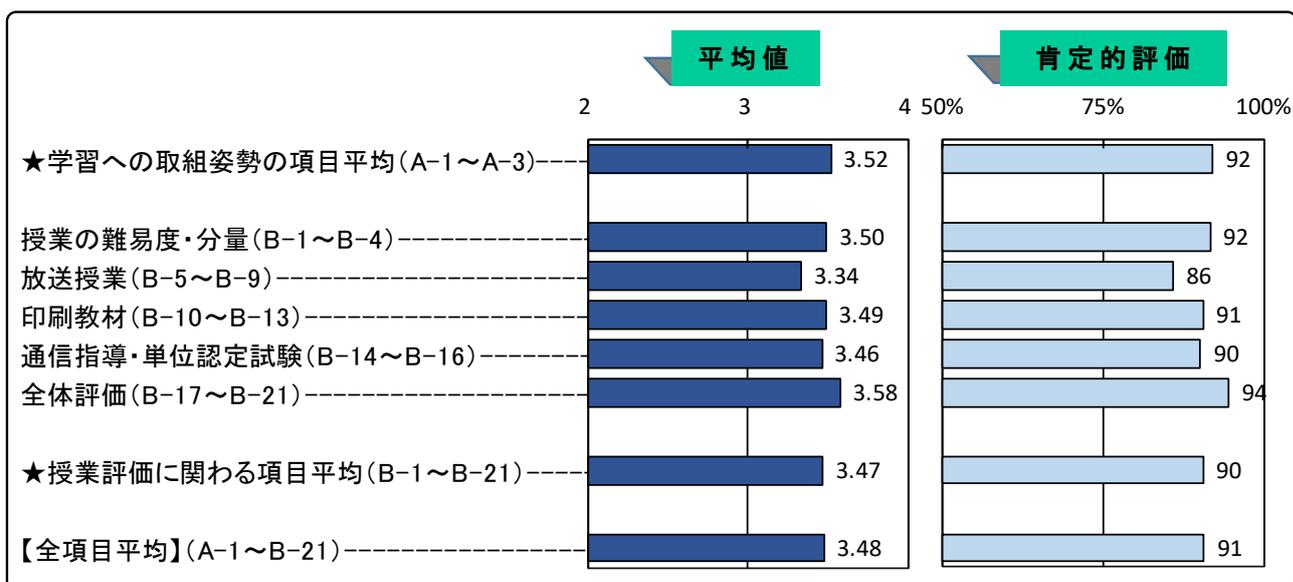
評価項目の内容ごとに回答者全体の平均値と肯定的評価を A-1～A-3 等の複数の項目の平均を算出しグラフ化（図 2-49）した。

学部同様、肯定的な評価（「あてはまる」＋「ややあてはまる」）の方が（例えば回答者の 80%）イメージしやすく、下図左側の平均値と肯定的評価に齟齬が生じた場合、どちらを採用するか合理的に判断出来ないため、コメントについては肯定的評価を用いて、平均値は参考値として扱っていきたい。

また、回答者数が小サンプルの場合、%表記にすると、誤差が大きくなるため、いずれも参考値としてグラフに記載しているが、コメントを割愛する事にする。年齢階層別の職業別の「家事専業」（7人）、「他大学等の学生」（4人）、「農業等」（2人）が挙げられる。

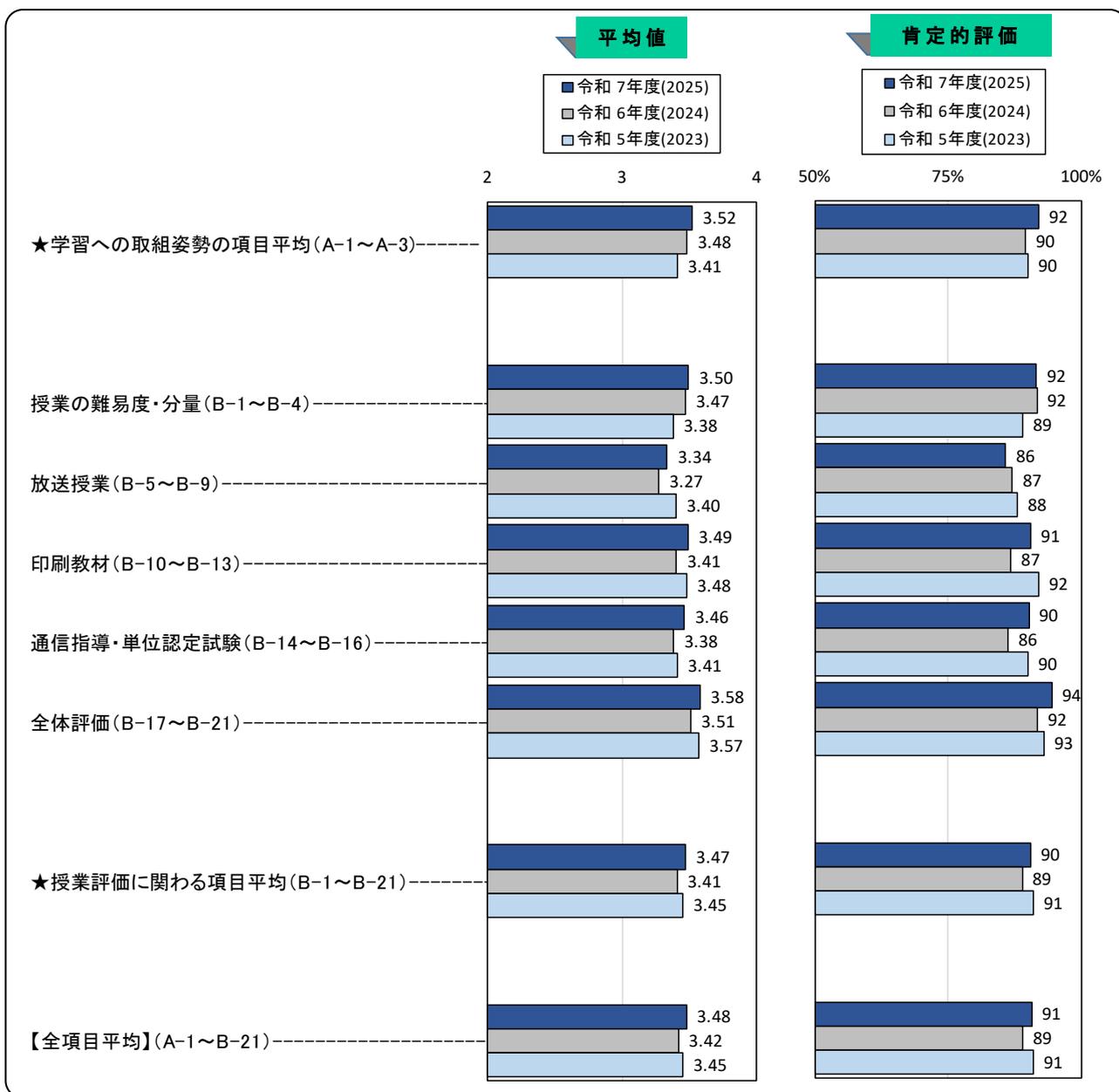
項目平均による全体的傾向をみると（図 2-49）、『放送授業』を除き 90%以上と高かったが、『放送授業』は 86%とやや評価が低かった。

図 2-49 【大学院】項目平均による全体的傾向



項目平均を科目の開設年度で比較して見ると（図2-50）、本年度は昨年度と比べ『放送授業』が1ポイント減少した他は、総じて横ばいないし2~4ポイント増加した。

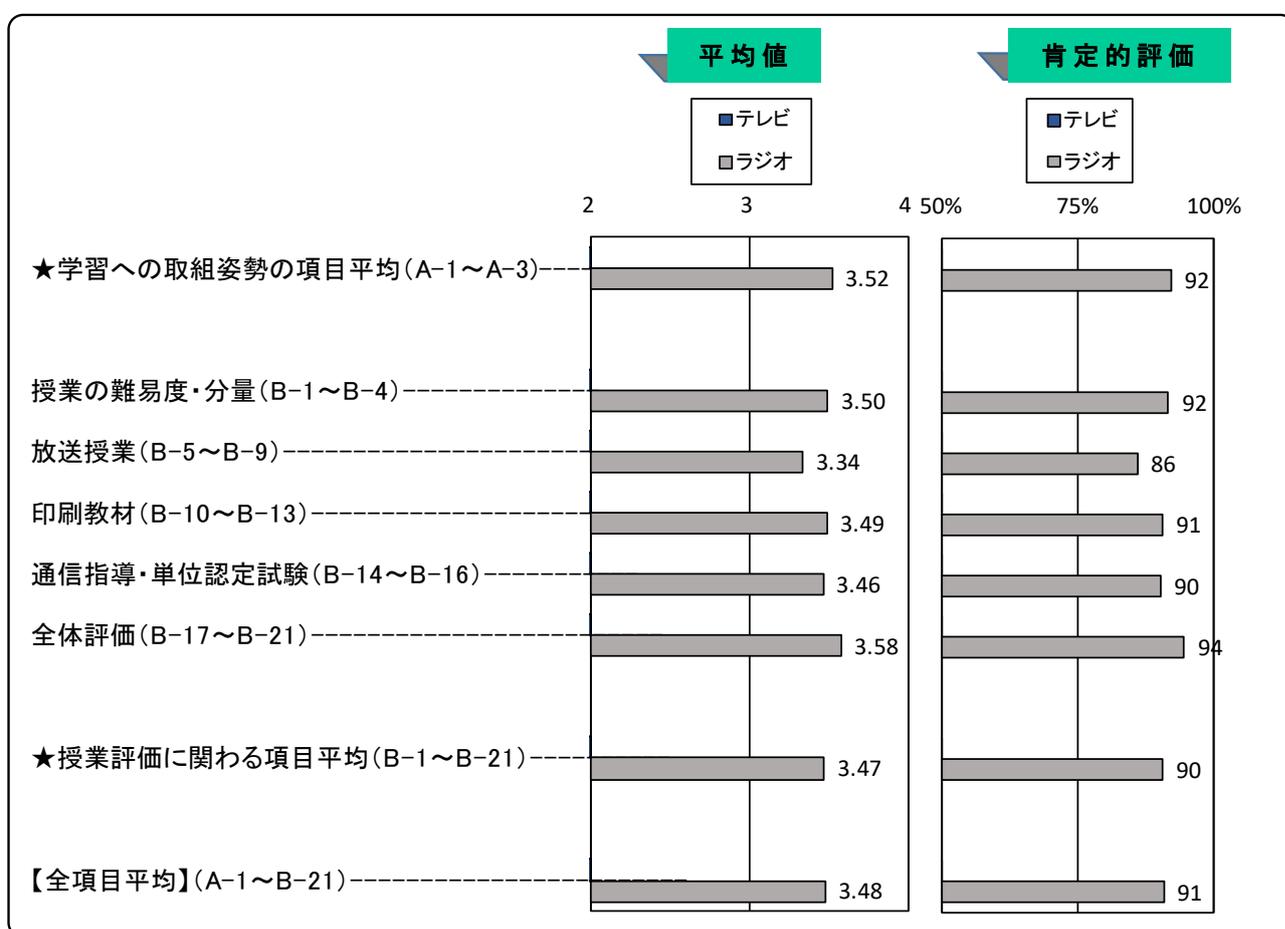
図2-50 【大学院】項目平均による全体的傾向（開設年度比較）



メディア別では、テレビ科目が調査対象ではないため全体傾向同様『放送授業』が86%とやや低かった以外は、90%以上の高い評価となった。

図2-51 【大学院】項目平均によるメディア別全体的傾向

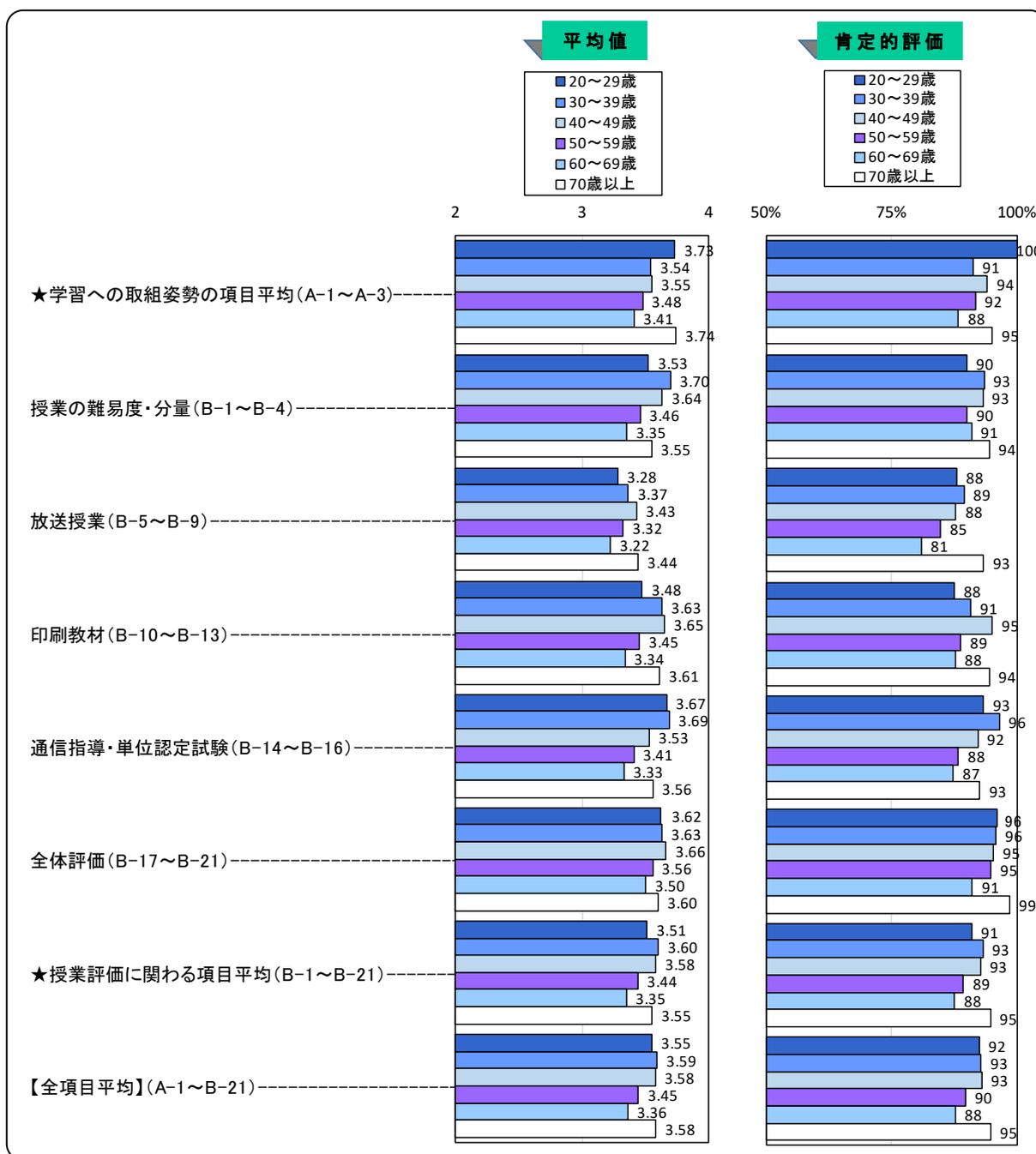
※本年度の今回調査対象科目には、大学院のテレビ科目は含まれないため、ラジオ科目のグラフのみを記載している。またこれ以降のページについても同様とする。



年齢階層別では（図2-52）、『学習への取組姿勢の項目平均』『通信指導・単位認定試験』以外では70歳以上が最も高く、『学習への取組姿勢の項目平均』では20歳代が100%、『通信指導・単位認定試験』では30歳代が96%と評価が高かった。

一方で、60歳代は『授業の難易度・分量』を除いて、最も低い評価となっていた。

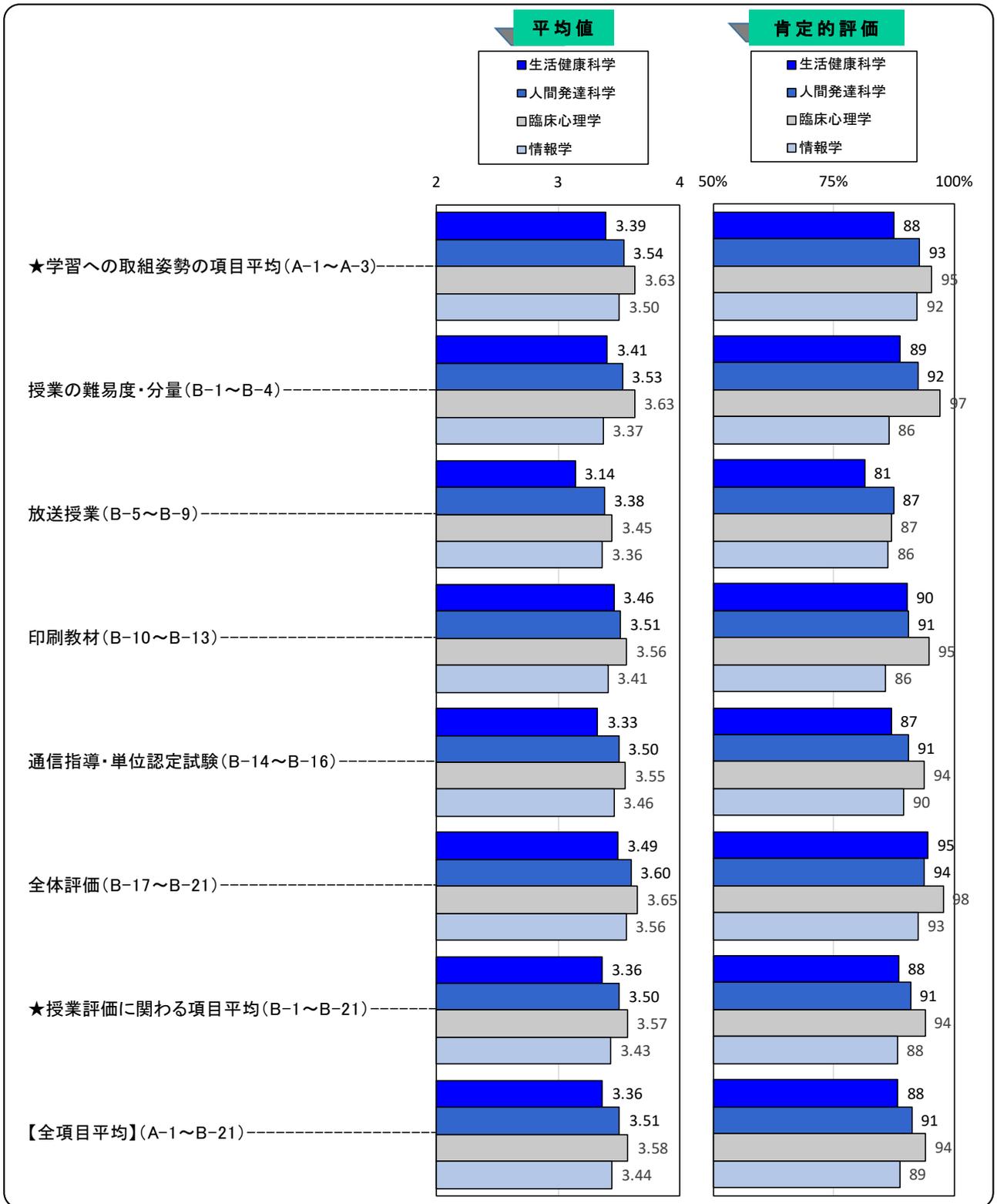
図2-52 【大学院】項目平均による年齢階層別全体的傾向



所属プログラム別に項目平均を見ると（次頁図 2 - 5 3）、「臨床心理学」は総じて評価が高く、「生活健康科学」「情報学」の評価が低かった。

『放送授業』は、最も高い「人間発達科学」「臨床心理学」でも 87% と全体的に評価が低かった。

図 2-53 【大学院】項目平均による所属プログラム別全体的傾向

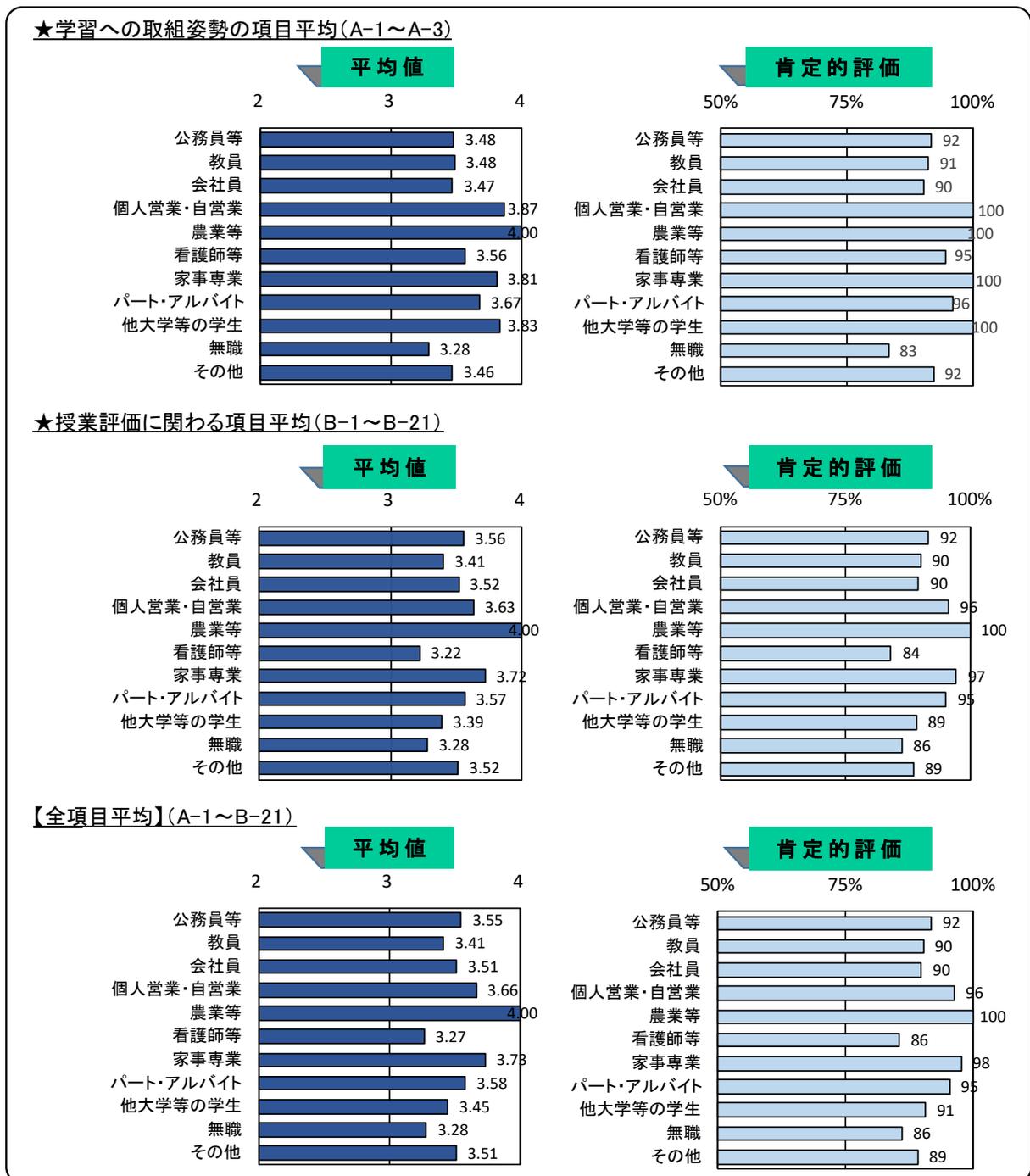


職業別では（図2-54）、全項目で「個人営業・自営業」「パート・アルバイト」が95%～100%と評価が高く、「無職」が83～86%と評価が低かった。

また『授業評価に関わる項目平均』では「看護師等」が95%、『授業評価に関わる項目平均』『【全項目平均】』では、「会社員」が92%と比較的評価が高かった。

※「家事専業」（7人）「他大学等の学生」（4人）「農業等」（2人）は回答者が少人数だった為、誤差が大きく極端な値を取る場合がある為、コメントを割愛した。また、これ以降のページも同様とする。

図2-54 【大学院】項目平均による職業別全体的傾向

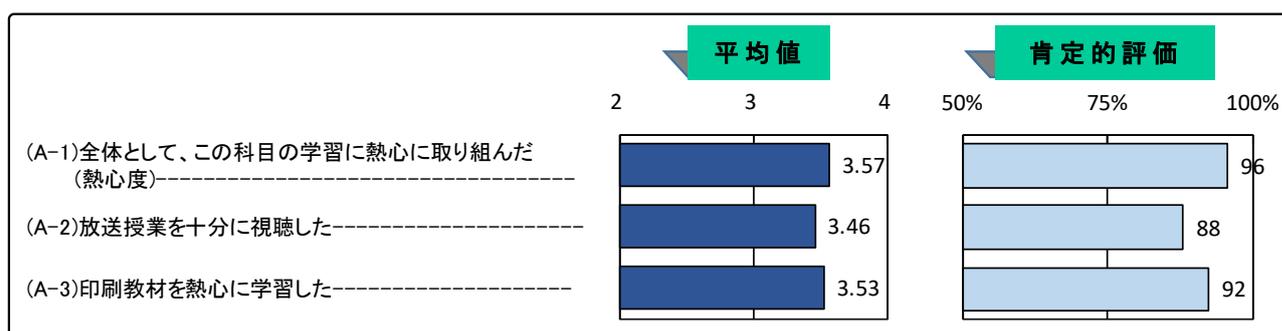


Ⅱ-2-2. 学習への取組み姿勢

ここからはそれぞれ評価項目ごとに調査結果を見ていく。

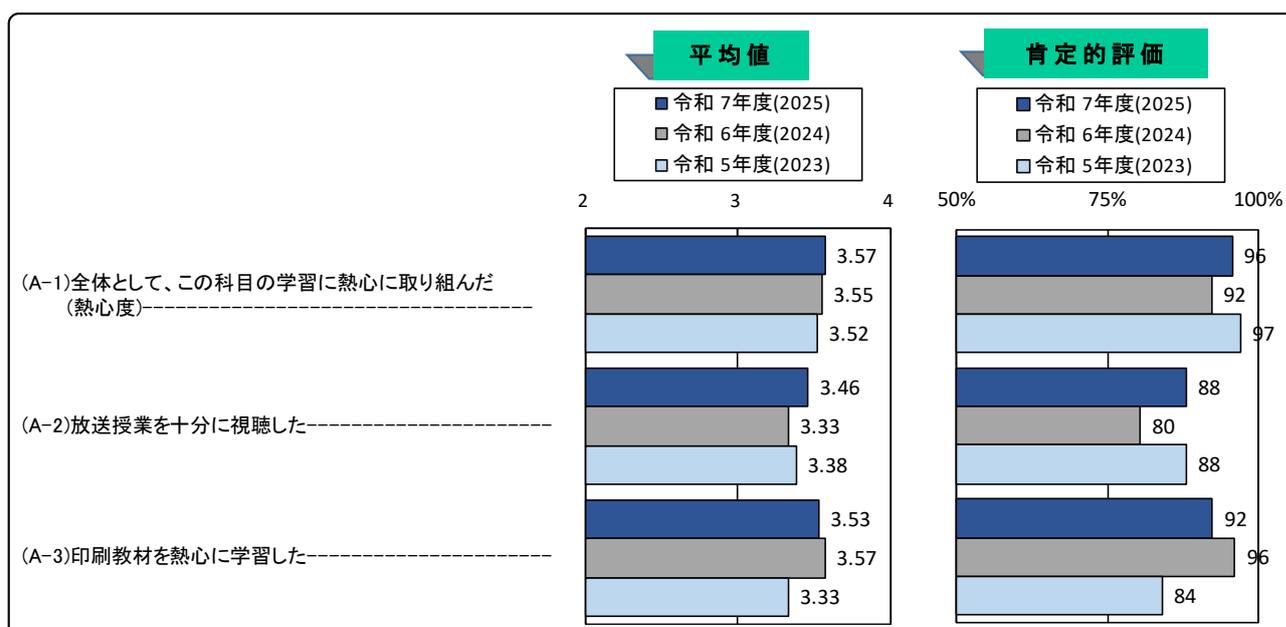
『学習への取組姿勢』（図2-55）では、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」と (A-3)「印刷教材を熱心に学習した」は90%以上となったが、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は88%と、前述の2項目に比べると低かった。

図2-55 【大学院】回答者全体の取組姿勢



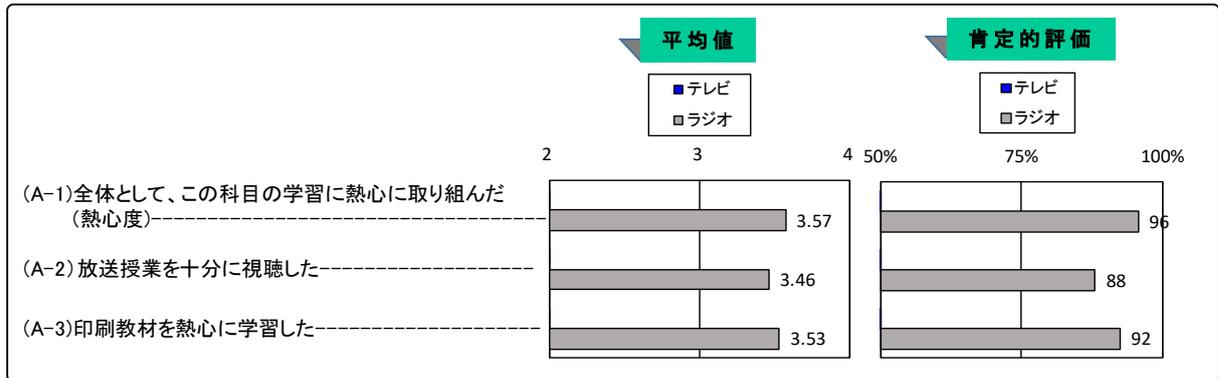
『学習への取組姿勢』を時系列で見ると（図2-56）、本年度の評価は昨年度と比べ、(A-1)「全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」は4ポイント、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は8ポイント増加したものの、(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」は4ポイント減少した。

図2-56 【大学院】回答者全体の取組姿勢（時系列）



メディア別の取組姿勢では（図2-57）、全体同様(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」と(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」は90%以上となったが、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は88%と、前述の2項目に比べると低かった。

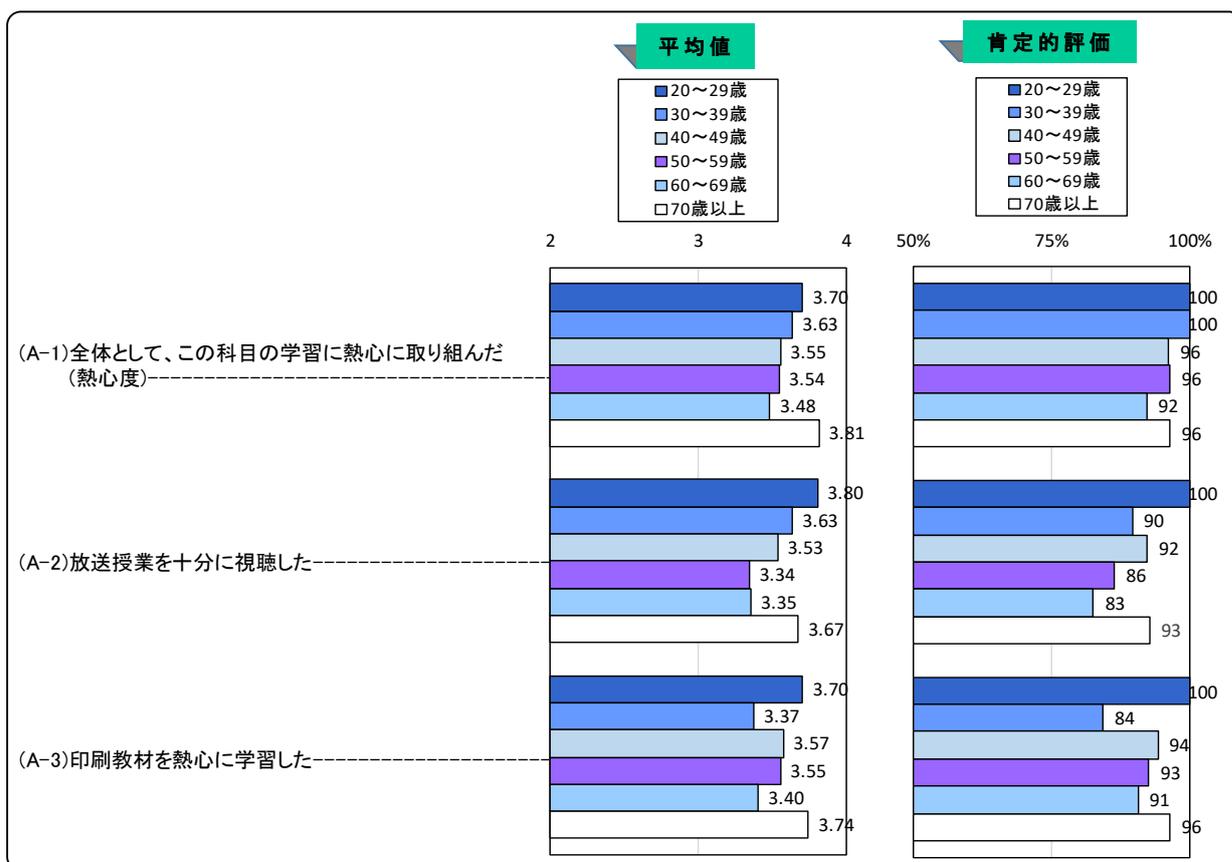
図2-57 【大学院】メディア別の取組姿勢



年齢階層別では（図2-58）、(A-1)「全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」は、20歳代、30歳代の100%を始め、最も低い60歳代でも92%と全世代で熱心に取り組んだ様子が見えてきた。

一方で(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は、20歳代が100%と高かったものの、50歳代は86%、60歳代では83%、(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」については、30歳代が84%と世代間で差が出た。

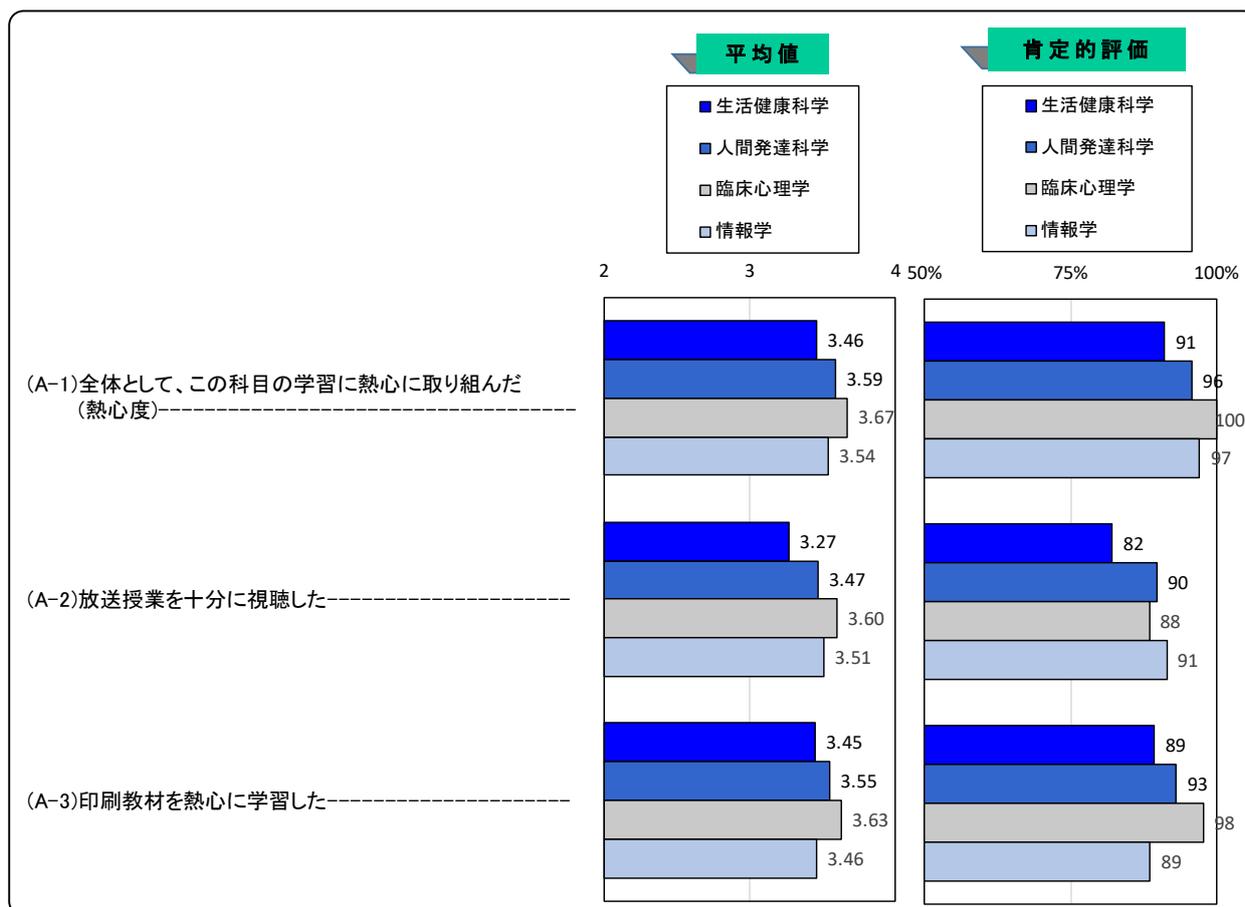
図2-58 【大学院】年齢階層別の取組姿勢



所属プログラム別の取組姿勢（図2-59）では、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」、(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」では「臨床心理学」の評価が最も高かった。

一方で (A-2)「放送授業を十分に視聴した」は、「生活健康科学」の 82%を始め、他2項目と比較すると、全体的に評価が低かった。

図2-59 【大学院】所属プログラム別の取組姿勢



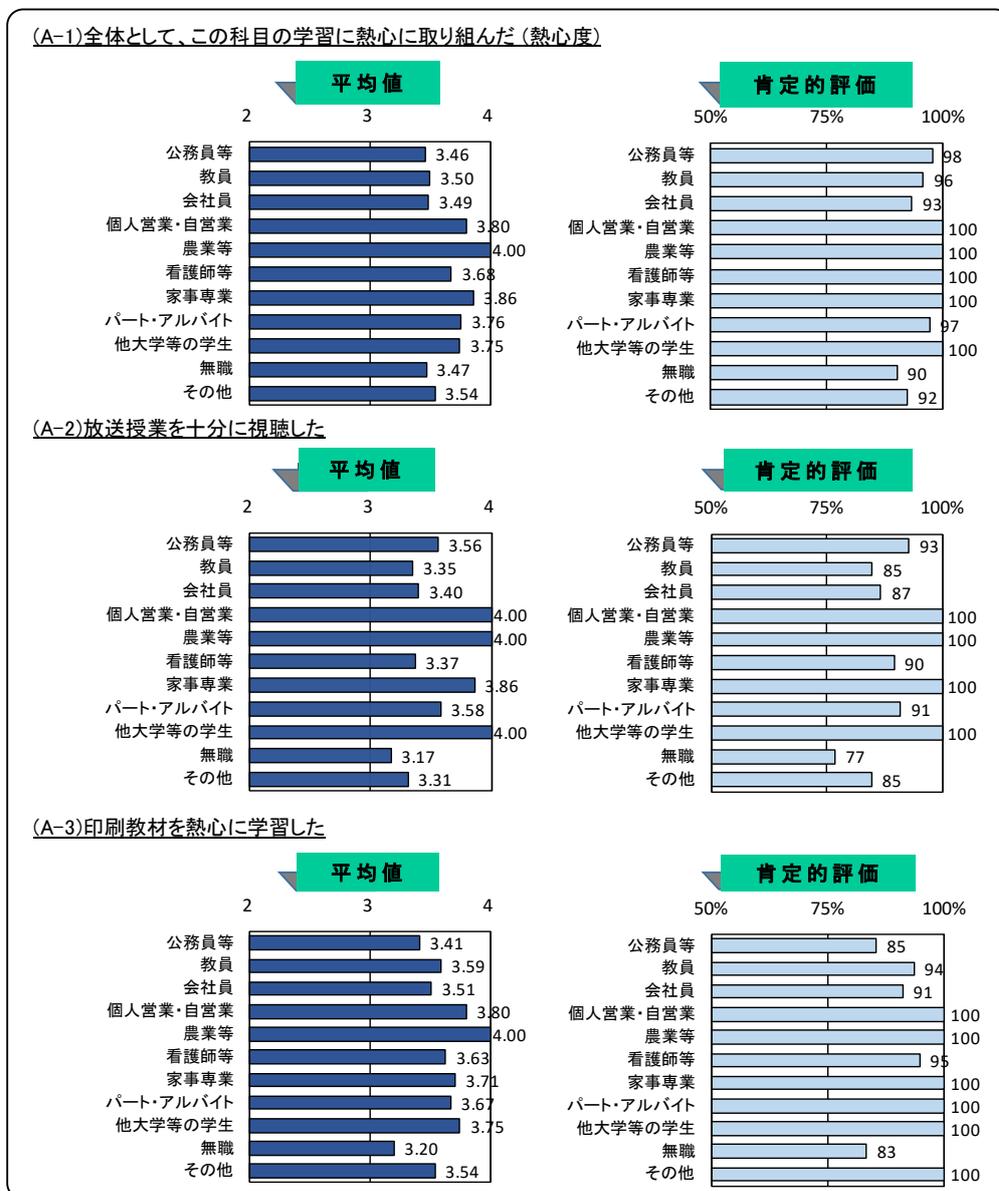
職業別の取組姿勢は（図2-60）、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」では、「個人営業・自営業」「看護師等」が100%と最も高かった。また最も低い「無職」でも90%となっており全体的に評価が高かった。

(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は「個人営業・自営業」が100%と最も高かった。一方で「無職」が77%と最も低く、次いで「教員」「その他」が85%、「会社員」が87%となった。

(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」については、「公務員等」「無職」以外は90%以上となった。

※「家事専業」（7人）「他大学等の学生」（4人）「農業等」（2人）は回答者が少人数だった為、誤差が大きく極端な値を取る場合がある為、コメントを割愛した。また、これ以降のページも同様とする。

図2-60【大学院】職業別の取組姿勢



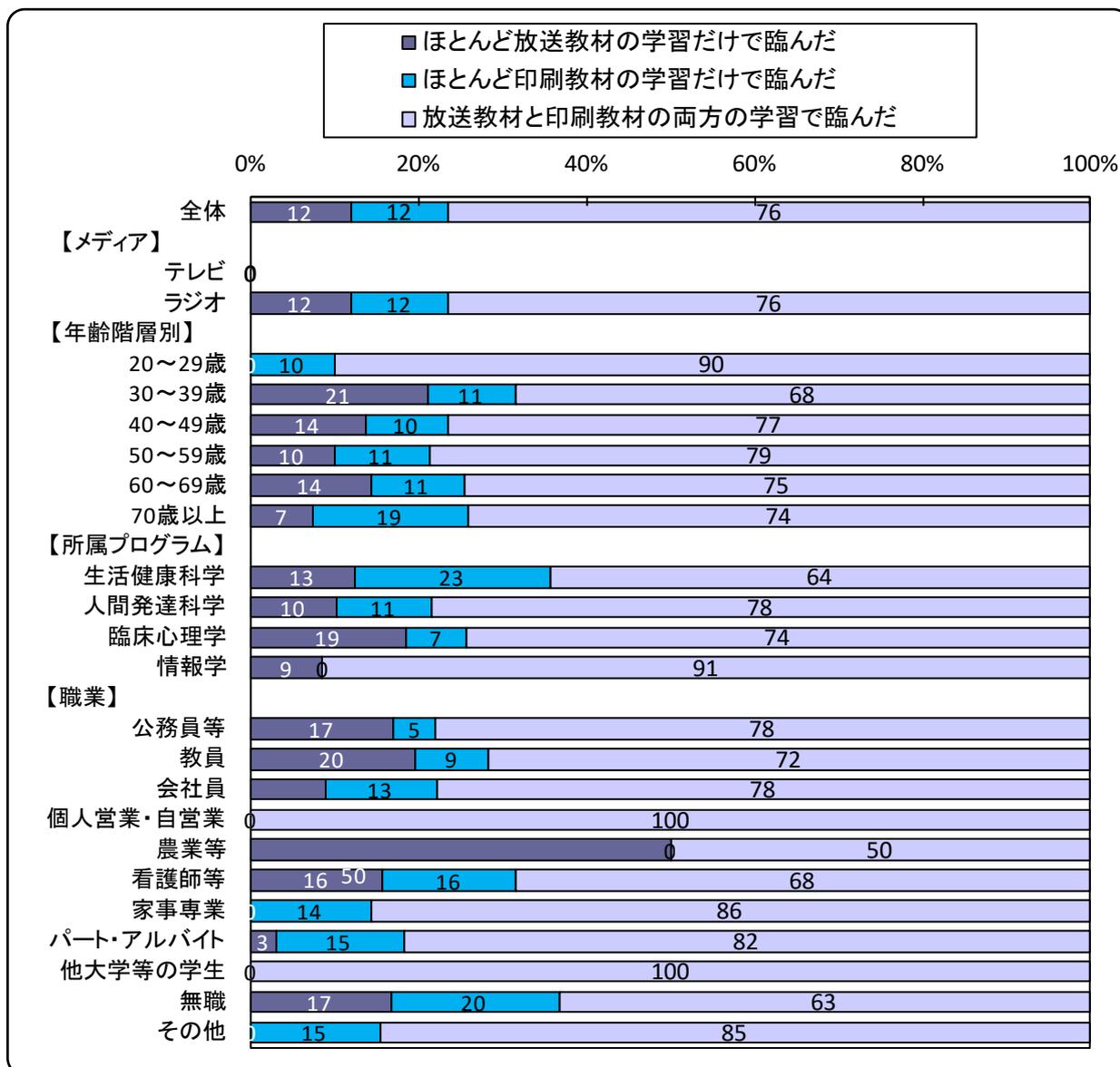
単位認定のための学習方法（図2-61）を見ると全体では、「放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ」が76%と大半を占め、「ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ」「ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ」は12%と同割合であった。

年齢階層別では、20歳代は「放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ」が90%と、他の年代に比べ高かった。

所属プログラム別では、「放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ」が「情報学」では91%と、「生活健康科学」の64%を大きく上回った。

「個人営業・自営業」は、「放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ」が100%と、他の職業と比べ高かった。

図2-61 【大学院】単位認定のための学習方法



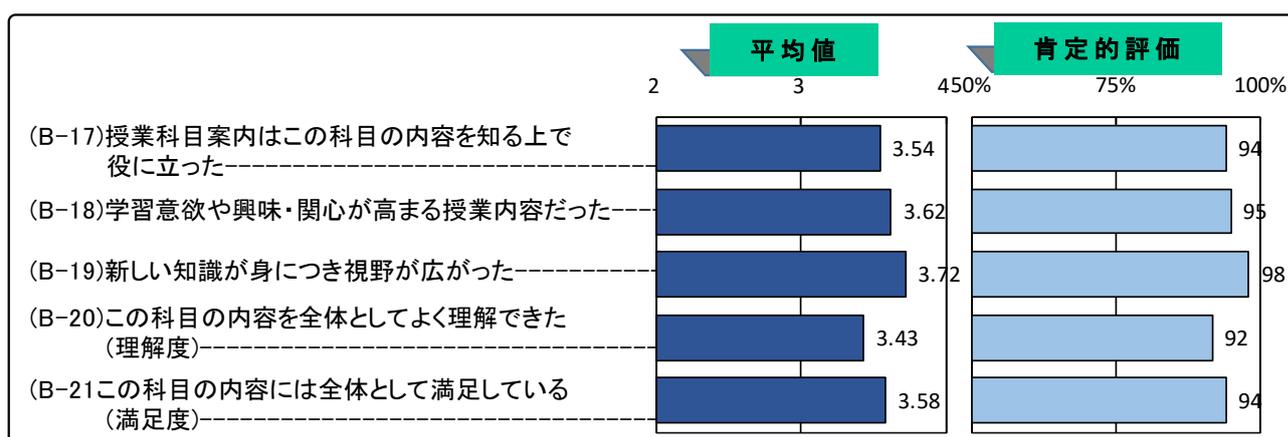
Ⅱ－2－3. 大学院の授業評価

ここからは大学院の授業評価について、評価項目ごとに見ていくことにする。

全体評価の項目では（図2－62）、(B-19)「新しい知識が身につく視野が広がった」が98%と最も評価が高かった。

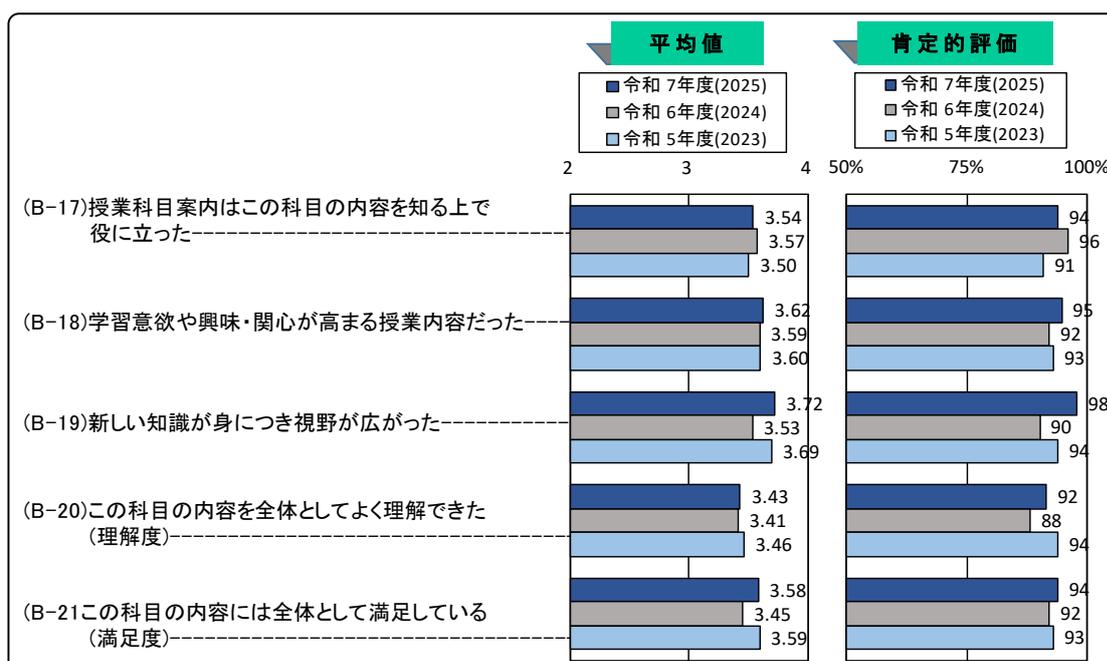
総じて肯定的評価は90%を超えており、最も低かった(B-20)「この科目の内容を全体としてよく理解できた」でも92%であった。

図2－62【大学院】回答者全体の全体評価



全体評価を時系列で見ると（図2－63）、(B-17)「授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った」が94%と昨年度と比べ2ポイント減少した以外は、肯定的評価が2～8ポイント増加していた。

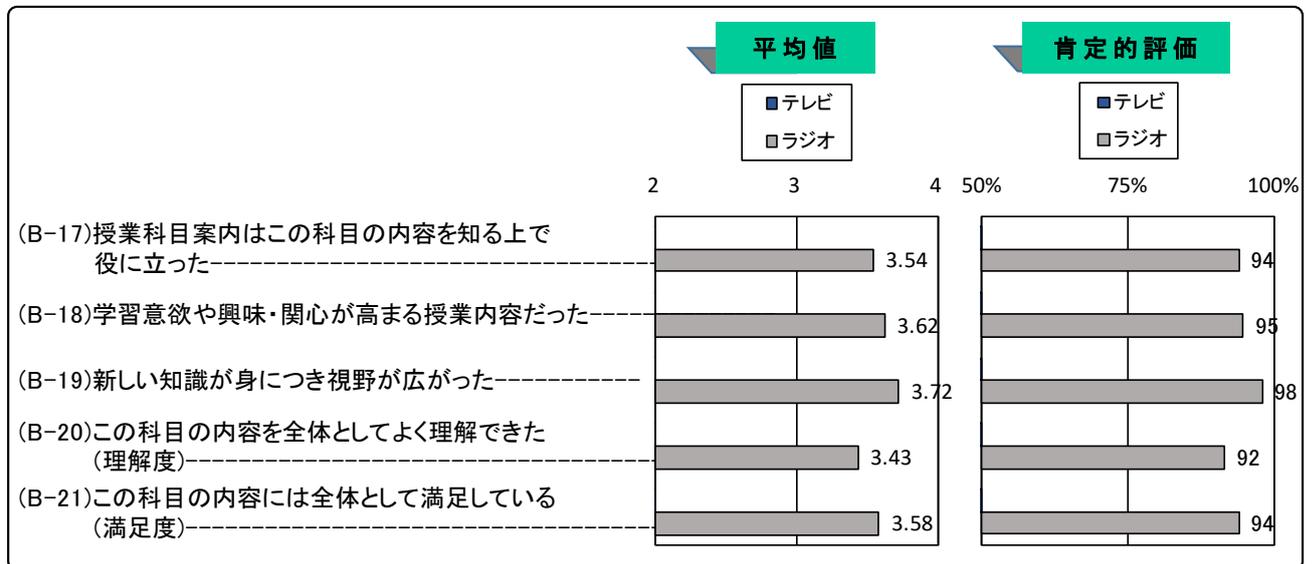
図2－63【大学院】回答者全体の全体評価（時系列）



ラジオ科目では（図2-64）のみのため、全体と傾向は変わらず、(B-19)「新しい知識が身につく視野が広がった」が98%と最も評価が高かった。

総じて肯定的評価は90%を超えており、最も低かった(B-20)「この科目の内容を全体としてよく理解できた」でも92%であった。

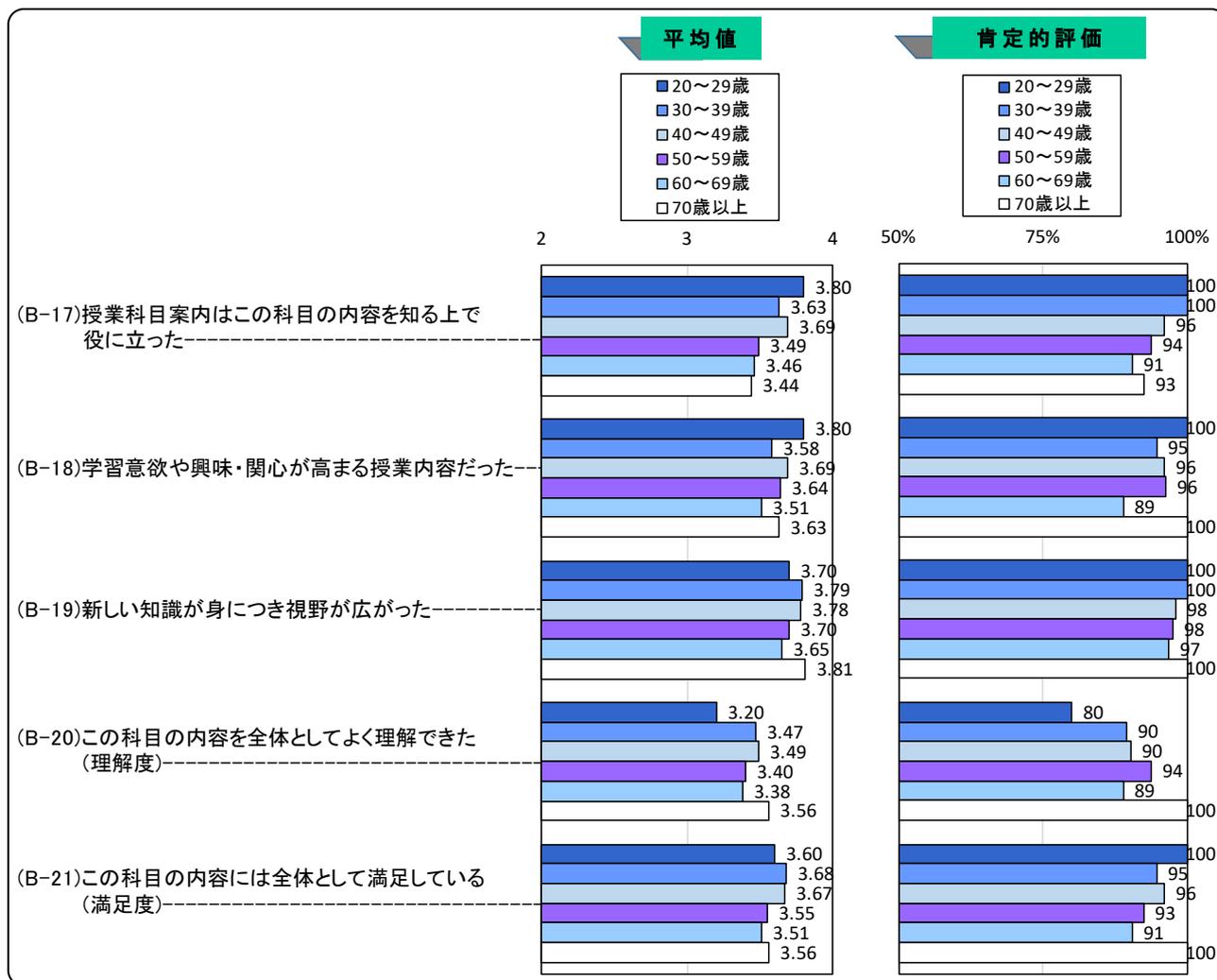
図2-64【大学院】メディア別の全体評価



年齢階層別では（図2-65）、20歳代は(B-20)「この科目の内容を全体としてよく理解できた」、70歳代は(B-17)「授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った」以外は、100%と評価が高かった。

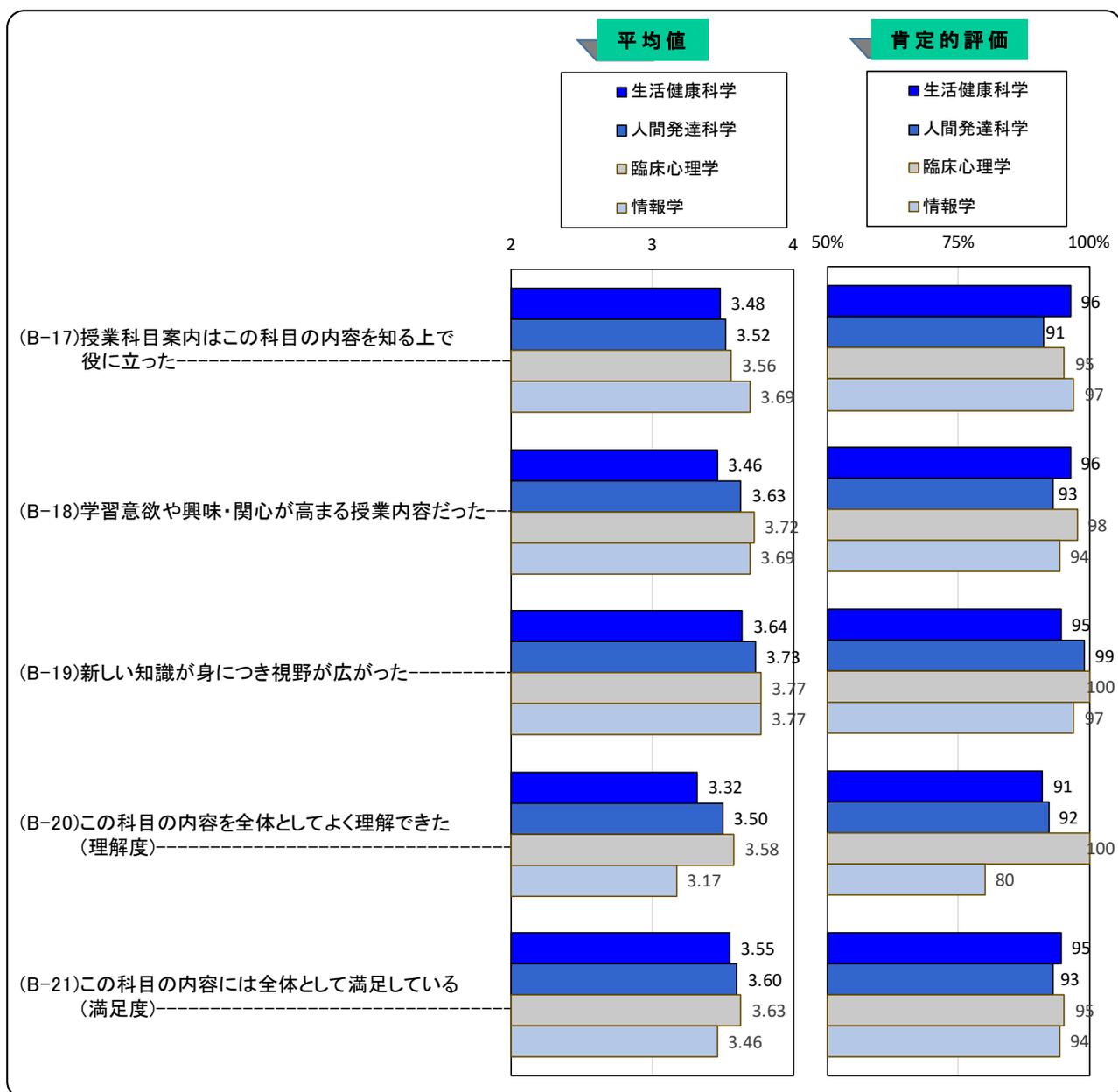
一方で、60歳代は(B-19)「新しい知識が身につく視野が広がった」が97%となった他は、90%前後と他年代と比較するとやや評価が低めであった。

図2-65【大学院】年齢階層別の全体評価



所属プログラム別に全体評価を見ると（図2-66）、(B-17)「授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った」で「情報学」が97%と最も高い評価となった以外は、「臨床心理学」の評価が高く、(B-19)「新しい知識が身につく視野が広がった」、(B-20)「この科目の内容を全体としてよく理解できた」では100%であった。

図2-66【大学院】所属プログラム別の全体評価



職業別（次頁図2-67）では、(B-17)「授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った」は、「パート・アルバイト」「その他」の評価が100%と最も高かった一方で、「看護師等」が79%と顕著に低かった。

(B-18)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」は、「個人営業・自営業」は100%と評価が高かった一方で、「無職」は87%と評価が低かった。

(B-19)「新しい知識が身につく視野が広がった」は、「公務員等」「教員」「個人営業・自営業」「パート・アルバイト」「その他」は100%と評価が高かった。最も低い「無職」も90%と全体的に評価が高い項目であった。

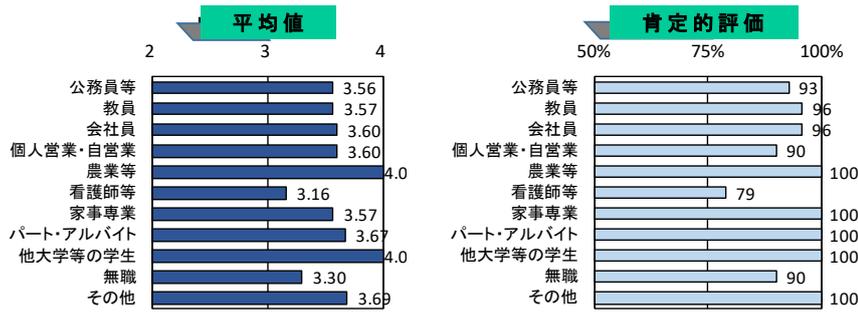
(B-20)「この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」については、「パート・アルバイト」は97%と評価が高かったが、「無職」は83%と評価が低かった。

(B-21)「この科目の内容には全体として満足している(満足度)」では「個人営業・自営業」「パート・アルバイト」は100%であった一方で、「看護師等」は84%と低い評価であった。

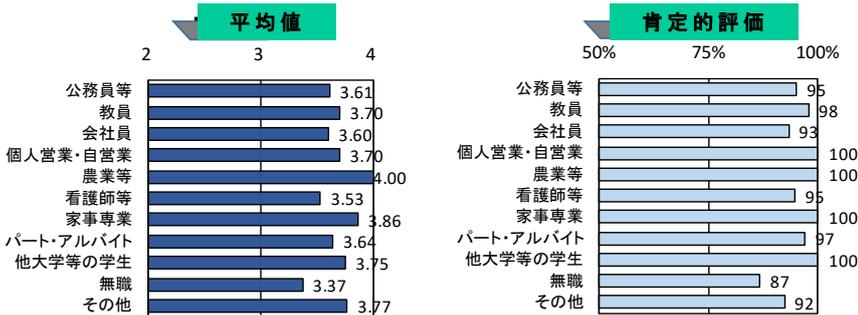
※「家事専業」(7人)「他大学等の学生」(4人)「農業等」(2人)は回答者が少人数だった為、誤差が大きく極端な値を取る場合がある為、コメントを割愛した。また、これ以降のページも同様とする。

図 2-67 【大学院】職業別の全体評価

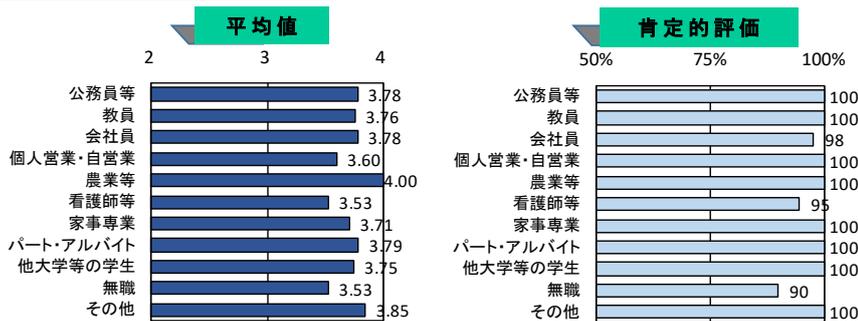
(B-17) 授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った



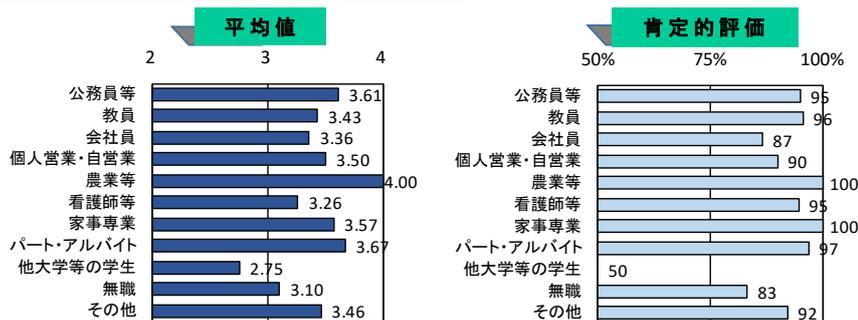
(B-18) 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった



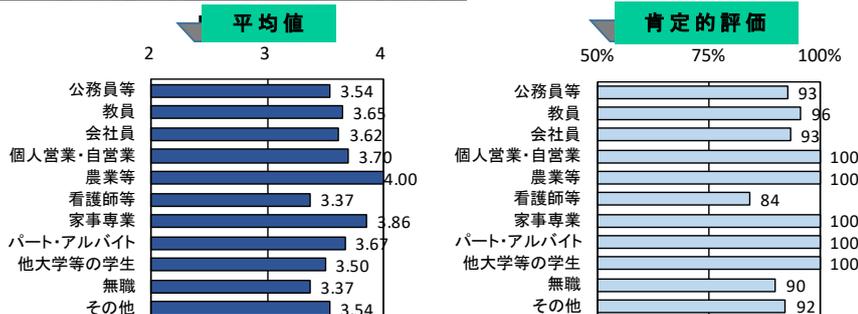
(B-19) 新しい知識が身につく視野が広がった



(B-20) この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)



(B-21) この科目の内容には全体として満足している(満足度)

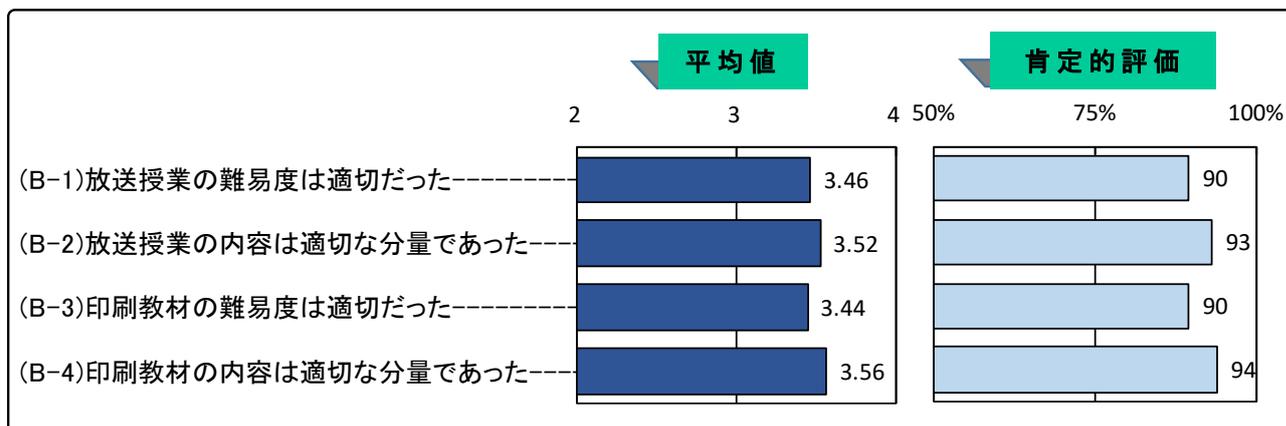


(2) 授業の難易度・分量

次に授業の難易度・分量について評価項目ごとに見ていく。

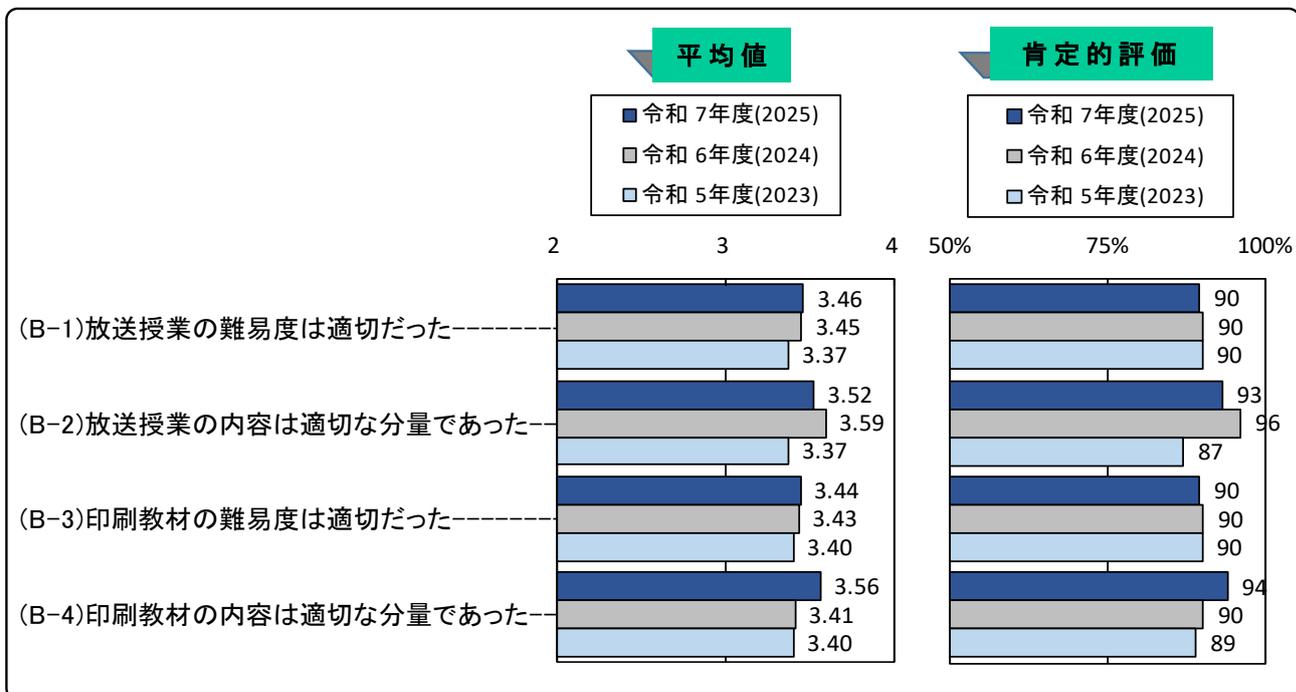
授業の難易度・分量の評価は（図2-68）は、全ての項目で90～94%と評価が高かった。

図2-68 【大学院】回答者全体の授業難易度・分量の評価



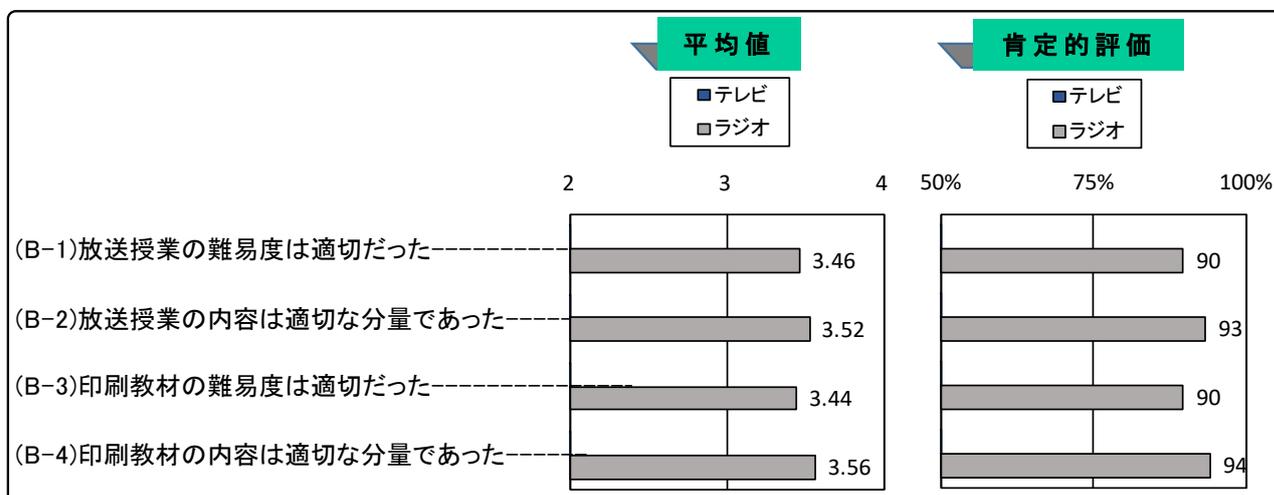
開設年度別では（図2-69）、本年度と昨年度を比較すると、(B-2)「放送授業の内容は適切な分量であった」は3ポイント減の93%となったのに対して、(B-4)「印刷教材の内容は適切な分量であった」は4ポイント増の94%となった。

図2-69 【大学院】回答者全体の授業難易度・分量の評価（開設年度比較）



ラジオ科目では（図2-70）、全体傾向同様、(B-4)「印刷教材の内容は適切な分量であった」が94%と最も評価が高かった。

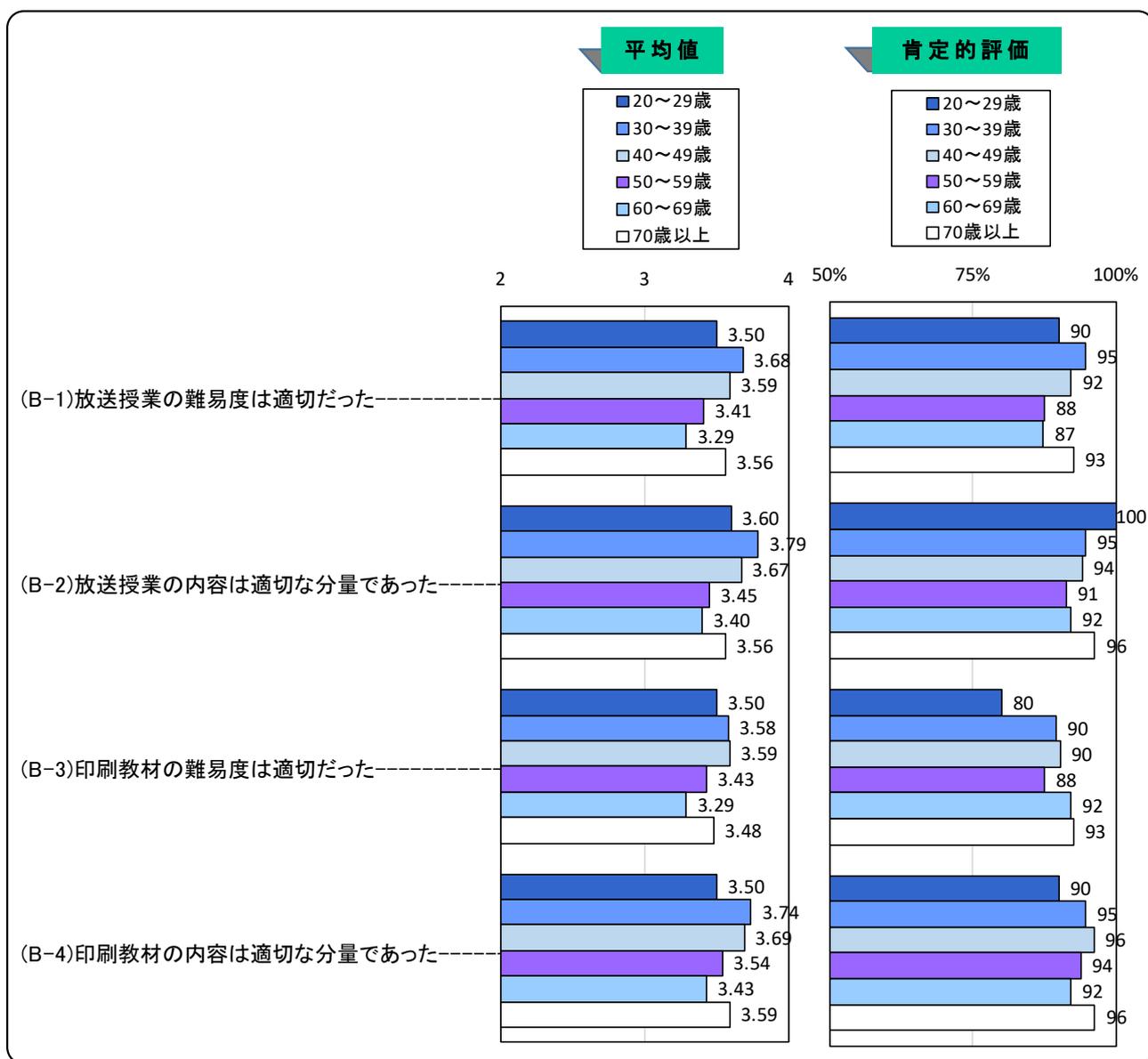
図2-70【大学院】メディア別の授業難易度・分量の評価



年齢階層別に授業の難易度・分量を見ると（図2-71）、(B-1)「放送授業の難易度は適切だった」では30歳代が95%、(B-2)「放送授業の内容は適切な分量であった」では20歳代が100%、(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」(93%)、(B-4)「印刷教材の内容は適切な分量であった」(96%)では60歳代の評価が最も高かった。

一方で(B-1)「放送授業の難易度は適切だった」では、50歳代が88%、60歳代が87%、(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」では20歳代が80%と評価が低かった。

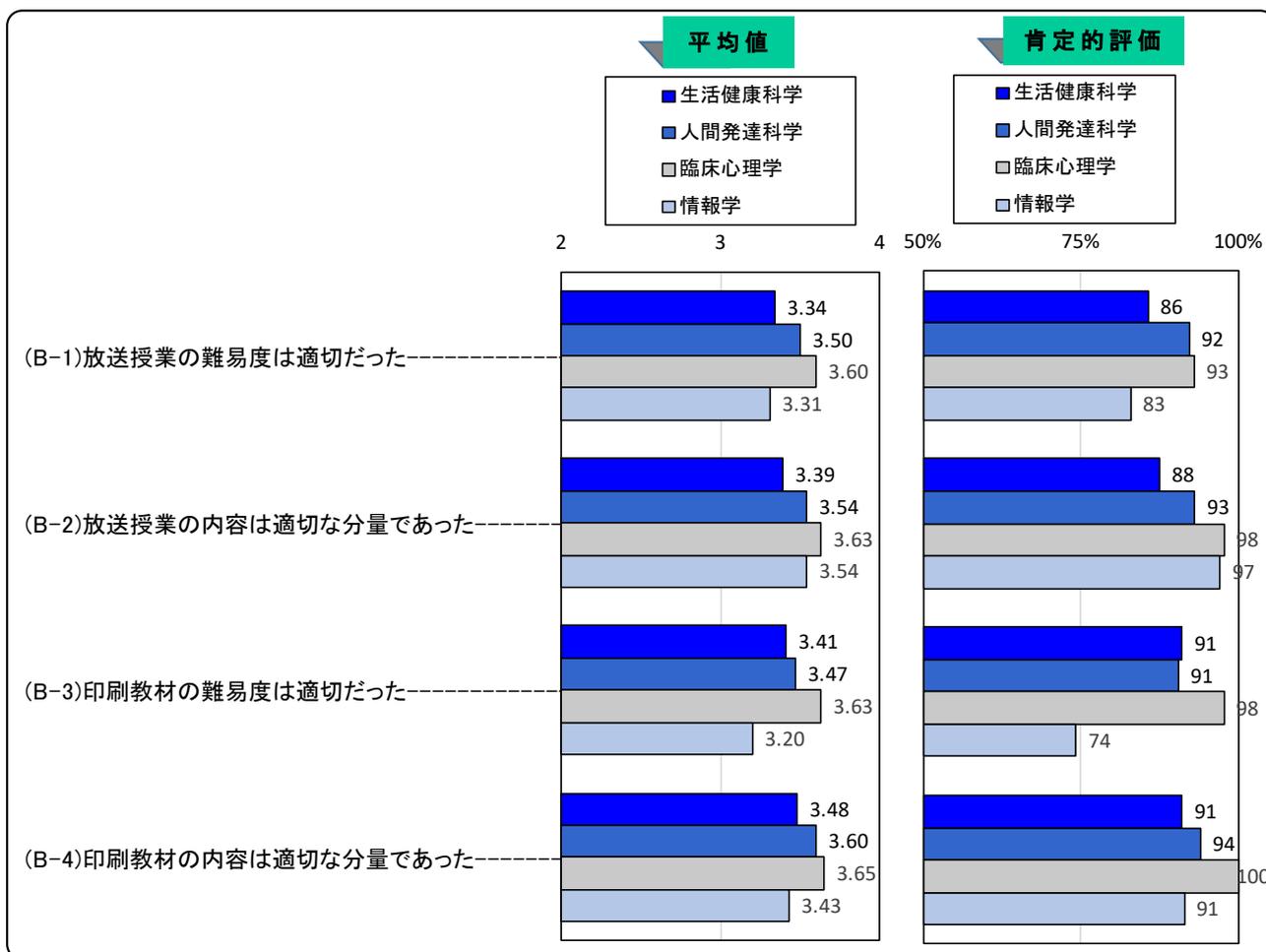
図2-71 【大学院】年齢階層別の授業難易度・分量の評価



所属プログラム別に授業の難易度・分量を見ると、全項目で「臨床心理学」が最も高い評価となった。また、(B-1)「放送授業の難易度は適切だった」では「人間発達科学」、(B-2)「放送授業の内容は適切な分量であった」では「情報学」も比較的高い評価となっていた。

一方で(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」では「情報学」が74%と顕著に低い評価となった。

図2-72 【大学院】所属プログラム別の授業難易度・分量の評価

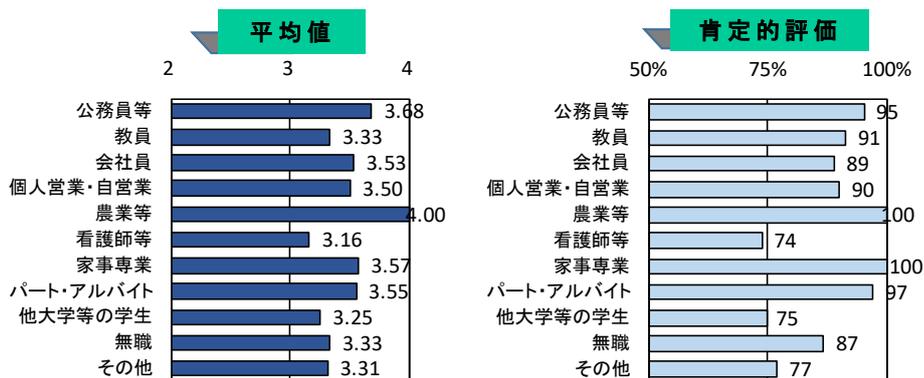


職業別に授業の難易度を見ると（次頁図2-73）、全ての項目で「公務員等」「個人営業・自営業」「パート・アルバイト」は90%以上と高い評価であった。一方で、「看護師等」「その他」は(B-1)「放送授業の難易度は適切だった」が74～77%、(B-2)「放送授業の内容は適切な分量であった」が84～85%となるなど、比較的評価が低かった。

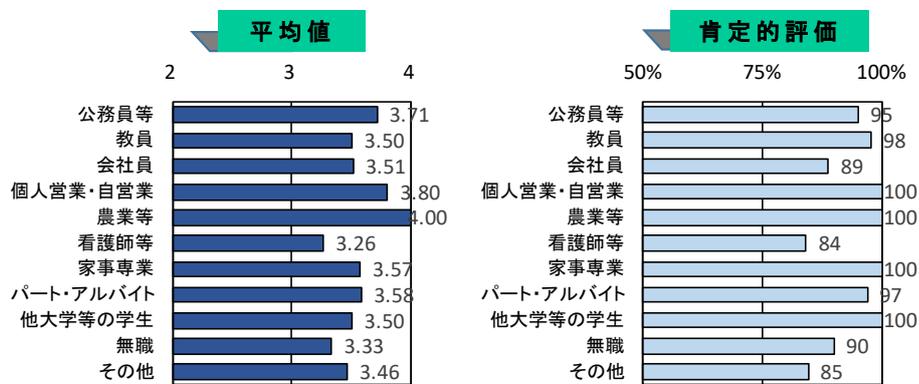
※「家事専業」（7人）「他大学等の学生」（4人）「農業等」（2人）は回答者が少人数だった為、誤差が大きく極端な値を取る場合がある為、コメントを割愛した。また、これ以降のページも同様とする。

図2-73【大学院】職業別の授業難易度の評価

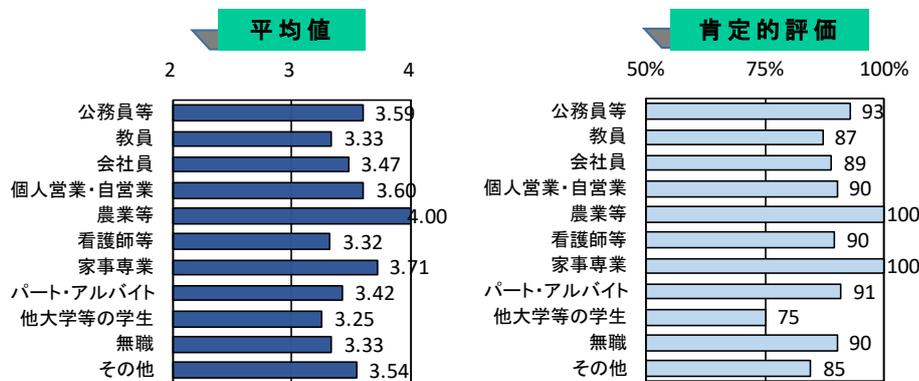
(B-1)放送授業の難易度は適切だった



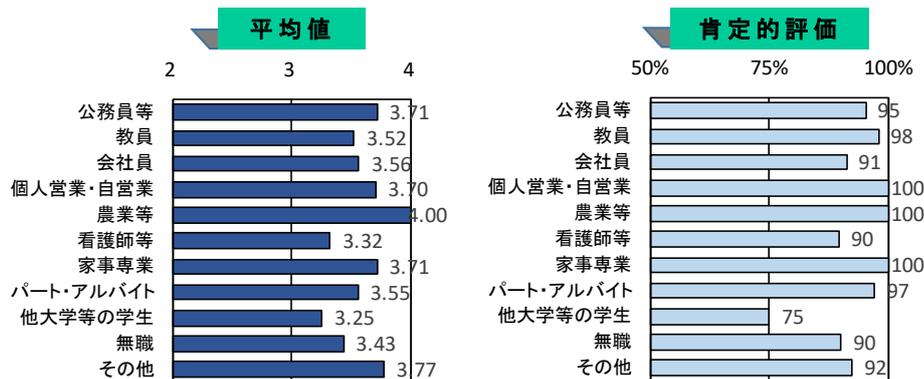
(B-2) 放送授業の内容は適切な分量であった



(B-3)印刷教材の難易度は適切だった



(B-4) 印刷教材の内容は適切な分量であった

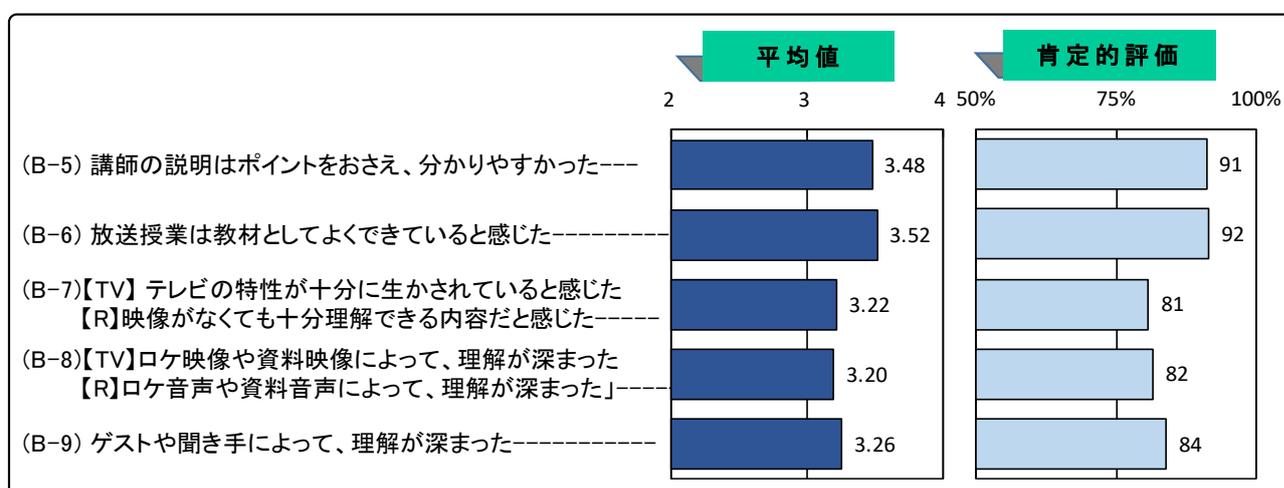


(3) 放送授業

ここからは放送授業について評価項目ごとに見ていく。

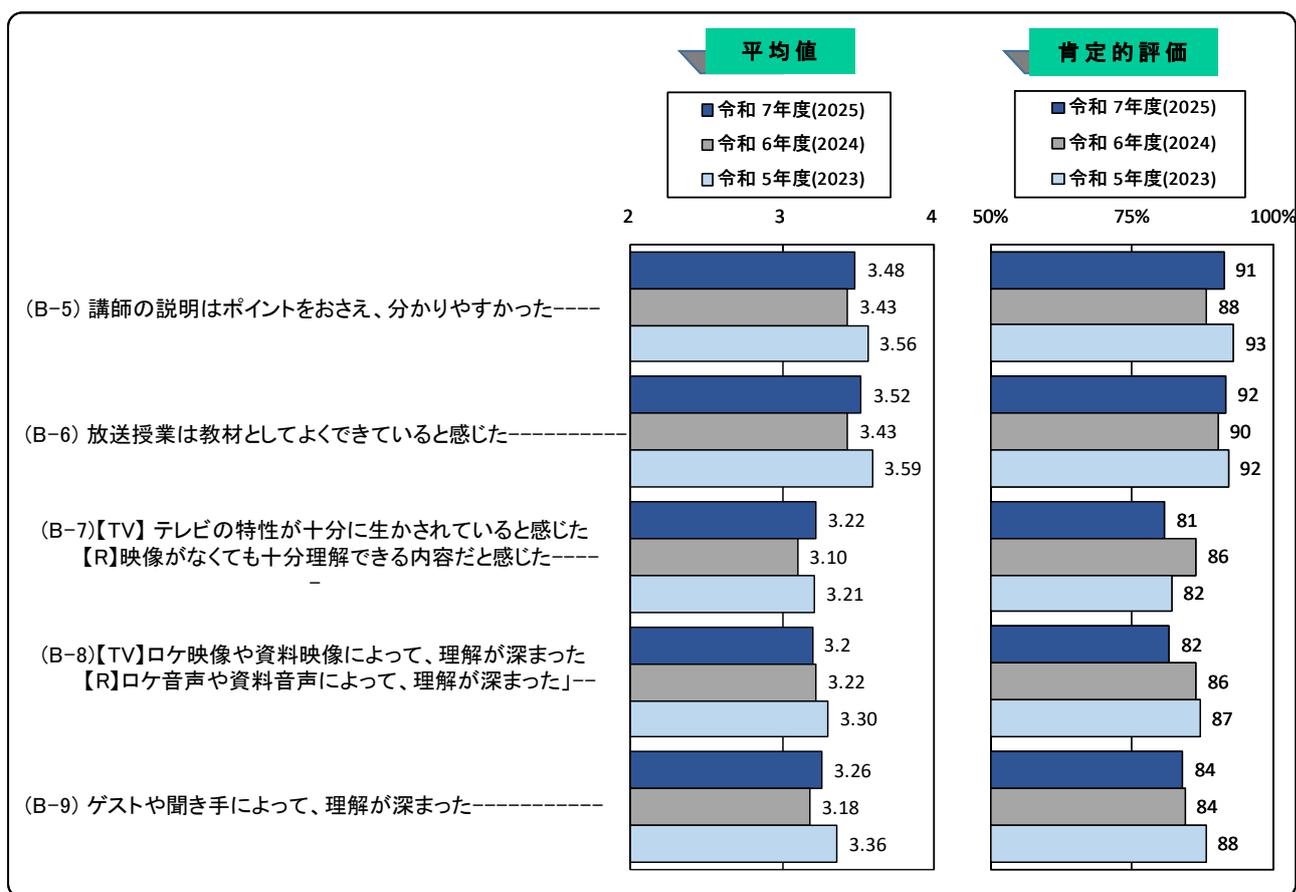
放送授業に関する評価項目を見ると（図2-74）、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」は91%、(B-6)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」は92%と評価が高かった一方で、(B-7)「【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」、(B-8)「【TV】ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった/【R】ロケ音声や資料音声によって、理解が深まった」、(B-9)「ゲストや聞き手によって、理解が深まった」は81~84%と比較的評価が低かった。

図2-74 【大学院】回答者全体の放送授業の評価



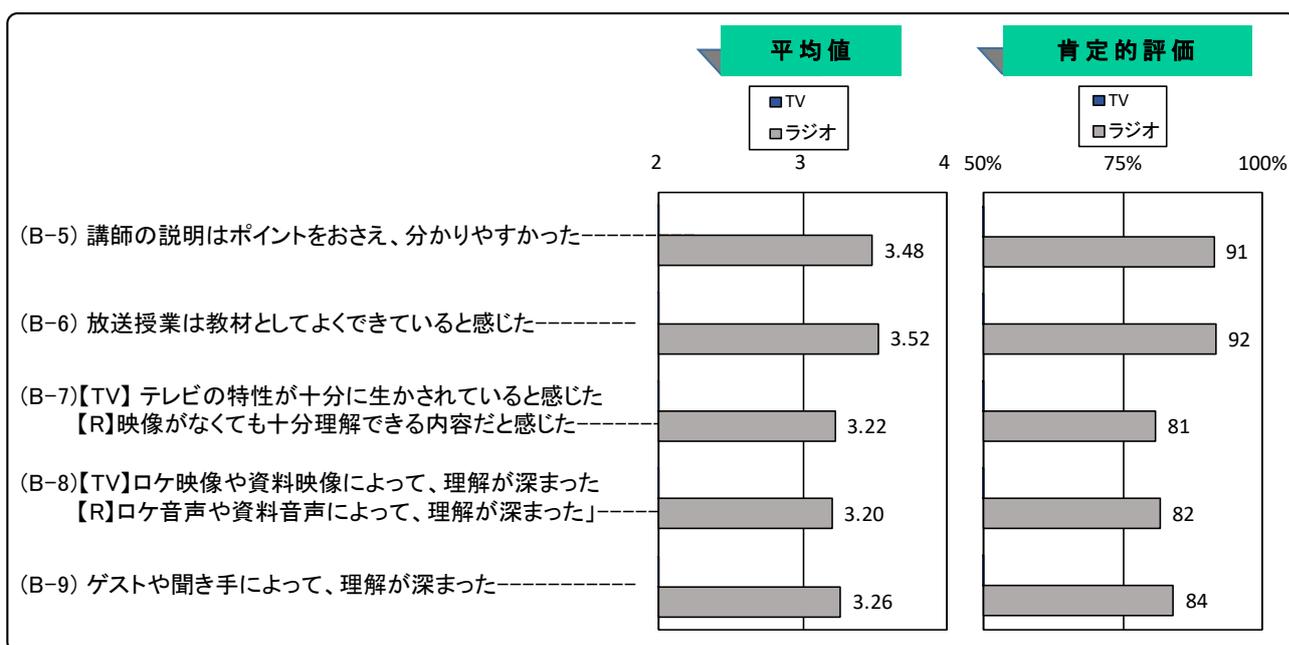
放送授業の評価を時系列で見ると（図2-75）、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」は91%、(B-6)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」はそれぞれ昨年度から1~3ポイント増加したものの、(B-7)「【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」は5ポイント、(B-8)「【TV】ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった【R】ロケ音声や資料音声によって、理解が深まった」は4ポイント評価が下がった。

図2-75 【大学院】回答者全体の放送授業の評価（時系列）



ラジオ科目の放送授業の肯定的評価を見ると（図2-76）、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」は91%、(B-6)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」は92%と評価が高かった一方で、(B-7)「【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」、(B-8)「【TV】ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった/【R】ロケ音声や資料音声によって、理解が深まった」、(B-9)「ゲストや聞き手によって、理解が深まった」は81～84%と比較的評価が低かった。

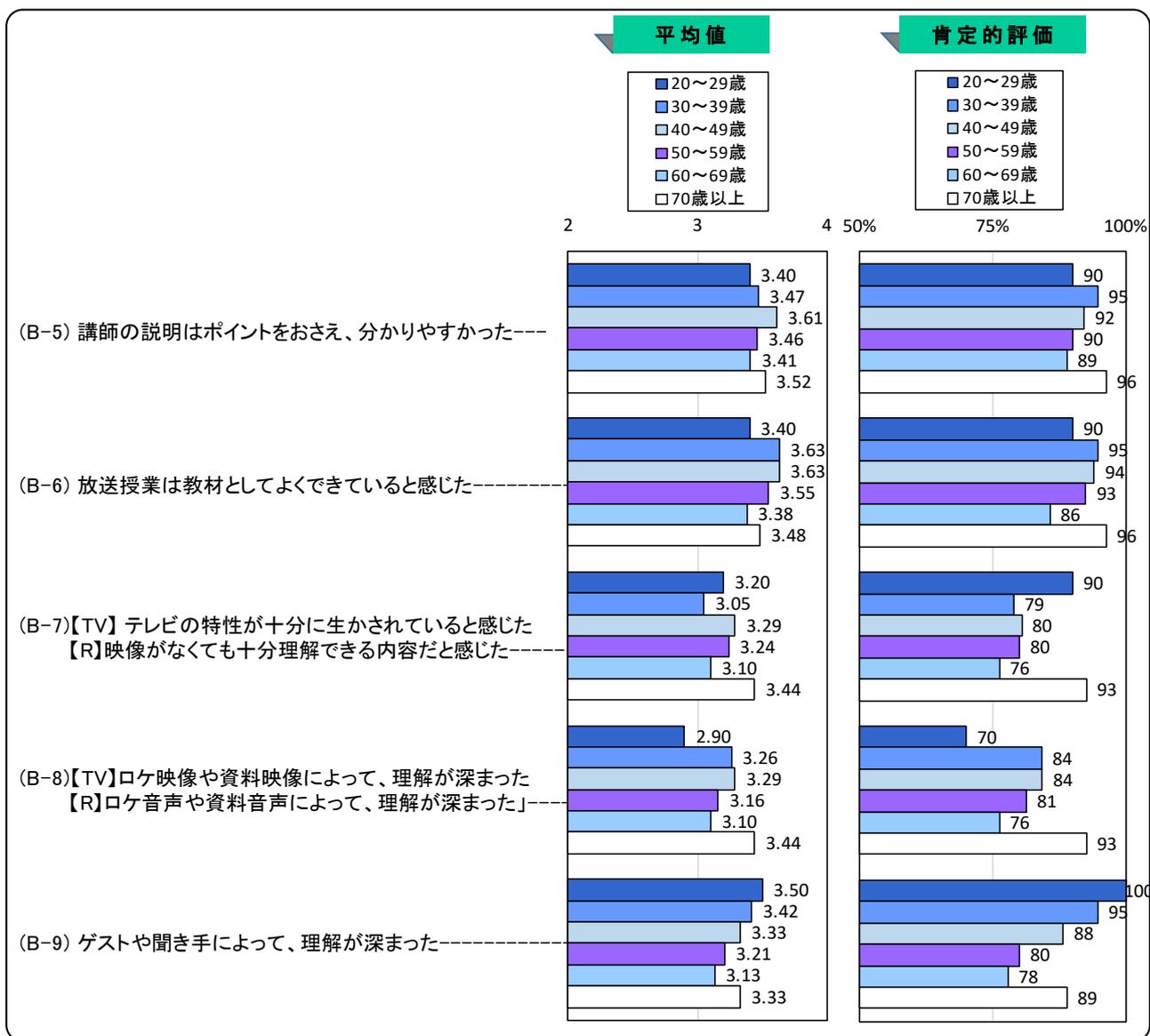
図2-76【大学院】メディア別の放送授業の評価（時系列）



年齢階層別では（図2-77）、(B-9)「ゲストや聞き手によって、理解が深まった」を除く全ての項目で70歳以上の評価が最も高かった。一方で(B-9)「ゲストや聞き手によって、理解が深まった」は20歳代・30歳代の評価が高かった。

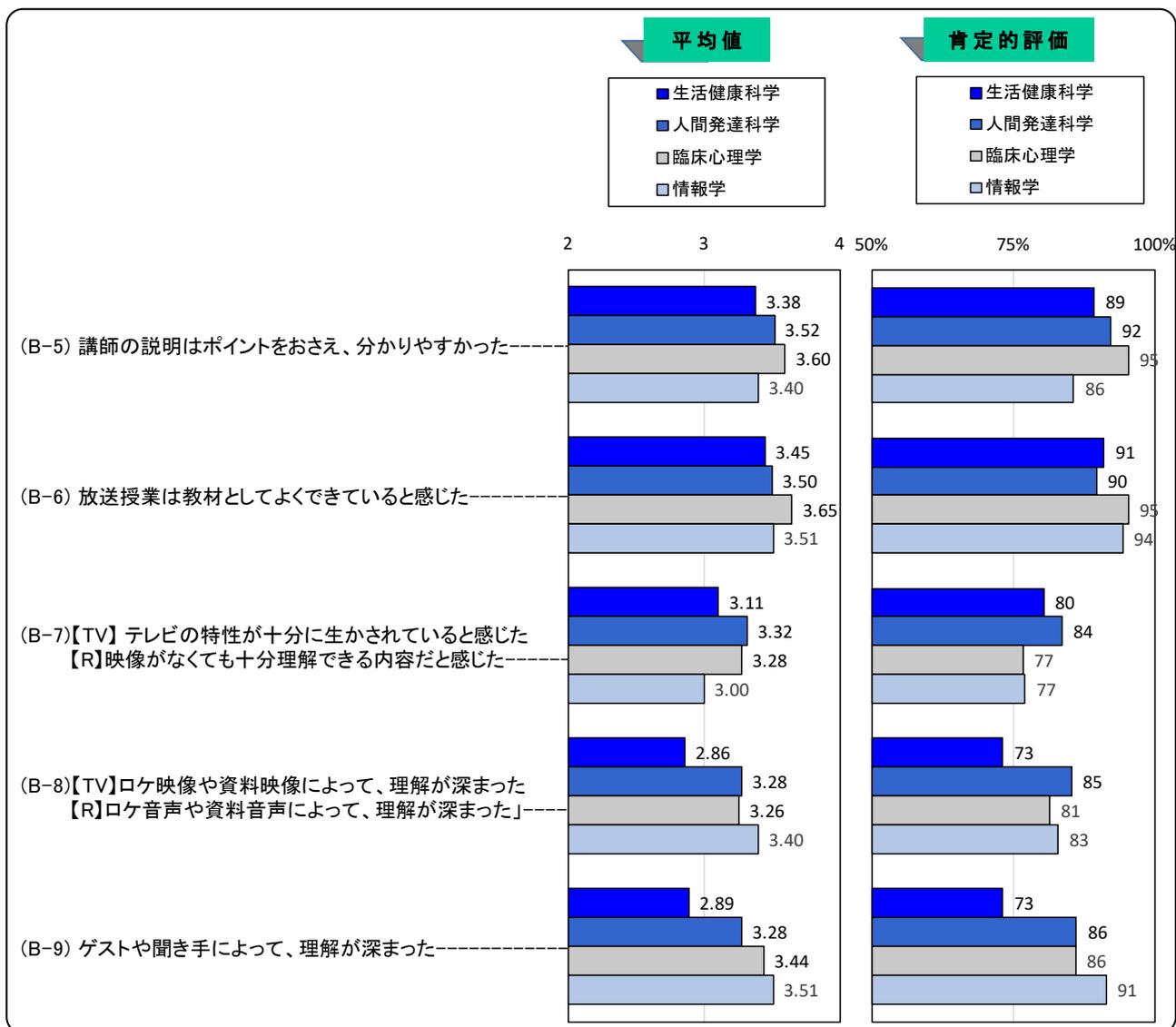
全体的に評価が低かったのは60歳代で、(B-8)「【TV】ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった/【R】ロケ音声や資料音声によって、理解が深まった」を除く項目で最も低い評価となっていた。

図2-77 【大学院】年齢階層別の放送授業の評価



所属プログラム別では（図2-78）、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」、(B-6)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」は、「臨床心理学」が95%と最も評価が高かった。一方で、(B-7)「【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」、(B-8)「【TV】ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった【R】ロケ音声や資料音声によって、理解が深まった」では「人間発達科学」、(B-9)「ゲストや聞き手によって、理解が深まった」は「情報学」の評価が最も高いなど、プログラムによって評価が高い項目にばらつきが見られた。

図2-78 【大学院】所属プログラム別の放送授業の評価

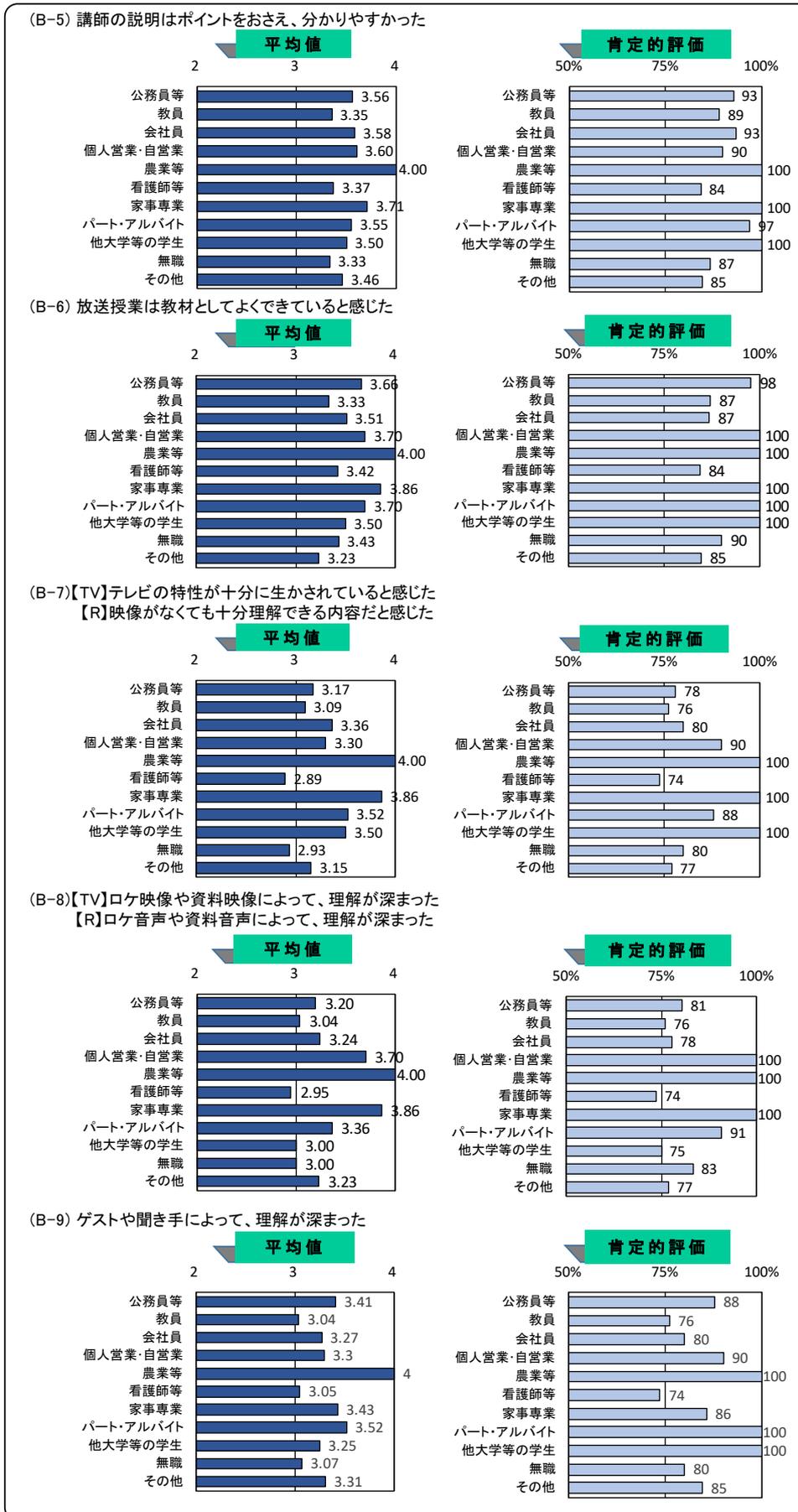


職業別では（次頁図 2 - 7 9）、「個人営業・自営業」「パート・アルバイト」が総じて評価が高かった。

一方で「教員」「看護師等」「その他」は、全項目で総じて低い評価となった。中でも、(B-7)「【TV】テレビの特性が十分に活かされていると感じた【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」、(B-8)「【TV】ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった【R】ロケ音声や資料音声によって、理解が深まった」、(B-9)「ゲストや聞き手によって、理解が深まった」では、「教員」「看護師等」が全て 70%台となるなど、特に評価が低かった。

※「家事専業」（7 人）「他大学等の学生」（4 人）「農業等」（2 人）は回答者が少人数だった為、誤差が大きく極端な値を取る場合がある為、コメントを割愛した。また、これ以降のページも同様とする。

図2-79【大学院】職業別の放送授業の評価

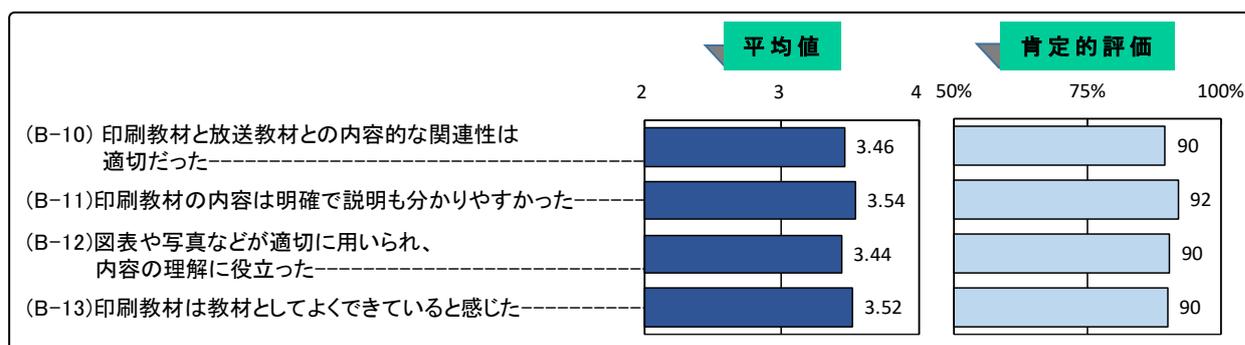


(4) 印刷教材

ここからは印刷教材について、評価項目ごとに見ていく。

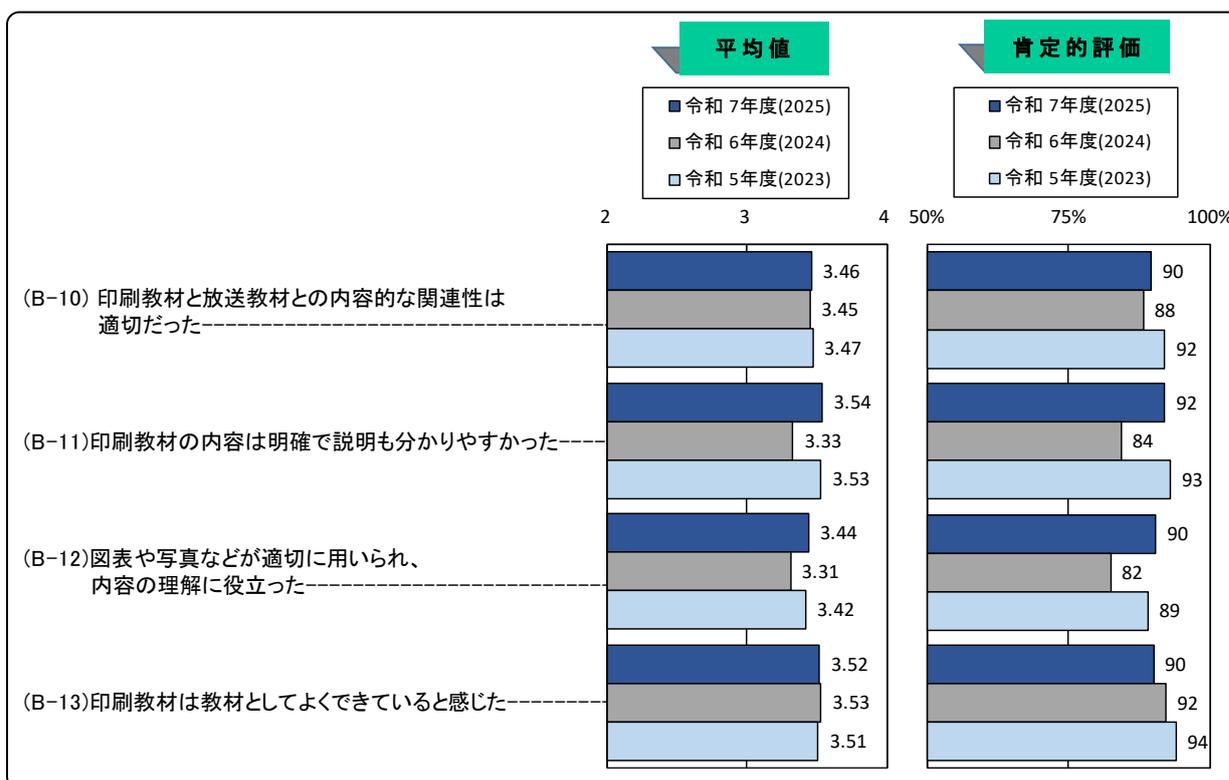
印刷教材の評価項目では（図2-80）、全項目で90%以上と評価が高かった。

図2-80【大学院】回答者全体の印刷教材の評価



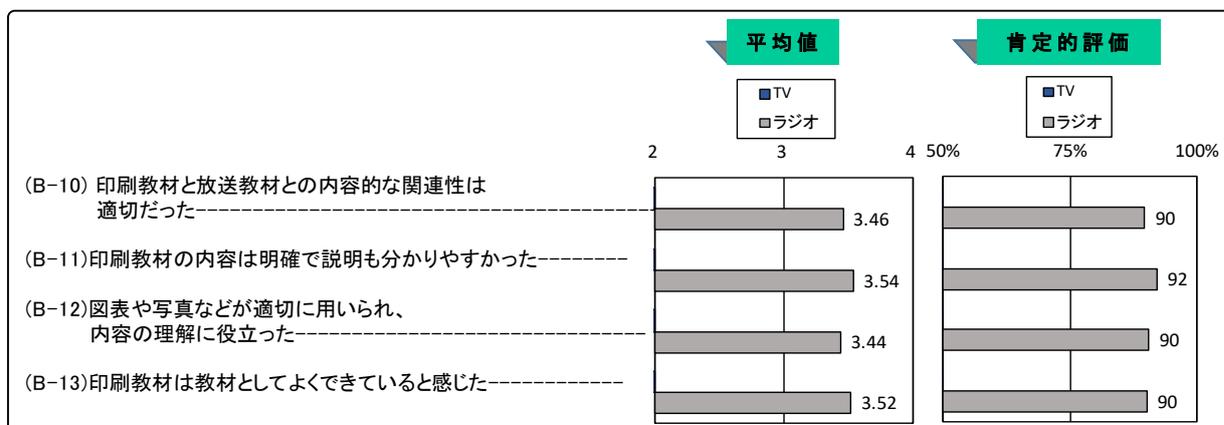
印刷教材の評価を時系列で見ると（図2-81）、本年度は昨年度と比べ(B-11)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」、(B-12)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」は8ポイント増加。一方で、「(B-13)印刷教材は教材としてよくできていると感じた」は2ポイント減少した。

図2-81 【大学院】回答者全体の印刷教材の評価（時系列）



ラジオ科目は、全体傾向同様、全項目で 90%以上と高い評価であった。

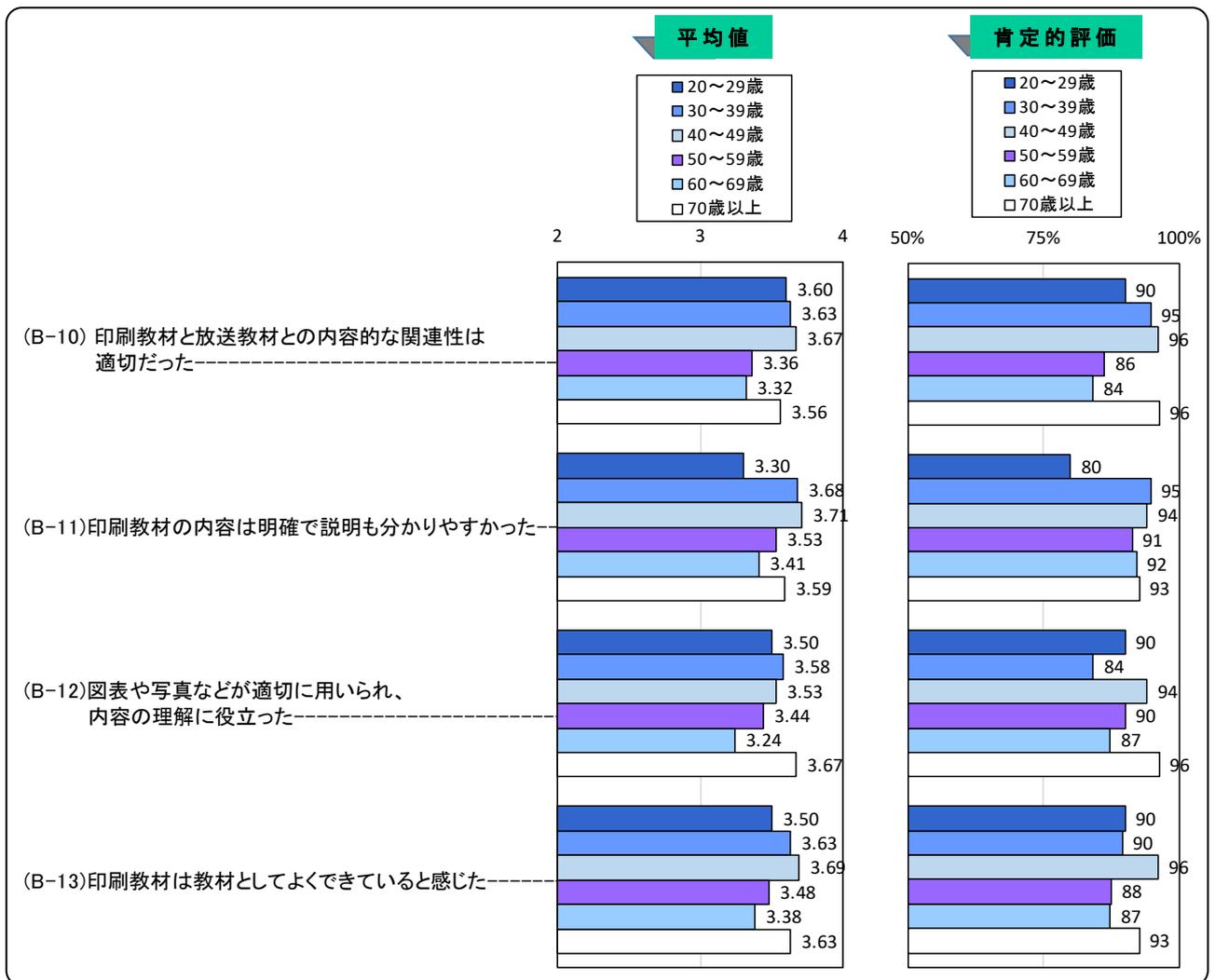
図 2-82 【大学院】メディア別の印刷教材の評価



年齢階層別の評価（図2-83）では、全ての項目で40歳代、70歳以上の評価が90%以上と高かった。また、(B-10)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」、(B-11)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」では30歳代の評価が高く、特に(B-11)は95%で最も評価が高かった。

全体的に著しく評価の低い項目は見られないものの、(B-10)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」は50歳代が86%、60歳代が84%とやや評価が低かった。

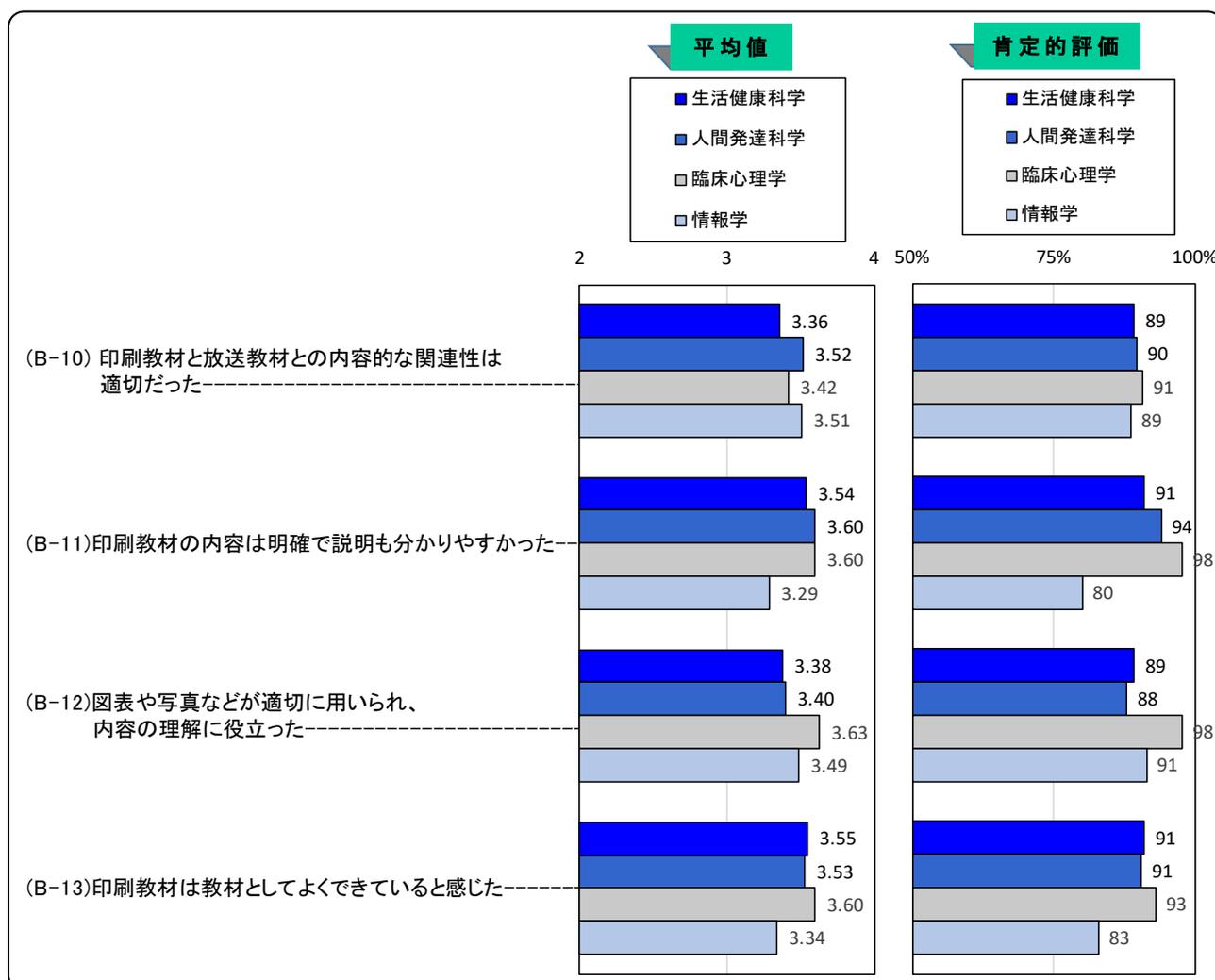
図2-83【大学院】年齢階層別の印刷教材の評価



所属プログラム別の評価を見ると（図2-84）、全項目で「臨床心理学」の評価が最も高かった。

一方で「情報学」は、(B-12)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」以外の項目で最も低い評価となっており、特に(B-11)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」は80%と低い評価となった。

図2-84 【大学院】所属プログラム別の印刷教材の評価



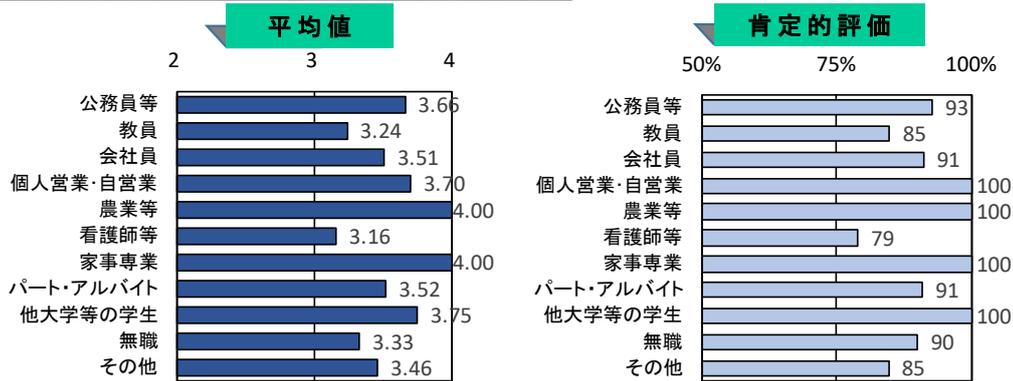
職業別では（次頁図 2 - 8 5）、(B-11)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」を除いて、「個人営業・自営業」が 100%と評価が高かった。また、「パート・アルバイト」も、(B-12)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」が 100%、他項目も 90%以上と比較的評価が高かった。

一方、「看護師等」は(B-11)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」を除いて 79～84%、「無職」は(B-10)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」を除いて 77～83%と評価が低かった。

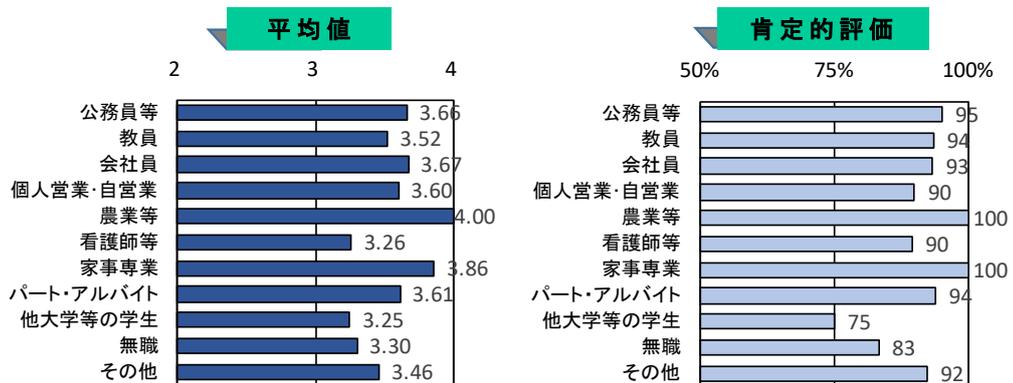
※「家事専業」(7 人)「他大学等の学生」(4 人)「農業等」(2 人)は回答者が少人数だった為、誤差が大きく極端な値を取る場合がある為、コメントを割愛した。また、これ以降のページも同様とする。

図 2-85 【大学院】職業別の印刷教材の評価

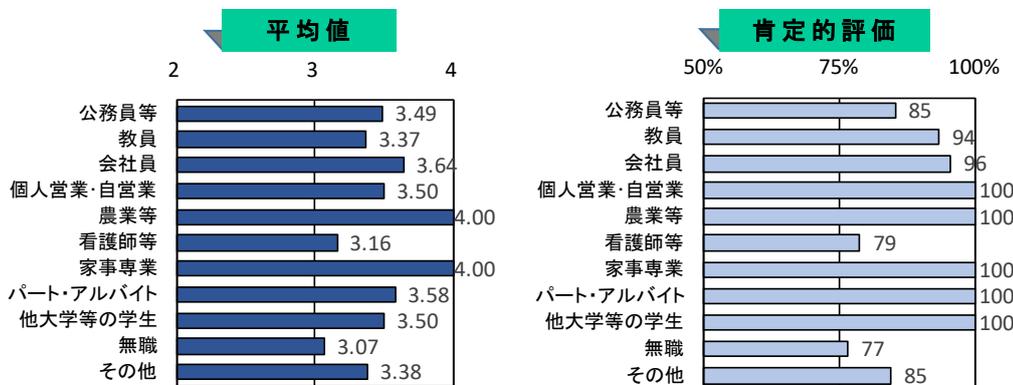
(B-10) 印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった



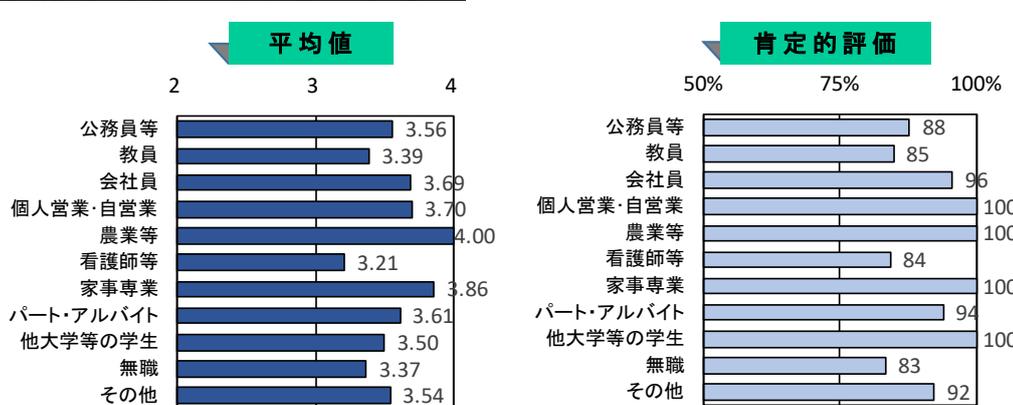
(B-11) 印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった



(B-12) 図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った



(B-13) 印刷教材は教材としてよくできていると感じた

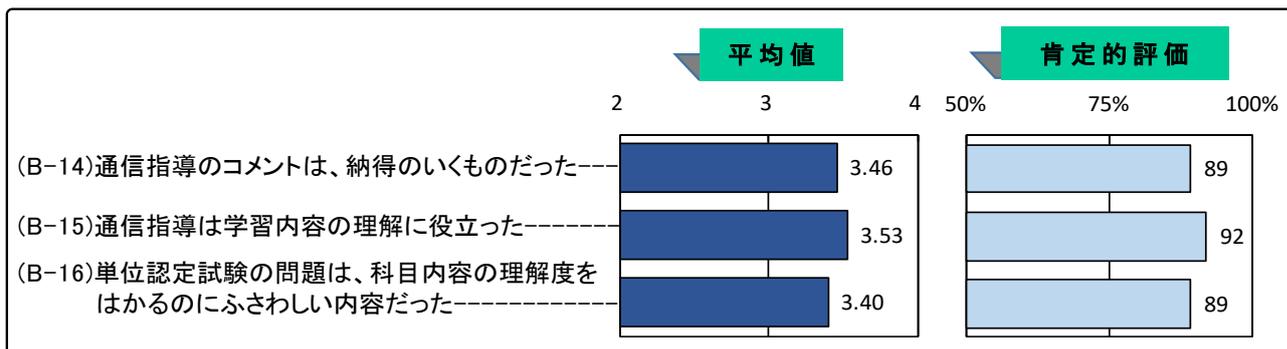


(5) 通信指導・単位認定試験

最後に通信指導・単位認定試験の評価について項目ごとに見ていくことにする。

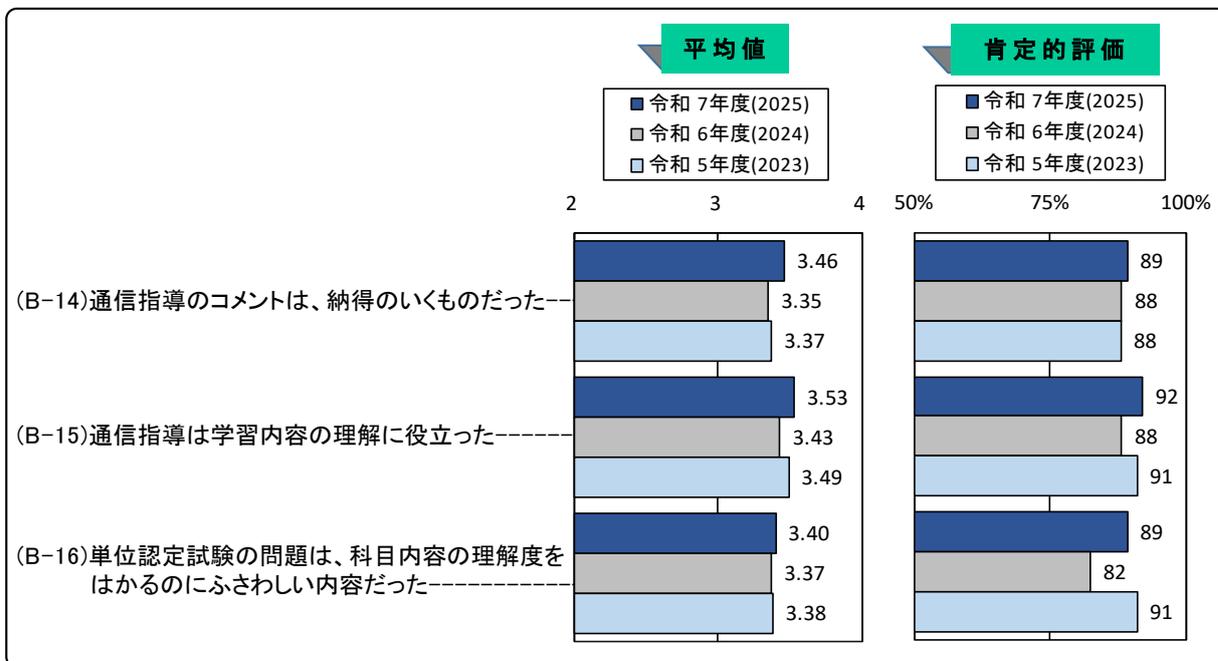
(図2-86)の通信指導については、(B-15)「通信指導は学習内容の理解に役立った」が92%、(B-14)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」、(B-16)「単位認定試験の問題は、科目内容の理解度ををはかるのにふさわしい内容だった」は89%であった。

図2-86【大学院】回答者全体の通信指導・単位認定試験の評価



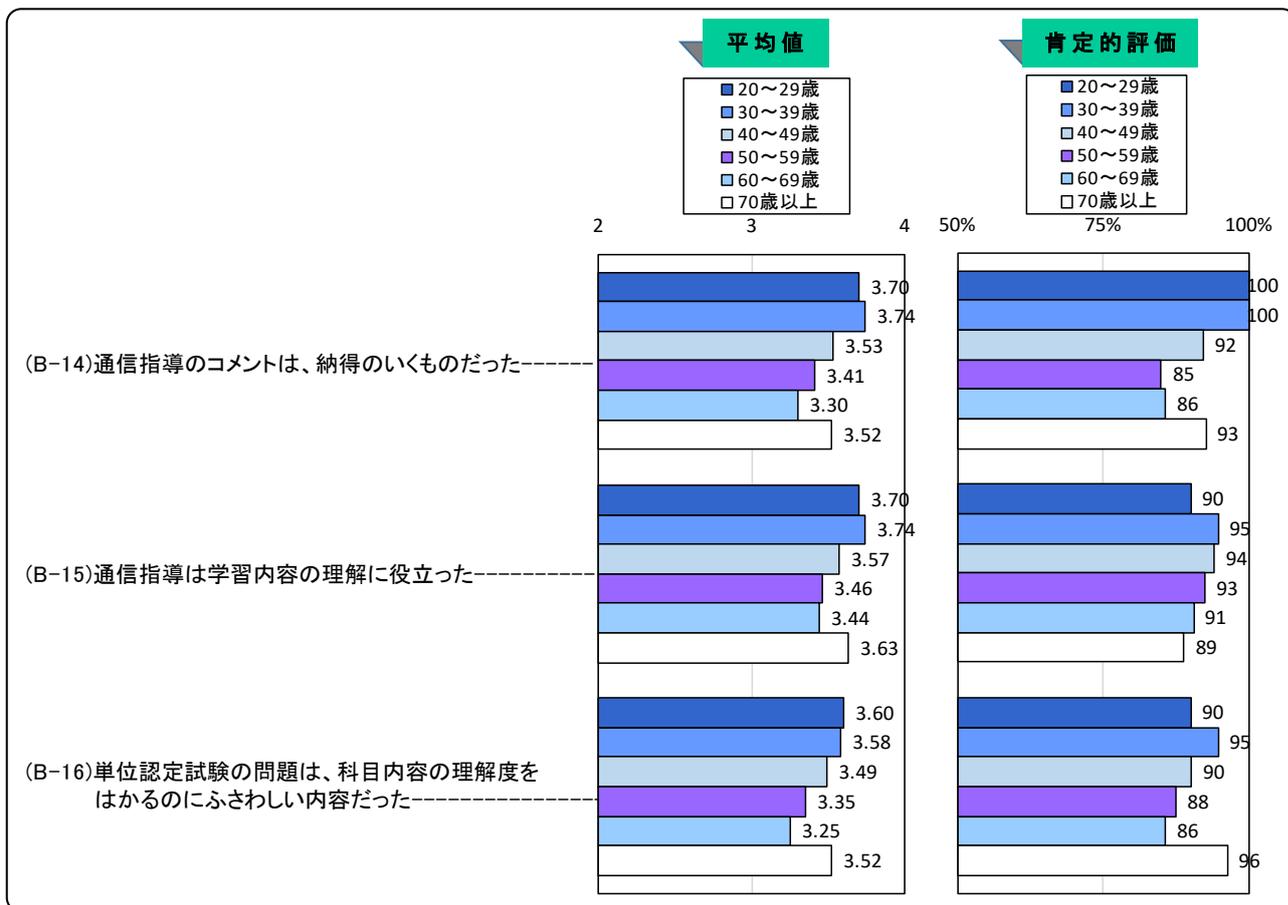
通信指導・単位認定試験の評価を時系列で見ると(図2-87)、今年度は総じて前年度を上回っており、中でも(B-16)「単位認定試験の問題は、科目内容の理解度ををはかるのにふさわしい内容だった」は7ポイント増加した。

図2-87【大学院】回答者全体の通信指導・単位認定試験の評価(時系列)



年齢階層別の評価（図2-88）では、20歳・30歳代・40歳代が全項目で90%以上と高く評価していた。一方で、50歳代・60歳代は(B-14)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」が85～86%、(B-16)「単位認定試験の問題は、科目内容の理解度ををはかるのにふさわしい内容だった」が86～88%と、評価が低かった。

図2-88 【大学院】年齢階層別の通信指導・単位認定試験の評価

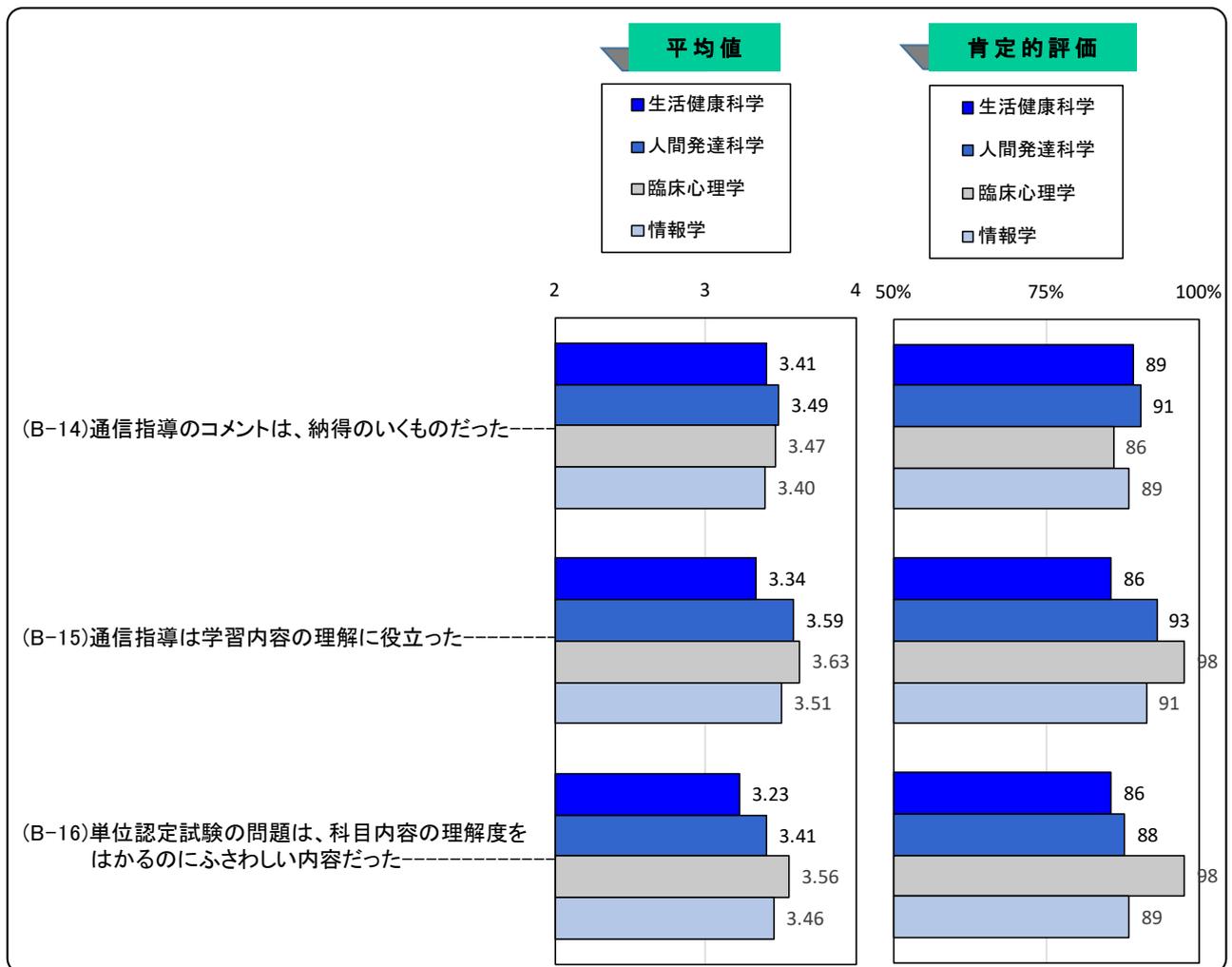


所属プログラム別では（図2-89）、(B-14)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」は「人間発達科学」が91%と最も評価が高かった。

また、(B-15)「通信指導は学習内容の理解に役立った」は、(B-16)「単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった」は「臨床心理学」が98%と非常に高い評価となっていた。

一方で「生活健康科学」は全項目で80%台と、比較的評価が低かった。

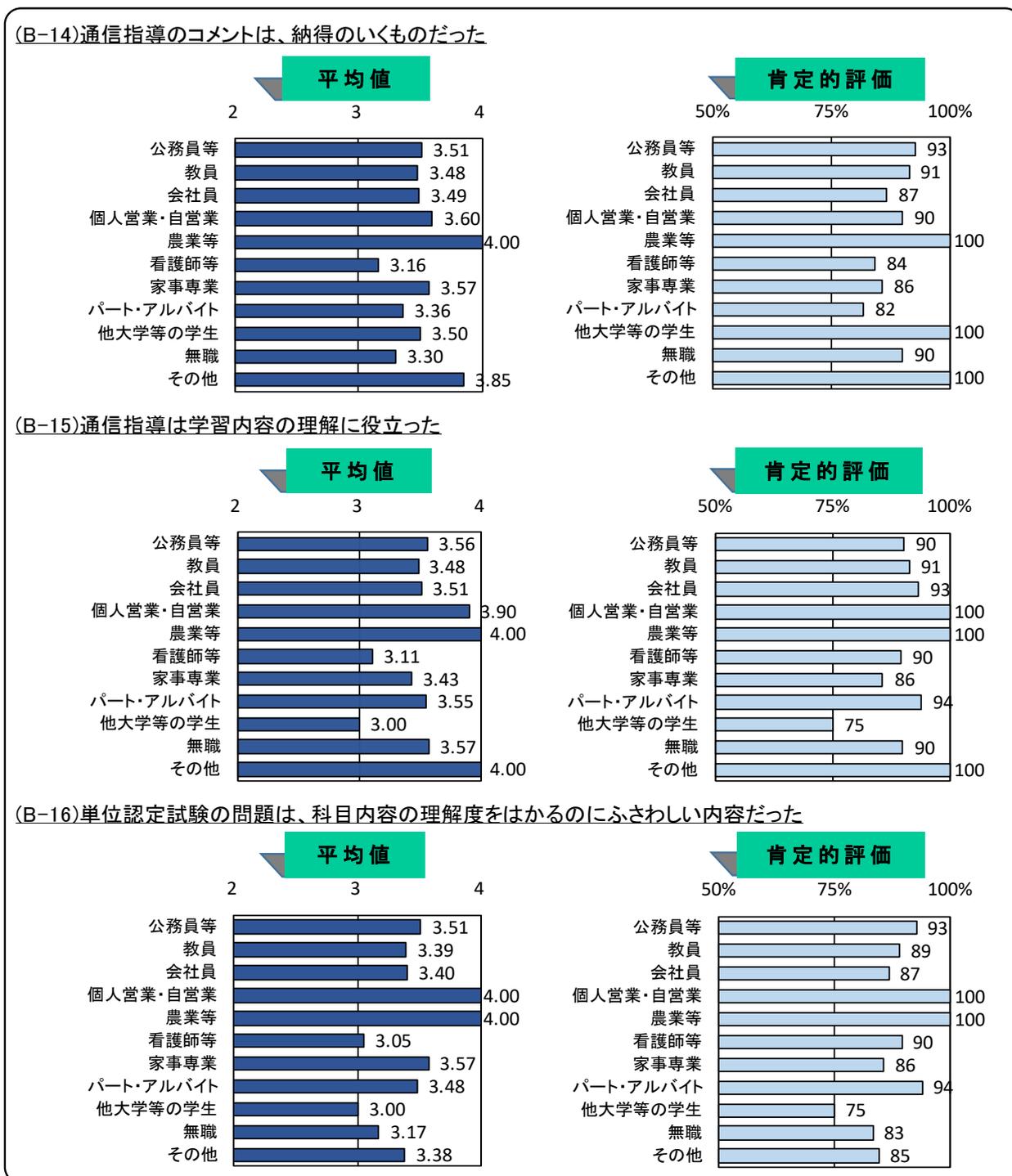
図2-89【大学院】所属プログラム別の通信指導・単位認定試験の評価



職業別では（図2-90）、全項目で「公務員等」「個人営業・自営業」の評価が90%以上と評価が高かった。

一方で、(B-14)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」は、「看護師等」「パート・アルバイト」が82~84%と低かった。

図2-90【大学院】職業別の通信指導・単位認定試験の評価



Ⅱ-2-4. 大学院の重回帰分析

大学院でも学部同様、重回帰分析を試みた。

その重回帰分析とは、数量データである目的変数と説明変数の関係を調べ、重回帰式（モデル式）を導き出す解析手法である。

今回も、全体の満足度（B-21）「この科目の内容には全体として満足している」を目的変数とし、調査票 I.A「授業への取り組み姿勢」を除く B-1～B-20 の各項目を説明変数として分析を試みる。

本調査の選択肢はカテゴリーデータであるが、平均値の算出と同様『あてはまる→4』のように数値をポイント化する事で数量として扱い、重回帰分析を適用する。

最終的には「全体の満足度」に寄与する項目を明らかにすると共に、その影響力の強さを知る事を目的としている。

項目名	変数	対象
目的変数	y	全体の満足度：B-21
説明変数	x_1, x_2, \dots	各項目 B-1～B-20：全 20 問（項目）
係数	a_1, a_2, \dots	重回帰分析によって得られる偏回帰係数

重回帰式 $y = a_0 + a_1x_1 + a_2x_2 + \dots + a_{20}x_{20}$ （説明変数が全 20 問の場合）

分析には、IBM SPSS Statistics 24 を使用した。変数選択方法は、ステップワイズ法を採用した。変数の選択基準は、F 検定有意確率で、投入 $F \leq .05$ 、除去 $F \geq .10$ とした。VIF はすべて 10 未満で多重共線性がないことを確認したうえで重回帰分析を行った。

使用したデータは質問項目 I.B の全設問を全て回答した 250 人のローデータを使用した。最終的に 13 変数が除去され、7 変数のモデルとなった。結果は以下の通りである。

■分析精度

自由度修正済み決定係数とは、得られた重回帰式が目的変数に対してどれだけ説明力（寄与度）があるかを示す指標で、「1」に近いほど良い結果で、この分析では 0.729 となった。

ダーヴィンワトソン比とは、残差同士の系列相関（自己相関）を示す指標で 0～4 までの値を示し、1 以下や 3 以上だと残差（誤差）に規則性があり、解析自体あるいはデータ自体に問題があり、「2」近辺の値ならよいとされるもので、その値は 1.876 となった。以上の結果から、問題のない結果が得られた事が示されている。

◆分析精度

決定係数	0.729
自由度修正済み決定係数	0.721
ダーヴィンワトソン比	1.876
残差の標準偏差	0.347

今回の重回帰分析は、分散分析表が示すとおり、有意水準 0.01 の判定で、かなりの精度で式の当てはまりの良さが確認できた。

(有意水準とは危険率と同義で 0.01 の場合、判定を誤る確率が 1%である事を表している。)

◆分散分析表

変動	偏差平方和	自由度	不偏分散	分散比	p値	判定
全体変動	111.056	249				
回帰による変動	80.988	7	12	93.118	0.000	[**]
回帰からの残差変動	30.068	242	0.124			

凡例	有意水準	凡例	有意水準
[**]	0.01	[*]	0.05

下表にある標準偏回帰係数とは説明変数の相互比較を可能にするためのもので、各説明変数の目的変数に対する影響力の度合いがこれで分かる。

その結果から「全体の満足度(B-21)」に寄与する項目で、その寄与度が最も高かったのは、B-18「放送授業の内容は適切な分量であった。」(0.299)で、次いで B-19「新しい知識が身につく視野が広がった。」(0.211)、B-1「<授業の難易度・分量>放送授業の難易度は適切だった。」(0.152)と続いていた。今後、「全体の満足度」(本年度の肯定的評価 90.5%)を上げるためには、この3項目に加えて、授業科目案内の充実、科目内容の理解度促進が、肯定的評価を上げるために効果的であると考えられる。

目的変数	標準変回帰係数	説明変数	判定
B-21-全体の満足度	0.299	B-18-学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった。	[**]
	0.211	B-19-新しい知識が身につく視野が広がった。	[**]
	0.152	B-1-<授業の難易度・分量>放送授業の難易度は適切だった。	[**]
	0.112	B-17-<全体評価>授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った。	[*]
	0.110	B-20-この科目の内容を全体としてよく理解できた。	[*]
	0.109	B-11-印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった。	[*]
	0.087	B-12-図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った。	[*]
		定数項	

Ⅲ. 自由記述のまとめ

自由記述については、オンラインを除く放送授業受講者には以下の4問の質問を行った。

C-1.この科目を受講してよかったと思う点

C-2.この科目を受講して、放送授業をさらによくするために改善すべきだと感じた点（例：ロケ、ゲスト、図表等の画像、演出の工夫等）

C-3.この科目を受講して、その他のことで改善すべきだと感じた点

C-4.この科目に限らず、本学の教育内容や教育方法等についてご意見やご感想
また、オンライン受講者には、下記3問の質問であった。

B-19.この科目を受講してよかったと思う点

B-20.この科目を受講して改善すべきだと感じた点

B-21.この科目に限らず、本学の教育内容や教育方法等についてご意見やご感想

掲載した内容は、自由記述のグラフ、代表的な意見の抜粋、個々の記述内容を要約し、それぞれをカウントした、度数カウント表である。

グラフ化した質問内容は、放送授業では前掲の C-1～C-3 を、オンライン授業では B-19、B-20 である。

Ⅲ－１．学部（放送授業）

ここからは、全体との比較で当該科目がどういう傾向にあったのかを見ていきたい。
よかった点は、当該科目について回答された項目が3%以上となったものを掲載した。
改善点は、当該科目について回答された項目が3%以上か、比率の高い上位5項目を掲載した。

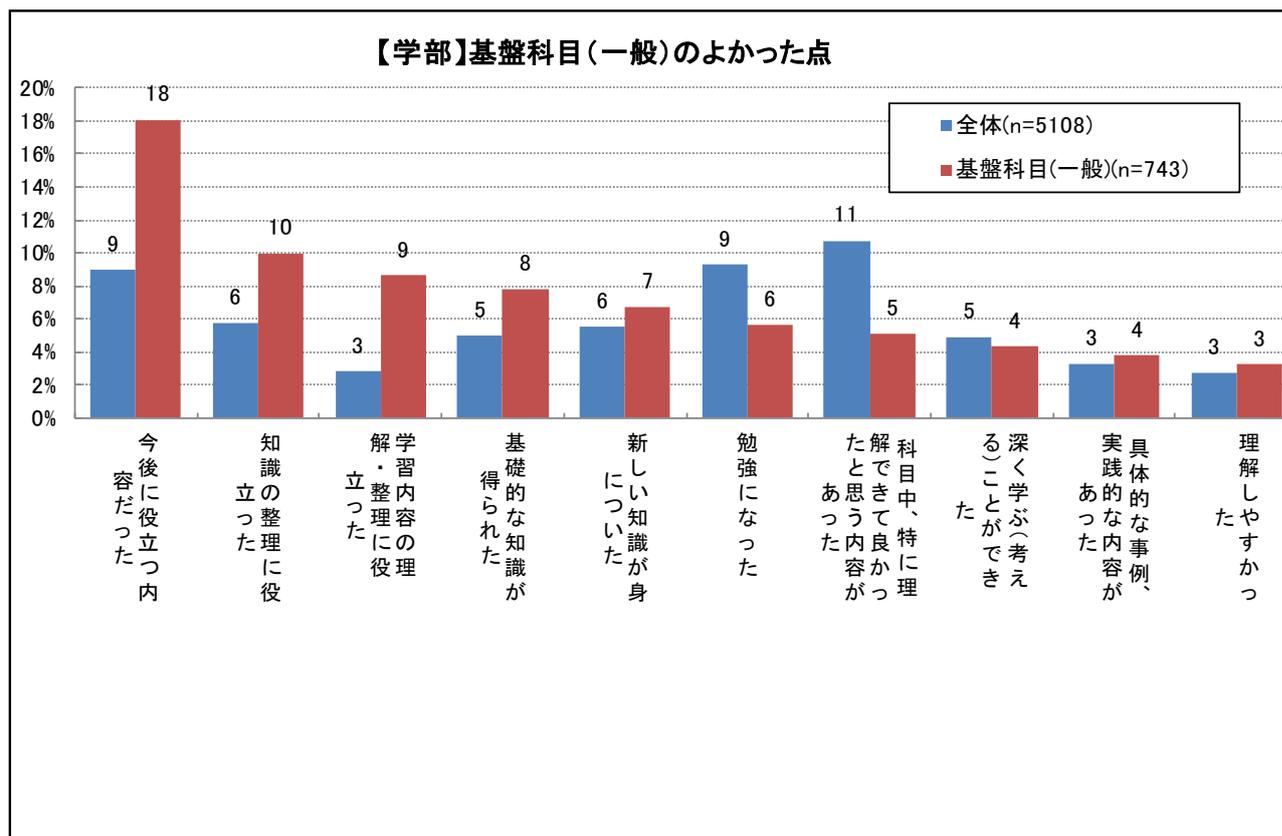
※改善すべき点については、前ページの C-2 と C-3 の問いをまとめて集計した結果を用いた。

【学部】「基盤科目（一般科目）」の傾向

よかった点

「今後役に役立つ内容だった」が18%で最多。次いで、「知識の整理に役立った」が10%、「学習内容の理解・整理に役立った」が9%、「基礎的な知識が得られた」が8%、「新しい知識が身についた」が7%で続いていた。

図3－1 【学部】よかった点

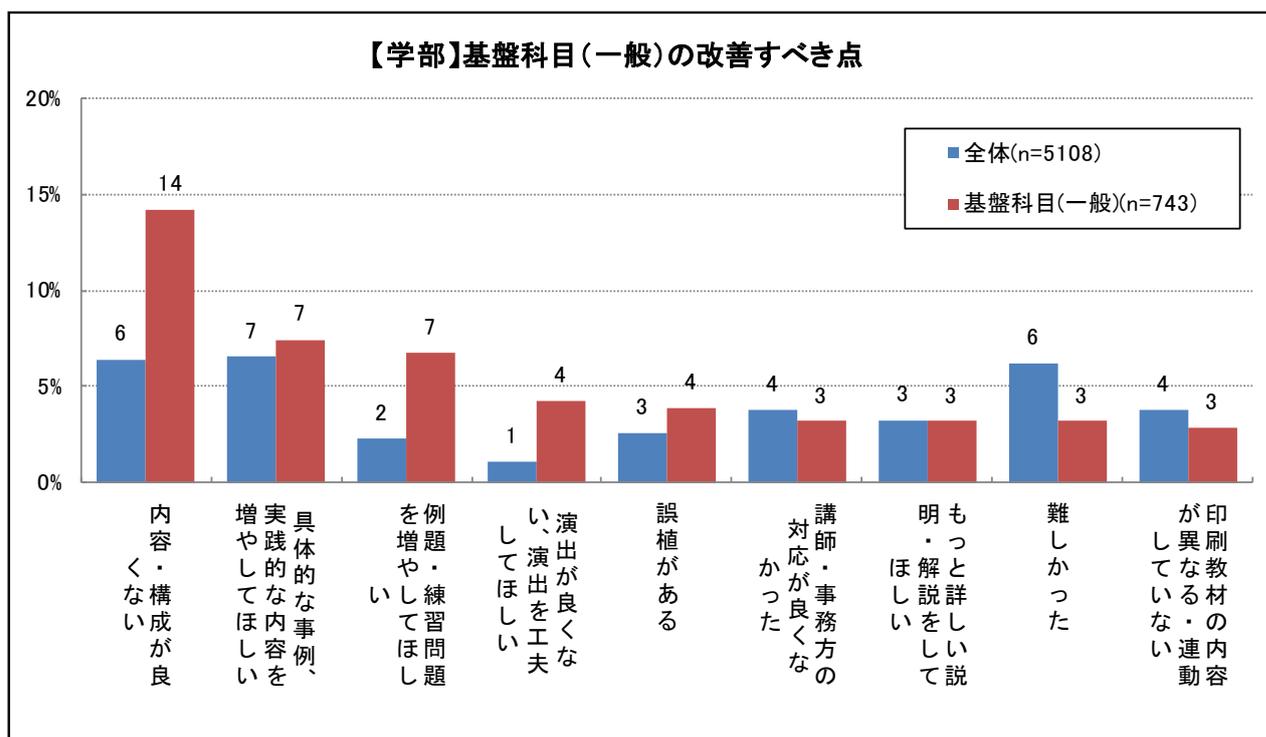


【学部】「基盤科目（一般科目）」の傾向

改善点

「内容・構成が良くない」が14%で最多。次いで、「具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい」「例題・練習問題を増やしてほしい」が7%、「演出が良くない、演出を工夫してほしい」「誤植がある」が4%で続いていた。

図3-2 【学部】改善すべき点



【学部】「基盤科目（一般科目）」 抜粋

よかった点

- 第6章の「図解化して見る」の説明は良かったと思います。82ページの図6-1の図解のパターンは参考になりました。
- 印刷教材とともに学ぶことでとてもわかりやすく学びやすかった。
- 受講後に1番テキストを開き直す科目だった。言葉、図解、付箋など、普段なんとなく使っているものを使う時のヒントが随所があり、具体的な部分は特に実践する時に手をつけやすかった。
- 実生活や職場での問題解決に繋がる内容もあって、参考になった。
- 問題解決についての全体感を理解することができた。
- 様々な図やグラフの扱い方等、普段感覚的に処理していることにも意味があると知ることができました。仕事で資料を作る際にも、伝わりやすい工夫ができると感じたので良かったと思います。
- 問題に対する解決方法のツールを詳しく知ることができた。
- 新しい今の時代に沿った内容で良かった。
- ウェブだけでできるか不安でしたが、Word、Excel、プレゼンが自分でできたことが自信になって、これからパソコンを活用していこうと思うようになりました。
- 7章の図書館の利用方法、8章の電子情報源の利用方法など大学ならではの情報収集方法を具体的に知ることができ良かった。
- 今まで自分の経験だけを頼りに行っていた作業が、実は科学的に体系化された技術だったことを知りました。自分の思考をアップデートさせる必要を感じました。
- 単位を取るまでに苦労しなかったところ
- 通信指導の時期に仕事が繁忙期となり提出が出来なかったが、授業内容については本業での業務改善等に活用できた。
- インターネットを使って放送大学を受講する者にとって、大変に役に立った。
- テレビでは授業バディの方がいたので教材を読むだけの内容ではなく楽しかった。放送大学の図書館の使い方やGoogleの論文検索を知ることができて有り難かった。
- 放送大学図書館やオンライン上の各種データベースの紹介は、今後の学びにおいてとても役に立ちそうでした。レポート作成の様々な技法を知ることができ活用したいと思う。
- 実際に様々な年代の学生ゲストへの授業形式の講義動画となっており、知識レベルとして同等の質問や画面遷移があり、良かったと思う。
- 問題解決について、社会に出て肌で感じながら学んできたことを授業として学ぶことができました。先生方やバディの方も語りが優しく、とても学びやすかったです。
- 普段使用したことのないパソコンの操作の様子を見れたのは大変参考になりました。様々な学生役の方がいて、講師の方の話も分かりやすく楽しい講義でした。
- 本科目に他の基盤科目と関連する授業内容があり、目的と目標の違いを踏まえて課題に取り組む方法を知るものであった。日常生活にいたるまで活用できる思考の整理術だと感じた。

【学部】「基盤科目（一般科目）」 抜粋

改善点

- 印刷教材の誤字脱字
- 印刷教材の図表等の画像が分かりにくかった。また、表示している場所も小さく、説明文を読んで照らし合わせながら見るのが難しかった。
- 図表等の画像を印刷教材のそれと関連付けてもらえるともっとわかりやすいと思う。
- 印刷教材にもう少し複雑な事例とその対処法についての具体的な説明があると良かったかもしれません。
- パソコン操作の場面がありますが、伝わりにくく感じました。別冊等を用意されていれば良いと思います。印刷教材に盛り込むと厚くなるし、小さくてわかりにくいと思います。
- 印刷教材は少し分かりにくい印象です。
- テキストの文字が小さすぎて、老眼の私には厳しいものがあります。もう一回り大きな文字で読みたいです。
- 棒読みではなく、緩急ある読み方で、重要事項をわかりやすく解説して。
- 45分という短い時間内での説明は駆け足的な部分があるのは理解できます。ただ第5章～第7章は数学的な部分とロジックが前提となります。私自身頭が硬くなってきていたので、格闘してしまいました。勝手ながら例えの工夫を多くして欲しいなと思いました。
- 表計算やパワーポイントの説明で、講師がどこのタブを押したかわかるように、押す瞬間をワイプで拡大してもらえるとよりわかりやすいと思った
- AIの事をもう少し取り上げて欲しかった。
- グループワークというのが少しだけわかったように思いますが、実際には行ってみないと理解はなかなか深められないと思った
- デザイン思考の説明でものつくりのプロジェクトに寄りすぎていて物のない問題と区別しにくかった。
- 講師は受講生の興味を引きつける工夫をして欲しい。講師の緊張感が学生に伝わるような話し方は、聞いていて楽しくない。原稿を読んでいることがわかる話し方は、興味を持ってない。
- 受講後も仕事上の問題解決が何一つできていない。具体的なやり方がわからない。糸口もつかめない。問題可決に向かうための仲間とのトレーニングが必要なのだろうか。結果的には次にはつながらなかった。
- 専門用語がすごく難しいです。新しく覚えるのが苦痛。
- 単位認定試験 50分が少し短いと感じた。しかし、テキストを見ながらテストを受けれるところは本当にありがたく感じました。
- 単位認定試験の問題で、WAKABAでのどこに何のページがあるか？という問いがあったが、サイトマップを記憶することではなく、目的の場所へ行けることが大事なのでは？この問題で何の能力を確認してるのかよく理解できない。
- 文章にすると複雑になる表現も見られました。単位認定試験の問4や問9です。これらはおそらく実際にパソコンを操作したほうが簡単なのではと思いました。
- 通信指導や試験内容に論述的な設問を加えるなどの工夫があっても良いのではないかと。知識の量ではなく質を高めることが学習の意義だから。
- 単位認定試験の問題が通信指導の時と比べると難易度が高くなりすぎだと思う。前期だけでプレゼンまで学ぶのは難しい。
- 通信指導ではインターネット放送学習や教科書に載っていない学習内容の選択肢があって戸惑った。
- アシスタントの女性の方の服装が好ましくないと感じました。1、2回の胸元が開いた服から嫌悪感を感じました。授業にふさわしい服装を心がけていただくと助かります。
- 資料作りをただ見るだけでは理解が深まらないので練習問題的なものを印刷資料に付加して次の授業はじめに回答を出すという双方向感があるといいと思います
- 表計算、文書などのソフトを操作する時にどこをクリックしたらいいのか、ということが2.3あったので言葉で捕捉するなどしていただければと思いました。
- 各章の連続の順番がどういうアプローチなのかをわかると、授業の見方ももう少し変わったかも知れません。

【学部】「一般科目」

よかった点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
今後に役立つ内容だった	67		67	学習内容の理解・整理に役立った	30		30
知識の整理に役立った	37		37	楽しかった	4		4
基礎的な知識が得られた	29		29	授業各回の内容・構成が良かった	4		4
新しい知識が身についた	25		25	良い授業だった	4		4
勉強になった	21		21	講師の解説が分かりやすかった	3		3
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった	19		19	現場取材や、第一線の方へのインタビューが良かった	3		3
深く学ぶ(考える)ことができた	16		16	科目全体の内容・構成が良かった	2		2
具体的な事例、実践的な内容があった	14		14	アシスタント・聞き手・ナビゲーターが良かった	2		2
理解しやすかった	10		10	メディアの特性に合った授業内容だった	2		2
視野が広がった	9		9	対話形式の授業が良かった	2		2
学習意欲・知識欲がわいた	9		9	理解しやすかった	1		1
興味・関心が持てた	8		8				
引用・参考文献・補助教材・問題集の紹介が良かった	8		8				
内容・構成が良かった	6		6				
楽しかった	4		4				
体系的に学べた・理解できた	4		4				
自分の意見・考えを持てるようになった	4		4				
身近に感じられる内容だった	3		3				
全体として満足している	3		3				
最新の情報・研究が学べた	2		2				
自分のペースで勉強できた	2		2				
学習センターや図書館が良かった・利用しやすかった	2		2				
自分の知識不足、学習不足を自覚できた	1		1				

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
手元に置き、今後も読みたい内容だった	2		2
理解しやすかった	1		1
学習内容の理解・整理に役立った	1		1
図・表・写真・イラストが見やすかった	1		1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
学習内容の理解・整理に役立った	1		1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
評価が良かった	1		1

改善点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
内容・構成が良くない	33		33	演出が良くない、演出を工夫してほしい	12		12
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい	21		21	内容・構成が良くない	7		7
例題・練習問題を増やしてほしい	19		19	不要なロケ、動画等がある	6		6
難しかった	9		9	印刷教材の内容が異なる・連動していない	5		5
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	9		9	講師以外は必要ない・違和感がある	4		4
講師・事務方の対応が良くなかった	9		9	印刷教材と異なる講義が聞きたい	3		3
教材が不十分だった(視覚教材、補助教材、他)	7		7	授業のテンポが良くない(早い・遅い)	3		3
内容の詰め込みすぎ	7		7	もっと深く学べるようにしてほしい	2		2
内容が浅い	4		4	双方向性が必要、オンライン科目にしてほしい	2		2
興味・意欲がわかなかった	4		4	放送授業中の資料・データを載せてほしい	2		2
参考文献・補助教材・問題集を紹介、発刊してほしい	3		3	放送授業の内容を印刷教材で解説してほしい	2		2
最新の内容を講義してほしい	3		3	一講義の授業時間がよくない(長い・短い)	2		2
現実に生かせる内容にしてほしい	3		3	授業科目案内内は内容が不十分だった	2		2
学校の対応(WAKABA、シラバスを含む)が不十分だった	2		2	テレビ科目にしてほしい	1		1
内容が基礎的で物足りなかった	2		2	理解しにくい	1		1
質問や相談がしたい	2		2	図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい	1		1
内容にまとまりがない	1		1	講師の解説・指導が良くなかった	1		1
講義内容と科目名に乖離がある	1		1	現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい	1		1
自分のペースで勉強できなかった	1		1	手話通訳、または字幕がほしい	1		1
資料・データ・映像・内容が古い、改訂してほしい	1		1	メディアの特性に合わない授業内容だった	1		1
期待していた内容ではなかった	1		1	システム面の改善が必要	1		1
面接授業・実習を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	1		1	ゲストや別の講師を招いてほしい、増やしてほしい	1		1
視聴手段を増やしたり、便利な機能、工夫がほしい	1		1	(各章ごとの)まとめや学習ポイント・総括がほしい	1		1
				ポイントがつかみにくい	1		1
				講師によって授業のレベルが違う	1		1
				重要な情報はテロップ等で表示してほしい、長く表示してほしい	1		1
				授業に興味・関心が持てなかった	1		1
				講師は1人の方が良い	1		1
				講師の熱意が伝わらない	1		1
				参考となる印刷教材の紹介がほしい	1		1
				例題、演習問題を解きながら解説してほしい	1		1
				インタビューやゲストの話が多い、時間を取られる、教材と関係のない話は不要	1		1
				内容が薄い・少なすぎる	1		1

印刷教材				通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
誤植がある	11		11	課題(問題)の範囲・難易度・量が適切ではない	1		1
図・表・写真・イラストが見づらい	5		5	課題(問題)が、放送授業・印刷教材と内容がずれている	1		1
印刷教材の内容が異なる・連動していない	3		3	記述式、および記述に関して改善してほしい	1		1
放送授業中の資料・データを載せてほしい	3		3				
授業に興味・関心が持てなかった	3		3				
理解しにくい	2		2				
詳細な解説がほしい	2		2				
図・表・写真・イラストを増やしてほしい	1		1				
色刷りにしてほしい	1		1				
文字が読みづらい	1		1				
引用・参考文献・補助教材・問題集を紹介してほしい	1		1				
放送授業中の資料・データ、ゲストの話を載せてほしい	1		1				
視聴手段を増やしたり、便利な機能、工夫がほしい	1		1				
DVD・CD、模型等、付録の添付を考えてほしい	1		1				
重要な言葉は太字や斜体、アンダーライン等わかりやすくしてほしい	1		1				
具体的な事例・実践的な内容を載せてほしい	1		1				

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
難易度を上げるべき	3		3
試験時間が短い、入力が間に合わない	1		1
試験の設問内容が理解しにくい・出題の仕方に違和感がある	1		1
Web試験では出力できないので計算や記入ができず難しい	1		1

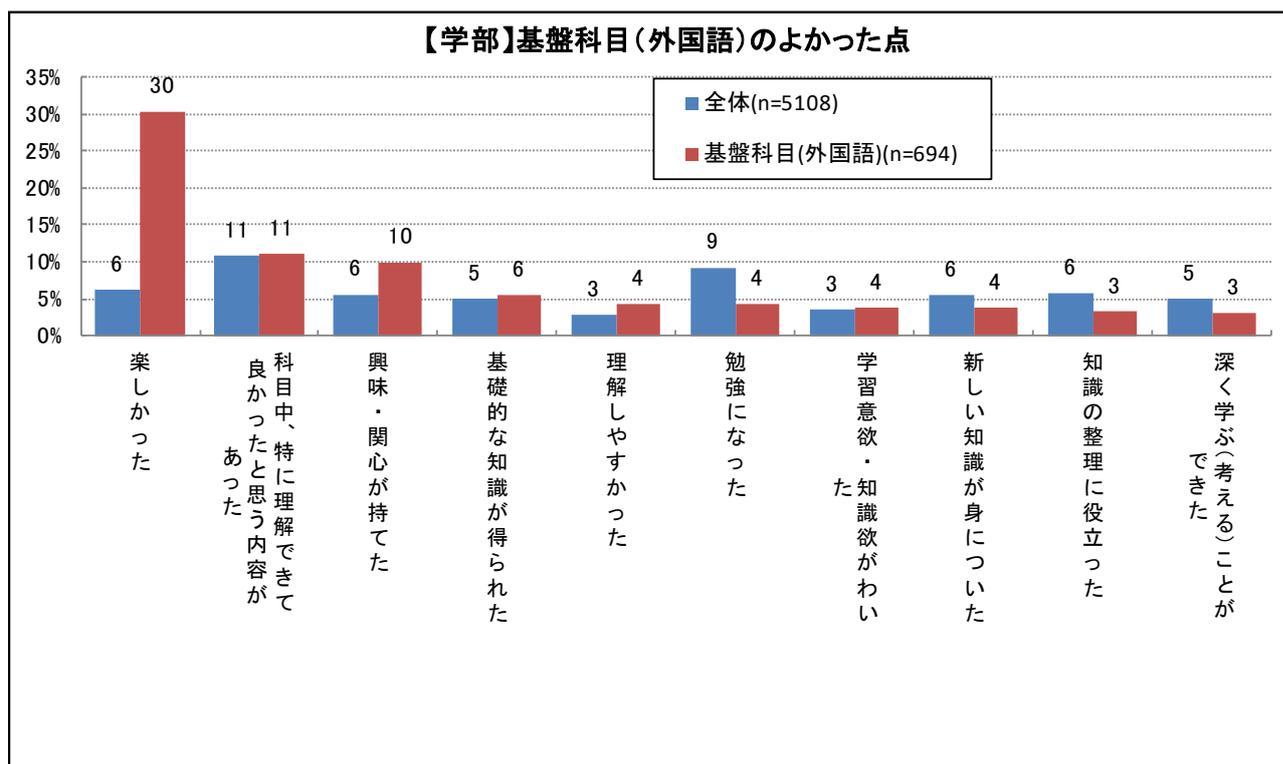
【学部】「基盤科目（外国語）」の傾向

よかった点

「楽しかった」が30%で最多。

以下、「科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった」が11%、「興味・関心が持てた」が10%、「基礎的な知識が得られた」が6%で続いていた。

図3-3 【学部】よかった点

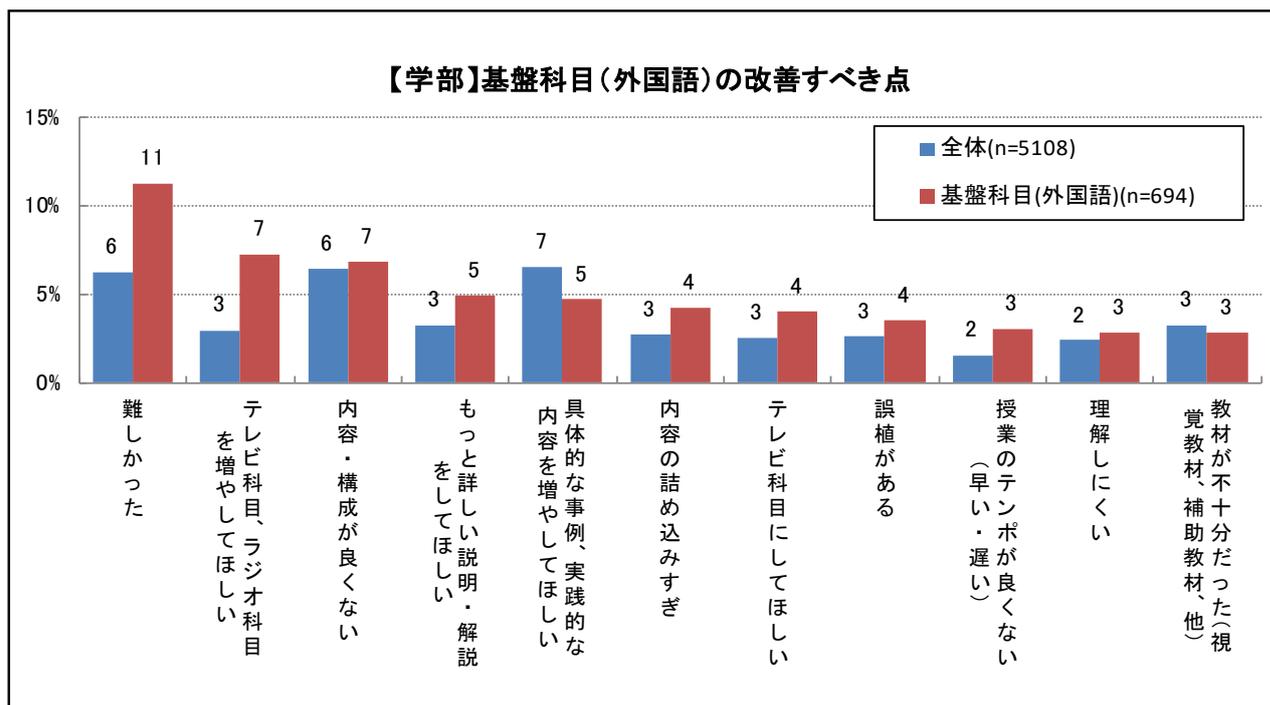


【学部】「基盤科目（外国語）」の傾向

改善点

「難しかった」が11%で最多。以下、「テレビ科目、ラジオ科目を増やしてほしい」、「内容・構成が良くない」が7%、「もっと詳しい説明・解説をしてほしい」、「具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい」が5%で続いていた。

図3-4 【学部】改善すべき点



【学部】「基盤科目（外国語）」 抜粋

よかった点

- スペイン語の入門的な内容が網羅されていて、今後学習を続けるうえで、基本のテキストとしてずっと使い続けられる内容だったのもよかった。音声も聞き取りやすかった。
- 今までの勉強ではもやもやしていたところが、よく理解できた。教科書がわかりやすくまとまっていて大変便利。韓国語と日本語の比較など、目からうろこのお話がとても興味深かった。
- 印刷教材が読んでいてとても面白い。
- 久しぶりにスペイン語が開講されるとのことで受講。案外に覚えている事柄が少なくなく、記憶も蘇って来て鍛錬になった。
- 言葉を勉強するだけでなく、現地の様子を講師自ら紹介し文化の理解も促そうとしている。コロナ禍が一段落したいま、このような取り組みはラジオ科目ではできないことだ。
- スペイン語の基礎的な文法を学ぶことが出来た点
- ビートルズについて知らないことを沢山知ることが出来た。活動年とかメンバーがそれぞれ作詞作曲していたとか。
- 英語を別の視点から考える良い機会となった
- 今回の学習から英語の学び方についてヒントを得ることができた。ビートルズを繰り返す聞き歌う事と好きなアメリカのバンドの和訳と歌うことに挑戦してみます。
- 英語の初歩を知ろうとした時に参考教科書に乗っている svoc の理解すらできていないことを理解できた。
- 韓国語を体系的に学ぶことができた。
- 自分一人での勉強だと、難しいのを理由に途中で何度も挫折をしてしまうが、最後までやり遂げる事が出来た。
- 受講を終えて苦手としている発音変化についての理解が深まり、問題を解くことが苦手ではなくなってきました。今回の講座を受講したおかげです。
- 必修の外国語の単位が修得できた。久しぶりにビートルズの曲をたくさん聴くことができた。
- ビートルズは兄の影響でずっと聞いてましたが、言葉の意味までは理解しておらず今回いい勉強になりました。次学期またトライします。
- 実際に歌を聴いたり、歌いながら授業を受けるのが面白かったです。
- 南米旅行のためにスペイン語を独学し、流れでスペイン語検定5級を5回不合格。放送大学で基礎を学んだうえで6回目を受けたところ合格できました。感謝しています。
- 自分自身日本語の教員をしていますが、自分が授業をする上で参考になりました。
- 放送教材・印刷教材ともに要点が整理されていてわかりやすかった。韓国現地でのロケ映像やゲストスピーカーの意見を通し韓国に対する解像度が上がった。
- 今まで文法中心主義的な背景を持つ「英語」と比べ、語学学習の根底から解説されている点が魅力的でした。

【学部】「基盤科目（外国語）」 抜粋

改善点

- テキストに単語索引があると、学習しやすくなるように思った。
- 文字と発音の一致が難しいので、ふりがなを付けてほしい。英字だと適当な発音でも読んで文字、意味を覚えられるが、ハングル文字は読むのに慣れていないので、単語が覚えられない。
- 絵や図などがあるとわかりやすかったかもしれません
- 教材の修正が多すぎる。事前に十分チェックすべき
- 限られた時間では難しいと思うのですが、印刷教材の参照先が章だったともう少し具体的な場所を支持できればと思いました。
- ラジオ放送だけでは、把握しづらい点(音と音とのつながり部分)があるので、印刷教材の方でより丁寧に説明してほしい。
- CD を作ってほしいです。スマホ版の放送授業は Youtube のように便利ではなく、会話の部分や単語の部分のみを繰り返し聞くことに向いていません。
- 単元のポイントをもっと強調したら、学習目標が立てやすくなると思う。
- 練習問題に対する解説が少なすぎると感じました。教科書の内容を読み上げているだけの部分よりも解説の時間を増やしてほしいです。
- 練習問題をもう少し多くしてほしい。最初のダイアログはほぼ必要なかった。
- 私は字幕が欲しいです。字幕があったほうが何を言っているのか理解しやすいです。
- 文法解説では、動詞の活用など複雑なルールを CG やアニメーションで視覚的に示すと、より理解が深まるのではないかと思います。
- スペイン語を話すスピードも速く、説明も時間内に進めないという感じで早く進められ、理解が追いつきませんでした。
- 単位認定試験は少々簡単すぎた感じがある。
- 英語の試験なのにウラ、オモテのような拍取りの問題が出るのは何故だろうと疑問に感じています。
- テキスト、提出課題、自習型問題、当日試験すべてに誤りがあり受講していてとても不安でした。次回から誤りがないように改善を切に希望します。
- とにかく内容が多くて、半年間でマスターするのは難しいと感じた。せめて、初歩のスペイン語1、初歩のスペイン語2、くらいに分けてほしい。
- 通信指導、間違いが散見し、時間がなかったのかなあ…という印象でした。
- 通信指導の後の英文法の部分（後半のところ）を詳しく学びたかった。
- 個人指導が多少はあると思っていました。書面で自宅に送られてきた指導もネットでみた解説と同じでしたので、少々残念だと思いました。
- 中間テスト、一次試験等の名前なら、気がつけたのかもと思います。通信指導という名称のためか、自分には関係のないことと感違いしてしまいました。
- 放送授業中で時折引用されている曲のタイトルが分からず印刷教材にも書かれていないものが幾つかありました。曲名も印刷教材に書かれているとなお理解が深まる。
- ゲストスピーカーや講師の読む韓国語のスピードが速すぎて、放送で理解を確認しながら学ぶというわけにはいきませんでした。
- この教科はラジオ番組なので文字放送がない。文字放送を入れて下さると、もっと興味を持ってラジオ番組を視聴する事ができたかなと思う。
- 初めてのスペイン語だったため、ラジオと印刷教材だけでは中々理解することが難しかったです。テレビでの授業の方が良かったと感じました。
- 夕方から夜間の時間帯は回線が込みあっていると感じます。放送授業が途中でストップしてしまい、学習のストレスになっています。

【学部】「外国語」

よかった点

(単位:人)

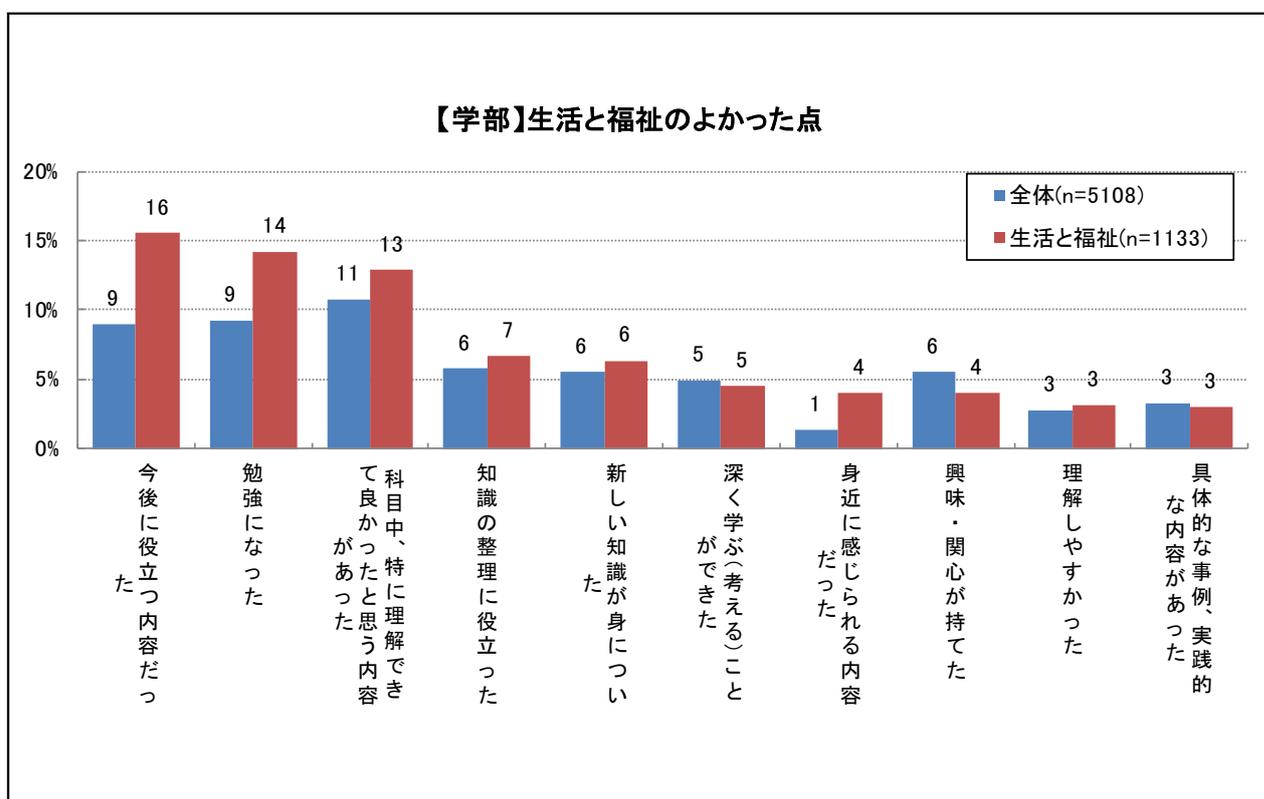
科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
楽しかった	9	76	85	楽しかった	6	30	36
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった	10	34	44	授業各回の内容・構成が良かった	2	5	7
興味・関心が持てた	6	34	40	講師の解説が分かりやすかった	3	4	7
基礎的な知識が得られた	11	11	22	講師が良かった		3	3
勉強になった	4	13	17	理解しやすかった	1	1	2
新しい知識が身についた	9	6	15	学習内容の理解・整理に役立った		2	2
学習意欲・知識欲がわいた	3	11	14	良い授業だった		1	1
知識の整理に役立った	3	10	13	メディアの特性に合った授業内容だった		1	1
深く学ぶ(考える)ことができた		12	12	現場取材や、第一線の方へのインタビューが良かった	1		1
理解しやすかった	3	9	12				
全体として満足している	1	8	9	印刷教材			
内容・構成が良かった		6	6	意見	テレビ	ラジオ	合計
具体的な事例、実践的な内容があった	2	4	6	理解しやすかった	1	2	3
視野が広がった	1	4	5	内容・構成が良かった		2	2
今後に役立つ内容だった	2	2	4	良い教材だった	2		2
身近に感じられる内容だった	2	1	3	読み物として面白い内容だった		2	2
自分の知識不足、学習不足を自覚できた	1	2	3	手元に置き、今後も読みたい内容だった		1	1
体系的に学べた・理解できた	2		2				
自分のペースで勉強できた	1	1	2	単位認定試験			
専門的な内容だった		1	1	意見	テレビ	ラジオ	合計
				科目内容の理解度ををはかるのに相応しい内容だった	2	2	4
				評価が良かった		1	1
				学習意欲・知識欲がわいた		1	1

【学部】「生活と福祉」の傾向

よかった点

「今後に役立つ内容だった」が16%で最多。次いで「勉強になった」が14%、「科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった」が13%で続いていた。

図3-5 【学部】よかった点



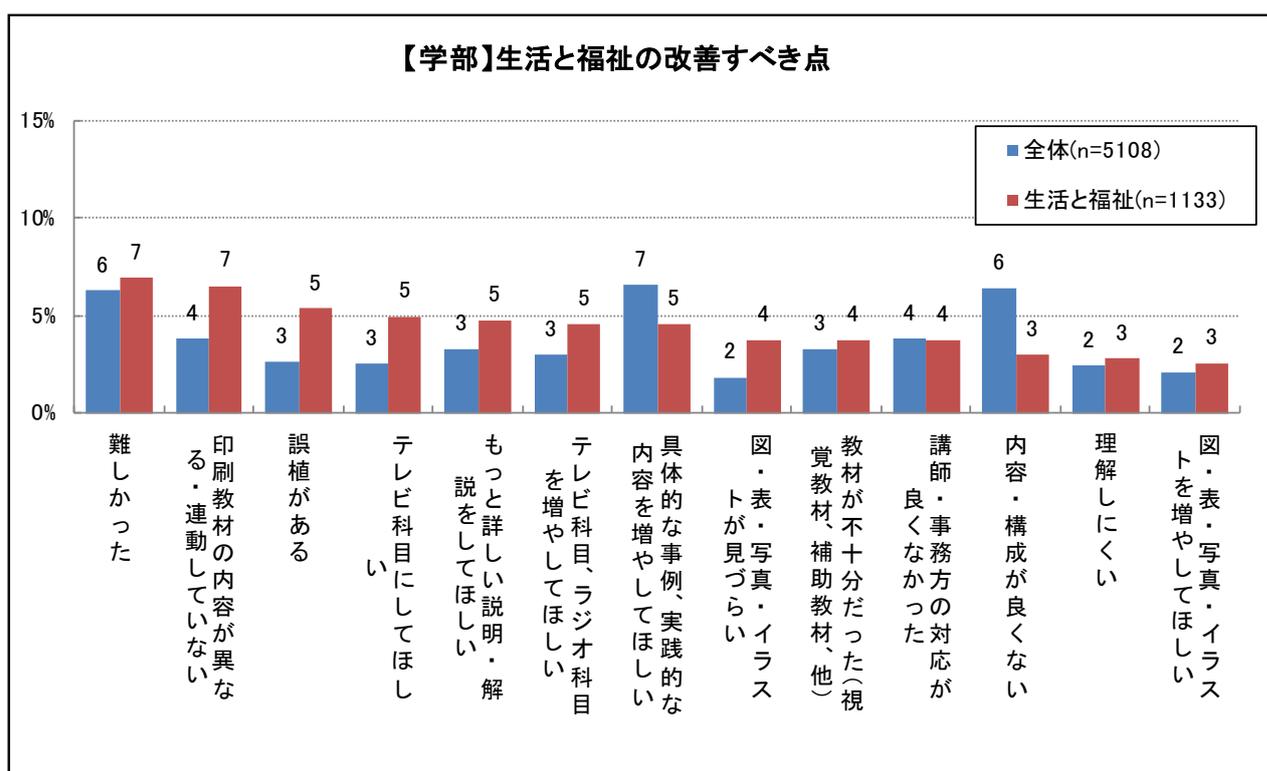
【学部】「生活と福祉」の傾向

改善点

「難しかった」「印刷教材の内容が異なる・連動していない」が7%で最多。

以下、「誤植がある」「テレビ科目にしてほしい」「もっと詳しい説明・解説をしてほしい」「テレビ科目、ラジオ科目を増やしてほしい」「具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい」が5%で続いていた。

図3-6 【学部】改善すべき点



【学部】「生活と福祉」 抜粋

よかった点

- 普段使っている薬の作用機序や副作用の理解が深まった。学習を進めていくにつれ科目名にふさわしく知識が広がっていく感じがして楽しく受講できた。
- 社会保障の種類や制度、年金のことはとてもためになった。教材はいつも手元に置いて読み返したいと思う。
- 食の安全なので安全面を意識するのにどういう知識が必要かがわかった点
- 睡眠について興味があり、受講して理解が深まった。できるだけ深い睡眠を得られるように、学んだことを実践している。
- 薬学概論として、症例と薬による疾病回復の原理や薬理作用、禁忌など、一通りの知識が得られたこと。
- 抗菌薬や抗炎症薬など、日常的に関わる薬の作用機序がわかり理解が深まった。自身や家族の健康管理にも役立つ知識が得られた。
- これから迎える老年期を含めて現実を知る機会となったこと。
- より良い生活を送るためにも身の回りの DX を意識していくことは大切だと思います。視野が広がりました。
- 睡眠について専門的な知識を得ることができた。「睡眠が大切」という内容を睡眠時間を削って学んでいる自分が可笑しく、それも楽しかった。
- 資格の取得での履修で勉強になりテストにも役に立つことが出来ました。
- 以前からお金の管理には自信を持っていたが、受講により今後生活を送っていく上での知識をさらに得ることができた。
- 試験を受けることは必須ですが、私にとって重要なことは試験の後の復習でした。完璧に頭の中に残っています。
- 昔から現在までの生活経済の流れが分かり、少し難しくも感じましたが理解が出来ました。単位も取れて良かったです。
- 個人の生活にかかるお金の話が印象に残り、今後は FP 技能試験・CFP 取得に挑戦することにした。
- 最新の情報を得ることが出来たので今後も仕事に活かせる。テキストや通信指導のコメントが残るので心強い。
- 放送教材のキャスターの女性の適切な質問や進行で理解が助けられるところが多かったです。
- 単位を取る目的だけでなく、今の現状に活かせる知識が多く、授業も面白く何度も聴き返した。
- 印刷教材で理解するために放送教材が役立った。
- 放送授業と印刷教材がリンクしていて、とてもわかりやすかった。図表がたくさんあり集中できた。
- 教授の熱心さが伝わる授業であった。
- インターネット上だと聞き直しや見直したい箇所でも再度確認ができるところは学習に大いに役立った。丁寧な口調でよかった。

【学部】「生活と福祉」 抜粋

改善点

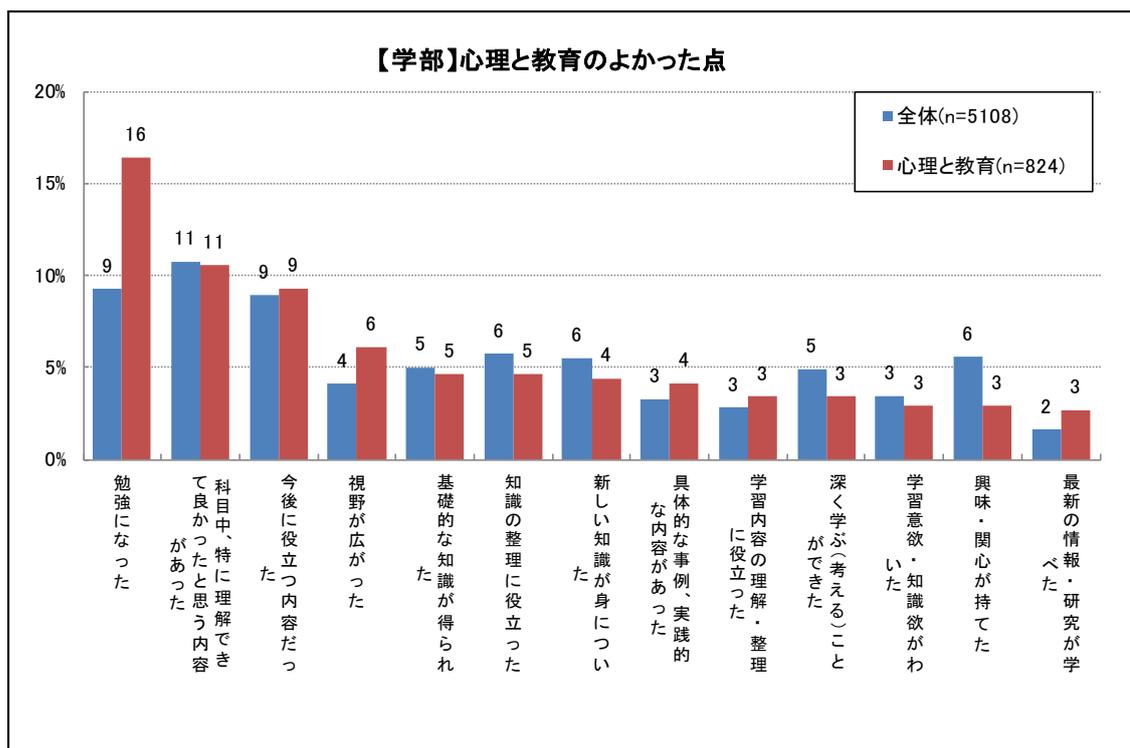
- テキストの修正が多すぎたのではないのでしょうか。事前の校正をお願いしたいです。
- 難しい専門用語が多々あり、語彙の説明が欲しい。また疾病名が 2 回目からアルファベット表記になるので確認に時間がかかった。
- グラフの作りが複数のケースがある場合、白黒なので読みづらいです。改善してほしいです。
- 印刷教材で何ページをみるか教えて欲しい。教材のページを探すのが大変だった。
- 第 4 章の神経機構の記述部分、脳の構造図を知らないのでわかりづらい。図と照合しながら読めるようにしてほしい。
- 電子図書もあるとうれしい。
- 印刷物にない内容が多い。
- 薬剤説明が文章化されていることがほとんどでわかりづらい。項目化してあった方がひとめで理解しやすい。
- 解説なしで物質や薬の名称が列挙されているため、暗記科目的な印象がある。
- 半年の受講で理解しきれない内容ではない。印刷教材の内容も分量が多く、難しかった。
- 印刷教材の中に、例題や演習問題を入れて欲しいです。理解したつもりでも、試験でポイントがズレていた。
- 危険要因について原因となるものを 1-2 ページの早見表のようなものが巻頭にあると有難いです。
- 現代の生活経済に関する統計をもっと増やしてもらえれば興味が向上したと思う。
- ラジオの音声だけではなく、映像や動画などの方が理解しやすい内容の章もあった。別途動画が用意されていれば。
- 家計調査の歴史に重きを置いているが、現代の資産形成やライフステージごとの費用変動の方が重要。期待していたものと違う。
- このままで良いと思うが、なるべく最新の情報になるような更新はしていただきたい。
- 主任講師のお二人の声が聞き取りづらかったので、マイク等技術的なことで改善してほしい。
- 画像によるイメージを付けられる工夫がほしい。
- 講義タイトルとの相違がある。
- もう少し簡単な導入科目があると助かります。
- かなり抜粋されていると感じた。細分化して、もっと科目が増えてもいいのではないか。
- ダイオキシン類が重金属と同じところに分類されているのが少し違和感があった。
- 内容が濃いわりに、試験問題はある程度絞られていた。問題を 10 ではなく 15 程度にしてもよい。
- 出題傾向が他の教科と違うので印刷教材の各回の章末にでも練習問題が欲しかった。
- 各動画の最後に、通信指導のような小テストを動画内で作ってほしい。
- 通信問題や最終試験の内容が、重箱のすみをつつくような問題になっていないか検討してほしい。
- 通信指導、自習型問題と単位認定試験がほとんど関連性が無いように感じた。
- 授業を行う先生の活舌をもう少し良くして聞き取りやすくしていただけるとありがたいです。
- 放送内容と印刷教材の内容が乖離していてわかりにくかった。
- 放送内容をローカルに一時保存できるようにし、通信がつかない場所でも学習できるようにしてほしい。

【学部】「心理と教育」の傾向

よかった点

「勉強になった」が16%で最多。以下「科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった」が11%、「今後に役立つ内容だった」が9%、「視野が広がった」が6%で続いていた。

図3-7 【学部】よかった点

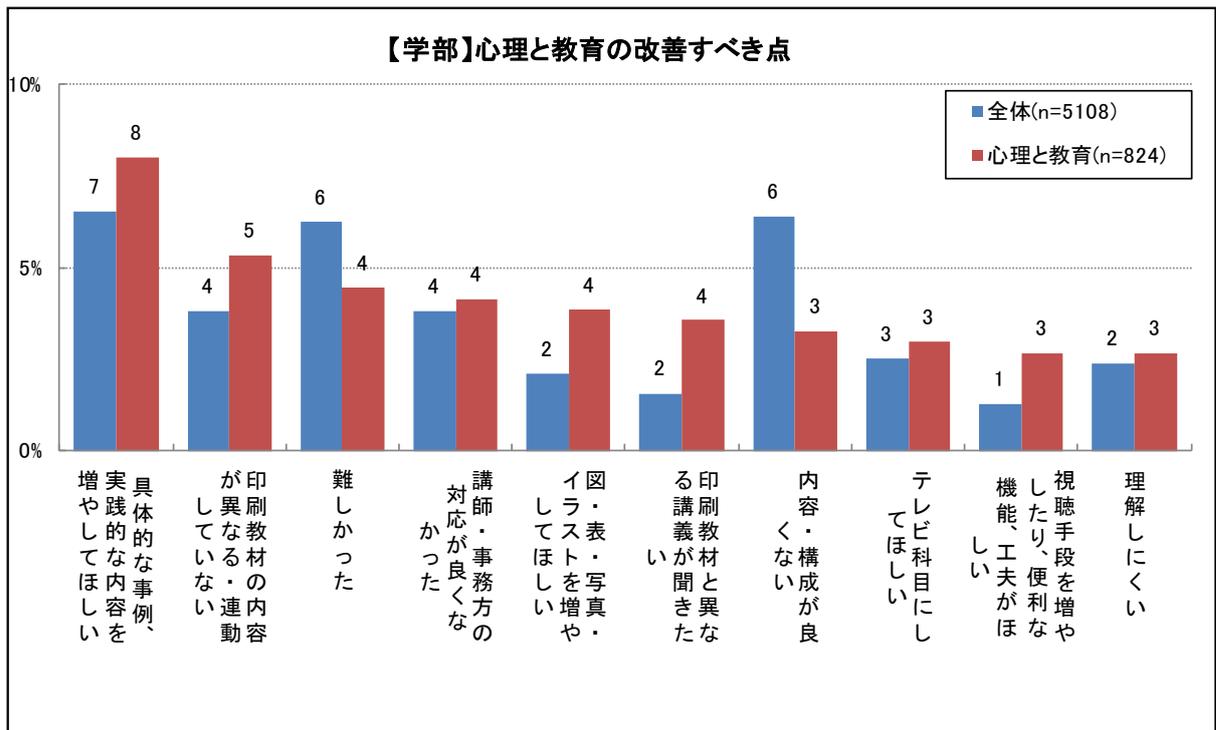


【学部】「心理と教育」の傾向

改善点

「具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい」が8%で最多。以下「印刷教材の内容が異なる・連動していない」が5%、「難しかった」「講師・事務方の対応が良くなかった」「図・表・写真・イラストを増やしてほしい」「印刷教材と異なる講義が聞きたい」がそれぞれ4%で続いていた。

図3-8 【学部】改善すべき点



【学部】「心理と教育」 抜粋

よかった点

- 各項目にキーワードが記載されていたので、重要なポイントをおさえながら学習することができたと思います。
- 特別支援教育を行う上で必要な様々な障害について解説されており、他の講座よりもわかりやすくまとめられていた。
- テキストがよくまとまっており、知的障害だけでなく、障害についての理解が深まった。その点が非常に良かった。
- 印刷教材が最新版だったので、実践できていることの振り返りや小学校以降の特別支援教育の課題を知る知識が得られた。
- 知的障害の指導法について、生活単元学習や自立活動などの実践事例があり、実際に指導する際に参考となる内容だった。
- 24時間どこにいても視聴できるので自分のペースで学習が進められた。再確認したり学び直せたりするのが有意義だった。
- 知的障害についていかに理解が乏しかったかが思い知れた。知らないことがたくさん知れたのでさらに学習していきたい。
- 知識が体系化できた。また、再確認できた。
- 学習のプロセスについて興味があり、その内容を理解できたのは良かったです。
- 今回の受講で教育分野の社会学とは、どのようなアプローチで研究するのだということがよくわかった。
- 教育という観点から社会のさまざまな事象を知ることができ、不均衡がどのような仕組みで成り立ったのかの一端を知れた。
- 最新の学問的成果が、適切な広さで提供されていると感じた。
- 教育学は社会の広い領域に渡っており、視野を広げ多角的にみることの重要性が理解できた。
- 特別支援教育の入門として最適だった
- 専門的な内容を学べたこと。
- 障害があってもそれぞれに優れているところがあること、個性やニーズに合った関わりを通じて共生していく社会を目指したい。
- 今まで学んだ言語学を学び直す機会をいただきました。
- 資格取得が短期でできること。
- 今後の学習に生かせそうな参考文献の紹介が特に良かった。
- 実際の事例を交えながらの説明が分かりやすかった。試験の内容も、学習内容をさらに深める工夫がされていると感じた。
- 自分のペースで学習をすすめ、単位を取得できた点。
- 通級指導についても学びが深まり、通常学級においても役立つ内容で、学習内容の整理に役立った。
- 教育社会学会でも一流の先生方による放送授業は、本講座でしかない大変貴重な機会でした。
- 子どもが聞く活動の難しさを実際に二重音声で聞かせるなど、体験的に実感できる印象に残る講義でした。
- 映像の倍速ができるのがありがたかった。自分の学習環境に合わせて受講できた。
- 印刷教材に無い内容が放送教材で捕捉されて理解が進んだ。
- 講師の方の個性に好感をもって、放送授業も興味深く拝見していました。
- 放送授業で、実際の学校の様子があり、とても分かりやすかった。
- 放送を視聴していて、自分もさらに東大の研究室に行ってみたいと思えるほど深く感銘を受けた。

【学部】「心理と教育」 抜粋

改善点

- 専門的な用語や聞きなれない用語があったので、テキストに解説があると助かります。
- 放送授業では簡潔に表にまとめられているものが、印刷教材では地の文のみで、その表が欲しいと感じた。
- 印刷教材の出来が良くない。定義づけは著者の中でやり、教材は初学者が興味を持てるよう重要な部分を絞ってほしい。
- 時々、印刷教材と前後しての講話があったので戸惑った。話しているところがどこか伝えてほしい。
- 索引に用語の登場ページ全部が載っており使いづらい。定義が紹介されている重要ページ等を参照したい。
- 印刷教材に少し誤字があった。また、図が一部、文字が小さすぎて印刷ブレもあり、読み取り困難だった。
- 教材の図表の文字サイズが少し小さく読みにくかったので、テキストを大判にすべきである。
- 図表、グラフの文字が小さすぎて見えない。教科書はやはり必要。視覚教材は大事。
- テキストと違う内容や、単位認定試験で印刷教材にない内容のものがあるのは、どうかと思った。
- 印刷教材について、学習課題のヒントとか例とかがあると良いと思った。
- 現場での経験がないため、実際の事例をより多く聞くことができるとイメージもつかみやすい。
- テレビ科目でありながら、ロケ等の映像が圧倒的に少なかった。もっとロケ映像を取り込む余地がある。
- 予習復習に役立つような、背景知識や重要ポイント語集などの追加資料をダウンロードできるようにしてほしい。
- ラジオ科目は耳だけに集中するので、図表や文言をスライドで見られるように映像にしてほしい。
- 講師によっては聞き取りにくかったり、単調で抑揚のない話し方で、眠くなるような人がいた。
- 構成的に何度も同じ内容が書かれていることが多く、もっと簡潔にまとめることはできないか。
- アクセスが集中する時間に音声が終わったりして、なかなか進まずストレスだった。
- システムの不具合が発生することは改善すべき点だと思う。
- 講師の先生によってテストの出し方が違っていたので、統一していただくと事前の学習がしやすくなる。
- かなり単位認定試験問題が難しいことです。
- 試験で「当てはまる答えを全て選びなさい」という形式は、難易度が高くなりすぎるため避けたほうが良い。
- 通信指導の解説が解説とは言えない内容だった。理解を深めるためのものとは思えなかった。
- 通信指導の問題で、放送授業で少しだけ発言があった点だけが根拠となることがあり、解答に困難を感じた。
- ホームページの説明が分かりづらく、web 通信指導があることに気付かずに単位を落としてしまった。
- 通信指導や過去問の出題形式と、認定試験があまりにもかけ離れていて混乱した。
- 放送授業の中でも「この点はテキスト〇〇ページに」と触れていただくと、ポイントが明確になる。
- 講師の口調が単調。もっと図表、写真、映像、ゲストとの対話など、放送内容に変化を持たせた方が理解しやすい。
- ブラウザの問題等で聞けないこともあった。放送を聞ける機会を増やしてほしい。
- 追加の説明内容を表示させる時間を長めにするか、印刷教材に追加してほしい。
- シラバスに web 通信指導について書くべき。似ている言葉が多く分かりづらく、明記してほしい。

【学部】「心理と教育」

よかった点

(単位:人)

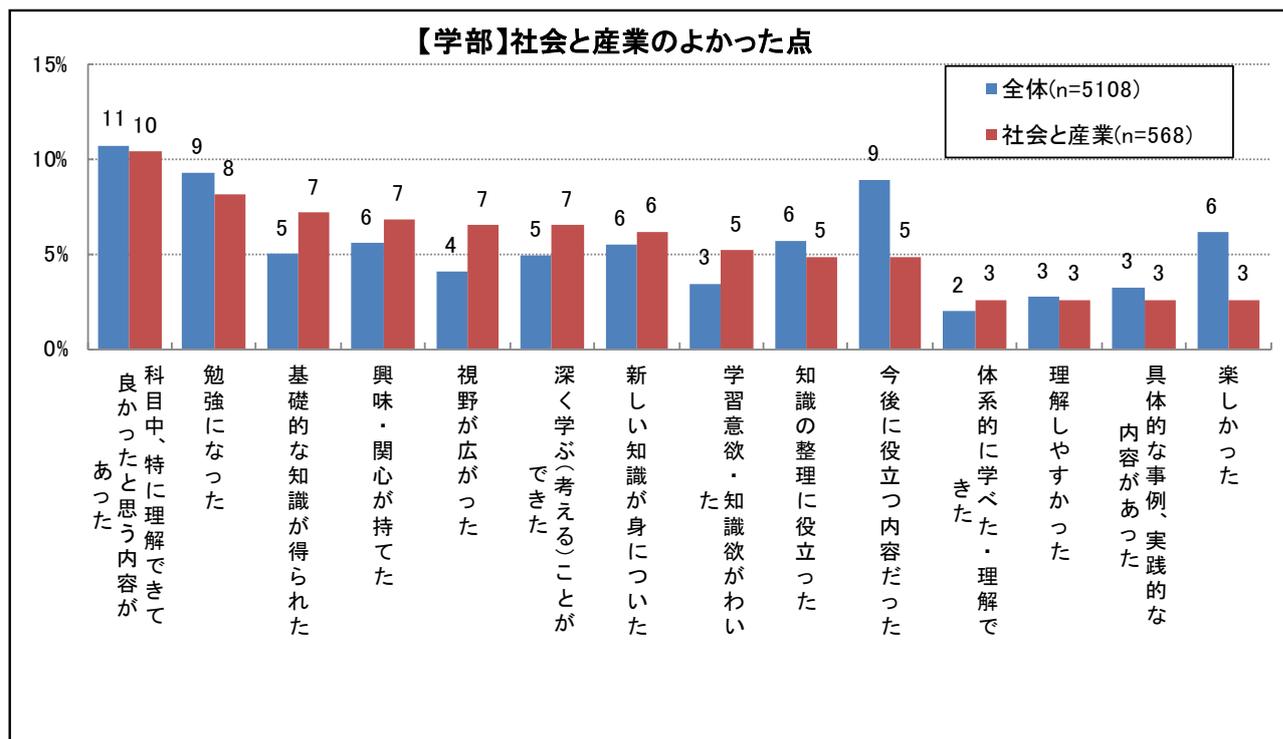
科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった	15	52	67	学習内容の理解・整理に役立った		7	7
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった	13	30	43	講師の解説が分かりやすかった	2	2	4
今後に役立つ内容だった	9	29	38	授業各回の内容・構成が良かった	2	1	3
視野が広がった	16	9	25	講師が良かった	2		2
知識の整理に役立った	5	14	19	講師の熱意・熱心さが伝わった	1	1	2
基礎的な知識が得られた	1	18	19	印刷教材と連動していて良かった	1	1	2
新しい知識が身についた	4	14	18	メディアの特性に合った授業内容だった		2	2
具体的な事例、実践的な内容があった	3	14	17	良い授業だった	1		1
深く学ぶ(考える)ことができた	5	9	14	図・表・写真・映像・音声資料があり、内容が理解しやすかった		1	1
興味・関心を持てた	8	4	12	科目全体の内容・構成が良かった	1		1
学習意欲・知識欲がわいた	7	5	12				
最新の情報・研究が学べた	2	9	11	印刷教材			
受験・資格取得に役立った	3	7	10	意見	テレビ	ラジオ	合計
体系的に学べた・理解できた	3	6	9	学習内容の理解・整理に役立った	2	3	5
専門的な内容だった	1	6	7	手元に置き、今後も読みたい内容だった	2		2
理解しやすかった	3	2	5	内容・構成が良かった		2	2
自分の意見・考えを持てるようになった	2	3	5	良い教材だった		2	2
自分のペースで勉強できた		5	5	最新の情報・研究が盛り込まれた内容だった		2	2
科目の学問的性質、位置付けが分かった	5		5	理解しやすかった		1	1
内容・構成が良かった	4		4	単位認定試験			
自分の知識不足、学習不足を自覚できた	1	1	2	意見	テレビ	ラジオ	合計
引用・参考文献・補助教材・問題集の紹介が良かった	2		2	科目内容の理解度ををはかるのに相応しい内容だった	2	2	4
身近に感じられる内容だった		1	1	評価が良かった		1	1
全体として満足している	1		1	通信指導			
現在の課題や身近な問題点を学べた	1		1	意見	テレビ	ラジオ	合計
現場取材や、第一線の方へのインタビューが良かった	1		1	学習内容の理解・整理に役立った	1	1	2
難易度・分量が適切だった		1	1				

【学部】「社会と産業」の傾向

よかった点

「科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった」が10%で最多。以下「勉強になった」が8%、「基礎的な知識が得られた」「興味・関心が持てた」「視野が広がった」「深く学ぶ（考える）ことができた」が7%で続いていた。

図3-9 【学部】よかった点

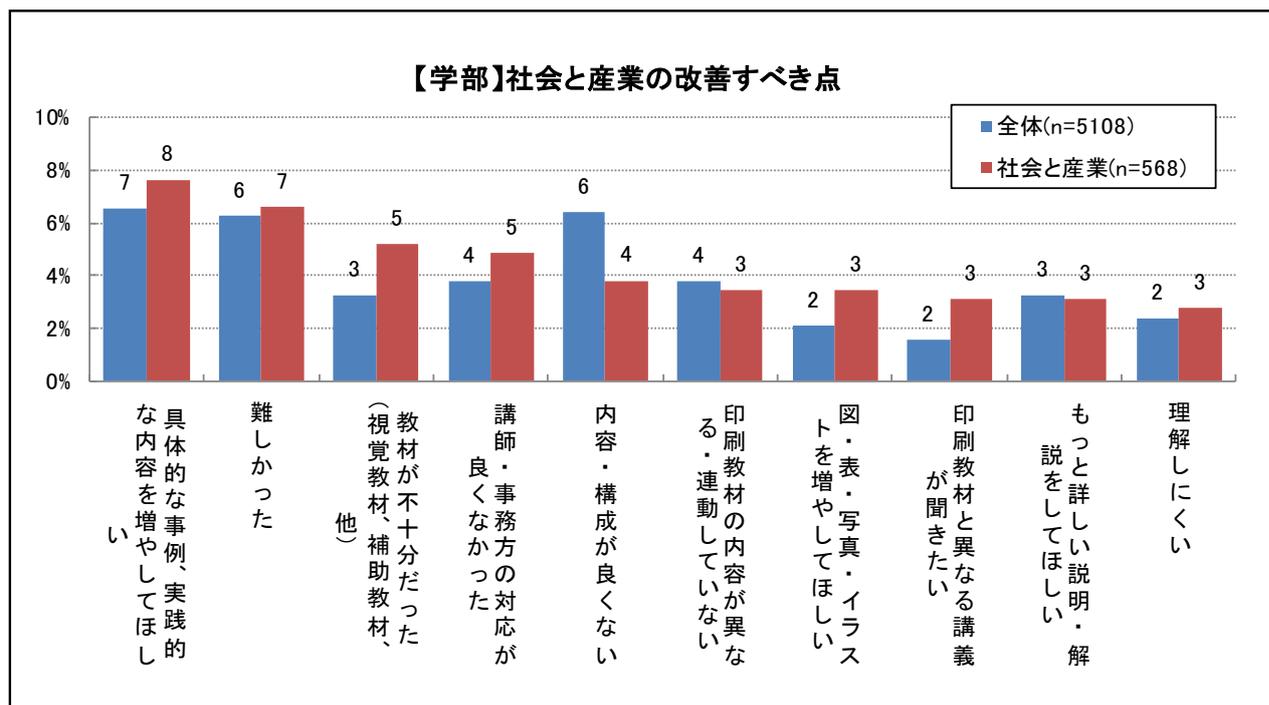


【学部】「社会と産業」の傾向

改善点

「具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい」が8%と最多。以下「難しかった」が7%、「教材が不十分だった（視覚教材、補助教材、他）」「講師・事務方の対応が良くなかった」が5%、「内容・構成が良くない」が4%で続いていた。

図3-10 【学部】改善すべき点



【学部】「社会と産業」 抜粋

よかった点

- 住まいが健康に関係するという知見は自分ごととして役立つ内容だった。堀部先生の語りかけるような文章は咀嚼しやすく、どんどん先へ進みたくなる稀有なテキストであった。
- 教科書がとても分かりやすく綺麗に整えられていて知識としても入りやすく、考える余地や空白もあり考察することを楽しむことができた。
- 社会経済の有り様や経済活動の変遷が理解できたのが大変良かった。
- 社会経済に関して視野が広がった。
- 建築に興味があり、好きな建築家の情報がわかりやすく書かれてあり、今後の建築に対する意見が学べて嬉しかった。
- 自治会の成り立ちについて理解が深まり、今後の自治会組織の在り方に興味を持つことができた。
- これからの建築は何をめざすとよいのか、ためになりました
- かつて他校卒の社会学専攻であったものの、改めて履修したことにより、忘れかけていた内容の復習、新たな学びなど新鮮であった。
- 政治思想にその時代が背景として反映していることを理解した。講義の冒頭では前回の要約を説明されるので流れの予測になり理解しやすかった。
- あまり馴染みのない世界だと思っていた NPO や NGO の世界が、自分たちの生活に深く関わっていることが知れて本当によかった。
- 現在、町内会の役員をやっている関係上、問題・課題等がわかり参考になった。
- 最新の経済学の知見が反映されており、現代を理解するのに役立った。
- 興味のないジャンルもあるとわかったこと（それが自分の意見を持つきっかけになった）。
- マーケティングの基礎から応用の初歩まで体系的に学ぶことができ、またケーススタディや取材動画などで立体的に学ぶことができた。
- 試験期間の直前に、第 15 章で疑問に思ったことを質問箱経由で質問したが、丁寧に今後の学習の示唆を与えてくださる回答をいただいた。
- 記述式の課題や試験なので、近現代史における日本と諸国との関係に着目して考察する機会が自ずから増え、理解を深めることができた。
- 歴史教育では普通である時系列での事象の解説ではなかった点を高く評価。現場ロケやゲスト解説も理解が深まるのに大いに役立った。
- 現代という時代の文脈においても重要なテーマだと思った。政治の理論と術がどのように関わるのかという点は、重要だと思いました。
- 先生が時々「覚えていますか？」と聞き手に質問するので大事なところや骨格になる部分を掴みやすかった。
- 社会経済の基礎が学べた。担当講師の先生が要約を説明し、ゲストが質問をするという新しい形で講義が進められていたのが斬新だった。

【学部】「社会と産業」 抜粋

改善点

- 印刷教材の写真や図、グラフなどカラーのものが全然なかったので、写真だけでももう少しカラーのものがあるとよかった。
- 印刷教材一本で勉強を進めたが、文体の難易度が高く読むだけでも大変苦労した。もう少し解りやすく説明していただけたらと思いました。
- 「主要な皇帝、王権、教皇、戦争、出来事の年表」を教科書に付録して頂けると、時代背景をもっと理解するための手がかりになる。
- 授業で使用されている図表を印刷教材に掲載すべき。
- テキストにおいて引用原典の書名、引用箇所を明記してほしい。テキストだけで復習するときに使いくらい。
- 計算式とグラフの関係の解説をもう少し詳細に印刷教材に記載いただけるとより分かりやすいと感じた。
- テキストに掲載していないレジュメをもっと載せてほしい。
- テキストの誤字脱字、特に経済法令の間違いなどが散見され、質問しても学者らしからぬ対応であった。
- 式やグラフが文章で説明されているが、箇条書きにして枠で囲むなどすると視覚的にとらえやすくなると感じた。
- 複数教師がいてそれぞれにトーンが変わって一貫性がなかった。
- 初めて経済を勉強したため、難しく感じるところもありました。もう少しし、図の説明など欲しかったです。
- イメージが湧くような図を付ければ、理解がはかどる。文章から想像し理解しなければいけないと思うが、漫画のような挿絵をつけて欲しい。
- 一緒に受講した社会調査の基礎と内容重複が多いのが気になる。
- 学習のポイントがどこなのか、聞いていて理解が深まるようなつながりを明示してほしい。
- 昨今の市民意識、市民活動と政治、行政との溝など、現代的な課題にも踏み込んでいただけるとありがたいと感じた。
- 何も知らない私からすると、どの部分がポイントなのかわかりづらかった。
- NPO・NGOの世界を知り、もっと募金してほしいという番宣やPRに見えてしまう回が多々あり、残念。
- 記述式試験はいいが、1問だけというのは理解のバランスを図る上でいかなものだろうか？
- 提出課題や単位認定試験の文章がやたらと長い。瞬時に理解できるほど学習していないと言われればそれまでだが、短文化を検討してほしい。
- 教材を読み込み過去問に取り組んだが、試験には全く役に立たなかった。深夜しか時間が取れないので、どんな形でも取り組める多様性がほしい。
- 回答に対する解説がないので記載してほしい。また実際の点数あるいはどこが間違ったかがわかるようにしてほしい。
- 通信指導の解答の表示方法について、箇条書きで答えを書いていただけたらありがたかったです。
- 統一感が必要。問題作成を各々の講師に任せただめか、難解な引っ掛け問題を出す人もいれば、あっさり簡単な問題しか出さない人もいる。
- 続編としてテレビ授業があるといいのですが。やはり映像があった方が理解の幅が違う気がします。
- 背景の建物や人物が巡る演出が単調でなく工夫していると思ったが、説明している建築家以外の作品が回っていると理解がそがれる。
- テキストの不明瞭な記述や誤植などは、ウェブの「授業連絡」に速やかに掲示すべき。受講生は知らずに使い続けてしまう。

よかった点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった	14	18	32	楽しかった	7		7
勉強になった	18	7	25	学習内容の理解・整理に役立った	5	1	6
基礎的な知識が得られた	13	9	22	講師の解説が分かりやすかった	3	2	5
興味・関心が持てた	16	5	21	授業各回の内容・構成が良かった	1	3	4
深く学ぶ(考える)ことができた	16	4	20	科目全体の内容・構成が良かった	1	3	4
視野が広がった	14	6	20	講師の熱意・熱心が伝わった	3	1	4
新しい知識が身についた	11	8	19	良い授業だった	1	1	2
今後役に立つ内容だった	11	4	15	講師が良かった	2		2
知識の整理に役立った	11	4	15	講師以外の人や、複数の専門家の話を聞くことができた		1	1
学習意欲・知識欲がわいた	8	6	14	ポイントがつかみやすかった	1		1
具体的な事例、実践的な内容があった	6	2	8	印刷教材と異なる内容で良かった		1	1
体系的に学べた・理解できた	5	3	8				
理解しやすかった	6	1	7				
内容・構成が良かった	4		4				
身近に感じられる内容だった	2	1	3				
全体として満足している	1	2	3				
現在の課題や身近な問題点を学べた	1	2	3				
引用・参考文献・補助教材・問題集の紹介が良かった	3		3				
科目の学問的性質、位置付けが分かった	3		3				
自分の知識不足、学習不足を自覚できた		2	2				
自分の意見・考えを持てるようになった	1	1	2				
楽しかった	1		1				
最新の情報・研究が学べた		1	1				

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
理解しやすかった			1
手元に置き、今後も読みたい内容だった	1		1
熱意が伝わる教材だった		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
受験して良かった			3
学習意欲・知識欲がわいた	1	1	2
科目内容の理解度をはかるのに相応しい内容だった	1		1
記述式が良かった	1		1
コメント・対応が良かった		1	1

改善点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい	20	2	22	印刷教材と異なる講義が聞きたい	7	2	9
難しかった	2	17	19	テレビ科目にしてほしい		7	7
教材が不十分だった(視覚教材、補助教材、他)	6	9	15	印刷教材の内容が異なる・運動していない	2	2	4
講師・事務方の対応が良くなかった	8	6	14	理解しにくい		4	4
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	5	4	9	図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい	3	1	4
内容・構成が良くない	5	2	7	もっと深く学べるようにしてほしい	2	1	3
テレビ科目、ラジオ科目を増やしてほしい		7	7	現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい	1	2	3
内容が浅い	3	2	5	講師・ナレーター・ゲスト等の話し方が良くない、声が聞き取りづらい	2	1	3
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	4	1	5	演出が良くない、演出を工夫してほしい	2		2
内容の詰め込みすぎ		4	4	図・表・写真・イラストが見づらい	2		2
例題・練習問題を増やしてほしい	4		4	メディアの特性に合わない授業内容だった	2		2
参考文献・補助教材・問題集を紹介、発刊してほしい	1	2	3	システム面の改善が必要	1	1	2
最新の内容を講義してほしい	3		3	双方向性が必要、オンライン科目にしてほしい	2		2
内容にまとまりがない	1	1	2	(各章ごとの)まとめや学習ポイント・総括がほしい	2		2
興味・意欲がわかなかった	1	1	2	内容・構成が良くない		1	1
現実に生かせる内容にしてほしい	2		2	視聴手段を増やしたり、便利な機能、工夫がほしい		1	1
授業科目案内内は内容が不十分だった		2	2	講師の解説・指導が良くなかった	1		1
内容が基礎的で物足りなかった	2		2	手話通訳、または字幕がほしい	1		1
授業のテンポが良くない(早い・遅い)	2		2	解説中の印刷教材のページが分かりにくい		1	1
講義回数を増やしてほしい、受講期間を長くしてほしい	1		1	ゲストや別の講師を招いてほしい、増やしてほしい	1		1
自分のペースで勉強できなかった	1		1	講師によって授業のレベルが違う		1	1
資料・データ・映像・内容が古い、改訂してほしい	1		1	重要な情報はテロップ等で表示してほしい、長く表示してほしい	1		1
新しい科目、広い分野をカバーする科目がほしい	1		1	インタビューやゲストの話が多い、時間を取られる、教材と関係のない話は不要		1	1
(各章ごとの)まとめや学習ポイント・総括がほしい		1	1	具体的な事例・実践的な内容を載せてほしい	1		1
面接授業・実習を実施してほしい、参加しやすくしてほしい		1	1				

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
図・表・写真・イラストを増やしてほしい	8	2	10
印刷教材の内容が異なる・運動していない	1	5	6
詳細な解説がほしい	1	4	5
理解しにくい		4	4
メディアの特性に合わない授業内容だった	1	3	4
誤植がある		3	3
内容・構成が良くない	1	2	3
色刷りにしてほしい	2	1	3
講師の解説・指導が良くなかった	3		3
図・表・写真・イラストが見づらい	2		2
フリガナ、専門用語の説明などがほしい	1	1	2
引用・参考文献・補助教材・問題集を紹介してほしい		2	2
放送授業中の資料・データ、ゲストの話を載せてほしい	1	1	2
放送授業中の資料・データを載せてほしい	2		2
内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	1	1	2
索引を充実させてほしい		1	1
追加情報・追加教材がほしい	1		1
重要な言葉は太字や斜体、アンダーライン等わかりやすくしてほしい		1	1
具体的な事例・実践的な内容を載せてほしい		1	1
講師・ナレーター等の声が聞き取りづらい		1	1
手話通訳、または字幕がほしい		1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
課題(問題)の範囲・難易度・量が適切ではない		2	2
課題(問題)の解答・解答例・解説がほしい	1		1

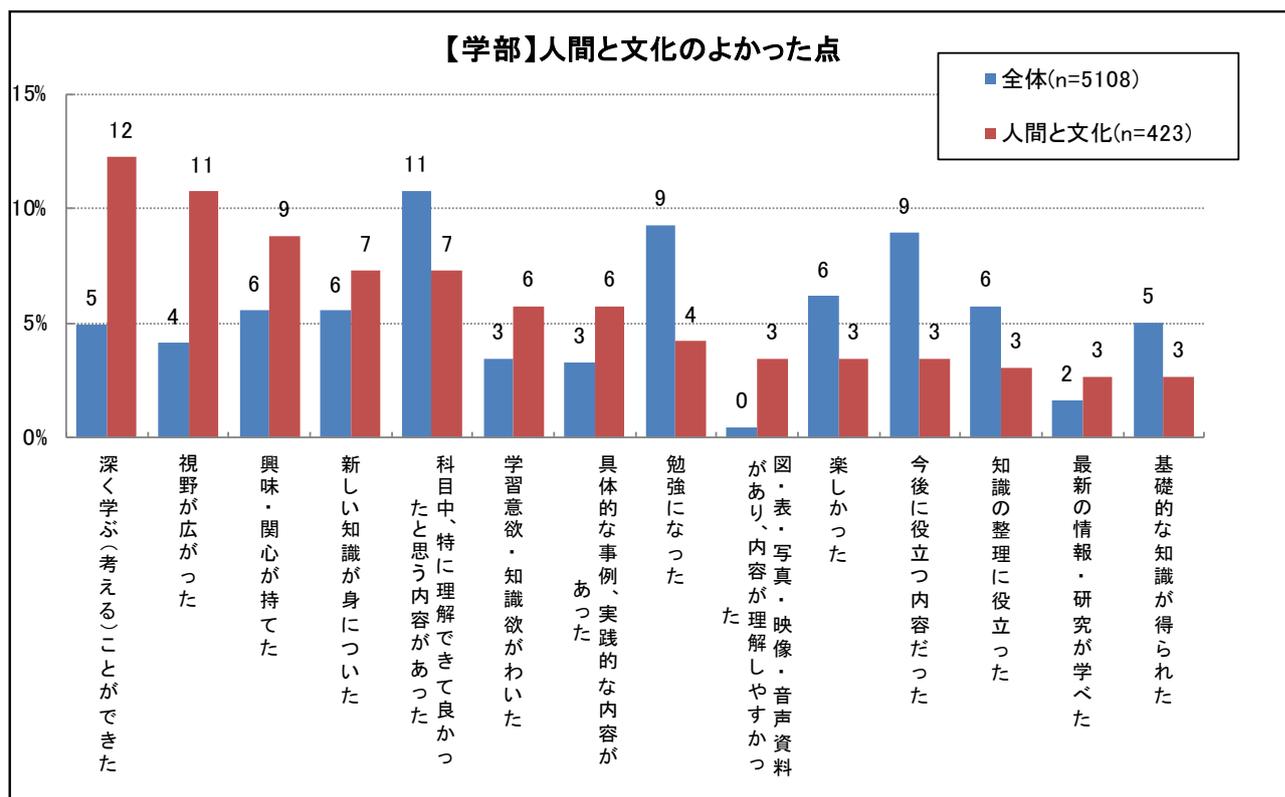
単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
試験が授業・印刷教材・通信指導の内容と異なった	5	1	6
記述式、および記述に関して改善してほしい	3		3
試験時間が短い、入力が間に合わない	1	1	2
難易度を下げるべき		1	1
問題の解答・解説・用紙がほしい		1	1
試験の設問内容が理解しにくい・出題の仕方に違和感がある		1	1

【学部】「人間と文化」の傾向

よかった点

「深く学ぶ（考える）ことができた」が12%で最多。以下、「視野が広がった」が11%、「興味・関心が持てた」が9%、「新しい知識が身についた」「科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった」が7%で続いていた。

図3-11 【学部】よかった点



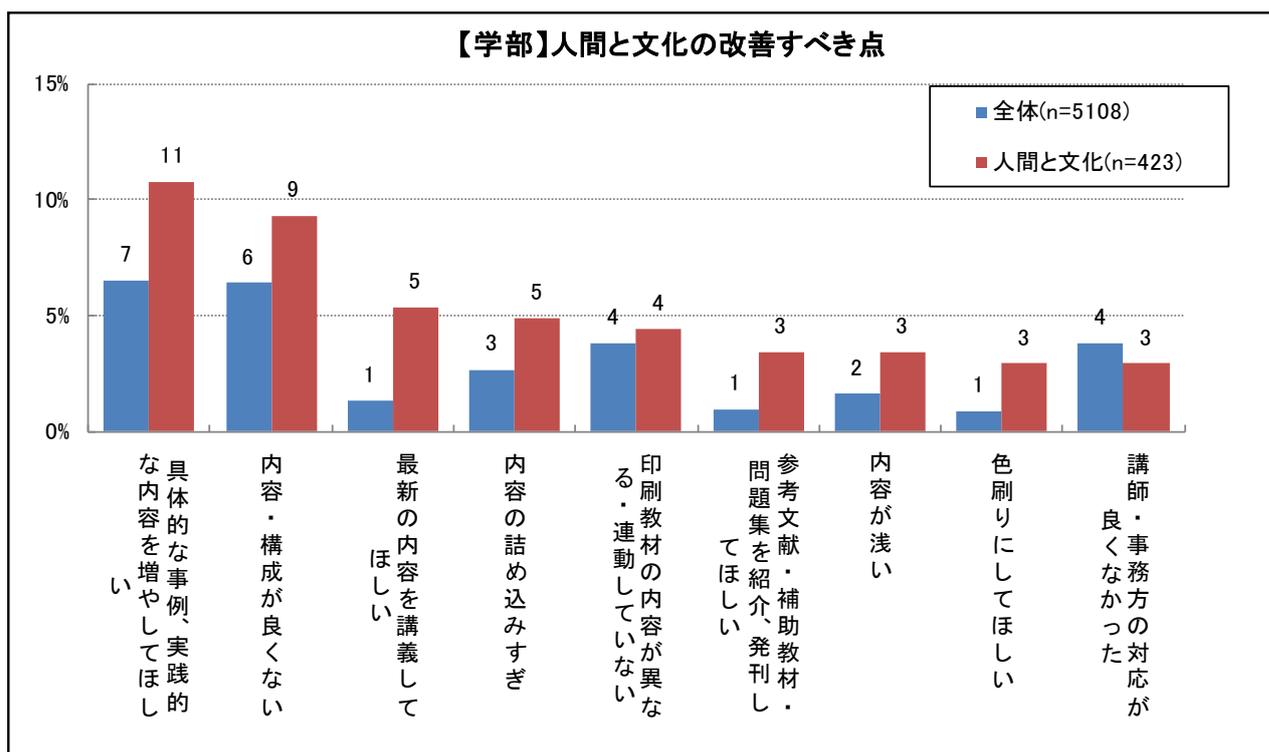
【学部】「人間と文化」の傾向

改善点

「具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい」が11%で最多。

以下、「内容・構成が良くない」が9%、「最新の内容を講義してほしい」「内容の詰め込みすぎ」が5%、「印刷教材の内容が異なる・連動していない」が4%で続いていた。

図3-12 【学部】改善すべき点



【学部】「人間と文化」 抜粋

よかった点

- 図書館で名作 DVD を借り、印刷教材を参照しながら視聴した。映画初期のクオリティに驚き、他の作品も視聴したいと思った。
- 30 年前に英語教材として使った「カサブランカ」が教材。新たな視点で拝見でき、興味深く、感動でずらありました。
- 映画創造の歴史も興味深く、とりあげられた映画も色々な側面から分析紹介され理解を深め新たな興味を持てる内容だった。
- 歴史的位置づけの知識が得られた。今後映画を観るにあたって、系譜を意識しより深い受け取り方ができるように感じる。
- OSG（オンライン学習グループ）を通じ、他学生と議論を深めながら課題に向き合えた。学習のモチベーションも上がりました。
- 博物館の展示について、企画者の意図を読み取るための視座を得られたことは本科目を学んだ大きな収穫である。
- 映画の芸術性について光をあてた講義は興味深く、なりたちや歴史を詳細に、体系的に学べた点が良かった。
- 今年度からリニューアルされた講義なので、情報も比較的新しかった点です。
- 映画を「読み込む」奥深さを知った。きらびやかな宮殿の部屋を巡るような感覚で、知的興奮を味わえる講義でした。
- リュミエール兄弟の映画に感動した。社会情勢の把握をしないと古典映画の真意を誤解する可能性がある事も理解できた。
- 普段知りえないこと、身近では勉強できないこと、それらを学習できて良かったと思う。
- 博物館という視点から情報提示について考えることができた。現在の勤務先での情報整理についてとても参考になった。
- 映画を芸術とするための授業・テキストはとても充実していて受講して良かったと思います。
- 映画は芸術ではなく娯楽だと思っていたが、今回の授業で歴史や文化のある芸術だということが十分に理解できた。
- 子供の頃から数多くの映画を観てきました。自分なりに素晴らしさを知っているつもりでしたが、授業を通じさらに多くのことを学びました。
- テレビ講義のメリットが最大限生かされている。映像が多く見られて理解が進み、インタビューも良い教材だった。
- 映画史をざっくり俯瞰して知ることができた。熱意溢れる授業で好奇心を強く刺激され、同じテーマでもっと学びたいと思った。
- 紙教材では伝わらない、放送授業ならではの最新の映像技術を用いた展示を、実体験に近い形で知ることができた。

【学部】「人間と文化」 抜粋

改善点

- 映画という特質上、印刷教材だけでは伝わらない部分もあり、カラー写真や写真を増やしていただくと助かった。
- 新しい教科書のためか、巻末索引が少なく、振り返る際に時間がかかった。索引の充実を望みます。
- 放送授業の図表が教材に載っていないと、ノートに書き写すのに時間を要する。掲載してほしい。
- 各項目それぞれに説明が長く、テキストが分厚くなっている。簡潔な文章構成でお願いしたい。
- 索引に記載されたページ番号と本文中のページ番号の不一致がいくつかありました。
- 日本人の名前の表記には読み仮名をつけたほうが理解しやすくなるかもしれないと思った。
- 初心者には判断が難しい。「映画史全体の基礎資料」的な書籍のお薦め等を掲載いただければ有難いです。
- テレビの映像については不要に長いシーンがあるように感じた。内容を伝えるのにもう少し短くても良い。
- 参考映像の出典（どういったアーカイブを利用すれば視聴できるのか）という資料の提供があると、さらによい。
- 講師の語りが原稿を丸読みしている点がとても気になる。
- この科目の続編の講座を企画してほしい。映像表現に関する科目は放送大学にふさわしい。
- 残念ですが15回では足りないと思いました。
- 最近の映画界の現状と課題についても範囲を広げるとより良いと考えます。
- 途中で博物館見学のことを設けてみては、如何でしょうか。
- 画角に関する説明に際して、いくつか用語が混同するような紛らわしい表現があった気がします。
- 単位認定試験の問題数がやや多いと感じました。
- 終了間際に問題数に気づき、回答する時間が足りず大失敗しました。（試験時間・問題数のバランス等）
- 放送だけで紹介した内容からも試験を出してよいと思う。放送内容から勉強しているかを確認してほしい。
- 試験問題が択一式であるより、記述式である方がより学習意欲が増え、理解も深まると感じます。
- 通信指導のことが頭になくて提出できませんでした。事前に受けることをはっきりと案内いただければ良かった。
- 実際の映画作品を上映することはわかりやすいが、相関図やグラフ化などの工夫があればなお理解がすすむ。
- 放送での喋りの硬さを感じられ、講師の熱意というか勢いがYouTube講義と比べると少し差を感じてしまった。
- 講師により早口のため聞き漏らすことがある。字幕が欲しい。
- 放送中に「印刷教材には記載がありませんが」といった明示があると、より親切に感じられる。
- より広く鑑賞ができるよう、YouTube等の無償配信のリンク集なども添付して頂けるとよい。
- どこかに歴史年表があれば、時代背景と比較しながら理解できたと思う。
- 内容に対して放送時間が短いためなのか、先生方が早口だと感じ、理解に手間取りました。
- 映像授業のインターネット配信の解像度を上げてほしい。
- 担当講師が変わる回で進め方のテイストに差があり、躓いた。科目全体でもう少し統一感がほしい。
- お気に入りの作品について尋ねることのできる双方向性があれば事態は改善するのかもしれない。

よかった点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
深く学ぶ(考える)ことができた	32		32	図・表・写真・映像・音声資料があり、内容が理解しやすかった	9		9
視野が広がった	28		28	良い授業だった	5		5
興味・関心が持てた	23		23	学習内容の理解・整理に役立った	4		4
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった	19		19	講師が良かった	4		4
新しい知識が身についた	19		19	楽しかった	3		3
具体的な事例、実践的な内容があった	15		15	授業各回の内容・構成が良かった	2		2
学習意欲・知識欲がわいた	15		15	科目全体の内容・構成が良かった	2		2
勉強になった	11		11	現場取材や、第一線の方へのインタビューが良かった	2		2
今後に役立つ内容だった	9		9	複数の講師の講義を聞くことができた	2		2
知識の整理に役立った	8		8	講師の解説が分かりやすかった	1		1
基礎的な知識が得られた	7		7	講師の熱意・熱心さが伝わった	1		1
最新の情報・研究が学べた	7		7				
楽しかった	6		6				
全体として満足している	6		6				
体系的に学べた・理解できた	5		5				
内容・構成が良かった	2		2				
交流フォーラムが良かった	2		2				
理解しやすかった	1		1				
専門的な内容だった	1		1				
自分の意見・考えを持てるようになった	1		1				

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
内容・構成が良かった	2		2
様々な事例、具体的な事例が学習に役立った	2		2

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
科目内容の理解度ををはかるのに相応しい内容だった	1		1
受験して良かった	1		1

改善点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい	22		22	内容・構成が良くない		9	9
最新の内容を講義してほしい	11		11	もっと深く学べるようにしてほしい	5		5
内容の詰め込みすぎ	10		10	引用・参考文献・補助教材・問題集を紹介してほしい	4		4
内容・構成が良くない	7		7	印刷教材の内容が異なる・連動していない	3		3
内容が浅い	7		7	ゲストや別の講師を招いてほしい、増やしてほしい	3		3
参考文献・補助教材・問題集を紹介、発刊してほしい	7		7	面接授業・実習を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	3		3
講師・事務方の対応が良くなかった	6		6	演出が良くない、演出を工夫してほしい	2		2
教材が不十分だった(視覚教材、補助教材、他)	5		5	授業のテンポが良くない(早い・遅い)	2		2
講義回数を増やしてほしい、受講期間を長くしてほしい	5		5	双方向性が必要、オンライン科目にしてほしい	2		2
難しかった	4		4	放送授業中の資料・データを載せてほしい	2		2
内容にまとまりがない	4		4	テレビ科目にしてほしい	1		1
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	3		3	図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい	1		1
新しい科目、広い分野をカバーする科目がほしい	3		3	視聴手段を増やしたり、便利な機能、工夫がほしい	1		1
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	1		1	講師の解説・指導が良くなかった	1		1
興味・意欲がわかかなかった	1		1	図・表・写真・イラストが見づらい	1		1
講義内容と科目名に乖離がある	1		1	講師・ナレーター・ゲスト等の話し方が良くない、声が聞き取りづらい	1		1
交流の場を用意してほしい	1		1	不要な口ケ、動画等がある	1		1
自分のペースで勉強できなかった	1		1	(各章ごとの)まとめや学習ポイント・総括がほしい	1		1
資料・データ・映像・内容が古い、改訂してほしい	1		1	単位認定試験と連動していない	1		1
学校の対応(WAKABA、シラバスを含む)が不十分だった	1		1	講師によって授業のレベルが違う	1		1
期待していた内容ではなかった	1		1	講師は1人の方が良い	1		1
面接授業・実習を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	1		1	講師の熱意が伝わらない	1		1
視聴手段を増やしたり、便利な機能、工夫がほしい	1		1	参考となる事例や資料の紹介がほしい	1		1

印刷教材				通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
印刷教材の内容が異なる・連動していない	6		6	通信指導に気付かなかった・受けられなかった	2		2
色刷りにしてほしい	6		6				
内容・構成が良くない	3		3				
索引を充実させてほしい	3		3				
図・表・写真・イラストを増やしてほしい	2		2				
誤植がある	1		1				
理解しにくい	1		1				
図・表・写真・イラストが見づらい	1		1				
フリガナ、専門用語の説明などがほしい	1		1				
引用・参考文献・補助教材・問題集を紹介してほしい	1		1				
放送授業中の資料・データ、ゲストの話を載せてほしい	1		1				
講師の解説・指導が良くなかった	1		1				
難易度・分量が不適切だった	1		1				

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
問題数が多かった・範囲が広がった		2	2
試験が授業・印刷教材・通信指導の内容と異なった	1		1
記述式、および記述に関して改善してほしい	1		1
試験時間が短い、入力が間に合わない	1		1
試験の設問内容が理解しにくい・出題の仕方に違和感がある	1		1

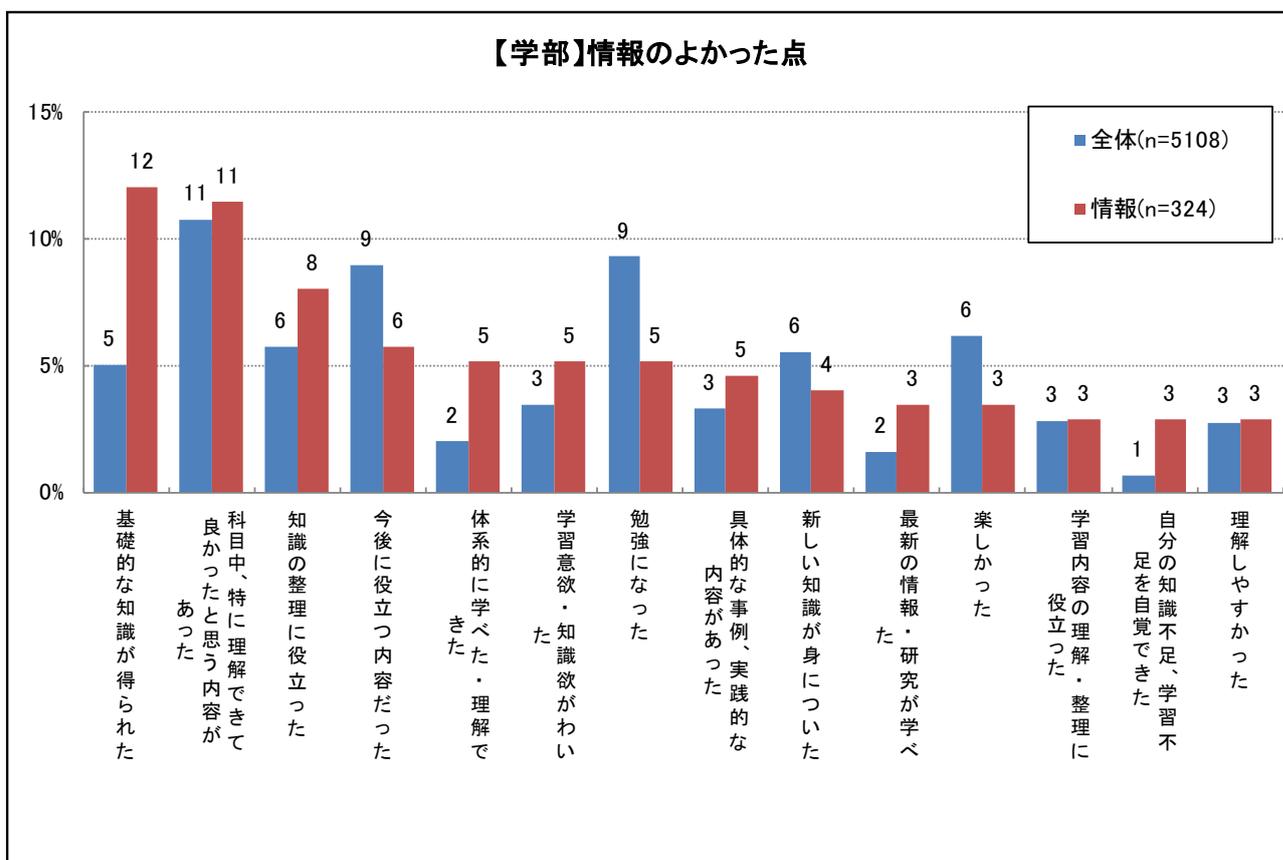
【学部】「情報」の傾向

よかった点

「基礎的な知識が得られた」が12%で最多。

以下、「科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった」が11%、「知識の整理に役立った」が8%、「今後に役立つ内容だった」が6%、「体系的に学べた・理解できた」「勉強になった」「学習意欲・知識欲がわいた」「具体的な事例、実践的な内容があった」が5%で続いていた。

図3-13 【学部】よかった点



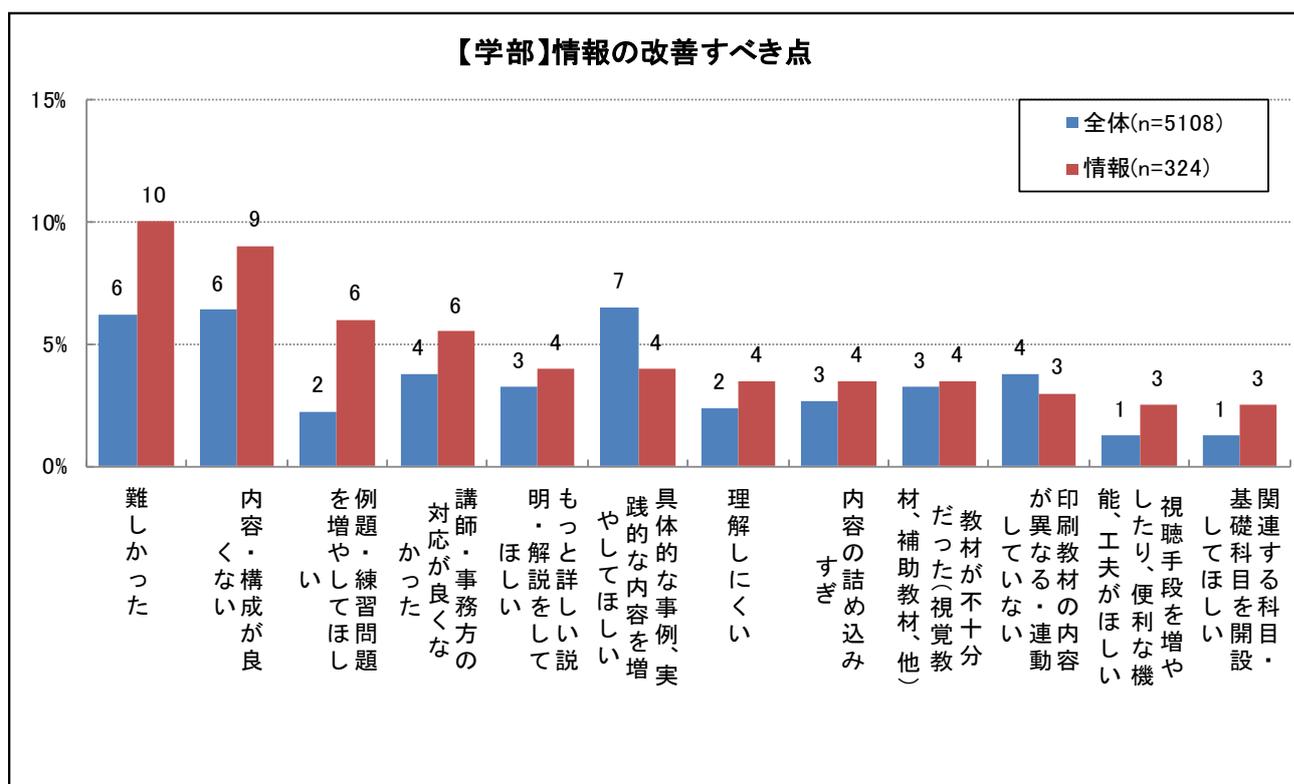
【学部】「情報」の傾向

改善点

「難しかった」が10%で最多。

以下、「内容・構成が良くない」が9%、「例題・練習問題を増やしてほしい」「講師・事務方の対応が良くなかった」が6%で続いていた。

図3-14 【学部】改善すべき点



【学部】「情報」 抜粋

よかった点

- ハード面がよく書かれていた。先生のテキストは特に参考文献も多く、参考にしやすいため、今後の学習にも活かせると思う。
- 実際の識者のインタビューで所感や体験談を知れたのがよかった。
- マーケティングについて体系的に知ることが出来た
- 仕事の分野とは異なるテクノロジーの学習ができた。幅広く実用されていることが知見としてもてたのは仕事にも役立つ。
- ITの現状を知ることができて良かった。
- 新しい知識の習得や、既存の知識の整理ができた
- 実際にHTMLやCSSを使用した問題が出てきていたことで、仕組みに対する理解がより深まった。
- カメラ、マイク、照明の基礎知識と、映像制作の流れを一通り学べた点。
- 苦手と思っていた情報科学が、実践項目が多く楽しく身につきました
- ウェブ検索やサイトの評価の仕組みを知ることができたこと。
- 動画を見るときの視点が変わった。動画を撮るときや写真撮影の際にも参考になる点がたくさんあった。
- カメラワークや照明などについて新しい発見が多くあり、今後の生活に役立てることができる。内容はとても理解しやすかった。
- 映像制作について学べ、これをきっかけにアクションカメラを購入して映像編集に挑戦しています。
- この科目がきっかけでJavaScriptやHTML/CSS、PHPを知ることができて良かった。視野が広がりました。
- ハードウェアや周辺機器などについて学べ、ITパスポートの学習に役立ちました。
- パソコンやプログラムに関して多少知識があったとしても、情報科学とはどんなものかを深く理解していなかったので理解できてよかった。
- 試験をすることで繰り返してその道の第一線で活躍されている方々の考えを知ることが出来ます。
- 基礎的な部分の学び直し・整理をすることができ、エンベデッドシステムスペシャリスト試験対策にも役立った。
- 聞き手として出演された先生がユニークで、楽しんで視聴できた。
- 数に対して苦手意識があったが、表し方や計算の仕掛けを読んで知識を深められた。今後も読み返して理解したいと思える授業だった。
- 先生方の熱意にあふれたご講義に感銘をうけました。テキストもわかりやすかったです。
- YouTubeでの映像投稿を予定しているが、指南書を読んでもわからなかった基本が理解でき、目的を達成できた。
- 映像制作について全体の流れがわかった。また、プロの現場のお話などが聞けてよかった。

改善点

- 講師によって内容の難易度に差がある。平準化なり、印刷テキストでのフォローなりがあると理解しやすい。
- テレビで提示された表やグラフが印刷教材では提示されていない。印刷教材でも掲載すべきだと思います。
- テキストの画像が小さくて見づらいものが多い。
- 自習型問題の解説資料などを PDF でダウンロードできるようにしてほしい。電子データで残せるようにしたい。
- 用語の索引をもう少し充実してほしい。
- 句点がピリオドになっており非常に読みづらかった。通常の「。」を使用していただきたい。
- 印刷教材で初見の難解用語については都度解説してほしい。
- もう少しテキストを厚くしてもよかった。データ構造の基礎くらいボリュームが欲しかった。
- 基礎レベルでは分からない箇所について、理解の補助となる資料や URL を教示いただければと思う。
- コンピュータを使った実際的な内容や、実際のモノがどう使われているのか映像があればよかった。
- 冒頭でくじけた。入りをもっとゆるやかにしてほしい。自分には難易度が高すぎた。
- プロセスの起動順などは、静止画でなく動画（アニメーションなど）で説明していただけると頭に入りやすい。
- 講師があまりに台本を棒読みなのはやめてほしい。また、聞き手とのわざとらしい台詞も聞いていて恥ずかしくなる。
- タイトルのイメージで科目を選択したが、意外にも奥深くて理解する事が難しく感じた。
- 講師と聞き手 3~4 人の掛け合いが冗長。聞き手に異なる背景を持たせるなど、角度を変えた質問をしてほしかった。
- どの程度のプログラミング知識を前提にしているのか不明瞭。シラバスに補足があってもいいと思った。
- 検索等の計算問題について、高校の教科書にあるような「練習問題」のページをつけてほしい。
- WEB 受講では最後までスクロールしないと問題数がわからない。冒頭に総問題数が把握できるようにしてほしい。
- 単位認定試験の結果発表から、次学期科目申込期限までの時間がなさすぎます。余裕を持って科目を選びたい。
- 画面上の「ちゃう」を数える際、改行等で頭を揃えて見やすくしてほしい。数えるクリックで誤選択するのもストレス。
- 通信指導や自習問題の分量が多いかなと感じた。（現在は力になったと感じているが、当時は負担だった）
- 認定試験のような問題が通信指導の問題にあればよかった。
- テロップ背景に講師の画像を重ね合わせる（スーパーインポーズ）など、演出を工夫してほしい。
- 放送内容を面白くしようという意図は分かるが、最終的に演習問題が解けるようなアプローチを扱ってほしい。
- 実際の装置の結線などは、現物が手元にない者にとっては分かりづらく、終われば忘れてしまう内容だった。
- 放送の中に「P〇ページをあけてください」といった、学習意欲を維持させるような配慮や声かけが欲しい。
- サポートサイトが不親切。放送大学は実習量が圧倒的に足りないなので、少しでも実習を取り入れていただきたい。

【学部】「情報」

よかった点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
基礎的な知識が得られた	21		21	学習内容の理解・整理に役立った		5	5
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった	20		20	楽しかった		3	3
知識の整理に役立った	14		14	授業各回の内容・構成が良かった		3	3
今後に役立つ内容だった	10		10	アシスタント・聞き手・ナビゲーターが良かった		2	2
勉強になった	9		9	良い授業だった		1	1
体系的に学べた・理解できた	9		9	現場取材や、第一線の方へのインタビューが良かった		1	1
具体的な事例、実践的な内容があった	8		8	講師の熱意・熱心が伝わった		1	1
学習意欲・知識欲がわいた	8		8	理解しやすかった		1	1
新しい知識が身についた	7		7	印刷教材と連動していて良かった		1	1
最新の情報・研究が学べた	6		6	ゲストを招いた授業が良かった、ゲストの話が良かった		1	1
自分の知識不足、学習不足を自覚できた	5		5				
理解しやすかった	4		4				
興味・関心が持てた	3		3				
視野が広がった	3		3				
楽しかった	3		3				
全体として満足している	3		3				
内容・構成が良かった	2		2				
深く学ぶ(考える)ことができた	1		1				
受験・資格取得に役立った	1		1				

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
引用・参考文献の紹介が良かった		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
科目内容の理解度をはかるのに相応しい内容だった		2	2
学習意欲・知識欲がわいた		1	1

改善点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
難しかった	20		20	内容・構成が良くない	5		5
講師・事務方の対応が良くなかった	11		11	印刷教材の内容が異なる・運動していない	4		4
内容・構成が良くない	10		10	理解しにくい	4		4
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい	8		8	例題・練習問題を増やしてほしい	4		4
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	8		8	印刷教材と異なる講義が聞きたい	2		2
例題・練習問題を増やしてほしい	8		8	演出が良くない、演出を工夫してほしい	2		2
教材が不十分だった(視覚教材、補助教材、他)	7		7	視聴手段を増やしたり、便利な機能、工夫がほしい	2		2
内容の詰め込みすぎ	7		7	講師の解説・指導が良くなかった	2		2
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	5		5	講師以外には必要ない・違和感がある	2		2
内容が浅い	4		4	単位認定試験と運動していない	2		2
資料・データ・映像・内容が古い、改訂してほしい	3		3	例題、演習問題を解きながら解説してほしい	2		2
授業科目案内内は内容が不十分だった	3		3	図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい	1		1
内容が専門的で難しかった	3		3	授業のテンポが良くない(早い・遅い)	1		1
最新の内容を講義してほしい	2		2	メディアの特性に合わない授業内容だった	1		1
内容にまとまりがない	2		2	解説中の印刷教材のページが分かりにくい	1		1
授業のテンポが良くない(早い・遅い)	2		2	不要なロケ、動画等がある	1		1
テレビ科目、ラジオ科目を増やしてほしい	1		1	誤植がある	1		1
参考文献・補助教材・問題集を紹介、発刊してほしい	1		1	聞き手がいた方がよい	1		1
講義内容と科目名に乖離がある	1		1	面接授業・実習を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	1		1
新しい科目、広い分野をカバーする科目がほしい	1		1	引用・参考文献・補助教材・問題集を紹介してほしい	1		1
(各章ごとの)まとめや学習ポイント・総括がほしい	1		1	内容が薄い・少なすぎる	1		1
質問や相談がしたい	1		1	具体的な事例・実践的な内容を載せてほしい	1		1
講師の詳しいプロフィールや研究内容、仕事内容等を知りたい	1		1	最初やキャプター等の変わり目の音楽、効果音等は不要	1		1
視聴手段を増やしたり、便利な機能、工夫がほしい	1		1	授業科目案内内は内容が不十分だった	1		1

印刷教材				通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
理解しにくい	3		3	課題(問題)の範囲・難易度・量が適切ではない	1		1
内容・構成が良くない	3		3	課題(問題)が、単位認定試験と直結していない	1		1
図・表・写真・イラストを増やしてほしい	2		2				
印刷教材の内容が異なる・運動していない	2		2				
詳細な解説がほしい	2		2				
フリガナ、専門用語の説明などがほしい	2		2				
視聴手段を増やしたり、便利な機能、工夫がほしい	2		2				
図・表・写真・イラストが見づらい	1		1				
索引を充実させてほしい	1		1				
文字が読みづらい	1		1				
放送授業中の資料・データ、ゲストの話を載せてほしい	1		1				
追加情報・追加教材がほしい	1		1				
内容が薄い・少なすぎる	1		1				
難易度・分量が不適切だった	1		1				
講師により内容にバラつきがある・解説が異なる	1		1				
図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい	1		1				

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
試験が授業・印刷教材・通信指導の内容と異なった	4		4
問題数が多かった・範囲が広がった	2		2
難易度を下げるべき	1		1
問題の解答・解説・用紙がほしい	1		1
試験に関する情報を早く教えてほしい	1		1
Web試験では出力できないので計算や記入ができず難しい	1		1

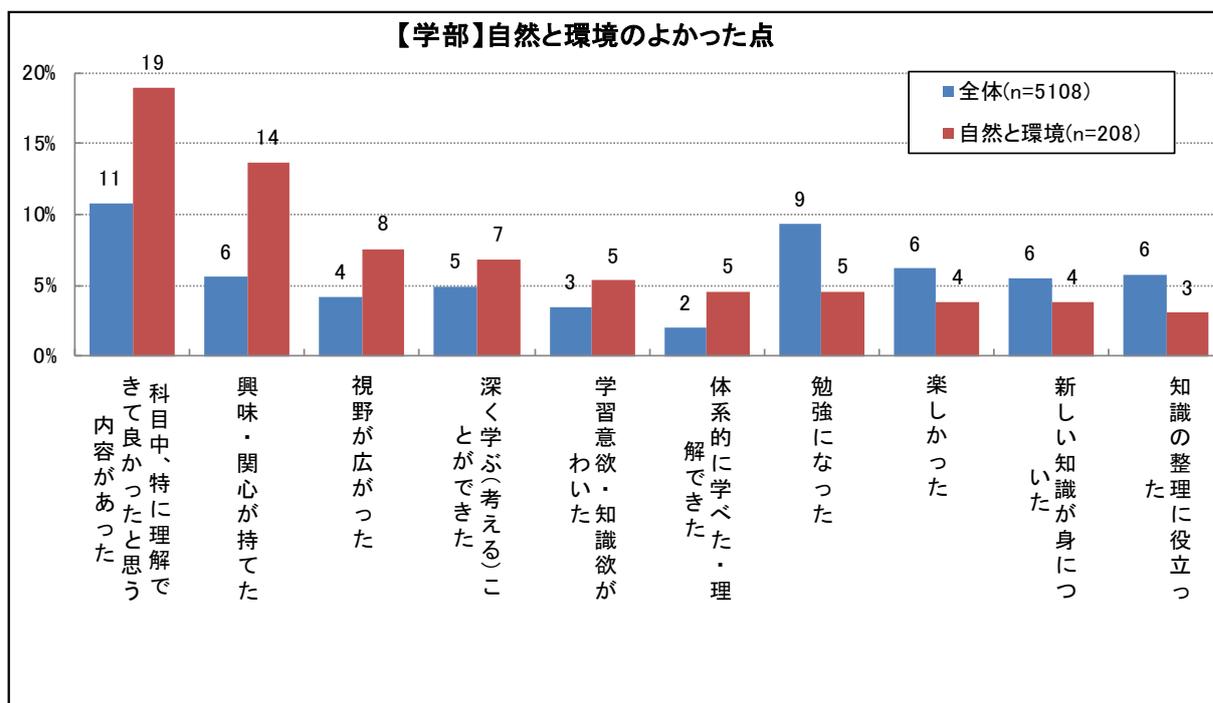
【学部】「自然と環境」の傾向

よかった点

「科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった」(19%)、「興味・関心が持てた」(14%)が10%を超えた。

以下、「視野が広がった」が8%、「深く学ぶ(考える)ことができた」が7%、「学習意欲・知識欲がわいた」「体系的に学べた・理解できた」「勉強になった」が5%で続いていた。

図3-15 【学部】よかった点



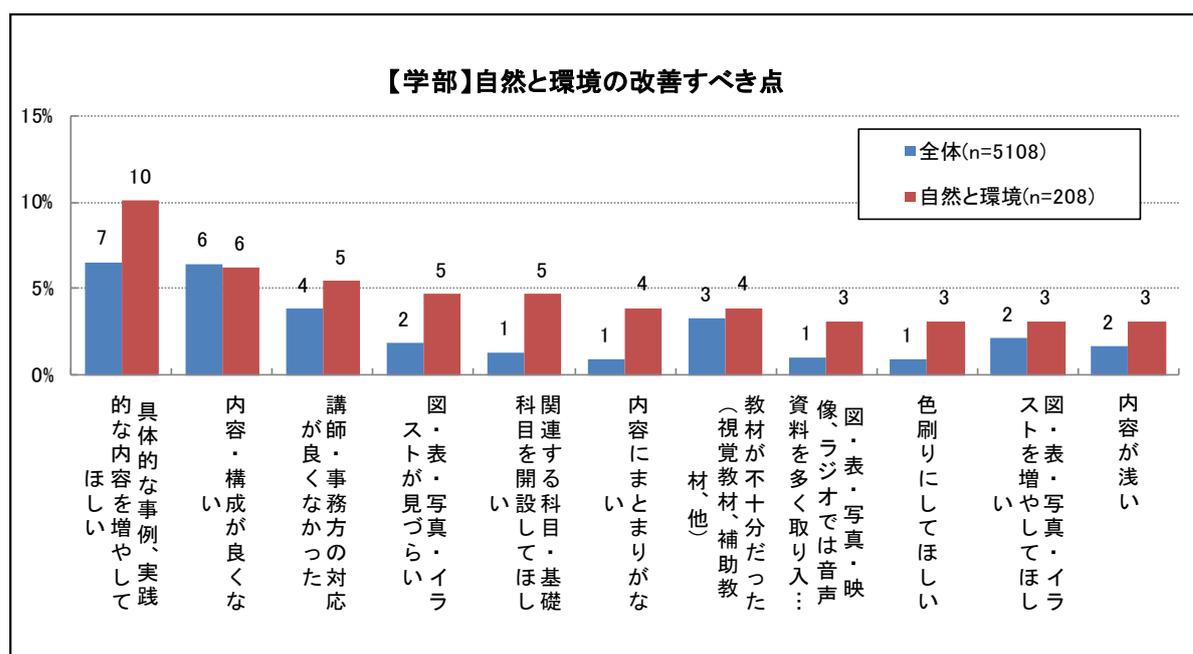
【学部】「自然と環境」の傾向

改善点

「具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい」が10%で最多。

以下、「内容・構成が良くない」が6%、「講師・事務方の対応が良くなかった」「図・表・写真・イラストが見づらい」「関連する科目・基礎科目を開設してほしい」がそれぞれ5%で続いていた。

図3-16 【学部】改善すべき点



【学部】「自然と環境」 抜粋

よかった点

- テレビ教材で、実際の植生や生態系の様子が紹介されているところは、見るのが楽しみでした。
- 地球のダイナミクスに関連し、教材に使われた場所を訪れたことでジオストーリーの理解が深まりました。これからの旅の視点も変わります。
- 試験結果は別として、印刷教材を読み込み、とても興味が湧き、楽しく学ばせていただきました。
- 映像教材の場所を実際に歩いてみて体感できたことはよかったです。岩石や地層についてさらに深く勉強したいと思っている。
- ニュートンがいかに先人の肩に乗ったのかがよく理解できた。微分と積分が逆演算の関係と気付いた発想の謎がこの講義で理解できた。
- 通常の理学・工学分野では経験できない、歴史の視点から学ぶことができる数少ない貴重な経験だった。
- 何げなく見ていた道路脇の草木が意味のあるものに見えてきて、地球の循環のひとつとして改めて見直すことができた。
- 専門的ではあるが、とても身近なことであり、私たちの営みに非常に関係があることがよく分かった。
- 生物を取り巻く環境について更に深く学ぶための知識の基礎が身に付いた感覚がある。
- 色々事象のつながりが理解できた。
- 計算方法や式を学ぶより意味理解に重点を置いた学習で、全体的に教養が深まった。
- 地学が総合科学であり門戸が広いことを実感。自分の興味のある分野から取り組んでいいとわかり、今後の学習に意欲が湧きました。
- 数学の歴史を体系的に学べた。イスラム圏の科学についても詳しく学ぶことが出来、論証が重視されたという点も興味深い。
- 岩石名を覚えることより関心をもってもらうことを大事にする大森先生の語り口が柔らかく、次回も先生の科目を履修したい。
- 歴史の楽しさを知った
- 生物環境がいかに生物同士の関係で成り立っているか、また人間がその環境にどう向き合ったらいいのかなどが良くわかった。
- 地震、岩石、地形といった興味ある分野の最新の情報を確認することができ有意義であった。
- 人中心の考え方ではなく共生が必要であり、そのために自分たちは何をしていくのかを考える必要があると痛切に感じた。
- ジオパーク、地質全般にわたるテキストは多くないので、やさしく解説があり良かった。
- 関連するウェブサイトの存在を知ることができた。
- ダイナミックな地球の単位習得後に本講座受講でしたが、完全ではないとしてもより理解度が深められたと思う。
- 歴史を振り返り、アリストテレスが重要視される理由に納得。構成が秀逸で教科書としても読み物としても楽しめた。
- 数学と科学の歴史的流れを概観できた。授業ではポイントを説明したボードがわかりやすく効果的だった。
- 放送授業が充実していたので学習が進めやすかった。教授の話も分かりやすいし、聞き手も良かった。
- 授業を受けたことで、身近な自然環境への関心が高まった。テレビや新聞の関連話題にも興味が持てるようになった。
- 印刷教材だけの予習では理解できない箇所が放送授業の説明を視聴して理解できた。
- 自然系の授業が好きなので受講。ロケが多く、興味がある部分がたくさん扱われていて勉強するのが楽しかった。

【学部】「自然と環境」 抜粋

改善点

- 年表があると分かりやすい。
- 写真と解説文章との乖離が気になる。図から読み取る方法や、注視すべき点についての解説を充実させてほしい。
- 学習のポイントを最後に整理して提示してほしい。印刷教材との関連を画面上で表示してほしい。
- 放送ではカラーでわかりやすい図が、印刷教材では白黒になって判別しにくいことがあった。
- 植物の写真と特徴を表と写真でまとめて欲しかった。
- テキストの図が細かすぎて見づらいところがあった。
- 重要なポイントは、活字を例えばゴシック体にするなどしてほしい。
- 印刷教材に誤字や図の数値の漏れが散見された。校閲を徹底してほしい。
- 注釈やコラムが多く、科目の理解には少々煩雑に感じるところもあった。
- 12・13章は話の流れが冗長で、後から読み直しても重要ポイントを見つけにくい。体系的な説明にしてほしい。
- 動く図表（アニメーション）などを導入できると、より理解が深まると思う。
- テンポ感が遅い。画面づくりが古いので、もう少しきれいに制作してほしい。
- 現地ロケ（離島・海外も含め）をもっと増やすと良い。
- スライドを読むだけのパートはなくしてほしい。事実、仮定、推論、結論の話し方にメリハリをつけてほしい。
- 実際の数学の問題を解くことはしないとのことだったが、いくつかの基本的な問題を解いていく様を見てみたかった。
- 科目名が「数学の歴史」だが、内容はニュートンまで。範囲がわかるようなタイトルにするか、近代まで含めてほしい。
- 導入科目と内容が一部重複していた。もう少し専門的な内容に踏み込んで欲しかった。
- 字幕表記をつけてほしい。専門用語は耳で聞くだけでは漢字がわからず、理解しにくい。
- 最終章の内容はあまり興味を持つことができなかった。
- 特定の地域（阿蘇や東京）の地下水学に偏っている印象。地下水学として別科目を設けるなどしてはどうか。
- 認定テストの過去問の解答を掲載してほしい。自身の回答が合っているか確認したい。
- 自宅受験と学習センター受験で出題形式（複数選択の有無）が異なると難易度に差が出るため、公平にしてほしい。
- 試験の記述と教科書の記述（球体か、ほぼ球体か）にわずかな差があり、混乱して時間を要してしまった。
- 印刷教材にヒントがなく、放送授業の内容を覚えていないと答えられない問題があった。難易度が高い。
- 放送授業のスライド内に、アリストテレスの誤字（アリストレス）があった。
- 幾何学的な図形の説明など工夫できるはずなのに、テキストを読み上げるだけで、映像授業の特性が生かされていない。
- 放送授業と印刷教材の進行順が異なる箇所があり、学習しにくかった。
- 放送で提示されている図表を拡大して確認したい。ウェブサイトなどで高精細な画像を公開してほしい。

【学部】「自然と環境」

よかった点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった	25		25	講師の解説が分かりやすかった	3		3
興味・関心が持てた	18		18	学習内容の理解・整理に役立った	1		1
視野が広がった	10		10	楽しかった	1		1
深く学ぶ(考える)ことができた	9		9	授業各回の内容・構成が良かった	1		1
学習意欲・知識欲がわいた	7		7	図・表・写真・映像・音声資料があり、内容が理解しやすかった	1		1
勉強になった	6		6	科目全体の内容・構成が良かった	1		1
体系的に学べた・理解できた	6		6	印刷教材と連動して良かった	1		1
新しい知識が身についた	5		5				
知識の整理に役立った	4		4				
楽しかった	4		4				
基礎的な知識が得られた	3		3				
内容・構成が良かった	3		3				
身近に感じられる内容だった	3		3				
現在の課題や身近な問題点を学べた	3		3				
具体的な事例、実践的な内容があった	2		2				
理解しやすかった	2		2				
最新の情報・研究が学べた	2		2				
今後に役立つ内容だった	1		1				
全体として満足している	1		1				
自分の知識不足、学習不足を自覚できた	1		1				
引用・参考文献・補助教材・問題集の紹介が良かった	1		1				
難易度・分量が適切だった	1		1				

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
様々な事例、具体的な事例が学習に役立った	3		3
読み物として面白い内容だった	1		1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
科目内容の理解度をはかるのに相応しい内容だった	1		1

改善点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい	13		13	図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい	4		4
講師・事務方の対応が良くなかった	7		7	図・表・写真・イラストが見づらい	3		3
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	6		6	もっと深く学べるようにしてほしい	3		3
内容・構成が良くない	5		5	聞き手がいた方がよい	3		3
教材が不十分だった(視覚教材、補助教材、他)	5		5	印刷教材の内容が異なる・連動していない	2		2
内容にまとまりがない	5		5	内容・構成が良くない	2		2
内容が浅い	4		4	現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい	2		2
内容の詰め込みすぎ	3		3	理解しにくい	1		1
テレビ科目、ラジオ科目を増やしてほしい	2		2	演出が良くない、演出を工夫してほしい	1		1
参考文献・補助教材・問題集を紹介、発刊してほしい	2		2	視聴手段を増やしたり、便利な機能、工夫がほしい	1		1
興味・意欲がわかなかった	2		2	手話通訳、または字幕がほしい	1		1
講義内容と科目名に乖離がある	2		2	メディアの特性に合わない授業内容だった	1		1
例題・練習問題を増やしてほしい	1		1	誤植がある	1		1
最新の内容を講義してほしい	1		1	講師によって授業のレベルが違う	1		1
講義回数を増やしてほしい、受講期間を長くしてほしい	1		1	内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	1		1
新しい科目、広い分野をカバーする科目がほしい	1		1				
内容が基礎的で物足りなかった	1		1				
期待していた内容ではなかった	1		1				
科目により難易度の差が大きい	1		1				
授業のテンポが良くない(早い・遅い)	1		1				

印刷教材				単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
図・表・写真・イラストを増やしてほしい	4		4	難易度を下げるべき	2		2
色刷りにしてほしい	4		4	難易度を上げるべき	1		1
図・表・写真・イラストが見づらい	3		3	問題の解答・解説・用紙がほしい	1		1
誤植がある	2		2	誤植があった、数字の誤りがあった	1		1
理解しにくい	1		1				
内容・構成が良くない	1		1				
詳細な解説がほしい	1		1				
索引を充実させてほしい	1		1				
引用・参考文献・補助教材・問題集を紹介してほしい	1		1				
重要な言葉は太字や斜体、アンダーライン等わかりやすくしてほしい	1		1				
(各章ごとの)まとめや学習ポイント・総括がほしい	1		1				

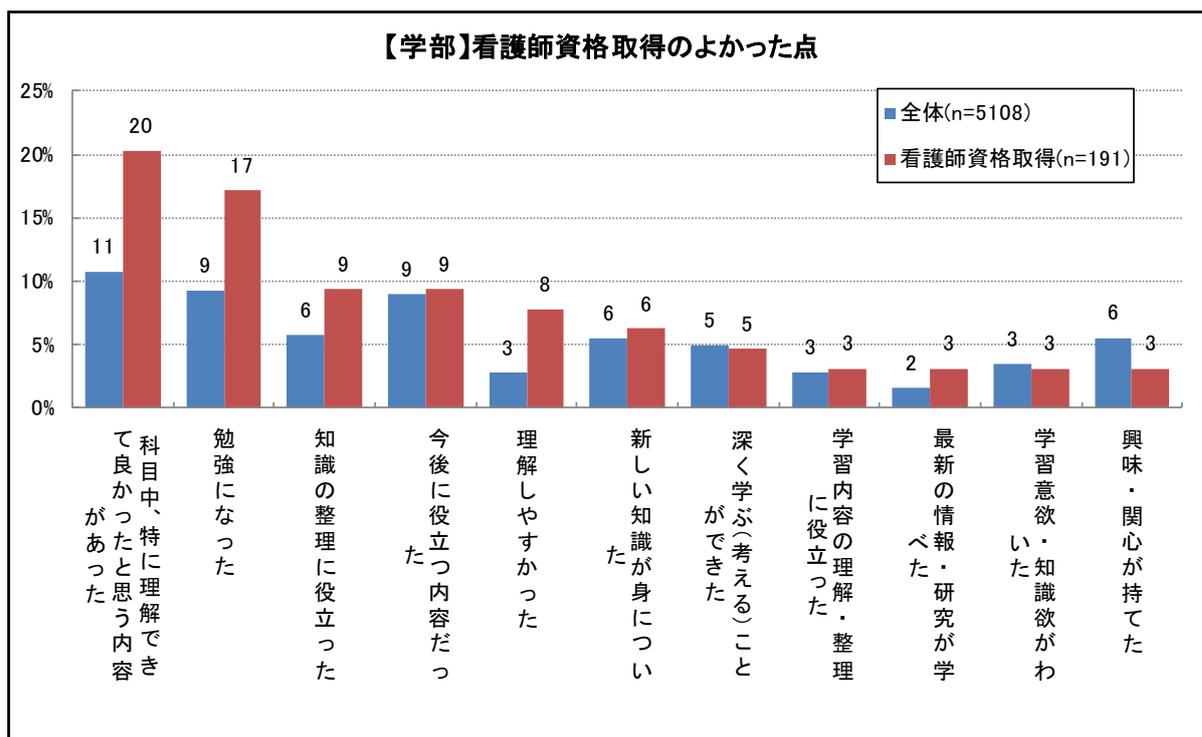
【学部】「看護師資格取得」の傾向

よかった点

「科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった」が20%で最多。

以下、「勉強になった」が17%、「知識の整理に役立った」「今後に役立つ内容だった」が9%、「理解しやすかった」が8%、「新しい知識が身についた」が6%で続いていた。

図3-17 【学部】よかった点



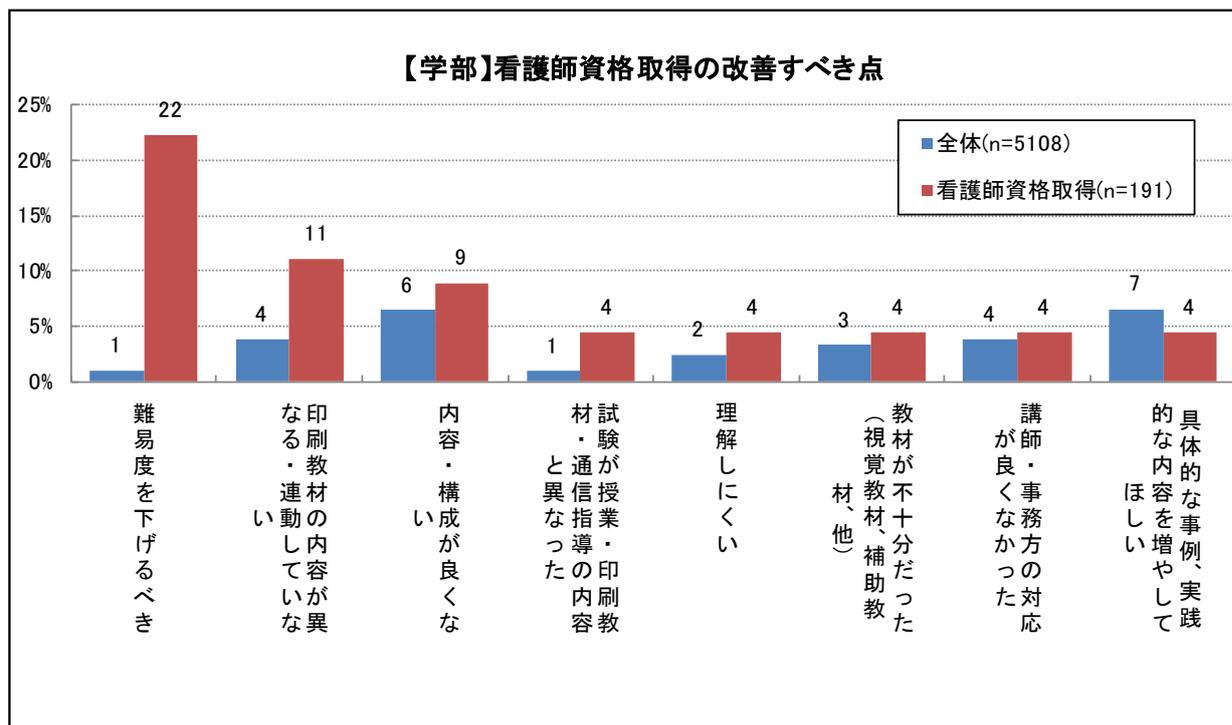
【学部】「看護師資格取得」の傾向

改善点

「難易度を下げるべき」が22%と突出して高かった。

以下、「印刷教材の内容が異なる・連動していない」が11%、「内容・構成が良くない」、
「内容・構成が良くない」9%で続いていた。

図3-18 【学部】改善すべき点



【学部】「看護師資格取得」 抜粋

よかった点

- 今までの知識の振り返りができた
- 苦手な精神分野に関して、医学と看護学の違いが明確にされたことはよかった。
- 現在の老年看護の課題の知見を得た。
- 先生方の経験や体験を通して理解を深めることができた。
- 看護師として、現在は地域包括病棟で勤務していますが、内容は適切であり、改めて大切なことに気がつくことも多くありました。
- とても難しい内容でしたが、知らなかったことも多く、新しい知識を得られたことはとても良かった。
- 最後まで、飽きずに受講できたところが良かったです。簡単すぎず、難しすぎず、ちょうど良かったです。
- 患者様の多くは老年期なので、日頃の看護実践に繋がると感じました。
- 精神科の歴史と向精神薬への理解が深まった
- 関心ある内容の講義もあり、興味を持って受講することが出来ました。
- 介護する上で精神疾患の事をわかり理解も得られた。
- 老年看護学(25)は、新しくなったばかりなので分かりやすかったです。
- ストレngthsに着目したアセスメントの重要性が理解できた。当事者が強みをいかしつつエンパワメントしていけるような支援が重要だと感じた。
- 超高齢化社会を迎え、老年期において様々な視点から学びを深めることができよかったです。今後の仕事に役立てていきたい。
- 非常に難しい科目でしたが、もう一度学び直して次回に生かしたい。学習意欲がわきました。
- 患者様がどう思っているのか想像するようになり、自分中心から客観的視点を持てるようになった。学んで良かった。
- 疾患別に対応の仕方に違うところもあり再確認出来る場所もあって良かった。
- わかりやすく、楽しかった。
- いずれ自分も年をとる。自分ならどんな看護をしてほしいのかを考えさせられた。看護が人に優しいものだとも再確認できた。
- 薬の説明が仕事でも役にたった。
- さらに興味深く、もっと勉強したいと思えた。
- 今後の人生の心づもりとして受講。社会や行政の制度を詳しく解説していただき、覚悟が少しずつ出来て来た様に思う。
- 現在就業している業務に密接に関連している内容で、日常的に役に活かせる内容でした。
- 看護に必要、また現在の仕事に直結する内容だったので、興味を持って取り組みました。
- 苦手な分野でしたが、出題された問題と実際の現場であり得るかもしれないと考えたとき、いい勉強になりました。
- 講義はとても分かりやすく聞き取りやすい。改めてお年寄りに寄り添った看護とは何かを学ぶことができた。
- 実際の現場で看ている患者様と照らし合わせて受講できたのが良かったです。知識の習得につながりました。
- 関連科目を先に受講していたため、精神看護学はとても深い学びとなった。多様な疾患の特性を知り援助方法を学べた。
- インタビューの回では患者を支える家族の気持ちのリアルを知ることができて良かった。老年期の身体的・精神的特徴を再認識した。

【学部】「看護師資格取得」 抜粋

改善点

- 教科書がわかりにくさがある
- 印刷教材との関連性の理解が難しかった。
- 第3章の表3-1がもう少し詳しいと助かります。
- ききなれない言葉や知らないことばで誤解してしまうおそれがあるので、テロップを出してほしいです。
- シラバスと内容が異なっているように思った。以前の看護感と現在の違いについて非常に悩んだ。
- 事例紹介やワンポイントアドバイス等も組み込んで頂けたら幸いです。
- 当事者だけでなく、支援者のメンタルヘルスの支援についてもっと知りたいと思った。
- ラジオより、映像のほうがより集中力を持って視聴できるように思います。
- 疾患別に、分かり易い表があったら良かったように感じました。
- 歴史の記述はわかりづらかった。日々勤務していく中での変遷との違いに困惑した。
- 講師の先生方が原稿の棒読みだったりするので、改善されるとより受講しやすいと思った。
- 国試対策などを取り入れて頂けたら、すごく助かると思いました。
- 講師の口元の音（リップノイズ）が気になるのと聞き取りにくい話し方で受講中ストレスだった。
- 教科書に沿っていない箇所があり、該当ページを探すのに時間がかかった。
- テストが4択のうち2問選択は難しかった。1問正解しても、もう1問がわからなかったりした。
- 単位認定試験が他の科目や過去の問題と比べ、とても難しく感じた。選択項目は2つ等に絞っても良い。
- 看護師国家試験のための科目設定だが、どのような準備をすればよいのか具体的な課題を提示してほしい。
- 印刷教材と放送授業を観ても答えにつまる試験内容だった様に感じました。
- 択一式（一つを選ぶ）と案内がありながら、二つの解答を強いるのは落とすための引っ掛けに感じる。
- 講師の話し方が模範モデルのようで自然さに欠ける。ノートパソコンを見るだけの講義は改善してほしい。
- 放送教材と印刷教材の内容をなるべく同じにするほうが理解が高まりやすい。
- 放送の内容と認定試験の内容には違いがあると思いました。
- 印刷教材に沿った放送授業内容になっているともっとわかりやすい。
- 難聴のため字幕が欲しかった。講義録の手続きなしでもダウンロード出来るようにしてほしい。
- テレビ画像で図表を指示していただくとさらに分かりやすかった。
- 図表や画像に内容を盛り込みすぎている。また、同じ章の中でも前後されると理解が追いつかない。
- 図表以外にも実際の患者さんへのインタビューなど臨床をイメージできる授業になるとより良い。
- 先生方が遭遇した実際の事例やエピソードも授業に織り交ぜてほしいです。
- 印刷教材の内容が放送授業では説明されず、理解が難しい。体験談を減らして教材の説明を増やしてほしい。
- 話の順番があっちへ飛んだりこっちへ飛んだりでは、箇所を探すだけで精一杯で理解が追いつかない。

【学部】「看護師資格取得」

よかった点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった	8	5	13	学習内容の理解・整理に役立った	1	1	2
勉強になった	6	5	11	現場取材や、第一線の方へのインタビューが良かった	1		1
今後に役立つ内容だった	2	4	6	講師の話し方が良かった、声が聞き取りやすかった	1		1
知識の整理に役立った	5	1	6				
理解しやすかった	3	2	5				
新しい知識が身についた	2	2	4				
深く学ぶ(考える)ことができた	1	2	3				
興味・関心を持てた	1	1	2				
学習意欲・知識欲がわいた	2		2				
最新の情報・研究が学べた	1	1	2				
楽しかった		1	1				
具体的な事例、実践的な内容があった		1	1				
専門的な内容だった	1		1				
自分の意見・考えを持てるようになった		1	1				
難易度・分量が適切だった		1	1				

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
難易度が適切だった	1		1

【学部】「看護師資格取得」

改善点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
内容・構成が良くない	3	1	4	印刷教材の内容が異なる・連動していない	4		4
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい	1	1	2	印刷教材と異なる講義が聞きたい	1		1
講師・事務方の対応が良くなかった	2		2	図・表・写真・イラストが見づらい		1	1
教材が不十分だった(視覚教材、補助教材、他)	1	1	2	現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい	1		1
難しかった	1		1	手話通訳、または字幕がほしい		1	1
テレビ科目、ラジオ科目を増やしてほしい		1	1	講師・ナレーター・ゲスト等の話し方が良くない、声が聞き取りづらい	1		1
最新の内容を講義してほしい	1		1	解説中の印刷教材のページが分かりにくい		1	1
受験・資格取得に役立つ内容にしてほしい		1	1	単位認定試験と連動していない	1		1
				参考となる事例や資料の紹介がほしい		1	1

印刷教材				単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
理解しにくい	2		2	難易度を下げるべき	10		10
印刷教材の内容が異なる・連動していない	1		1	試験が授業・印刷教材・通信指導の内容と異なった	2		2
詳細な解説がほしい	1		1				

Ⅲ－２．学部（オンライン授業）

ここからは、各部オンラインの全体との比較で、当該科目がどういう傾向にあったのかを見ていきたい。

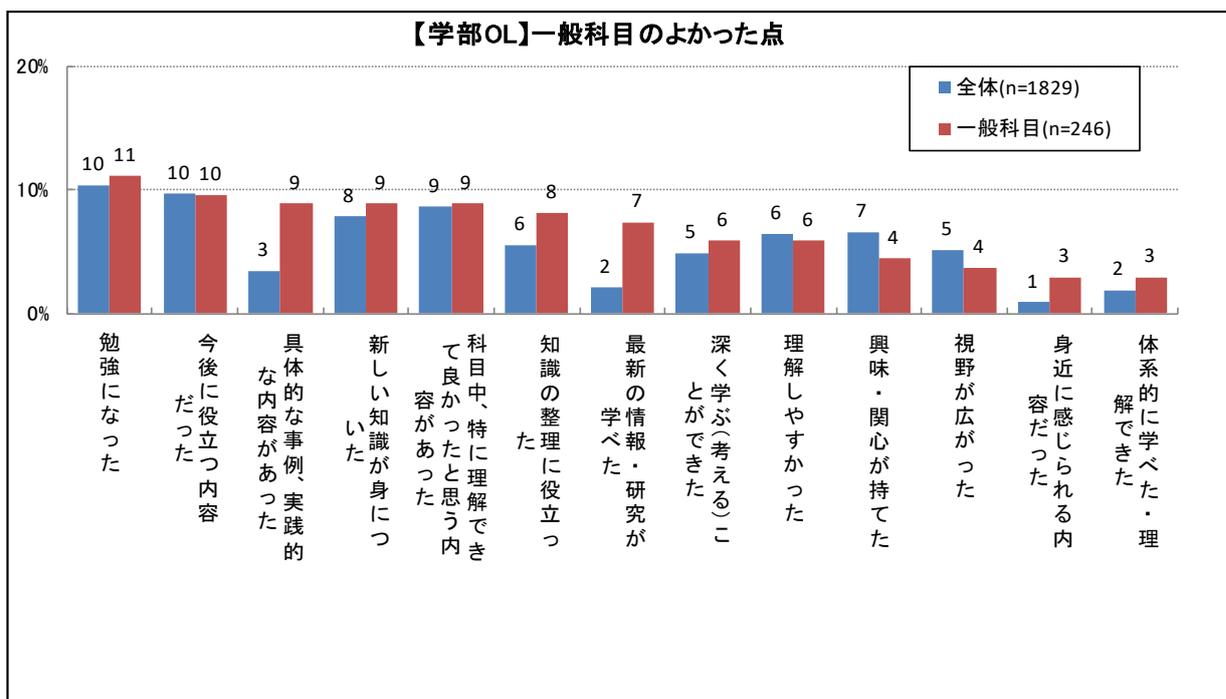
学部のオンライン科目については、科目別（中区分）の自由記述の集計結果から、よかった点については、回答された項目が3%以上の場合、改善すべき点は、回答された項目が3%以上か、比率の高い上位5項目を掲載した。

【学部 オンライン】「一般科目」の傾向

よかった点

「勉強になった」が11%で最多。以下、「今後に役立つ内容だった」が10%、「具体的な事例、実践的な内容があった」「新しい知識が身についた」「科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった」が9%で続いていた。

図3－19 【学部 オンライン】よかった点

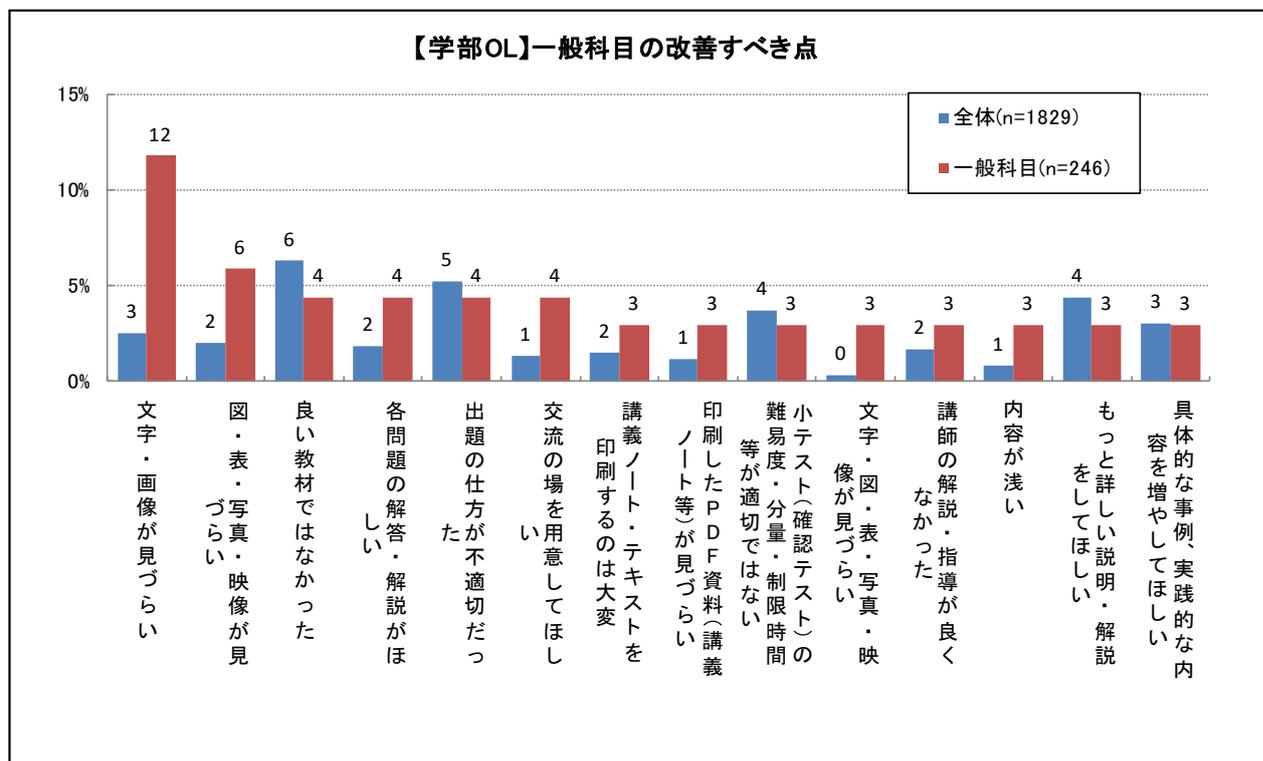


【学部 オンライン】「一般科目」の傾向

改善点

「文字・画像が見づらい」が12%で最多。以下、「図・表・写真・映像が見づらい」が6%、「良い教材ではなかった」「各問題の解答・解説がほしい」「出題の仕方が不適切だった」「交流の場を用意してほしい」が4%で続いていた。

図3-20 【学部 オンライン】改善すべき点



【学部 オンライン】「一般科目」 抜粋

よかった点

- オンライン授業のこの科目は、1単位しか取れませんが、授業内容のボリュームとしては、ちょうど良いと感じました。
- いろんな施設の方の実態や仕事内容などが入っている内容となっており、理解しやすいリアルな内容でわかりやすかった。
- 理論的な法制度の解説と、実践現場の声の両方が聞けて、机上の空論ではないのだと実感できた。貴重な時間をありがとうございました。
- 子ども政策について俯瞰的な視点から全体の流れを知ることができた。支援施設への実感なども知ることができ、印象的だった。
- 少子化対策などの課題が理解できた。
- 子育て政策の変遷と、今後どのような視点を持って政策を進めていけばよいのか、新たな視点をいただきました。
- 子育て支援の施策について、色々改訂されていることを知った。以前に比べれば支援策が充実してきている。
- 子どもの権利について学びを深められたこと。
- 子どもを取り巻く環境について学びを深めることができた。内容はとても良く受講して良かったと感じている。
- 少子化の現状を確認できた。
- 短時間で体系的に学習でき、理科系の私でもよく理解でき興味も集中力も維持できた。講師の熱心が伝わった。
- 自分が将来どのような形でサービスを受けれるかを詳しく知れて良かったです。
- 次の世代を産む人口が減っていく連鎖を知り、さらに子育て世帯を支援していきたいと思うようになった。
- 解決方法が全く分かりませんでしたでしたが、受講前よりは私なりの考えが多少まとまったように感じます。
- 周りに助けてもらって良いんだと思えたことが、一番よかった。一人で育てなければならない訳ではないと安心した。
- 子育て支援制度について体系的に学べたところ。
- 古い知識ではだめで、法改正などの新しい情報を取り入れることの大切さを感じた。
- 報道等で言葉は耳にしていたが、詳しくは知らなかった。今後この問題への見る目が変わると思う。
- 自分が無知であることに気付くことができたのでよかったです。
- 今年度から支援センターで勤務しているため、制度改正など理解を深めることができ、とても参考になった。
- リアルタイムの学びができてよかった。
- 現在の子育て支援について知識のアップデートができ、視野が広がりました。
- 普段の日常生活ではあまり意識することのない問題を改めて学習でき、今後自分自身も貢献できたらと思えた。
- 少子化問題に関して、自分の中だけでは解決しない多くの視野を経験できた。
- 個性的な先生ばかりで話のにりこむように聞いてしまった。データサイエンティストの貴重な話も聞け、楽しかった。
- まとめも毎回あって、とてもわかりやすい講義でした。
- 子ども家庭庁の仕組みや子どもに取り巻く社会問題を再認識できた。
- 児童福祉の分野ごとに子どもに係る法律を学びました。

【学部 オンライン】「一般科目」 抜粋

改善点

- 印刷教材が欲しかったです。自分の手書きより理解出来る為
- 印刷教材が 2in1 等の構成で、内容が多いと判読できないため、1in1 の構成を希望します。・各練習問題に比べて、小テストが少し難しく感じ、かつ 2 問しかないので、難易度や設問数のバランスが取れるとよいと思います。
- 字幕があると理解が深まる。講師の説明がわかりにくいところがある。法律関係の表現は特に難しいが、簡潔明瞭にできればお願いしたいです。
- 交流フォーラムに受講生の方が書き込みをされていて、講師の先生に問いかける内容であるが、先生からの回答が現在のところされていないのが残念。「交流」とある以上、最低限でも回答していただければよりオンライン講義のメリットが生かされたのでは。
- 資料が一部細かく、印刷すると見えにくい。全て印刷するとかなりの量になるので印刷教材があるとありがたかった
- 映像中のキャプションやパターンに、誤解を招くような誤字があり気になった。また、講師の話は一文が長くメモをとりづらかった。単文で切ってもらった方が、要点をとりやすいと感じた。
- 意見交換の機会が無いのはオンライン科目として物足りなさを感じた。
- 法律関係なので仕方ないが、説明が長く、少しわかりにくい。
- ざっくりと制度だけでなく、具体的な家族構成でき、試算した方が実感出来る。
- ディスカッションがほとんどない点
- 講師の話し方に抑揚がない時があり、内容は興味深いのが、退屈に感じることもあった。
- 現場感覚での話が聞けると理解が深まるのでインタビューを含む授業を増やすべきだと感じた。
- 知ることができた情報はよかったですのですが、その情報を日々どのように受け取ればよいのか。困っている人にも届かないのではないかと、どうしたら届けられるのだろうか、と日々考えています。
- 子育てという点、どうしても子どもを育てている世帯、家族のことだと思います。子ども本人の内容もあるので、科目をもう少し変えた方がいいかもしれません。
- 男性の講師の方が一部で寝ているような様子も見受けられたので、大丈夫かなと感じた。
- 初めに法律のことを羅列されると苦手意識が先行してしまうので、順番を変えたほうが良い気がします。
- 基礎科目になるためか、法律の部分が多く、発展した内容にも触れてあるとよかったと思う。
- まとめパートが抽象的。もっと踏み込んだ私見が欲しかった。法と政策というタイトルなのに子どもと地域の関係、取り組みが少ない。インフォーマルサービスも取り上げないと受講生は行政サービスしかないと思える。
- 実際の当事者の声が聞けたら、もっと心に響く講義になれたかと思います。例えば、障害児なら保護者の思いなど当事者の視点も聞けたら、さらに多面的・複視眼的に捉えることが出来たかと思います。
- 印刷資料では令和等の年号なのに、映像の先生は西暦で言われてた場面が多々あり、混乱した。グラフや表が小さすぎて見えにくかった。
- 講義内容が良い分、ボリュームがあると感じた。2 単位の授業に変更した方がゆっくり学べると感じる。
- 講義内容は理論や制度に関する情報が中心で、現場の生の声を聞く機会が少なかった。現場の映像資料やゲストスピーカーの話などがあると、より実践的な理解が深まると感じた。
- 視聴メモを印刷した場合、文字数字が潰れ、読み取れませんでした。添付画像を大きくする等、ご検討いただけますと幸いです。
- 小テストが引っ掛け問題が多すぎて、教養を深めるというより資格試験のように知識を定着させているかに重きを置きすぎているように感じた。
- 練習問題の解説について、何問かはもう少し詳しく書いて欲しい、またはリンクを貼る等していただけると理解しやすくなると思います。
- 可能であれば、小テストの設問を曖昧な表現を避けてほしい。設問が二通りの解釈ができてしまい、回答に時間を要した。解説も根拠となる条文だけでなく、どういう流れで導き出されたのか記載してほしい。

【学部オンライン】「一般科目」

よかった点

(単位:人)

科目全般				オンライン教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった			15	内容・構成が良かった			1
今後に役立つ内容だった			13				
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった			12				
新しい知識が身についた			12				
具体的な事例、実践的な内容があった			12				
知識の整理に役立った			11				
最新の情報・研究が学べた			10				
深く学ぶ(考える)ことができた			8				
理解しやすかった			8				
興味・関心が持てた			6				
視野が広がった			5				
体系的に学べた・理解できた			4				
身近に感じられる内容だった			4				
全体として満足している			3				
自分の知識不足、学習不足を自覚できた			3				
楽しかった			2				
学習意欲・知識欲がわいた			2				
現在の課題や身近な問題点を学べた			2				
受験・資格取得に役立った			1				
自分の意見・考えを持てるようになった			1				

【学部オンライン】「一般科目」

改善点

(単位:人)

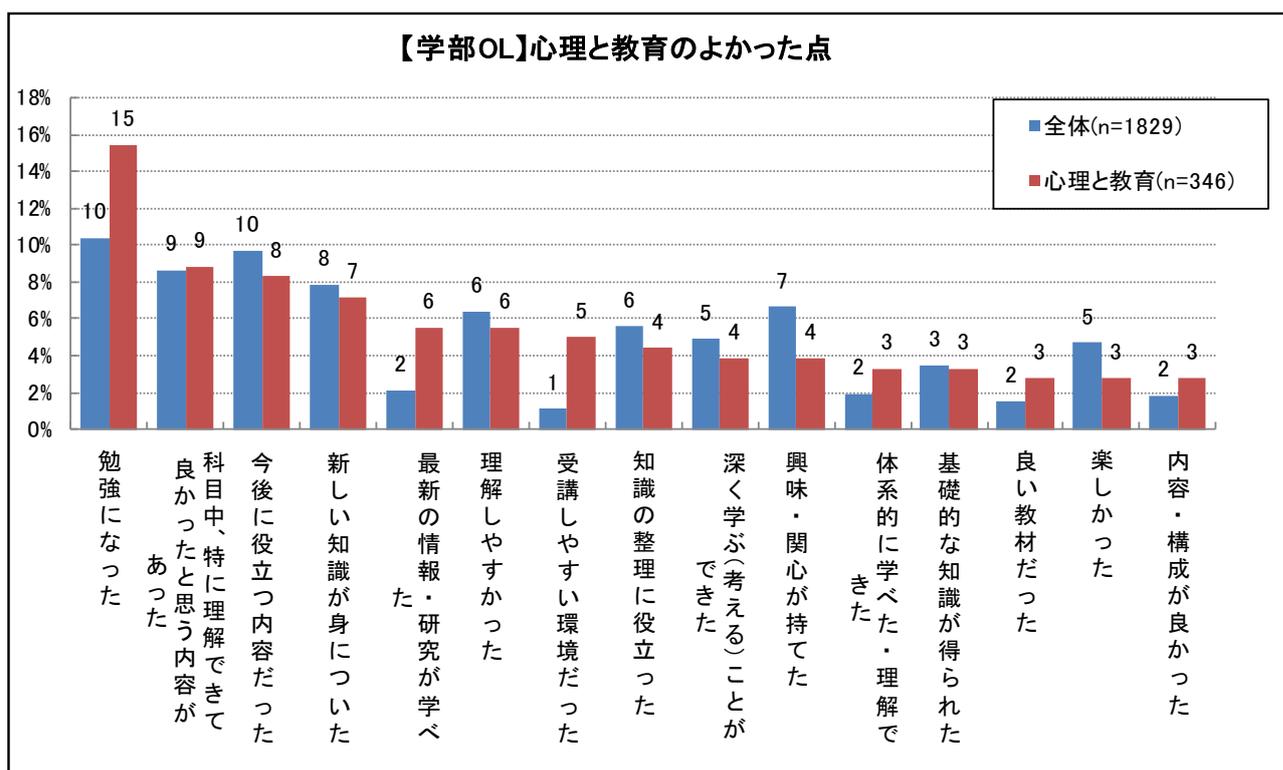
科目全般				オンライン教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
交流の場を用意してほしい			3	図・表・写真・映像が見づらい			3
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい			2	文字・図・表・写真・映像が見づらい			2
もっと詳しい説明・解説をしてほしい			2	オンラインの特性が十分に生かされていない			1
内容が浅い			2	理解しにくい			1
講師の解説・指導が良くなかった			2	資料が多く、閲覧・印刷が大変だった			1
難しかった			1	ディスカッション・グループ学習を実施してほしい			1
内容・構成が良くない			1	講師・ナレーターの説明のテンポが良くない(早い・遅い)			1
講義内容と科目名に乖離がある			1				
資料・データ・映像・内容が古い、改訂してほしい			1				
現実に生かせる内容にしてほしい			1				
学習意欲・知識欲がわいた			1				
図・表・写真・映像が見づらい			1	設問解答			
				意見	テレビ	ラジオ	合計
				出題の仕方が不適切だった			3
				各問題の解答・解説がほしい			3
				小テスト(確認テスト)の難易度・分量・制限時間等が適切ではない			2
講義ノート・テキスト				レポートの難易度・分量・提出期限等が適切ではない			1
意見	テレビ	ラジオ	合計	練習問題で、まだ学習していない部分が出題された			1
文字・画像が見づらい			8	レポートに関する情報を早く教えてほしい			1
良い教材ではなかった			3	学習内容の理解・整理につながらない			1
印刷したPDF資料(講義ノート等)が見づらい			2	レポート提出が少ないとよい			1
講義ノート・テキストを印刷するのは大変			2				
内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる			1				

【学部 オンライン】「心理と教育」の傾向

よかった点

「勉強になった」が15%で最多。以下、「科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった」が9%、「今後に役立つ内容だった」が8%、「新しい知識が身についた」が7%で続いていた。

図3-21 【学部 オンライン】よかった点

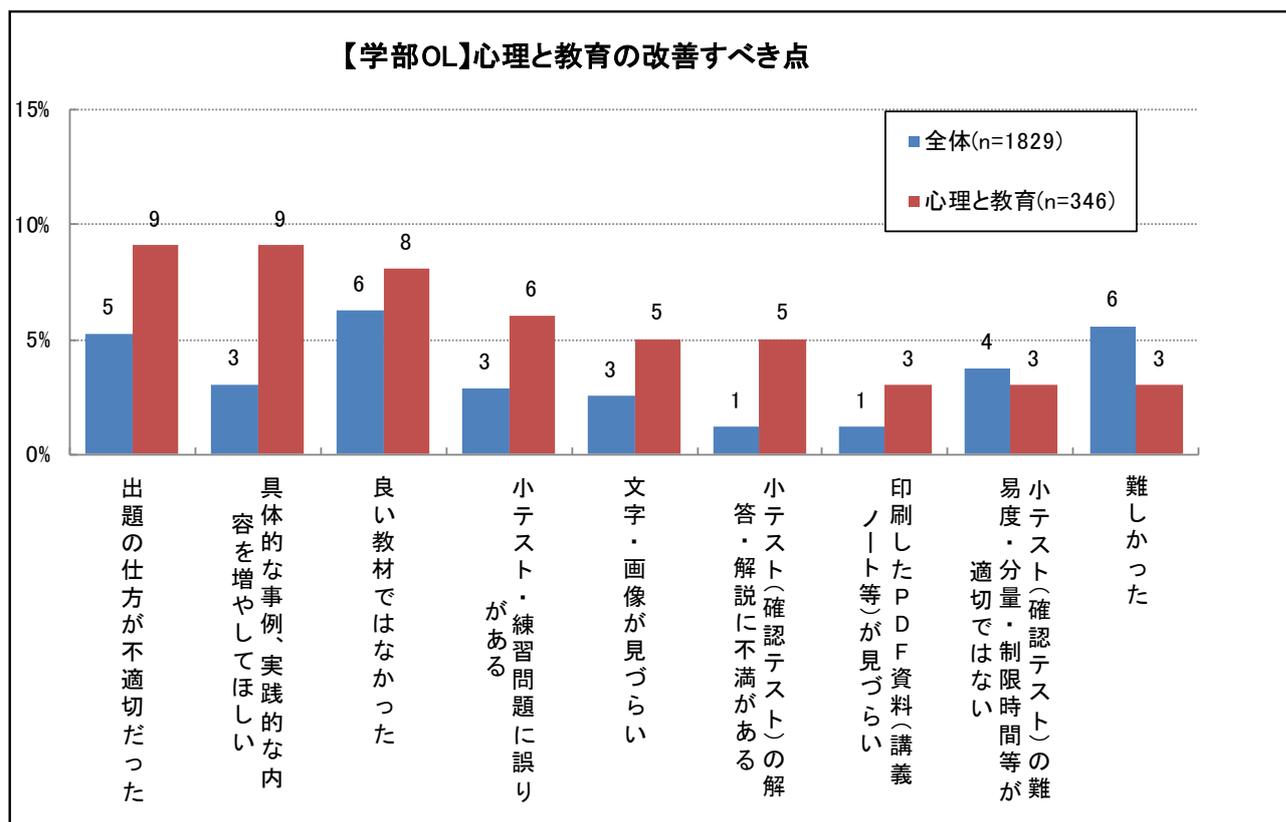


【学部 オンライン】「心理と教育」の傾向

改善点

「出題の仕方が不適切だった」、「具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい」が9%で最多。以下、「良い教材ではなかった」が8%、「小テスト・練習問題に誤りがある」が6%、「文字・画像が見つらい」「小テスト（確認テスト）の解答・解説に不満がある」が5%で続いていた。

図3-22 【学部 オンライン】改善すべき点



【学部 オンライン】「心理と教育」 抜粋

よかった点

- 1回の講義が概ね等間隔に分けられており、スキマ時間に進めたい自分には非常にやりやすかった。
- キャリアコンサルタント更新講習のために受講。配信を何度も見返せるのが知識の定着に非常に良かった。
- オンラインだと聞き逃しても聞き直せるのが利点。内容も非常にわかりやすかった。
- 教育政策の背景や目的について基礎的なレベルで理解することができ、非常に有意義だった。
- これまで教育政策を意識していなかったが、この授業を通して深い関心を持てるようになった。
- 戦後から現代に至る教育政策を分析でき、自分の生活に密接に関係する展望が見えた。
- 実際の教育政策の現場について知ることができ、非常に具体的で分かりやすかった。
- 具体的な政策の内容や形成過程を学ぶことができ、今後の仕事や活動に役立つと感じた。
- 孫と教育の話が合うようになり感謝。この年齢でも働き方改革などの最新知識を学べるのは生涯学習の魅力。
- 令和の日本型学校教育の最新情報に加え、文科省と政治の関わりについても詳しく学べた。
- 独学では得られなかった新しい知識を多面的に得ることができ、非常に満足している。
- 中央教育審議会の役割をここまで深く掘り下げて勉強するのは個人では難しいため、貴重な機会だった。
- 教育政策について政策過程等も含め体系的に知ることができ、頭の中が整理された。
- 今後の教育政策の課題を実感することができ、市民としてどう関わるべきか考えさせられた。
- 高等学校で働いているため、日常の職務を歴史や行政の視点から振り返り、楽しく学ぶことができた。
- これまで保護者の立場でいたが、国の狙いと現場の齟齬に気づくなど、自分の知識不足を自覚できた。
- 講義の組み立てが良く、本来なら独学で挫折しそうな内容を最後まで学び通すことができた。
- 政策が現場に与える影響を事例を通して学べ、教育行政への理解と知識の整理が深まった。
- 教育政策の複雑な仕組みを、初心者でも全体像が把握できるように解説してくれて満足した。
- キャリア自己分析を通じて自分の価値観を整理でき、具体的なキャリア選択の軸を持つことができた。
- 8回の授業が様々な角度から構成されており、実践と重なる内容で学習意欲が非常に高まった。
- 画面越しからも、講師の先生方の教えようとする熱意が非常に強く伝わってきた。
- 自分一人の経験だけでは得られない、社会学や心理学の視点でのキャリア観を学び視野が広がった。
- 普段考えることの少ない視点で物事を見ることができ、新しい発見が多く得られた。
- トピックごとに教員が変わるため、常に新鮮な気持ちを持ち続けて最後まで楽しく学習できた。
- 1回ごとのボリュームが適切で、忙しい社会人でも無理なく理解できる難易度だった。
- 提示された理論が最新のデータで裏付けられており、非常に納得感のある講義構成だった。
- 講義資料が非常に充実しており、複雑な内容を視覚的に整理して理解するのに役立った。
- 体系的に勉強でき、視野が広がった。資料の文字や画像も非常に見やすく配慮されていた。
- 複数の講師によるリレー講義だが、レジュメの構成が統一されており、メモもしやすく非常に良い教材だった。
- 最終レポート課題に対する総評が非常に的確で、今後の自分の方向性を確認することができた。

【学部 オンライン】「心理と教育」 抜粋

改善点

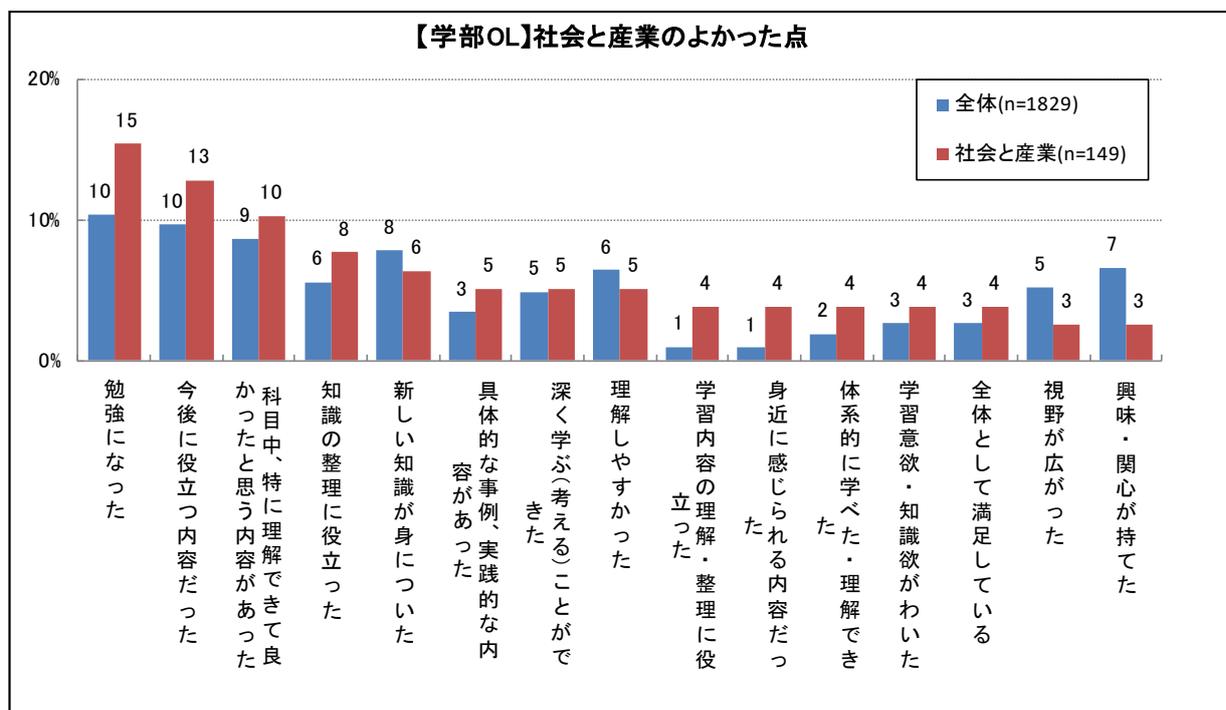
- 学生個々人の理解度を高めるために、ディスカッションボード等を通して語句の意味を問うだけでなく、政策課題に対する意見や私見を求めることにより、オンライン環境がより整うと感じました。
- ただスライドを読むだけでなく、実例やサンプル動画なども交えていただくとより知識が高まったと思う。
- 関連した印刷教材があると尚ありがたいです。
- 教材として時勢を追わなくてはいけない内容であるため、数年の遅れが見受けられた。直近の課題として感染症と共にある時代、AIと共に進む時代としての懸念など織り交ぜていただけたら良いのではないのでしょうか。
- 科目名が、内容を連想させないように思った。科目名に「入門」とか、そういった文言が入っていたほうが内容が分かりやすくいいと思う。
- 具体的な事例やデータが少ない
- 何が一番のポイントなのかが分からない
- ディスカッションをする回数をもう少し増やしても良いと思いました。
- 一番困ったのは、邦暦と西暦がまぜこぜになっていることです。邦暦と西暦を確実に一緒に明記していただければ有難いです。
- 講師によっては棒読み感（カンペを読んでいる感）があり、時々話が入りにくい回もあった。
- 内容がてんこ盛りで1時間では終わらなかった。更新として8時間ならば、内容は半分ほどで良いのかもしれないと感じたが、これだけ充実した内容だと思うと、倍かかりながらも勉強したくなる。
- 日々状況が変化するものとしなないものがあり、情報がやや古いように思えた。数的な面は特に慎重でありたい。
- 専門用語や理論の説明がやや難解で、初心者には理解が難しい部分がありました。もう少し具体例やケーススタディを増やして、実践的に学べる工夫があればより理解が深まると思います。
- スライドの文字の小ささ。
- 単語、熟語の意味が難しく、読めない熟語もあるのでフリガナがあれば自分でもネットで調べられるのではないかと思う。
- 政策に関する重要な内容が多く扱われていた一方で、専門用語や制度の変遷が難解に感じる場面がありました。初学者にも分かりやすい資料や具体例の提示があれば、より理解が深まったと思います。
- 印刷の文字が大きすぎて苦勞した。
- 政策用語等が出てくるため、印刷教材があると良い
- 存在しないURLだったり、講義テキストベースで小テストを解いたら不正解だったことがありました。
- 資料は自分で印刷していたが、印刷テキスト配布があるとよかった。
- 講師の補足説明があり、ノートに書ききれない量だった。情報量を多く提供して頂けるのは有難いが、何が重要なものが伝わりづらい部分もある為、もう少しそぎ落として説明して頂けると助かります。
- 小テストが難しかったです。
- 小テストの解説が物足りないと感じることがあった。
- いかようにも解釈できる設問、回答があったように感じました。
- テストの正答ミスが多いため、混乱招く恐れが多々あり、中には成績に直結するものもあるので改善してほしい。
- 授業で説明されていないことが小テストで出題されていた。印象として残っていないものが同様に試験に出題されていた。
- 最終レポート提出のやり方が少し戸惑い、きちんと送られたのが確認できない事がすこし不安である。
- 講義内容と小テストの内容にギャップが感じられるものが有ったこと。
- 練習問題やテストの回答に「動画で確認してください」との解説が多くあり、確かにそうではあるが、少しでもよいので解説欄にも簡単な解説がほしかった。
- レポートの課題を複数用意して選べるようにしてほしい(3つの中から1つを選ぶというふうに)

【学部 オンライン】「社会と産業」の傾向

よかった点

「勉強になった」が15%で最多。以下「今後に役立つ内容だった」が13%、「科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった」が10%、「知識の整理に役立った」が8%、「新しい知識が身についた」が6%で続いていた。

図3-23 【学部 オンライン】よかった点

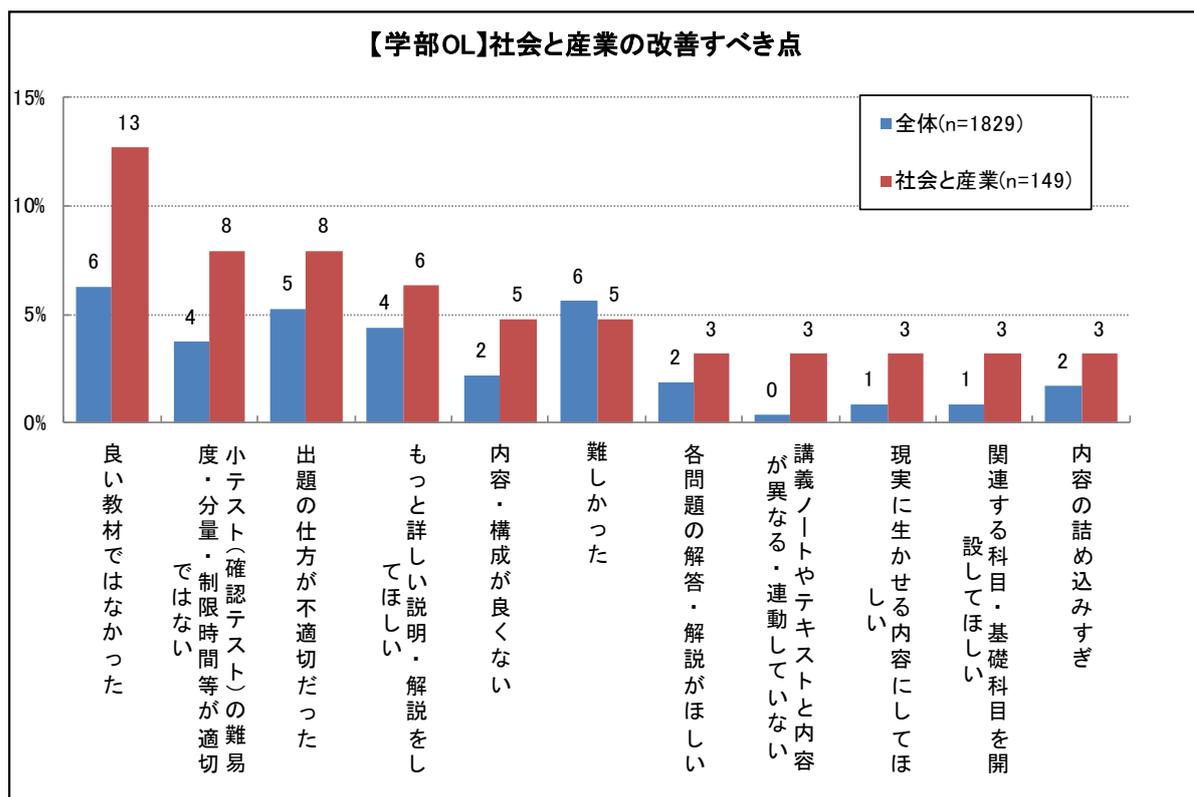


【学部 オンライン】「社会と産業」の傾向

改善点

「良い教材ではなかった」が13%と最多。以下「小テスト（確認テスト）の難易度・分量・制限時間等が適切ではない」「出題の仕方が不適切だった」が8%、「もっと詳しい説明・解説をしてほしい」が6%、「内容・構成が良くない」「難しかった」がそれぞれ5%で続いていた。

図3-24 【学部 オンライン】改善すべき点



【学部 オンライン】「社会と産業」 抜粋

よかった点

- 図に表す解説はわかりやすく、前提知識がなくても困らなかった。物流ニュースへの理解が深まった。
- オンライン授業でのディスカッションは初めての経験だったが、この機能を使用できてよかった。
- 一枚の写真から掘り下げて調査する方法や年表の大切さを学べた。オンライン授業の良さを生かした授業だった。
- 文系独学 SE のため情報関連の知識が乏しかったが、今後の業務に役立つ内容だった。
- MRP の仕組みが仕事に即座に役立った。スマート製品の仕組みも今後の業務に活用できそう。
- 今まで知識がない分野の概要について、今回の受講により理解を深めることができた。
- サプライチェーンのグローバルな部分についての見識が広がった。
- サプライチェーンの全体像や実践的な知識を体系的に学ぶことができ、大変有意義だった。
- 物流の仕事をしているが、サプライチェーン全体の業界理解が深まった点がよかった。
- よく知る企業の具体例を基にした講義により、漠然とした印象が具体的な理解に変わった。
- 身近な例や実際の企業をあげて説明していたため想像しやすく、興味を持つことができた。
- BCP、CCC、生産計画など、製造業の運営に必要な不可欠な知識を習得できた。
- 日々の生活の利便性は数多くの労働のもとに成り立っているのだとあらためて実感した。
- 様々な法則やモデルを知ることができたのは良かった。
- 仕組みを理解したい分野だったので学習できてよかった。開沼講師の授業が分かりやすかった。
- 東日本大震災と熊本地震のときの対策や改善策が組み込まれていてよかった。
- 物の販売の流れとその後を知り、サステナブルな考え方を学ぶことができた。
- サプライチェーンについてさらに興味がわき、日常でも深く考察していきたいと思うようになった。
- 調達・生産・物流を一連の「価値の流れ」として捉える SCM の戦略的位置づけが理解できた。
- サプライチェーンの深い部分まで知ることができたので自分にはとても良かった。
- 第 14 回の人道支援サプライチェーンが、防災士としての今後の活動の参考になった。
- 製造業と物流を掛け持ちで働いているが、日頃職場で教わらないことを踏み込んで学習できた。
- 小さい頃、伝記が好きだったので（講義が）楽しみです。
- 祖父のことを詳細に調べる機会になった。
- 卒業研究にチャレンジしたいというモチベーションが上がった。本当に良い科目だった。
- 著書の調査の追体験をするような内容で満足。行きつけの図書館が出てくるなど馴染みがあった。
- 戸籍謄本や国立国会図書館デジタルコレクションの有用性など、具体的な調査方法を知ることができた。
- 練習問題や小テストがこまめに設定されており、講義内容を偏りなく理解する助けになった。
- 小テストがやり直し可能で適切な難易度だった。一回につき 1 問という分量も継続しやすかった。
- レポートや論文を執筆する際の「調査方法」について、理解が深まった。

【学部 オンライン】「社会と産業」 抜粋

改善点

- 1 時間以上の視聴が必要な回があり、構成を見直すべき。話している内容とスライド資料が一致しておらず、スライドにない内容がテストに出るため理解が追い付かなかった。
- 放送内容が印刷教材にない講義がありました。後から見返す際に印刷資料があると大変ありがたいです。
- 映像のスライドと配布ファイルの内容が異なっていた（一部省略）。映像のスピードでメモをとるのは困難なため、スライドは省略せずに配布してほしい。
- 「書き言葉」の原稿を読んでいるだけで、何かを伝えようというものが伝わってこなかった。双方向で進めているのがオンライン授業ではないか。
- オンラインでないと学習が進まないため、テキスト（印刷教材）が必要だった。
- 紹介された事項を行うには地方居住者にとって厳しい内容であった。リスクが高いと感じる場面もあり、調査に伴う地域差や費用の増大を考慮してほしい。
- 基本的な知識がとびとびなのでついていけませんでした。用語解説等があればもう少し楽だったと思います。
- レポートの個別にフィードバックがあると嬉しいです。
- 主任講師の活舌が聞き取りづらい箇所があった。
- もっと詳しく知りたいときに、参考図書等を紹介してもらえると良かった。
- 日常で接しない業態のサプライチェーンについては一部理解の難しいところがありました。補足していただくと大変助かります。
- レポートの出し方が難しすぎる。教科ごとに提出方法が違うのだから、それぞれに当てはまるマニュアルをつけてほしい。
- 業務上の異動ができる訳ではないので、実践的な学習も必要かと考える。
- 物流業界で働く人のための工夫や、高齢者でも働く意欲のある人が働ける工夫などの視点も伝授してほしいです。
- 資料集めが大変すぎるので、もっと時間がほしい。
- 単位数に対して授業外の学習時間が膨大。仕事をしながらではレポート締切までの時間が足りなかった。履修登録完了後すぐに受講できるようにしてほしい。
- 課題の難易度が高く、公的資料を元にした制作方法などは受講前に十分な周知が必要。受講生によっては課題に対応できないことも起こりうる。
- 放送大学の授業内容としては難しすぎる。半年でできる内容ではなく、取り組み次第では何年もかかる内容だ。
- e-learning の特徴が生かされていない。スライドの FACT の出典明示や、小テストの設問スタイル（統計資料を細かく問うなど）は改善を期待したい。
- プリントした資料の文字が小さすぎて読めない箇所がありました。
- 視聴メモに記載のない事柄が語られることが多く、再生と停止を繰り返すことになった。映像内のスライドは全て視聴メモに載せてほしい。
- ノート（視聴メモ）をより充実させてほしい。
- 口頭説明のみの部分に重要なテーマが含まれていることが多かった。レポート作成時に役立つよう、可能な限りスライド化してほしい。
- 講師によって小テストの設問数が大きく違っていたが、統一してほしい。
- 教材の不備やテストの設問の不備が多かった印象。新設科目だとしても改善をお願いしたい。
- 計算問題の公式が分かりにくかった。公式だけでなく、例題と解答があると理解しやすい。
- 映像授業でまだ扱っていない内容がテストで出てくることがあった。
- レポートの要求難易度が高すぎる。「無名の人物」の定義が不明瞭で資料収集が困難。要求文字数も多すぎる。
- レポートのテーマ（個人の伝記を書くこと）が、少し抵抗があった。

【学部オンライン】「社会と産業」

よかった点

(単位:人)

科目全般				オンライン教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった			12	オンラインの特性が生かされていた			1
今後に役立つ内容だった			10	図・表・写真・映像があるので内容が理解しやすかった			1
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった			8	講師が良かった			1
知識の整理に役立った			6				
新しい知識が身についた			5				
深く学ぶ(考える)ことができた			4				
具体的な事例、実践的な内容があった			4				
理解しやすかった			4				
学習意欲・知識欲がわいた			3				
体系的に学べた・理解できた			3				
身近に感じられる内容だった			3				
興味・関心が持てた			2				
視野が広がった			2				
全体として満足している			2				
楽しかった			1				
専門的な内容だった			1				

【学部オンライン】「社会と産業」

改善点

(単位:人)

科目全般				オンライン教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
もっと詳しい説明・解説をしてほしい			4	講義ノートやテキストと内容が異なる・連動していない			2
難しかった			3	図・表・写真・映像が見づらい			1
内容・構成が良くない			2	オンラインの特性が十分に生かされていない			1
内容の詰め込みすぎ			2	内容・構成が良くない			1
関連する科目・基礎科目を開設してほしい			2	資料が多く、閲覧・印刷が大変だった			1
現実に生かせる内容にしてほしい			2	1講義の収録時間が良くなかった			1
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい			1				
参考文献・補助教材・問題集を紹介、発刊してほしい			1				
交流の場を用意してほしい			1				
自分のペースで勉強できなかった			1				
努力不足だった			1	出題の仕方が不適切だった			5
質問や相談がしたい			1	小テスト(確認テスト)の難易度・分量・制限時間等が適切ではない			5
講師の解説・指導が良くなかった			1	各問題の解答・解説がほしい			2
講師の声が聞き取りづらい			1	レポートの難易度・分量・提出期限等が適切ではない			1
システム面の改善が必要			1	小テスト・練習問題に誤りがある			1
難易度・分量が適切だった			1	練習問題で、まだ学習していない部分が出題された			1
課題(問題)の範囲・難易度・量が適切ではない			1	講義内容と講習課題に隔たりを感じる			1

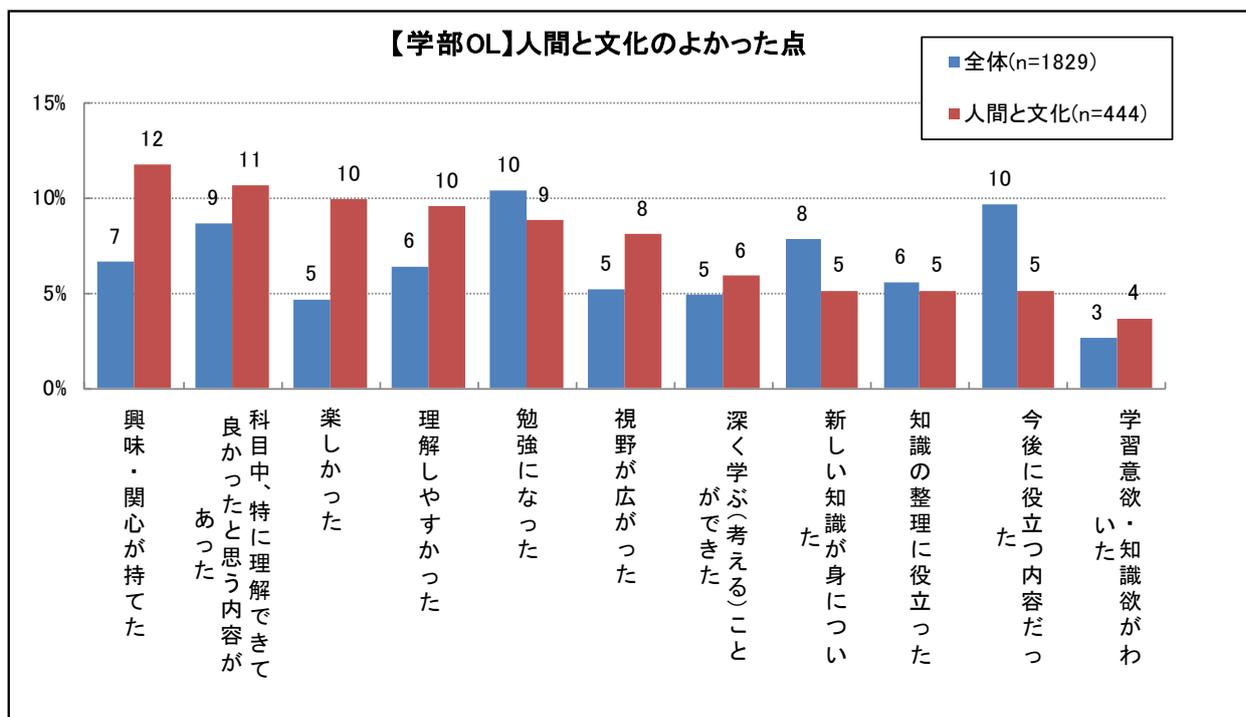
講義ノート・テキスト			
意見	テレビ	ラジオ	合計
良い教材ではなかった			8
印刷したPDF資料(講義ノート等)が見づらい			1
内容を充実させてほしい			1

【学部 オンライン】「人間と文化」の傾向

よかった点

「興味・関心が持てた」が12%で最多。以下、「科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった」が11%、「楽しかった」「理解しやすかった」が10%で続いていた。

図3-25 【学部 オンライン】よかった点



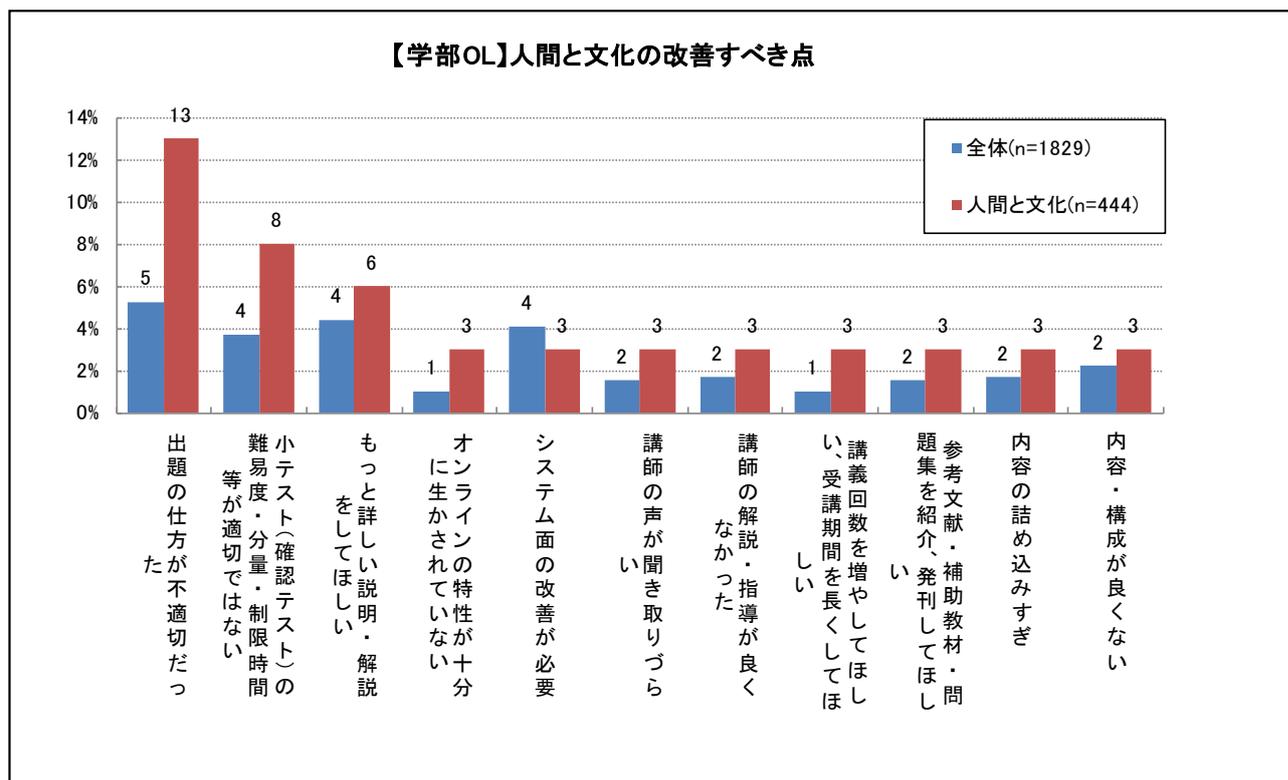
【学部 オンライン】「人間と文化」の傾向

改善点

「出題の仕方が不適切だった」が13%で最多。

以下、「小テスト（確認テスト）の難易度・分量・制限時間等が適切ではない」が8%、「もっと詳しい説明・解説をしてほしい」が6%で続いた。

図3-26 【学部 オンライン】改善すべき点



【学部 オンライン】「人間と文化」 抜粋

よかった点

- 一つ一つの動画が短めでわかりやすく、気になった箇所や面白かった部分を何度も振り返って見直せるのが良かった。
- 日本語教師の国家資格取得を目指しているので、大変勉強になった。
- 普段意識せずに使っている日本語にたくさんの面白い特徴があることを学び、目から鱗な知識が多かった。対人関係に活かしたい。
- 言葉の乱れと捉えられがちな表現の背景にある事情を学び、言語表現を捉えようとする態度こそが大切だと学んだ。
- 講師が分かりやすく噛み砕いた表現で説明して下さり理解しやすかった。例を多く挙げてくださるのも良い。
- 日本語について新しい視点で知ることができました。特に漢字とのかかわりあいの大きさに驚きました。
- 普段話している日本語でも知らないことがたくさんあって面白い。
- ら抜き言葉などが進化・変化の過程にあると分かり、言語が変化していくものだというのを受け入れられた。
- 先生の話し方が聞き取りやすく、動画もいくつかに分かれていてその都度集中しやすい。
- 「日本語を使う」という側面から日本語について解説されており、非常に専門的で興味深い。
- 滝浦真人先生の授業は今回で2回目ですが、いつも分かりやすく楽しく勉強を進めることができました。
- 日本語をもっと身近に感じることができました。
- 日本語の奥深さがわかりさらに興味がわいた。
- 講義のおもしろさ、興味深さ、熱心さ、すべてに感謝です。来年度以降の講義も楽しみにしています。
- 東大駒場博物館に是非とも行ってみたいとなりました。幅広いゲストも良かったと思います。
- 他にも博物館に関連する授業を履修しているが、本科を通じて総括的に知れたことで相互理解が促された。
- 博物館の抱えている問題などが知れて学びになりました。
- 視聴メモは内容がよくまとまっていて、理解しやすかった。
- ポライトネスの講義は参考になり、今後ポジティブポライトネスの表現で対人関係を築けるかもとヒントを得られた。
- 敬語の5分類の表が理解の助けとなりました。
- 講義内容が要点を分かりやすく、簡潔に示されていたので理解がよく進みました。
- 画像が分かりやすかった。
- 要点がまとめられていて解りやすさを重視されていた。
- レポート提出期間の限定が無く期日までに自由に提出可能なので、仕事をしながらでも負担なく受講できた。
- 小テストの解説を読むことでさらに理解が深まった。小項目の区切りで中断・再開できるのでストレスがない。
- 毎回の小テストやレポート課題があることで、自分で調べたり考える時間が持て、学んでいる実感が持てる。
- レポート課題があるなど、放送授業科目以上に、より能動的に学修しやすい授業構成になっていた。
- 小テストはポイントをついた内容で理解を促進させるもので、学習を進める中で安心感があった。

【学部 オンライン】「人間と文化」 抜粋

改善点

- 少し長い気がする。1つのことに対して10分以上のものが多かった。
- この科目だけではないが、オンライン視聴後の練習問題や小テストへすぐジャンプするボタンがあると便利。
- 受講の中でいただいた小さな疑問や興味を、オンライン上で講師の先生や受講者のみなさんと共有する場面があれば、より興味が広がるのではないかと感じました。
- 動画のオープニングの音量と本編の音量が一致していない。オープニング音量が大きいので、本編と合わせて欲しい。
- オンラインの相互のやりとりやディスカッションなどは出来なかった。慣れていないので飛び込めない。そこのサポートがあるといい。
- 各章が切れ切れではなく少し長めの動画で見たかったです。
- 実物資料を直接見たり触れたりできる機会が少なく理解が浅くなりがちでした。今後は対面や資料の貸出など体験的な学びが増えると嬉しい。
- 範囲が広いので難しいと思いますが漢字の取込みにもう少し多く知りたいと思いました。
- 明治初期と言文一致方針が取られてから、現在に至る経緯のようなものが知りたかったです。
- 親しみやすい語り口ですが若干聞きとりにくい滑舌の場面もありました。日本語の授業でもありますので、アナウンサー的な話し方も期待しています。
- 専門用語や抽象的な説明がやや難しく感じる部分がありました。もう少し具体例や図解があると理解が深まりやすいと思いました。
- あったら失礼だが、参考文献の紹介がほしい。
- 授業中の言葉使いが気になった。タメ口とかといった表現の仕方。
- 内容が多岐に渡っておりもっと深く学びたい部分もあることから、前半部と後半部に分けるなどしてそれぞれを1科目としてもよいのではないか。
- せっかく交流フォーラムやディスカッションの場があったのに、慣れていないため要領がわからず利用できなかった。
- 印刷の文字が小さくて読みづらいです。メモ欄は小さくして大きな活字にしてください。各回の終わりのバイバイは高齢者にはあまり受け取りにくい印象でした。
- 講義資料の文字が小さい。プリントアウトする際に自分で文字サイズを変更できる設定にしたらいのではないか。
- ワークシートの解説に具体的な検索ワードが書かれていると嬉しかったです。「○○（地名）郷土資料館」など、検索ワード自体思いつけない時もあるため。
- レジュメにポイントが示してあるとよい。
- 字数が限られたレポートに講義全体のポイントをもれなく記述すべきかポイントを絞るべきかがわからず悩む。設問に記載してほしい。
- 小テストの解説が少し納得しづらい部分も見られた。
- 各回の理解度テストが○×にそぐわない内容が若干あったように思う。択一の選択で測ることが難しい事象もあるので、1意見として伝えたい。
- 最終レポートの字数制限が少なく書きたいことがあまり書けずに残念だった。
- 小テストと講義内容がつながらなかったテストもあった。
- 最終レポートには採点だけではなくコメントがあれば良かったと思います。
- 小テストの設問内容が、ちょっと理解しづらいところがあった。
- レポートのアップロード容量が低すぎる。画像を付けたレポートを書いたが、容量が大き過ぎて弾かれたため、画像は全て削除しました。非常に残念です。
- 最終レポートの形式（回数ごとの説明か、全体をまとめるのか）が分かりにくかった。せめてフォーマットを提示してくれたら迷いはなかった。

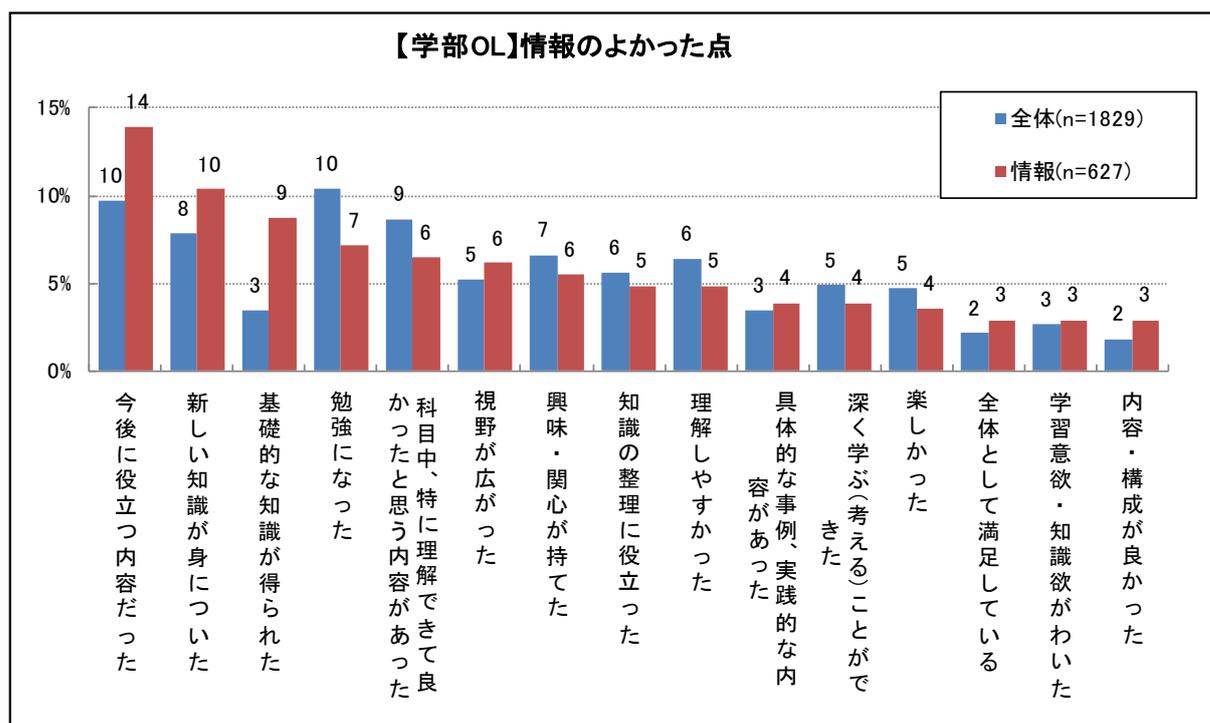
【学部 オンライン】「情報」の傾向

よかった点

「今後に役立つ内容だった」が14%で最多。

以下、「新しい知識が身についた」が10%、「基礎的な知識が得られた」が9%、「勉強になった」が7%で続いていた。

図3-27 【学部 オンライン】よかった点

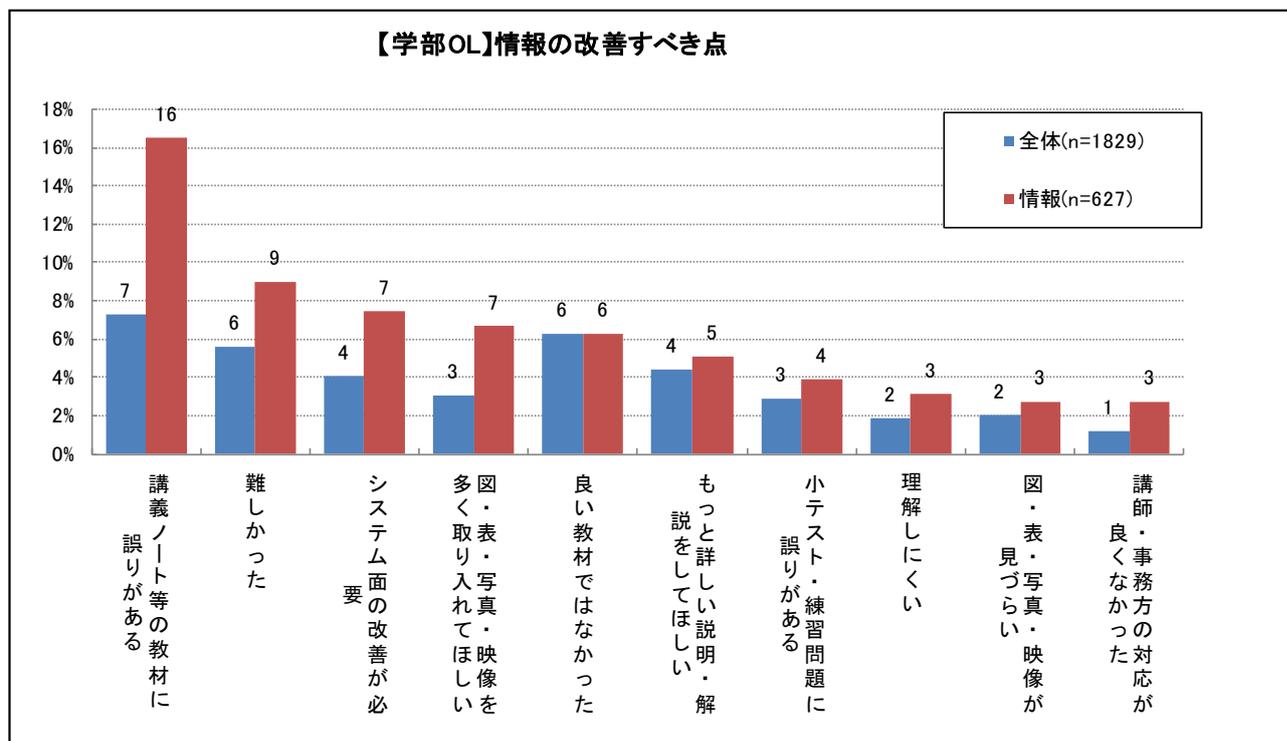


【学部 オンライン】「情報」の傾向

改善点

「講義ノート等の教材に誤りがある」が16%と突出して高かった。以下、「難しかった」が9%、「システム面の改善が必要」「図・表・写真・映像を多く取り入れてほしい」が7%で続いていた。

図3-28 【学部 オンライン】改善すべき点



【学部 オンライン】「情報」 抜粋

よかった点

- 入門書を読んでもピンと来なかったゲーム理論が、課題に取り組む中でとっかかりがつかめ、納得して理解できる部分があった。
- 動画授業であることに加え、Q&A 動画があることで理解が深まったと感じました。
- オンライン授業のため、自宅から好きな時に学習ができる。
- ディスカッション機能で、他の学生の躰きや応用的な考察をチェックでき、モチベーション維持や疑問解決に役立った。
- ゲーム理論がどのようなものか具体的に知ることができた。
- 現象を客観的に捉える手法を学び、直感と違う結果が出る面白さを感じた。様々な場面で応用できそう。
- 昔から興味があった分野だったので、学習の足掛かりになってよかった。
- ゲームの本質のようなものが、理論的に学べた。
- 前提条件としての「利得」の設定方針が重要であると理解できたことが最大の収穫だった。
- 自分だけでは考えたことのない考え方に出会えました。
- これまで学んだことがない新しい分野を学べた。
- 学習状況が可視化されるため、自分の進捗位置を把握できモチベーションが上がった。
- 大学生時代にも履修したが、それよりも内容が密であると感じ、構成が良かった。
- 理論として考察することの楽しさを知った。間違いなく脳の活性化につながっている。
- ゲーム理論が現実社会に応用できることを知れた。
- 先生のヒントにより、不安だったレポート課題も作成できた。社会の諸現象に使える理論だと実感した。
- 社会の課題解決に対する意識をさらに持つようになった。
- 町内会の会計業務に VBA が役に立った。
- オブジェクト、プロパティ、メソッドの関連を整理して理解することができた。
- 自己流だった知識を体系的に学べ、達成感と自信が得られた。
- かなり高度で専門的なことまで教えていただいたように感じた。
- 実際にプログラミングし、評価をもらうことで、通学制大学に匹敵する満足度が得られた。
- 講師の話に加え、用意されたメモも非常にわかりやすかった。
- 講義ノートを書き留めることで、理解できている点と不明な点を明確に区別できるようになった。実感が持てる有意義な学びだった。
- 数学の知識をあまり使わずにゲーム理論の入門を理解できるよう配慮されていた。おすすめ図書も参考になった。
- 練習問題でこまめに理解度を確認しながら学習を進めることができた。
- 普段の行動を数字に置き換え計算する学問を知り、物事の見方が変わり、視野が広がった。
- 毎回小テストをおこなうことにより、一歩ずつ着実に理解しながら先に進めた。
- 難易度・分量ともに適切で、1 単位科目として充実した内容だった。
- 演習問題が多く、レポート作成では問題を解くのと違う頭の使い方ができてよかった。

改善点

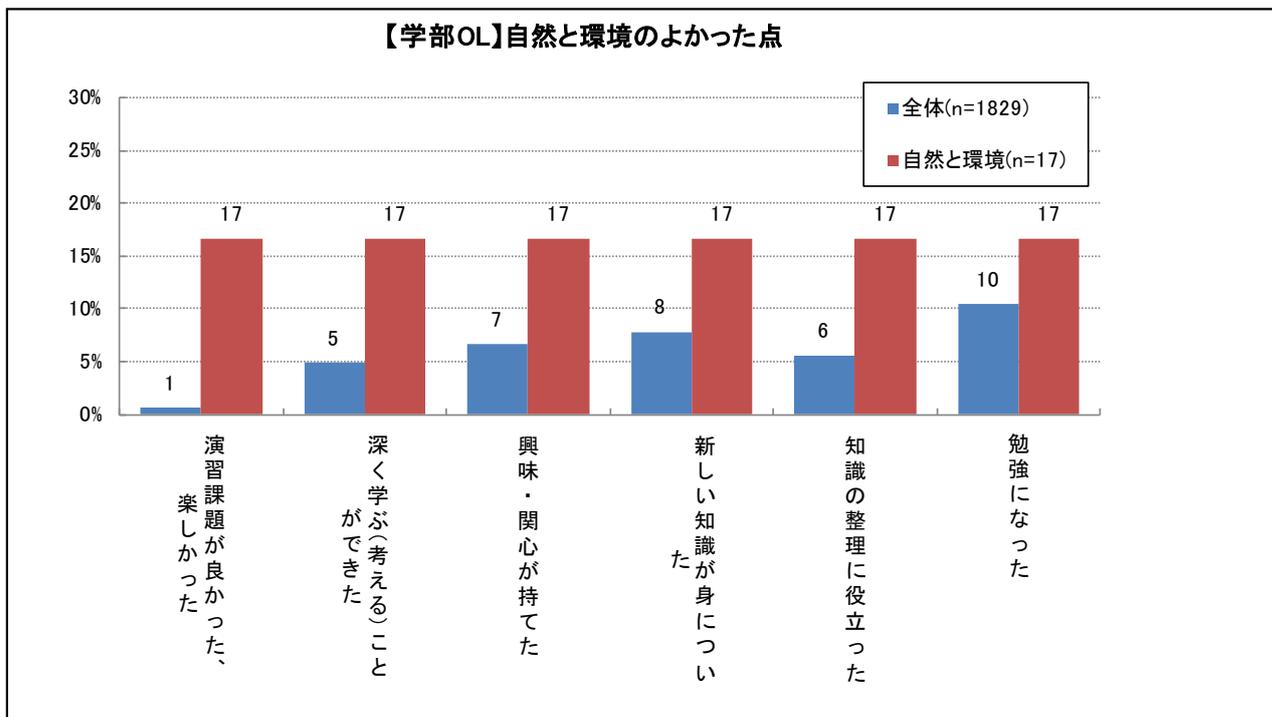
- ポインターで現在解説している部分を示していただけると、もう少し理解しやすかったと思います。
- 画面上のグラフやスライドにほとんど変化がなく視覚的な補助も乏しかった。内容の理解が進みにくい。
- 視覚的に理解できるようにアニメーション動画も取り入れたらいいと思う。
- 一つの動画教材の時間が長く、モチベーションを維持するのに苦労を感じたため、動画をもう少し短い単位に分割してほしい。
- 修正箇所が多く、特にテストに関しての修正はやる気が削がれました。
- Python コードをご提供いただき、受講者が利得を変えることで、より理解が深まるようになると実生活にも応用しやすい。
- 先生の声が大きくなったり小さくなったりして聞き取りにくい。またレポートの提出期限が早過ぎで提出できなかった。
- ビデオ画面での講師の説明が、既にプリントした資料を読んでいるようなところが多い。図解などで生徒の理解を助ける工夫を。
- 難易度が高すぎる。
- 数式以外での表現方法も提示してほしいです。
- ゲーム理論初学者には、全体の体系（地図）や書籍の紹介などが欲しかった。
- 練習問題の誤りを一方的にメールで送られて、その対応で余計な時間を取られた。
- 1 単位にしては内容が濃い。16 回に増やして、2 単位にしてもいい。
- ゲーム理論の関連科目を学んでおけば良かったと反省しています。
- 内容がかなり高度。じっくりと学習したいので、講座を分解して教えてほしい。
- ここは重要だがここは本筋でない、ということがわかるといいと思う。
- 練習問題をもう少し増やして、繰り返し学べるような仕組みがあると良いと思う。
- 「入門」ではなかった。授業名称を変えた方が良いと思う。
- フィードバックがもう少し早くいただくと、自分の理解度を確認しながら学習を進めやすい。
- 他の受講者の方々がどのような例を出したのか興味があります。優秀なレポートを発表してほしい。
- どのように記述するとより処理が速くなるかなど比較があると実務で助かります。
- 「マクロが無効」という表示が出て難儀した。もう少しわかりやすく注釈があればよかった。
- テキストや設問の回答について、あまり訂正が多く、品質を向上させていただきたい。
- 練習問題の解説を講義中で取り入れていただけるとありがたいです。
- 参考資料は読んでも意味がわからなかったもので、講義の中で説明して欲しい。
- 振り返りの学習のためにも、有償でいいので印刷教材（冊子のテキスト）が欲しい。
- 設定された講義時間では内容が多すぎます。かなり絞った内容にした方がいいと思います。
- PDF もあらかじめ一括でダウンロードできるようにしていただけるとありがたい。
- 解答の解説をより詳しくしていただきたいかった。難しかったです。
- 選択肢の表現が不十分な箇所があり、「一時的」という表現で悩みました。納得しづらい問題がありました。

【学部 オンライン】「自然と環境」の傾向

よかった点

サンプル数が少ないものの「演習課題が良かった、楽しかった」「深く学ぶ（考える）ことができた」「興味・関心が持てた」「新しい知識が身についた」「知識の整理に役立った」「勉強になった」が17%となった。※サンプル数過少のため参考値

図3-29 【学部 オンライン】よかった点

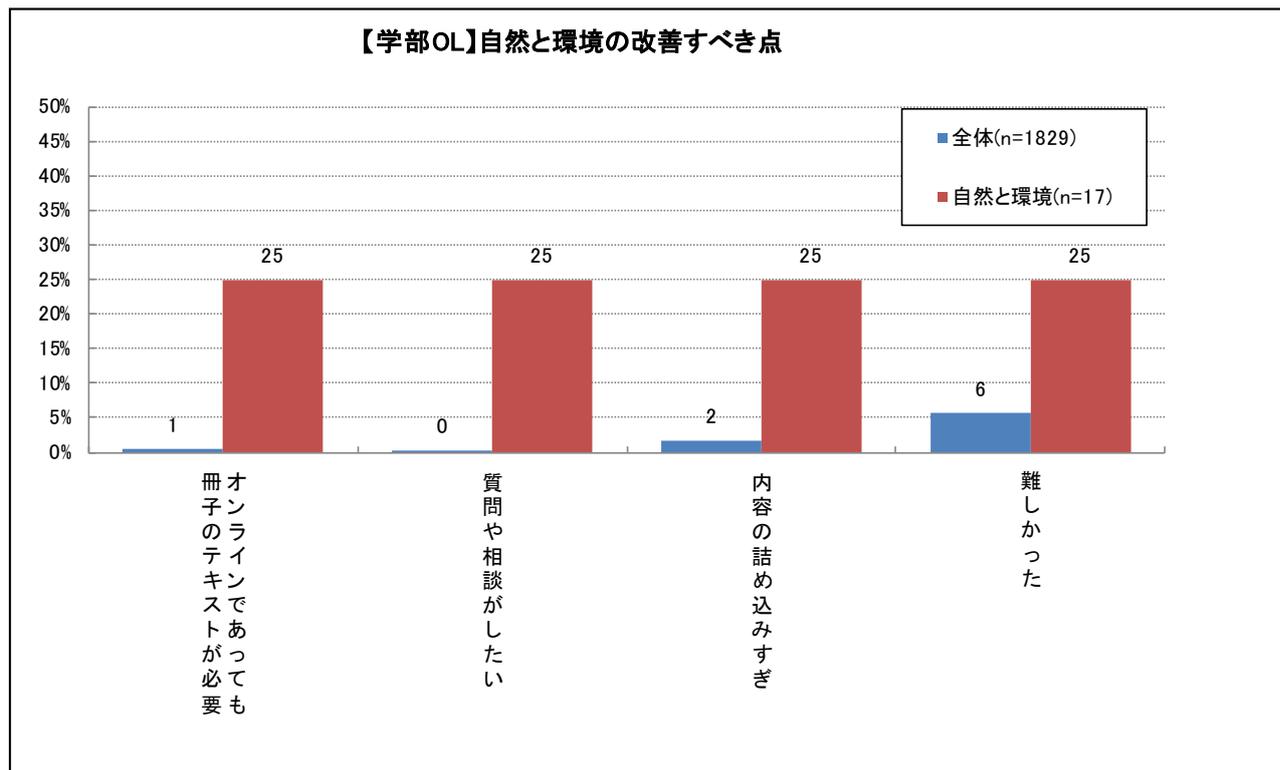


【学部 オンライン】「自然と環境」の傾向

改善点

サンプル数が少ないものの「オンラインであっても冊子のテキストが必要」「質問や相談がしたい」「内容の詰め込みすぎ」「難しかった」が25%となった。※サンプル数過少のため参考値

図3-30 【学部 オンライン】改善すべき点



【学部 オンライン】「自然と環境」 抜粋

よかった点

- 興味関心がある内容でした。また、知識が増えました。
- 昔から思っていた疑問が解消されるきっかけとなりました。
- 新しい知識がたくさん学べました
- 過去に学んだことのない領域の講義で非常に興味深く勉強できた。実習があることで、知識の再確認ができるため、理解が深まった。
- 数字を扱うことが苦手だったので、今一度学習しなおすことで理解を深めることができた。
- 演習を通じて実際の計算方法を習得できて良かった。

改善点

- 授業には問題ありませんでしたが自分には難しすぎました。もっと基礎的な学習を行ってから復習したいと思います
- 新規開講であるため、やや？と感じる箇所があったが、質問をすればすぐに回答いただけたので、不安はなかった。
- 少し内容が多いような気がしましたが、それだけ多くの事が学べて良かったです。
- 教科書が欲しいなと思いました

【学部オンライン】「自然と環境」

よかった点

(単位:人)

科目全般				設問解答			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった			1	演習課題が良かった、楽しかった			1
知識の整理に役立った			1				
新しい知識が身についた			1				
興味・関心が持てた			1				
深く学ぶ(考える)ことができた			1				

【学部オンライン】「自然と環境」

改善点

(単位:人)

科目全般				講義ノート・テキスト			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
難しかった			1	オンラインであっても冊子のテキストが必要			1
内容の詰め込みすぎ			1				
質問や相談がしたい			1				

Ⅲ-3. 大学院（放送授業）

ここからは、全体との比較で当該科目がどういう傾向にあったのかを見ていきたい。

大学院については、専攻プログラム別（中区分）の自由記述の集計結果から、よかった点は、当該科目について回答された項目が5%以上となったものを掲載した。

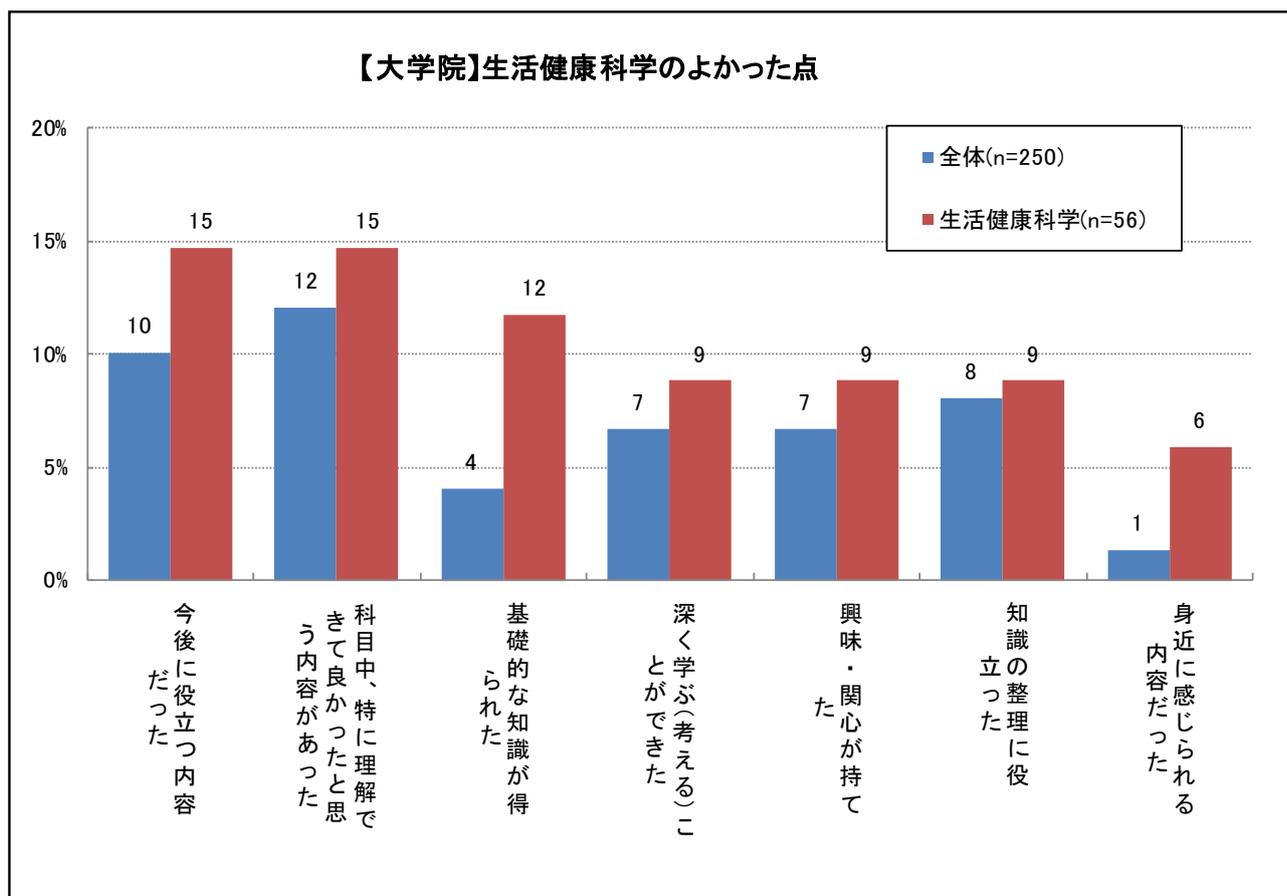
改善点は、当該科目について回答された項目のうち、5%以上、または上位5項目について掲載した。

【大学院】「生活健康科学」の傾向

よかった点

「今後役に立つ内容だった」「科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった」が15%で最多。以下、「基礎的な知識が得られた」が12%、「深く学ぶ（考える）ことができた」「興味・関心が持てた」「知識の整理に役立った」が9%で続いていた。

図4-1 【大学院】よかった点

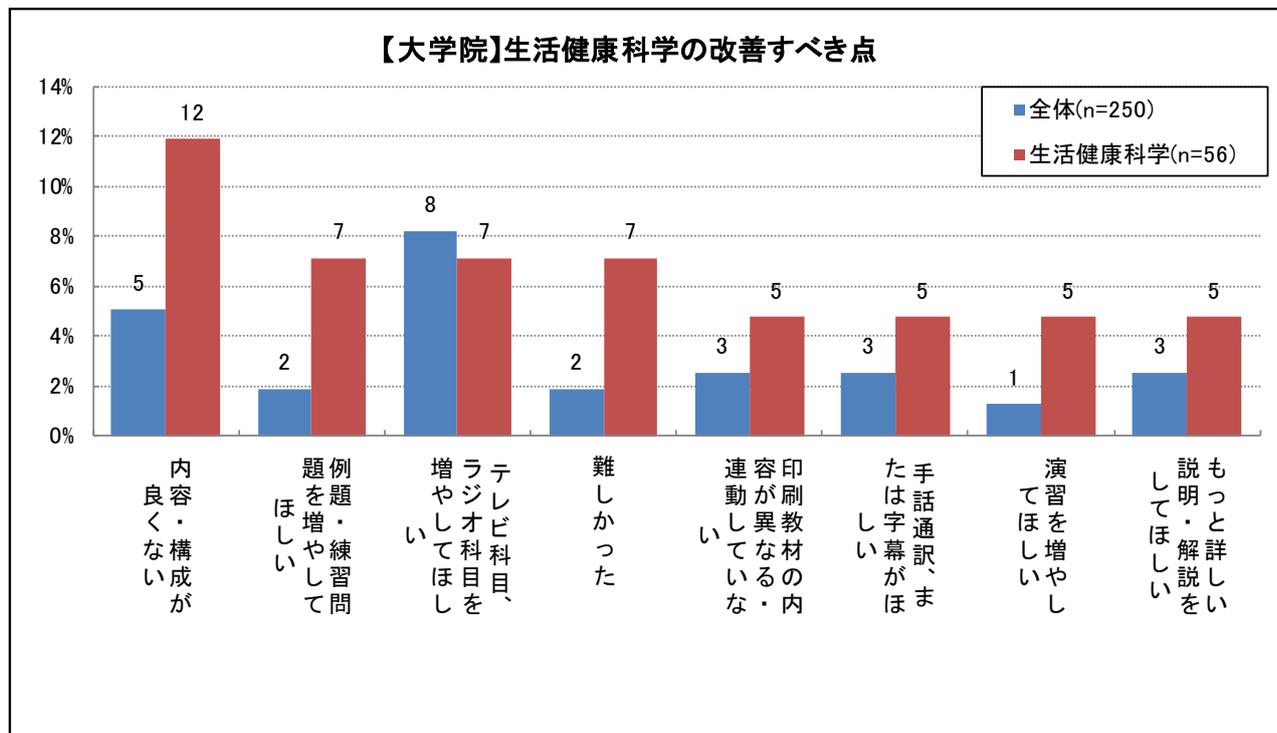


【大学院】「生活健康科学」の傾向

改善点

「内容・構成が良くない」が12%で最多。以下、「例題・練習問題を増やしてほしい」、「テレビ科目、ラジオ科目を増やしてほしい」「難しかった」が7%で続いていた。

図4-2 【大学院】改善すべき点



【大学院】「生活健康科学」 抜粋

よかった点

- とても視野が広がったと思います。
- スポーツを違う角度で見ることができた。興味深い内容がたくさんあった。
- 修士課程の最初に調査方法論を体系的に学びたいと思い履修。知りたいと思った基礎的なところまで丁寧に解説して下さった点がありがたかったです。
- リスクについての基本的な認識が間違っていたため、とても納得が出来て、受講して良かったです。
- 興味深い内容であり、受講して良かったと思う。
- 様々な観点からのリスクを取り上げてもらい、理解が深まる。そして、より自身の考えが深まった。
- リスク論を整理して理解することができた。生活者の立場でリスクを考えることの重要性を再認識することができた。
- 研究方法論について理解が深まった。
- 現代社会において、スポーツというものの役割、意義、我々の生活における意味合い等について考えることができた。
- 論文作成に必要なアンケート作成方法とデータの扱い方が分かったこと。
- 生活におけるリスクを様々な視点から学ぶことができた。生活リスクを身近に感じることができた。
- スポーツ科学とはどういう科目か、全体を把握できた。また、自分が関わっているスポーツと関連づけて考えられた。
- これから研究論文に取り組むタイミングで学べたのは、良かった。
- スポーツに関する新しい視点が持てたこと。
- 看護系の論文を書く際は役に立ちそうです。
- スポーツを社会学という観点から分析していくことは、大変な作業に裏付けされたすごい内容のものだと感じました。今後のスポーツを考察していくのに大事な学問だと思います。
- 近年の自然災害やパンデミックなど様々なリスクの解決について学習できた。自身の業務や生活の場においても十分活用できる内容であった。
- 様々な調査等を実施し、分析を行う上で大変役立った。分析から導き出された考察を読み解く力が備わったように思う。
- スポーツ社会学は、初めて受講した教科であったので、興味を持って勉強することができた。
- 研究方法について学ぶことができ良かった。また、統計解析ソフトのことを知らなかったので知れてよかった。
- いろんな視点から本テーマについて考えさせられることが多かった。
- 新しい知識を得ることができ興味関心が広がりました。
- 看護・保健系調査の方法論について、体系的かつ網羅的に学ぶことができよかった。特に第7章では統計解析の基礎が、わかりやすい解説や図表などで理解しやすかった。
- 質的研究に関しての経験がなかったので、概要等を学ぶことができた。
- 生活リスクの学問的な捉え方を理解することができました。今後の生活を良くしていく上での参考になりました。
- リスク・ペリル・ハザードの違いや、リスク情報に関するリスクコミュニケーションのパラドックスなどが理解できたこと。
- 履修しさまざまなリスクを認識し、対処したいと思ったことがとても有意義でした。リスクマネジメントの重要性を認識いたしました。
- 調査研究法が分かりやすく説明されており、今後の仕事や学びに役立つ内容であったこと。楽しく学習できました。

【大学院】「生活健康科学」 抜粋

改善点

- 印刷教材と講師が話していることが異なる場合があり、どこを話しているのかわからない単位があった。
- 図表が少なく、もう少し多くてもよいと思った。
- パワポ資料的なものでよいので、要点や図表と一緒に講義を聞ければもっと理解が深まると思う。
- 索引をもう少し充実させてほしい。
- 印刷教材を読んでいるだけの講義ではなく、教材の理解を深める講義であってほしい。
- 講師が一方的に話すのではなく、ゲストを呼んだり対話形式で話をしたりしてはどうか。
- ラジオではなくテレビでやって欲しいと思いました。
- 科学研究を志向している割には、不遜な主観表現が見られた。控えていただきたい。
- テレビ講義で統計ソフトの使い方を説明していただきたい。練習問題をつけて試行する機会を設けてほしい。
- 具体的事例を用いた説明があるとより理解しやすいと感じた。
- どのようにデータベースやソフトを使うかまで体験できたらよかった。
- 以前の科目との関連がよくわからなかった。新しい情報が盛り込まれていたのか不明。
- 大学院なので、通信指導や試験は 4 択問題ではなくレポート形式にするなど、もっと考えさせる内容を増やしては。
- 模擬的に研究例を使った活動体験などができればうれしい。
- 試験内容そのものが理解しきれていなかった。テキストを読んだだけで分かった気になっていた自分を痛感した。
- 通信指導で不適切なものを 3 個選択するという設問があるが、意図が分かりにくい。運営に未熟さを感じる。
- 先生によってはテキストと大きく異なる進め方をされており、少し戸惑った。
- テレビ科目として、図表やイラスト、ポンチ絵などを活用した行間を解説する授業にしてほしい。
- オンライン授業と同じような機能（字幕など）があるとよい。
- ゲストに登場いただいて笑いの中で内容を深めることや、いろいろな人の体験談が聞けると充実度が増す。
- 音声だけだと情報量が少ない。放送授業では問いを投げかけ、学生と一緒に考えていくスタイルにしては。
- シラバスにゲストの名前や所属を明記してほしい。映像授業を後から聞き直さないと名前がわからなかった。
- 放送内容がテキストに記載されていないものがあった。テキスト上でも説明した方が復習しやすい。
- わかりやすく講義して。
- 印刷教材をそのまま読んでいる章は時間がもったいない。章の終わりのワークを話し合える環境がほしい。
- 講師の経験をもとに唯一の正解かのように意見を押し付けていると感じた。もっと中立の立場から考えたかった。
- 試験では良い成績を取められたが、内容は大変難しく感じられた。知識がより体に染み付くような工夫を。
- ラジオ放送は特に、先生のアクセントや発音が気になります。
- 費用を負担してもよいので、画面の印刷ではなく冊子形式の印刷教材が全ての科目でほしい。

【大学院】「生活健康科学」

よかった点

(単位:人)

科目全般				放送授業				
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計	
今後に役立つ内容だった			5	5	講師の解説が分かりやすかった		1	1
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった			4	4	科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった		1	1
基礎的な知識が得られた			4	4				
知識の整理に役立った			3	3				
興味・関心が持てた			3	3				
深く学ぶ(考える)ことができた			3	3				
身近に感じられる内容だった			2	2				
勉強になった			1	1				
新しい知識が身についた			1	1				
視野が広がった			1	1				
具体的な事例、実践的な内容があった			1	1				
学習意欲・知識欲がわいた			1	1				
体系的に学べた・理解できた			1	1				
全体として満足している			1	1				
専門的な内容だった			1	1				

【大学院】「生活健康科学」

改善点

(単位:人)

科目全般				放送授業				
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計	
内容・構成が良くない			4	4	手話通訳、または字幕がほしい		2	2
難しかった			3	3	テレビ科目にしてほしい		1	1
テレビ科目、ラジオ科目を増やしてほしい			3	3	印刷教材と異なる講義が聞きたい		1	1
例題・練習問題を増やしてほしい			3	3	理解しにくい		1	1
もっと詳しい説明・解説をしてほしい			2	2	講師の解説・指導が良くなかった		1	1
演習を増やしてほしい			2	2	ゲストや別の講師を招いてほしい、増やしてほしい		1	1
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい			1	1	講師によって授業のレベルが違う		1	1
講師・事務方の対応が良くなかった			1	1	放送授業の内容を印刷教材で解説してほしい		1	1
努力不足だった			1	1				
資料・データ・映像・内容が古い、改訂してほしい			1	1				
面接授業・実習を実施してほしい、参加しやすくしてほしい			1	1				

通信指導				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
指導内容・コメント・対応に不満がある			1	1

印刷教材				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
印刷教材の内容が異なる・運動していない			2	2
図・表・写真・イラストを増やしてほしい			1	1
内容・構成が良くない			1	1
索引を充実させてほしい			1	1
放送授業中の資料・データを載せてほしい			1	1
印刷教材がほしい			1	1

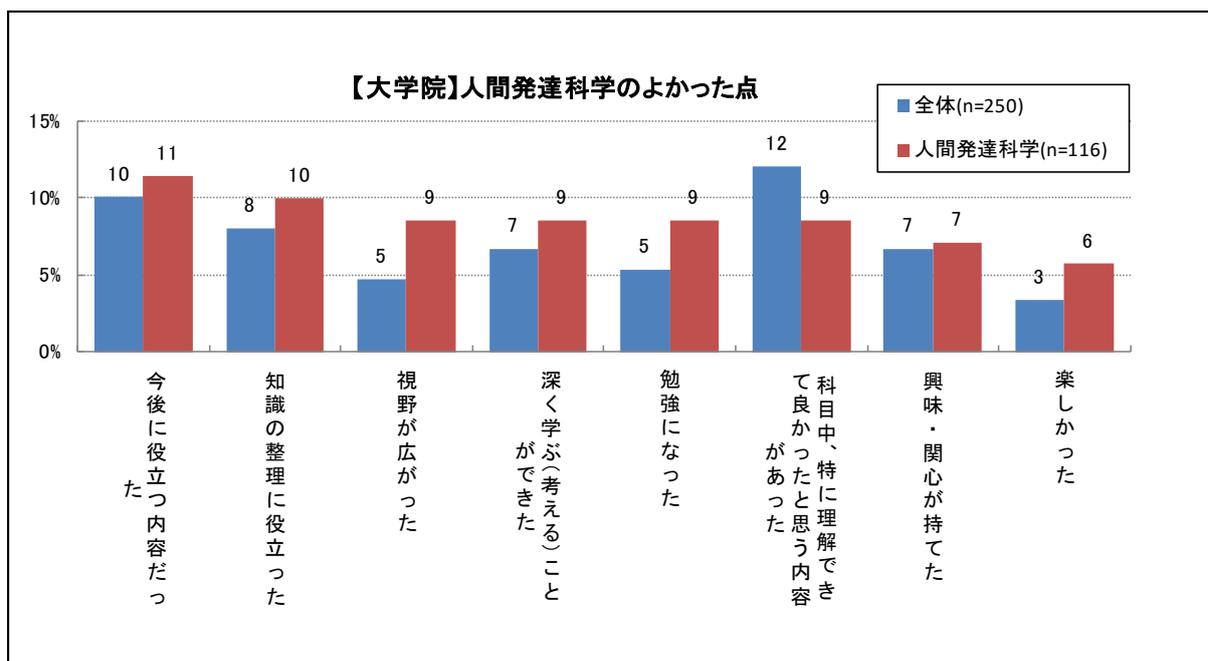
単位認定試験				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
試験が授業・印刷教材・通信指導の内容と異なった			1	1

【大学院】「人間発達科学」の傾向

よかった点

「今後役に立つ内容だった」が11%で最多。以下、「知識の整理に役立った」、「理解しやすかった」が10%、「視野が広がった」「深く学ぶ(考える)ことができた」「勉強になった」「科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった」が9%で続いていた。

図4-3 【大学院】よかった点

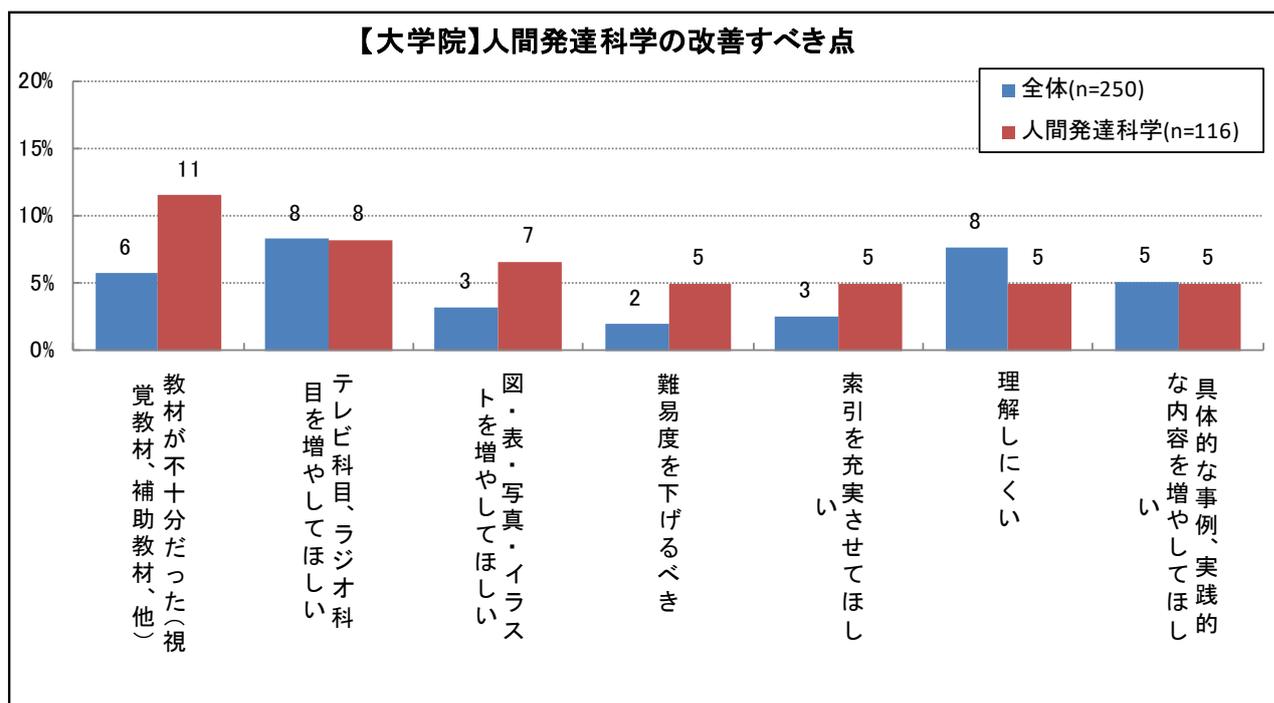


【大学院】「人間発達科学」の傾向

改善点

「教材が不十分だった（視覚教材、補助教材、他）」が11%で最多。以下、「テレビ科目、ラジオ科目を増やしてほしい」が8%、「図・表・写真・イラストを増やしてほしい」が7%で続いていた。

図4-4 【大学院】改善すべき点



【大学院】「人間発達科学」 抜粋

よかった点

- 印刷教材で基礎を、対談で応用を学ぶことができ楽しかった。内容が網羅・整理されており、今後研究を行う上でも重要な書籍となった。
- 他大学でも社会心理学を学んでいたが、今回の教材は大変整理されており、論点やテーマがスッキリと頭に入ってきた。
- 実験などの事例を通した説明や社会心理学の立ち位置など、わかりやすく工夫された教材でした。
- 私の考えの視野が広がりました。
- 成人の学習・発達に関する理論的枠組みを体系立てて学ぶことができた。ゲスト講師のトピックも自発的な学習意欲を促してくれた。
- 今関わっている仕事に役立つ内容だったので、最後まで楽しく学べました。
- 学部段階で十分に理解できなかった内容について、今回さらに理解を深めることができた。
- 自分が直面する問題の構造を多面的に考察することができた。
- 個別の対象ではなく、社会とのつながりと心理学について考えたかったので、自分の興味関心と合致していて勉強になった。
- 講義の内容に最新の知見が盛り込まれている。
- 想像以上に複雑な内容であったが、学ぶことが多く、大学図書館での勤務や地域貢献イベントでのあり方に生かしていきたい。
- ヒトの進化の過程で、血縁以外の利他行動や返報性にどのような変化があるのかなど、今後も検討したい課題が見つかった。
- 社会心理学と実生活のつながりが感じられて面白かった。知見がたくさん紹介されていてよかった。
- グローバルな視点を得られた。マジョリティの教育文化に慣れさせるのではなく、理解し合う姿勢をもつことができ、受講してよかった。
- 社会心理学に対する興味が深まり、紹介されていた関連書籍を購入して主体的に学ぶことができた。
- 進化心理学、文化心理学などの新しい知見があり、非常に興味深かった。
- 海外の状況について、新しい知識を得ることができた。
- 地球規模の視点を持って教育と社会、人の関わりについて考える機会を得た。今後につなげる問題意識を刺激された。
- 特養の介護福祉士として働いているので、高齢者の心理的なことを学べるこの講義は仕事に役立つ勉強。
- 成人の学習に興味を持ち、さらに学習をしたいと考えるようになった。
- 社会心理学の世の中の的な位置づけを最初に説明され意識付けられたので、広い視野で最後まで受講できた。
- 自国の特徴を他国と比較する視点は普段考えないものであり、国際理解教育の視点について深く考えさせられた。
- 成人学習について様々な観点から学ぶことができた。放送大学の全職員にすすめたいほど良い授業。
- 印刷教材と放送の両方が素晴らしかった。放送のみ、または教材のみで扱われている内容が面白く、モチベーションが向上した。
- 複数の先生が担当されていることで、幅広い視野を持ちながらグローバル時代の教育について考えることができた。
- 研究論文に取り組んでいるので、方向性や視点の気づきが多く役に立った。参考文献も興味深かった。
- 偏見が生まれる心理など、自分や家族との関係にも反映されている自分と関わりの深い学問だと思え、興味が持続した。

改善点

- 図表や画像を示しながら解説をしてほしい。印刷教材の朗読にならないように、理解をより深めるような内容にしてほしい。
- 多くの研究者名が出てくるが、索引にほとんど掲載されていない。掲載されるとより印刷教材を利用しやすくなる。
- 教科書の書き方が難解で、なんとなくの理解になってしまった。辞書やネット検索で調べる機会が多くあった。
- 主任講師の方の文章を理解するのに少し時間が掛かった。
- 先生の話が印刷教材とあっていなかったり、通信指導やテストで全く違う内容が出た気がして難しかった。
- ラジオ番組でゲストを招いての会話は大変よかったが、画像にしてほしい（テレビ科目化）。
- もう少し、具体的な例が示されると良かったかもしれない。
- 音声以外にも図表を映すなど、視覚に訴えることで理解がより深まると思う。
- ロケが多いと面白いと感じました。
- 聞き慣れない人名等について、音声のみでなく解説ページがあると良かった。自分で調べる時間が惜しかった。
- 1章の内容が多すぎると感じた。内容をコンパクトにした方が取り組みやすい。
- ゲストの氏名や肩書を一覧にした資料をいただくと、今後の学びの機会創出になる。
- 世界事情をより多く取り入れて、その中の日本の立ち位置などをもっと盛り込んで欲しい。
- 単位認定試験が記述式に変わったことで期限を間違えた。もっと強力なリマインドがあれば失念しなかった。
- 興味深い内容だが、学ぶ分量が多く、単位認定試験の内容も難解と感じた。
- 心理学テストの変遷について、どの試験がどの派生なのか体系立てた図があるとわかりやすい。
- 試験前に過去問に取り組んだが、解答がずれているように感じた。
- テストは間違えやすい問いが多く、細部まで記憶していないと難解。学生を落とすためのものではない問題を希望。
- 通信指導のフォントを、個々の読みやすい字体で選べるようにしてほしい。
- 講師により内容の分かりやすさに差がある。教材を音読するだけの先生や、専門用語を連発する先生もいた。
- 放送授業中の解説が、印刷教材のどのページに対応しているのか明示していただくとわかりやすかった。
- シラバスにゲストの名前や所属を明記してほしい。映像を最初から聞き直さないと詳細がわからなかった。
- 放送授業はテキストの補完として、参考例やゲストとの対話などをもっと増やした方がおもしろいのではないか。
- 帰国子女の方の話や、学校の様子などがわかる映像資料があると、より理解しやすかった。
- 耳から情報が入る授業はやや苦手なので、放送授業で字幕が出るとよりありがたい。
- プロのアナウンサーが聞き手になって、会話形式での講義が多いとわかりやすい。
- 講師が自身の経験を唯一の正解かのように意見を押し付けていると感じた。もっと中立の立場からの講義を望む。
- ラジオ放送は特に、先生のアクセントや発音が気になります。
- 現状はラジオ放送なので映像付き（テレビ放送）にすることが先決。研究の示唆をいただいたのはありがたい。
- 放送内容を聞いているとテキストのどこを話しているかわからなくなる。「今ここ」を教えてほしい。

【大学院】「人間発達科学」

よかった点

(単位:人)

科目全般				放送授業				
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計	
今後に役立つ内容だった			8	8	複数の講師の講義を聞くことができた		2	2
知識の整理に役立った			7	7	楽しかった		1	1
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった			6	6	良い授業だった		1	1
勉強になった			6	6	興味・関心が持てた		1	1
深く学ぶ(考える)ことができた			6	6	引用・参考文献・補助教材・問題集の紹介が良かった		1	1
視野が広がった			6	6				
興味・関心が持てた			4	4				
楽しかった			3	3				
最新の情報・研究が学べた			3	3				
新しい知識が身についた			2	2				
学習意欲・知識欲がわいた			2	2				
内容・構成が良かった			2	2				
理解しやすかった			1	1				
体系的に学べた・理解できた			1	1				
専門的な内容だった			1	1				
科目の学問的性質、位置付けが分かった			1	1				

【大学院】「人間発達科学」

改善点

(単位:人)

科目全般				放送授業				
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計	
教材が不十分だった(視覚教材、補助教材、他)			7	7	テレビ科目にしてほしい		2	2
テレビ科目、ラジオ科目を増やしてほしい			5	5	図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい		2	2
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい			3	3	講師の解説・指導が良くなかった		2	2
もっと詳しい説明・解説をしてほしい			1	1	現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい		2	2
内容の詰め込みすぎ			1	1	解説中の印刷教材のページが分かりにくい		2	2
最新の内容を講義してほしい			1	1	印刷教材と異なる講義が聞きたい		1	1
努力不足だった			1	1	手話通訳、または字幕がほしい		1	1
講師の詳しいプロフィールや研究内容、仕事内容等を知りたい			1	1	講師・ナレーター・ゲスト等の話し方が良くない、声が聞き取りづらい		1	1
					ゲストや別の講師を招いてほしい、増やしてほしい		1	1
					聞き手がいた方がよい		1	1

印刷教材				通信指導				
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計	
図・表・写真・イラストを増やしてほしい			4	4	文字が読みづらい		2	2
理解しにくい			3	3				
索引を充実させてほしい			3	3				
印刷教材の内容が異なる・連動していない			1	1				
放送授業中の資料・データ、ゲストの話を載せてほしい			1	1				
追加情報・追加教材がほしい			1	1				
内容が薄い・少なすぎる			1	1				
講師により内容にバラつきがある・解説が異なる			1	1				

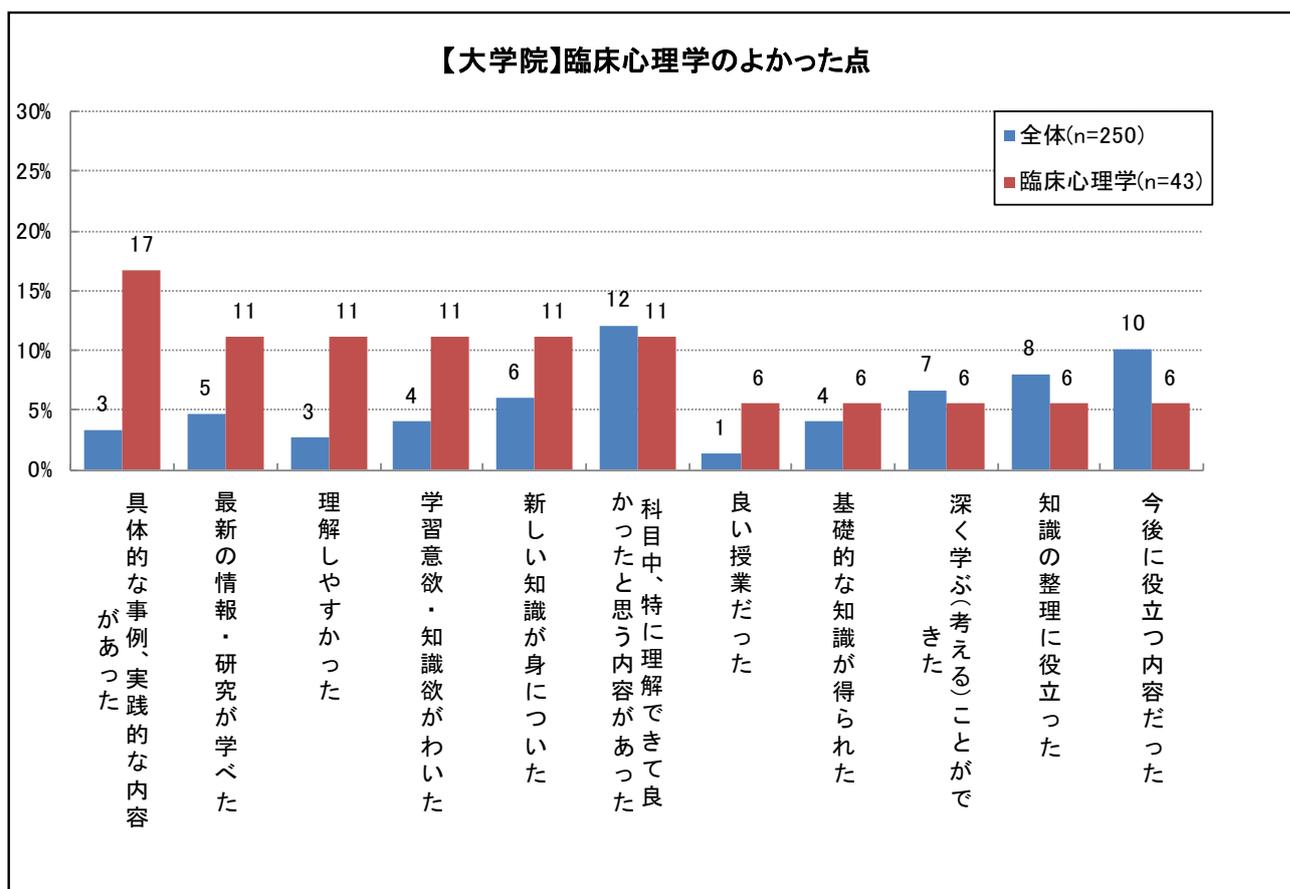
単位認定試験				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
難易度を下げるべき			3	3
受験の要領がわかりにくい			2	2
記述式、および記述に関して改善してほしい			1	1
試験の設問内容が理解しにくい・出題の仕方に違和感がある			1	1
誤植があった、数字の誤りがあった			1	1

【大学院】「臨床心理学」の傾向

よかった点

「具体的な事例、実践的な内容があった」が17%で最多。以下、「最新の情報・研究が学べた」「理解しやすかった」「学習意欲・知識欲がわいた」「新しい知識が身についた」「科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった」が11%で続いていた。

図4-5 【大学院】よかった点

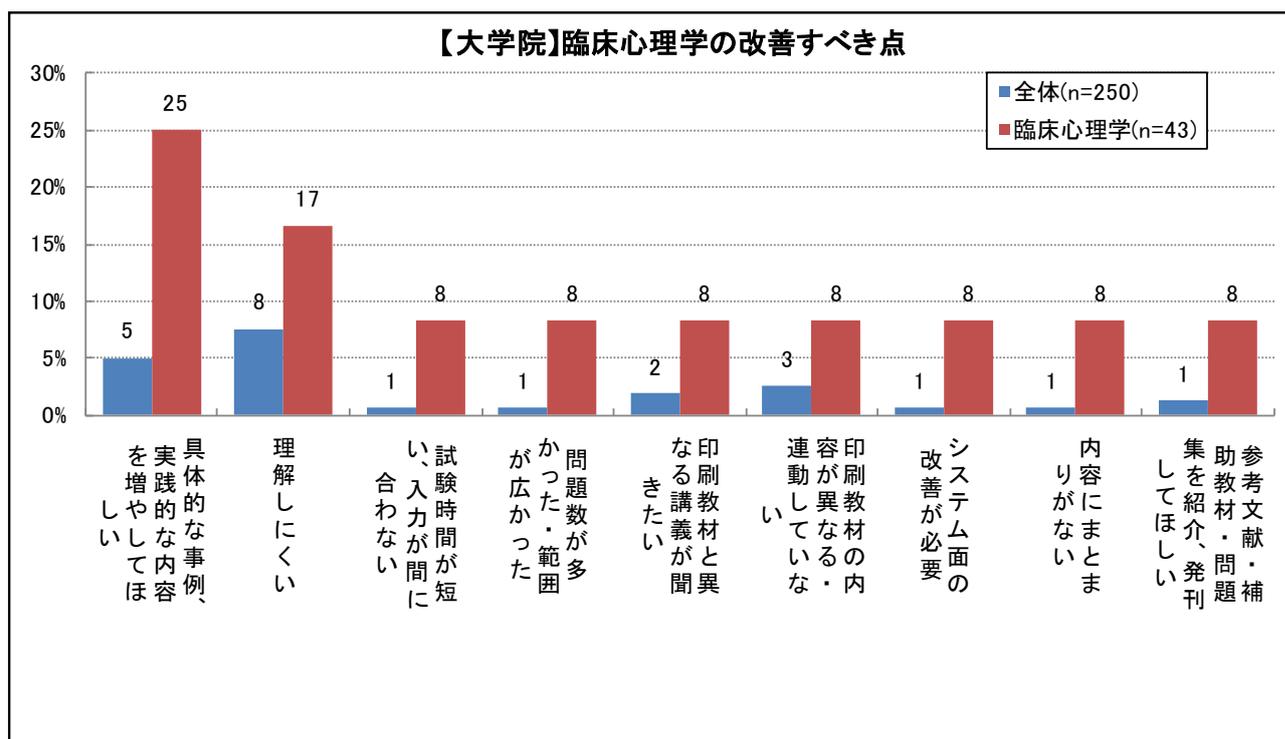


【大学院】「臨床心理学」の傾向

改善点

「具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい」が25%と突出して高かった。以下、「理解しにくい」が17%、「試験時間が短い、入力が間に合わない」「問題数が多かった・範囲が広がった」「印刷教材と異なる講義が聞きたい」「印刷教材の内容が異なる・連動していない」「システム面の改善が必要」「内容にまとまりがない」「参考文献・補助教材・問題集を紹介、発刊してほしい」が8%で続いていた。

図4-6 【大学院】改善すべき点



【大学院】「臨床心理学」 抜粋

よかった点

- 事例が多く提供されていて、わかりやすかった。
- これまであまり取り上げられていない具体的な臨床心理の現場について解説があってわかりやすかった点。
- 新しい知識が得られた
- 形を変えると、仕事に活かせる部分がある。自分の研究分野に参考になるでしょう。
- 心理面接を、現場ごとに分けてあるため、理解しやすかった。特に、自分の職場で母親支援をするときに考える視点が見つかった点が、受講してよかったと思う
- 臨床心理士としての専門的知識・技能が身についたと思う。わかりやすく解説をされていることが良かった。
- 臨床心理士としての専門知識や技能がよく理解できた。実際の場面での活用や、ゲストの話がとても具体的なのでよい指標となっている。参考文献も豊富に紹介されているのでありがたい。
- 心理面接についての心構えや実際の支援について学ぶことができました。一方で、学んだことでまだまだ自分自身の勉強不足を感じました。今後も学ぶ意欲に繋がりました。
- 臨床心理学の理論について広範囲に学べた点
- 様々な分野での臨床心理の実践がわかった点
- 現在カウンセリングを学習しているのであるが、面接の実践に役に立った。知識を振り返って考えるのに役立った。
- 時点更新が行われていること
- 臨床心理士を目指すものとしての構えについて染み入るように学べた。
- 臨床を進める中で貴重な視点が学べた。新たな技法理論についても分かりやすく解説されていた
- 心理面接の心構えに触れることができた
- 臨床心理学について、知識が深まった気がする。 参考図書などをもっと読みたいと思い、楽しみが増えた。
- 素晴らしい授業です

改善点

- 印刷教材の一文が長く、理解に繰り返し読み直す必要があった。ラジオなので仕方がないが、図と文を対応させるのが難しく感じることもあった。
- 自分の基礎力不足もあり、まずは印刷教材の内容理解をするのに精一杯でラジオ教材の対談を聞く余裕がなかった。ただし、短期間で多くのものを学べるという点では有効な試みだと思う。後期も登録しているので単位修得に関係なくラジオ教材を視聴し理解を深めたいと思う。
- （難しいとは思いますが）守秘が重要な点となるが、相談の現場などについての映像があるとよりわかりやすいと思う。
- 参考文献を探すことが大変であることや、参考文献が難しくて借りてきても読みすすめないことがある。論文を手に入れるのが難しい。
- 臨床心理学特論と臨床心理面接特論で、内容が重複しているところについては、「またか」と思ってしまった。
- （難しいとは思いますが）守秘が重要な点となるが、相談の現場などについての映像があるとよりわかりやすいと思う。
- 事例研究を取り入れて欲しいです。
- 単位認定試験の問題が 15 問だったので、最後まで終わりませんでした。時間が足りませんでした。
- 放送教材と印刷教材の内容がほとんど一致していない回があった。もう少し、印刷教材と放送教材の内容は一致させてほしい。
- 12 回以降の放送が中断したりして完全に聴講できなかったのが残念だった
- 印刷教材をそのまま読んである章は少し時間がもったいないと感じた。印刷教材を読んだことを前提として授業を行うとより多くの知識を身に着けることができる。章の終わりのワークは、一人だとなかなかやりにくいことが多くて、手がかからないことがある。話あいなどができる環境があるとよいと思う。もしくは、先生と一緒に考えるというような内容がよい。（ズームなどの利用）

【大学院】「臨床心理学」

よかった点

(単位:人)

科目全般				放送授業				
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計	
具体的な事例、実践的な内容があった			3	3	良い授業だった		1	1
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった			2	2				
新しい知識が身についた			2	2				
学習意欲・知識欲がわいた			2	2				
理解しやすかった			2	2				
最新の情報・研究が学べた			2	2				
今後に役立つ内容だった			1	1				
知識の整理に役立った			1	1				
深く学ぶ(考える)ことができた			1	1				
基礎的な知識が得られた			1	1				

【大学院】「臨床心理学」

改善点

(単位:人)

科目全般				放送授業				
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計	
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい			3	3	印刷教材の内容が異なる・連動していない		1	1
参考文献・補助教材・問題集を紹介、発刊してほしい			1	1	印刷教材と異なる講義が聞きたい		1	1
内容にまとまりがない			1	1	システム面の改善が必要		1	1

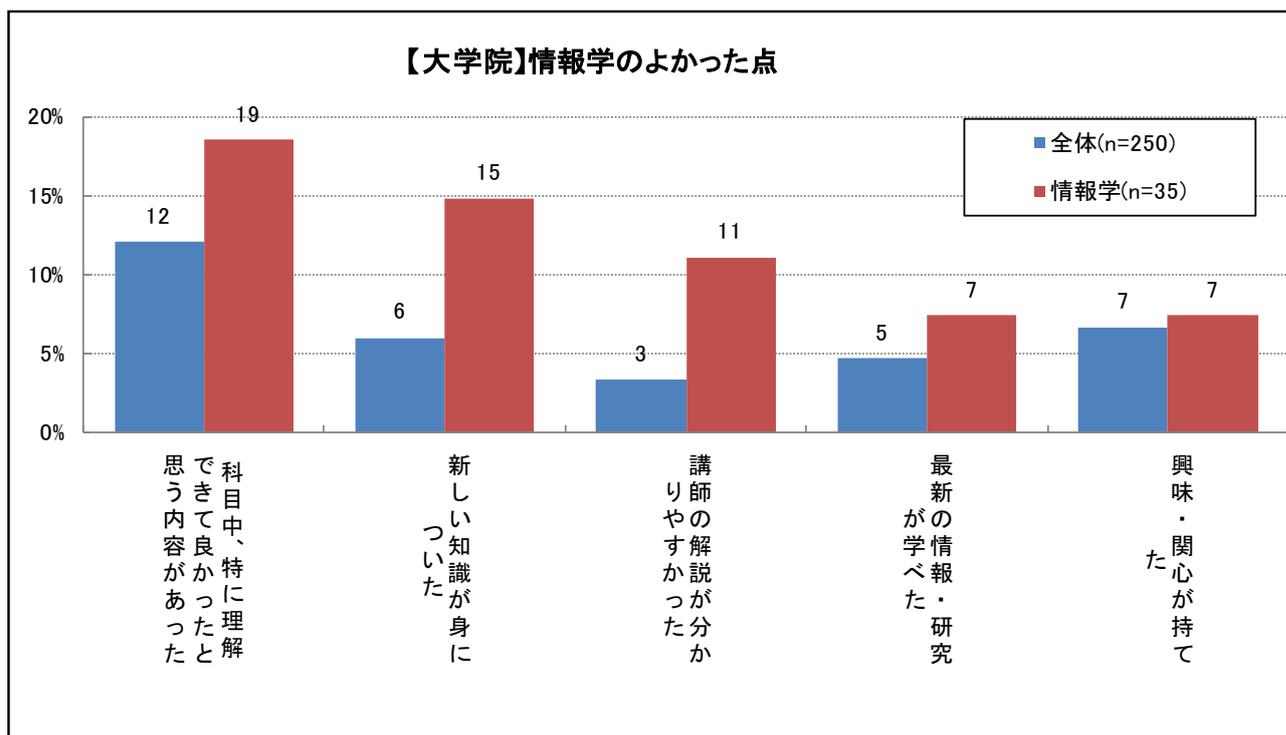
印刷教材				単位認定試験				
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計	
理解しにくい			2	2	問題数が多かった・範囲が広がった		1	1
					試験時間が短い、入力が間に合わない		1	1

【大学院】「情報学」の傾向

よかった点

「科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった」が19%で最多。以下、「新しい知識が身についた」が15%、「講師の解説が分かりやすかった」が11%、「最新の情報・研究が学べた」「興味・関心が持てた」が7%で続いていた。

図4-7 【大学院】よかった点

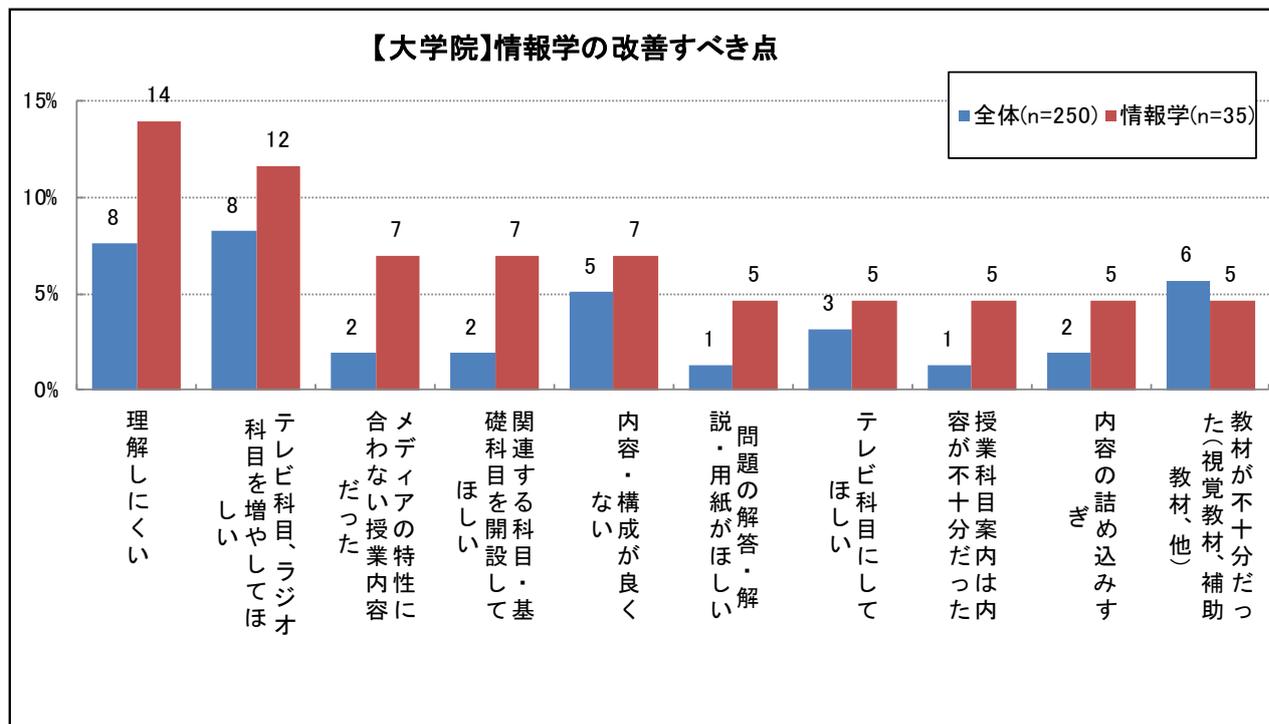


【大学院】「情報学」の傾向

改善点

「理解しにくい」が14%で最多。以下、「テレビ科目、ラジオ科目を増やしてほしい」が12%、「メディアの特性に合わない授業内容だった」「関連する科目・基礎科目を開設してほしい」「内容・構成が良くない」が7%で続いていた。

図4-8 【大学院】改善すべき点



【大学院】「情報学」 抜粋

よかった点

- 当該分野に関する導入知識が得られた点
- 最新の自然計算分野について、興味深く学習できた。特に 13 章、光コンピューティングや 14 章、量子コンピューティングは学習していて楽しかった。
- 普段使わない、コンピュータ上の計算システムについて理解が深まった。
- 計算と熱力学の関係や、必ずしもノイマン型の電子計算機に限らない、様々な自然計算について教えて頂き、感謝致します。北海道の大学の女性教授の方が、ゼリー状の棒を内部から観測する事によって、蠕動運動のような効果を生じ、それを動力に利用する事を研究しています、というインタビューには感銘を受けました。有難うございました。
- ソフトウェア工学と情報社会の関連に触れることができたこと。現在におけるソフトウェアの技術革新を知見として触れることができたこと。
- 計算と自然が、どのようにコラボするのが不思議でした。受講してみて、ノイマンがチューリング機械が展開した計算理論を「計算オートマトンのチューリング理論」等で展開していることを知見として理解することができたこと。
- いずれは修士全科生として自然計算を専攻しようと考え、一昨年から選科生として少しずつ単位をとって準備していたところ、今学期からこの科目が開設されたので早速受講しました。かなり広範なトピックをコンパクトな講座の中でまとめていてとても良い内容だったと思います。全科生の出願はまだ来年を考えているので、修士研究の構想や希望する指導教員の想定のためにも、この講座があって大変参考になりました。
- 新しい知識を習得できた。現在の流れを理解できた。
- 最先端の研究紹介も含まれていたこと。自然計算について、多岐にわたる紹介がされていたこと。
- 自然計算の考え方が、非常広い分野が関係するものであったので、さまざまな分野についての、気づきを得ることができ、興味が広がりました。
- 新たな知識を多く周到できました。
- ソフトウェア開発において体系的に理解するのに最適な講義でした。システム開発プロジェクトの会議などにおいて、問題点に気がつき機会が増え、実務を通じてプロジェクトの成功や失敗が予測できるようになった。
- ソフトウェア工学のみならず、プロジェクト管理に関わることなど、ソフトウェア開発に関わるトータルな概念が学べたと思います。
- さまざまな並列計算について学ぶことができた。
- 科目で取り上げられているセルオートマトン、複雑系に惹かれて受講したが、より幅広く計算に関する状況が取り上げられており、楽しく受講できた。
- 私にとって新しい分野に対して新しい知見を広げることができました。
- 約 50 年前、大学の理学系でコンピュータの講座ができ学びました、現役時代もソフト品質管理に関する業務についていましたが、久しぶりに学問的視点での勉強をして、その変容、進化にびっくりしました。現役時代もう少し学問的視点でみておけばよかったと思いました。
- 統合情報理論について学べたこと、触れられていたこと。
- 未知のテーマだったが、大変興味深く、また、私自身の専攻しようとしている分野とつながりがあり、改めて勉強・研究するテーマを再考するきっかけをいただけました。内容が興味深かったので、一学期の片手間の学習ではどうも知識が熟した感じがせず、副読本や参考書の勉強も含めて来期もう一度受講したいと思い、単位認定試験は放棄した。
- ソフトウェア開発の作法や裏側を知ることが出来た。先生の話し方は放送授業としての工夫が見られ、理解しやすいように設計して頂いていると感じた。プログラミングにおいては、とにかく手を動かして動くものを作れば良い、という風潮があるように思えますが、分野へのハードルを下げる必要性も理解できる一方で、いずれは設計とはどのようなものか、下から上なのか、上から下なのか、堅牢なコードとは何か、を考えることになると思います。AI コーディングが進む中、先人の知恵を知った上での開発を心がけたい。

改善点

- 印刷教材が難しい内容の説明で、参考文献をよく読む必要があった。もう少し解りやすい教材に変えてほしい。
- 量子コンピューティングなど進歩が激しく、教材がすぐに陳腐化しそうだと感じた。適時更新を。
- 多くの研究者名が出てくるが索引にほとんど掲載されていない。掲載されると復習に役立つ。
- コラムの執筆者や重要項目の索引があると自習・復習の参考にしやすい。
- 教科書は講義を忠実に再現しているが、もう少し厚み（詳細な解説）のある内容でも良かった。
- 主任講師の方の文章を理解するのに少し時間が掛かった。より平易な表現を希望する。
- 先生の話が印刷教材とあっていなかったり、通信指導で全く違う内容が出た気がして難しかった。
- ラジオでも理解可能だが、やはり映像を交えた方が理解が深まる。
- 視覚的なサポートはたくさんあった方が助かる。図についても動的なイメージがある方が良い。
- 図だけ見てもわからないことが多かった。具体例を複数示し、ステップを踏んで解説してほしい。
- 映像や本を参考に、より具体的な現場感覚をもって学べる工夫があると、頭に入りやすかった。
- 「自然計算」という概念自体が難しいため、まずそれをしっかり理解する段階を設けてほしい。
- 新規科目で事前情報が少なく後悔したこともある。科目についての事前説明をしっかりとしてほしい。
- テレビ科目の方が、さらに理解が深まると思います。
- 技術や手法の紹介で留まらずに、次の段階への考え方や方向性を知りたかった。
- ラジオの解説がテキストに含まれていない時があり、スライド的な図が挿入されていればと思った。
- インターネット配信の動画に、字幕またはトランスクリプトの表示機能が欲しい。
- 重い内容を45分で語るのは難しい回がある。基礎だけに絞るか、もっと時間を割くかが必要。
- 章末の研究課題がテキストのレベルとギャップがある。英語論文や書籍も多く紹介してほしい。
- 受講に必要な基礎知識レベル（前提条件）をあらかじめシラバス等で明示してほしい。
- 自分の基礎学力不足もあるが、1つの科目として範囲が膨大すぎる気がした。
- 受講者間でのコミュニケーション（質問や議論）が図れる場を用意してほしい。
- テストは多肢選択式だけでなく、記述式も検討して良かったのではないかと思う。
- どの答案が間違っていたか不明で検証できない。試験の透明性を欠いており学習意欲が削がれた。
- 受験者には解答を公開してもいいのでは。自分の解答でどれが誤りだったか把握したい。
- 通信指導のコメントが素っ気なかった。また、質問箱が活用できなかった。
- 通信指導のフォントを、個々の読みやすい字体で選べるようにしてほしい。
- ゲストの話は面白いが、講義の本筋との関係性をもっと明確だと深掘りしやすかった。
- テストに出る範囲のポイントがつかめなかった。ポイントを絞った内容の授業にしてほしい。
- 全体的に難しすぎて聞き流してしまうことが多かった。もっと優しい内容に変えてほしかった。
- 担当講師により難解な数式が登場するが放送では触れない等、章同士の動線が確保されていない。
- ラジオ授業という形態に無理がある。ゲストの話がテキストの順とリンクせず一貫性がない。
- 段階的に進められる等、理解しやすくなるように構成をさらに工夫してほしい。
- 内容の性質上、テレビの授業にすべき。
- 音声主体の授業だが、映像やオンライン実習があればより理解を深められたのではないか。
- 複雑な内容はオンラインか映像授業での解説が望ましい。
- 耳から情報が入る授業は苦手。文字情報のほうが頭に入るので字幕が出るとありがたい。
- 講師が自身の経験を唯一の正解かのように意見を押し付けていると感じ、非常に残念だった。
- ラジオ放送は特に、先生のアクセントや発音が気になります。
- ラジオなので視覚的な副教材を充実させ、お勧めの書籍などを強調して教えてほしかった。

【大学院】「情報学」

よかった点

(単位:人)

科目全般				放送授業				
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計	
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった			5	5	講師の解説が分かりやすかった		3	3
新しい知識が身についた			4	4	印刷教材と連動していて良かった		1	1
最新の情報・研究が学べた			2	2	興味・関心が持てた		1	1
今後に役立つ内容だった			1	1				
勉強になった			1	1				
知識の整理に役立った			1	1				
興味・関心が持てた			1	1				
基礎的な知識が得られた			1	1				
楽しかった			1	1				
具体的な事例、実践的な内容があった			1	1				
内容・構成が良かった			1	1				

【大学院】「情報学」

改善点

(単位:人)

科目全般				放送授業				
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計	
テレビ科目、ラジオ科目を増やしてほしい			5	5	理解しにくい		3	3
関連する科目・基礎科目を開設してほしい			3	3	メディアの特性に合わない授業内容だった		3	3
教材が不十分だった(視覚教材、補助教材、他)			2	2	テレビ科目にしてほしい		2	2
内容の詰め込みすぎ			2	2	内容・構成が良くない		2	2
授業科目案内は内容が不十分だった			2	2	ポイントがつかみにくい		1	1
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい			1	1				
もっと詳しい説明・解説をしてほしい			1	1				
内容が浅い			1	1				
参考文献・補助教材・問題集を紹介、発刊してほしい			1	1				
交流の場を用意してほしい			1	1				
努力不足だった			1	1				
手話通訳、または字幕がほしい			1	1				
講師の熱意が伝わらない			1	1				

印刷教材				単位認定試験				
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計	
理解しにくい			3	3	問題の解答・解説・用紙がほしい		2	2
内容・構成が良くない			1	1	記述式、および記述に関して改善してほしい		1	1

通信指導				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
指導内容・コメント・対応に不満がある			1	1

Ⅲ-4. 大学院（オンライン授業）

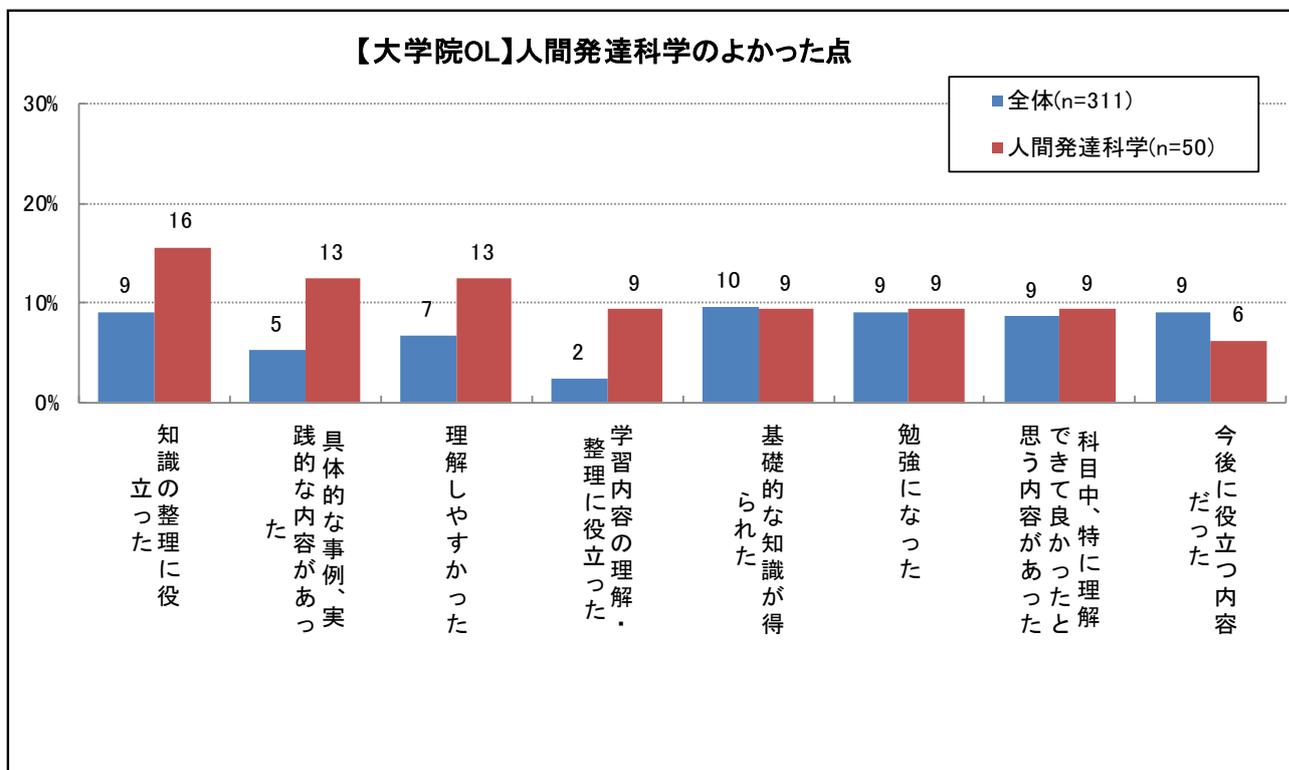
ここからは、大学院オンラインの全体との比較で、当該科目がどのような傾向にあったのかを見ていきたい。

【大学院 オンライン】「人間発達科学」の傾向

よかった点

「知識の整理に役立った」が16%で最多。以下、「具体的な事例、実践的な内容があった」「理解しやすかった」が13%、「学習内容の理解・整理に役立った」「基礎的な知識が得られた」「勉強になった」「科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった」が9%で続いていた。

図4-9 【大学院 オンライン】よかった点

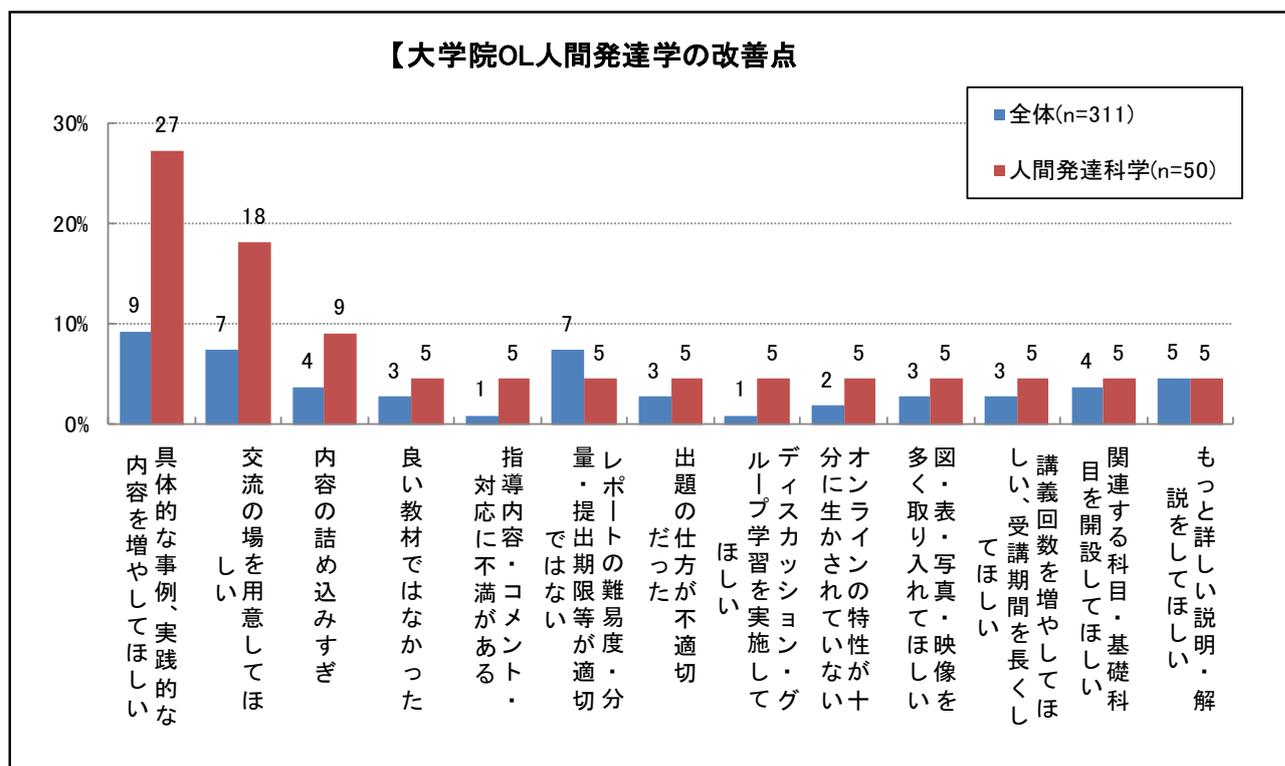


【大学院 オンライン】「人間発達科学」の傾向

改善点

「具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい」が27%で最多。
以下「交流の場を用意してほしい」は18%、「内容の詰め込みすぎ」が9%が続いた。

図4-10 【大学院 オンライン】改善すべき点



【大学院 オンライン】「人間発達科学」 抜粋

よかった点

- 丁寧でわかりやすい講義でしたので、気づきや学びを多く得られ満足しました。
- カイ二乗検定を行う上でクラメールの連関係数 V の必要性が具体的に理解できた
- 社会調査において、質的・量的調査について詳しく知れることが良かった。リサーチクエスションから結論までの過程は他の科目と共通して大切な点ですが、具体的な調査の方法について深められた点が良かった。自身の研究に活かせる内容であった。
- 研究手法を学ぶことができた
- 量的調査について、教育研究に特化して学ぶことができたのでよかった。難易度が自分に合っていてわかりやすかった。
- 研究テーマと決めて調査をすることは毎年行なっていますが、自己流で不安がありました。質的研究、量的研究をしっかりと解説してくれ、調査の方法もわかりやすく、自信ができました。ー
- 論文作成に必要な研究手法と調査方法が学べた。
- 論文研究に関する知識が深まったことがよかったです。
- 動機の部分と同じです。再学習し確認できるところに自分自身のステップアップになると感じている。
- アンケート調査に関する基本的な手法がわかった
- 実際に調査をするイメージが持てました
- 勉強になりました。有難うございました。
- 量的、質的研究それぞれの具体例があってわかりやすかった。
- 質的調査、量的調査について理解できた。
- 無理して難しいデータ解析に手を出さなくても、十分なことができると知った点。
- 自身が修士論文を書く上で不安のあった調査方法について、バランスよく学ぶことができたと感じています。
- 教養学部での卒業研究論文の発表後でしたので、質的調査については復習という感じで興味深く受講しました。量的調査では、「母集団」が主体でしたので、内容のある講義だと思います。ただ、繰り返しの文章用語が多かったので、何度も書き間違いをしたことです。
- 社会調査の方法を俯瞰的に学ぶことができた点
- 質的・量的研究の違いや注意点を、具体的な事例から学べたのが良かったです。また先生方の講義が的を得たものでかつよく練られていたことで、理解がしやすかつ深まったので、感謝しています。先生方が素晴らしいかったです。
- 重要なポイントを、コンパクトに学ぶことができました。
- 実際に調査を行う際の重要ポイントを、再認識することができました！
- 今後、学術論文を書く上で非常に役立つと思う。
- 質的・量的調査や仮説検証の具体的な内容を分かりやすく勉強できた
- 量的・質的分析があること、それぞれの特徴はわかりやすかった。ありがとうございました。
- 研究の事について新しい知識が得られた。
- 調査の方法について、具体例があり、自分が実際に行う際のヒントになると思った。
- 論文の書き方や調査の仕方について分かりやすかった。論文を読む上で、よくわかっていなかった検定の意味についても解説が分かりやすかつとても良かった。
- 質的調査、量的調査の一般的な概要について改めて理解することができた。また、社会調査に関する自己の知識の再確認、洗練化をすることができた。
- 研究計画書の書き方を手取り足取り教えてもらった。印刷メモを今後何度も見返すことになるだろう。
- 講義スライドがダウンロードできるところが良かった。

【大学院 オンライン】「人間発達科学」 抜粋

改善点

- ディスカッションのコンテンツが一つでもあると、より良い科目になるのではと思いました。
- 8 講義 1 単位では少ないので、15 講義 2 単位にしてほしい。そのうえで具体的な分析方法について、さらに触れてほしい。
- オンライン授業において情報量が多かった。特に量的研究の部分は全てを理解できたかという部分では自信がない。
- 調査方法の具体例を数多く示して欲しい。
- 統計解析について、解析アプリケーションの紹介があったほうがいいかもしれません。
- 双方向性
- 先行研究の探し方の具体例や先生方の工夫をもう少し知りたかった。
- 楽しい研究実例をもっと取り上げてほしかった。
- 受講者間でのディスカッションや、レポートの相互採点など、オンライン授業ならではの学習活動も取り入れていただけるとありがたいです。
- 他の学生の「行いたい調査」も知れると、より一層学びが深まりそうだと感じました！
- 双方向性があまり活かされていない。
- 修士論文を書く前に履修すべきだったと思うので、そうされていると思うが、修士論文を書く前に履修するようにうるさい位 PR してもらえると、今後の学生には役立つと思う。
- 分析方法を事例を出して説明いただくともっとよかった（口頭の説明が多かったので）。とくに質的分析法を詳しく知りたかったです。
- 講義時間が長いのと量的研究も初歩的な事しかやらなかったのもう少し深い学習をしたかった。
- もう少しよく使われる統計の種類についての解説があったら、より良かった。
- 研究者として交流も必要であるが方法があまり確立されていないように感じた。 大学時代はベースメーカーとなる友人がいたが、通信制ではなかなか難しいので、交流の糸口となる、「この点について、フォーラムで発言してみましよう」などの水を向ける助言があってほしいと感じた。
- 質的調査について、インタビュー調査が主として提示されているものの、SCAT、GTA、TEA など多様な手法が存在しているため、それらに関する紹介があればよりよかったと感じる。
- 話している内容まで印刷できたら、助かると思いました。
- 最終レポートは論文をひとつ作成するボリューム感があった。
- 最終レポートには時間もかけ取り組んだが、フィードバックが AI?のような無機質な感じがし、そのせいか評価にも納得がいかなかった。授業自体はとても良かったので少し残念な気持ちだ。
- レポート課題の内容があまり理解できず、アンケートの概要を求めているのか、仮説的に例題を作り出して進めていくのか迷った。もう少し具体的な説明をしてほしかった。

【大学院オンライン】「人間発達科学」

よかった点

(単位:人)

科目全般				設問解答			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
知識の整理に役立った			5	学習内容の理解・整理に役立った			2
具体的な事例、実践的な内容があった			4				
理解しやすかった			4				
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった			3				
勉強になった			3				
基礎的な知識が得られた			3				
今後に役立つ内容だった			2				
新しい知識が身についた			1				
深く学ぶ(考える)ことができた			1				
全体として満足している			1				
ポイントがつかみやすかった			1				

【大学院オンライン】「人間発達科学」

改善点

(単位:人)

科目全般				オンライン教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい			6	図・表・写真・映像を多く取り入れてほしい			1
交流の場を用意してほしい			4				
内容の詰め込みすぎ			2				
もっと詳しい説明・解説をしてほしい			1				
関連する科目・基礎科目を開設してほしい			1				
講義回数を増やしてほしい、受講期間を長くしてほしい			1	出題の仕方が不適切だった			1
オンラインの特性が十分に生かされていない			1	レポートの難易度・分量・提出期限等が適切ではない			1
ディスカッション・グループ学習を実施してほしい			1	指導内容・コメント・対応に不満がある			1

講義ノート・テキスト			
意見	テレビ	ラジオ	合計
良い教材ではなかった			1

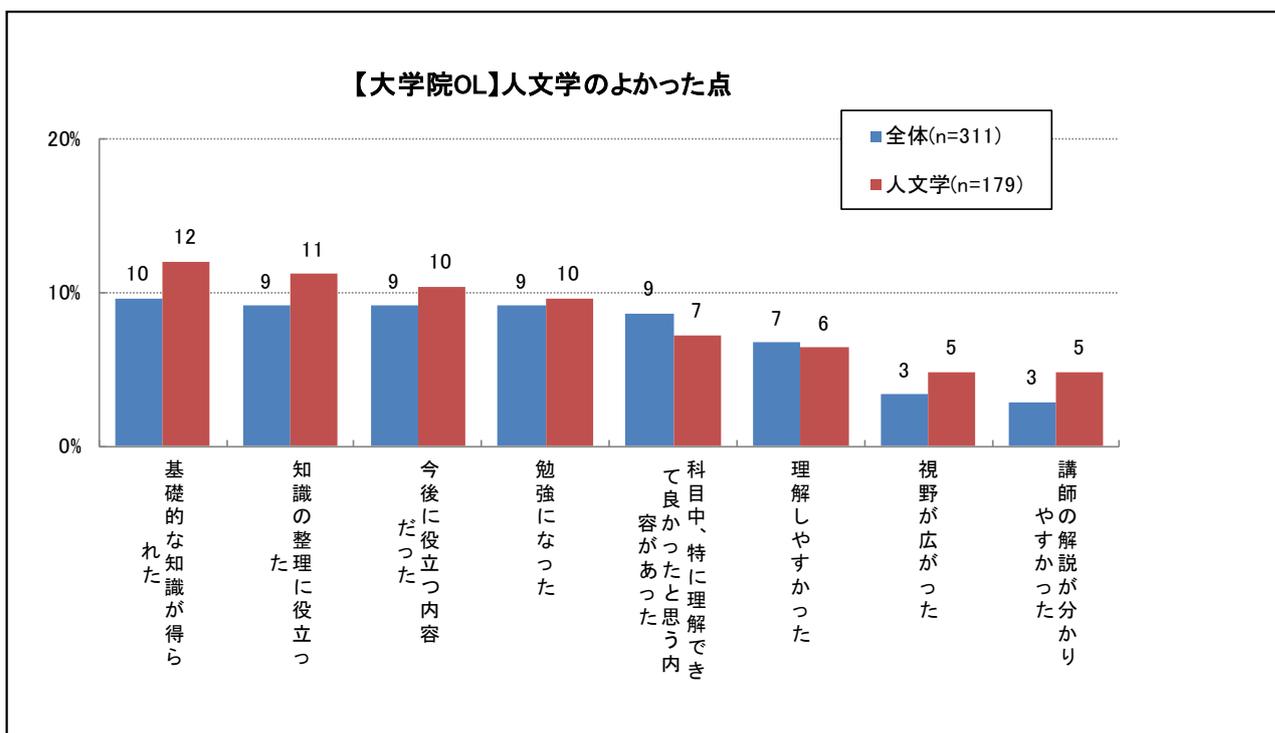
【大学院 オンライン】「人文学」の傾向

よかった点

「基礎的な知識が得られた」が12%で最多。

以下、「知識の整理に役立った」が11%、「今後に役立つ内容だった」が10%で続いていた。

図4-11 【大学院 オンライン】よかった点

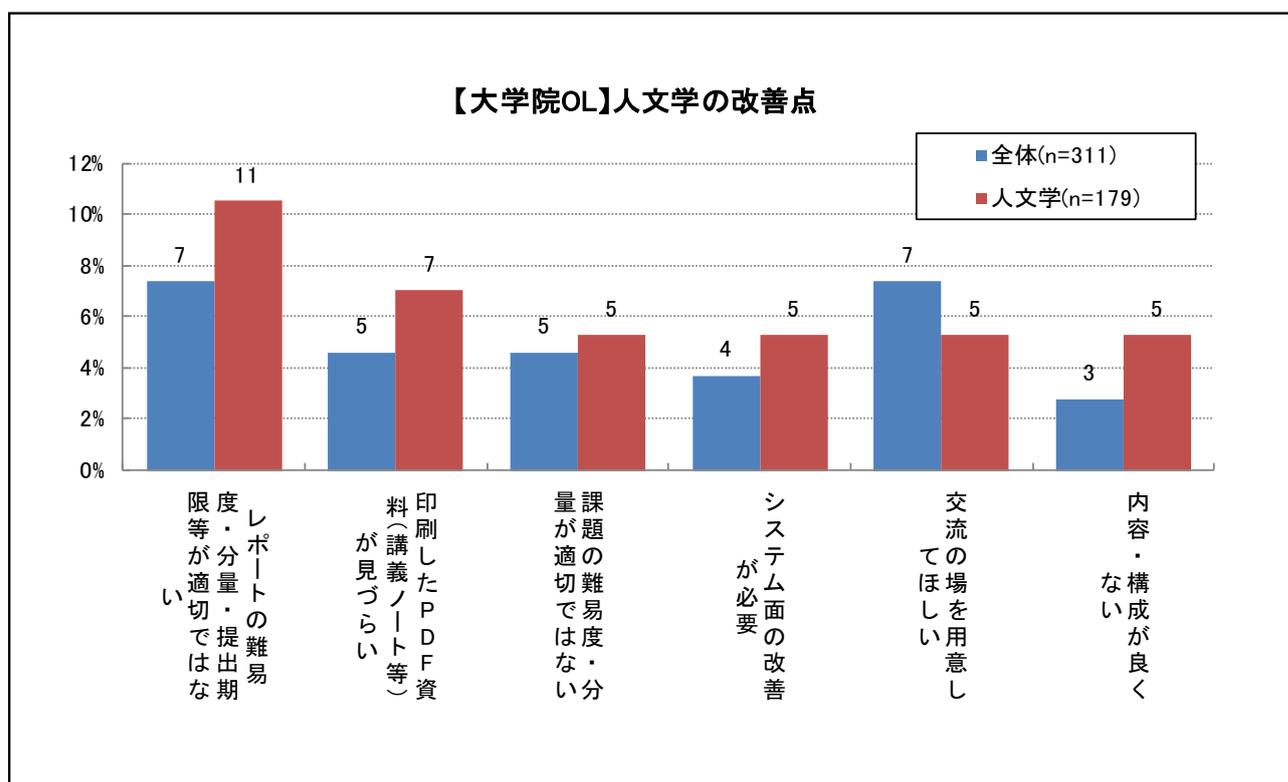


【大学院 オンライン】「人文学」の傾向

改善点

「レポートの難易度・分量・提出期限等が適切ではない」が11%で最多。
以下、「印刷したPDF資料（講義ノート等）が見つからない」が7%で続いていた。

図4-12 【大学院 オンライン】改善すべき点



【大学院 オンライン】「人文学」 抜粋

よかった点

- 音声言語の聞き取りがあまり得意でないので、映像授業のトランスクリプト（書き起こし）が非常に助かった。
- オンライン上で論文や史料を取り出すことができるいい時代。ツールを利用して効率よく進めることの重要性を知るきっかけになった。
- 先生の雰囲気柔らかく、授業自体が楽しかった。都度都度の小テストで自分の理解が確認できてよかった。
- 講師の説明はとてもわかりやすく、これまでに受講したオンライン授業の中で最も良かった。
- 論文作成にかかる全体的な概要を説明いただき、入門編として非常にわかりやすかった。
- 修士論文の作成の参考になった。
- 知らなかったことばかりで、これから研究を進めていくにあたり、まさに必須の知識であった。本当にありがたい。
- アカデミックライティングの基礎を体系的に学べた点が非常に有益でした。今後の研究活動に自信を持つことができました。
- 理科系論文に対して文科系論文の量（ページ数）が多い理由が理解できた。
- レポートを書くに際し、新しい視座を獲得できた。
- 学術論文に対する知識が身についた。論文で使用する言葉の定義などの重要な「作法」を知ることができた。
- 教養学部では未消化だった「論理」について深く学べた。
- 研究活動の基本について、あらためて整理することができた。
- 研究に取り組むにあたり、心構えができた。必要最小限の知識や作法を知ることができた。
- 情報の収集や、引用の方法など具体的なことが良く分かりました。なんとなくで思っていたことが、きちんと理解できた。
- 研究者にとって必要な点が簡潔にまとめられており、とても有意義な科目だったと思う。
- 人文学コースの先生方の専門・知見を幅広く知ることができよかった。映像付きなので、先生方の雰囲気も伝わってきて良かった。
- 放送大学の人文学研究分野の全体を知ることができた。
- 幅広い知識を得るきっかけをつかむことのできる興味深い内容だった。今後の学びに活かしていきたい。
- 歴史学では、博物館巡りが趣味の私としては、古文書の鑑賞に新たな知見が得られて楽しかった。
- 講師のあふれる熱意が伝わる授業であった。放送大学の講義で教える面白さを実感を含めて解説されたのが印象的。
- 最新の人文学の状況が網羅されていて大変勉強になった。文学批評理論についても、課題に取り組むことで理解を深めることができた。
- 講義動画の中で研究手法を教えてくださいました教授もいて、自分が研究を進めていくイメージを作ることができた。
- 人文学を構成する課題・テーマについて多角的に学ぶことができ、自らの研究分野のテーマ選定やその具体化に有益だった。
- 様々な講師が担当していた。
- 「基盤科目」のような位置づけで新しい試みの科目だったと思う。知らない先生の未知の分野についてお話を聞いたことは良かった。
- 最後2回のレポートをゼミの教授が出題する形式は、ゼミの研究も深まりよい形式だと思います。
- 修士論文の書き方のポイントや要領がよくわかった。特にレポート作成が勉強になった。

【大学院 オンライン】「人文学」 抜粋

改善点

- 全盲でスクリーンリーダーを使用していますが、オンライン科目はページを変えるごとにヘッダが表示され、移動に時間がかかり使いづらかったです。
- 画面上で課題が縦に並んでいるためスクロールしないと見渡せない。Web デザイン上の改善が求められると感じました。
- 難しい用語の漢字が思いつかないものがあった。要点や用語を字幕にしていただけるとありがたい。電子黒板なども利用してほしい。
- 担当講師によってスライドの分量に差があるのは避けるべき。また、オンラハン配信が安定せず、中断後の再開に時間がかかる。
- 講義の臨場感が伝わるように、講義室で行うことや立って講義をしてもらうとよいと感じた。
- 効率的な論文検索の方法について、もっと詳しい説明を入れてほしかったです。
- 共通編のほかに専攻別の選択部分があると、より専門的な理解が深まったのではないかと思う。
- 文献管理ソフトを用いた具体的な方法について、もう少し詳しく知りたかった。
- 2 単位必修科目にして内容を深めることで、大学院全体の研究の質向上に資すると考えます。
- 時間数を 2 倍にして内容を濃くしていただきたい。アウトライン的であまりにもざっくりしているという印象だった。
- 人文学分野の講義数が少ない。他コースと共用を増やしてほしい。
- 映像授業なので仕方ないかもしれないが、もっと交流フォーラムを使用する機会があってもよいと思った。
- 他分野を扱う分、内容に物足りなさを感じた。内容をさらに深掘りするような 2 単位講義になれば良いと思う。
- 専門外の分野の内容はとても難しく、視聴を続けるのが困難なものもあった。
- 内容が濃厚過ぎて吸収しきれなかった。交流フォーラムは敷居が高いため、事務の方がきっかけを作るなどの工夫がほしい。
- 各テーマ毎の参考文献・論文のリストがあると良い。
- 交流機能でどんな質問をしてよいか迷った。よくある質問の例などがあると助かる。
- レジメの文字を大きくしてほしい。また、レポート、小論文、論文の違いを細かく解説する内容も必要と感じた。
- 印刷教材が配布されていたら助かったと思う。オンラインであっても冊子のテキストが必要。
- 講義ノートを印刷して使用したが、書き込みができる仕様だともっと良かった。
- 資料の 1 ページ 4 コマは詰めすぎ。文字が小さくなりすぎて非常に見づらいため、工夫がほしい。
- 動画のスク립ト（書き起こし）を印刷できるようにしてほしい。
- レポートの間隔が近く、1 回目のフィードバックがないまま次に着手するため、改善点を反映できない。
- レポートが難しすぎる。何を求められているかについて最後まで悩み、他の学習が疎かになってしまった。
- 研究計画書を作る課題は、入学直後の学生にはかなり難しく、改善の余地があるように思う。
- 小テストの問題をもっと多くしてほしい。
- 小テストの解説をもう少し詳しくすると良いと思います。
- 小テストの問題がひっかけのようになっていた。もっと内容を限定して誤解のないように出題してほしい。
- 先行研究のレビュー課題において、具体的な書き方のポイント解説が欲しかった。

【大学院オンライン】「人文学」

よかった点

(単位:人)

科目全般				設問解答			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
基礎的な知識が得られた			15	演習課題が良かった、楽しかった			2
知識の整理に役立った			14	学習内容の理解・整理に役立った			1
今後に役立つ内容だった			13				
勉強になった			12				
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった			9				
理解しやすかった			8				
視野が広がった			6				
新しい知識が身についた			5				
興味・関心が持てた			5				
講師の解説が分かりやすかった			5				
深く学ぶ(考える)ことができた			4				
体系的に学べた・理解できた			4				
楽しかった			3				
学習意欲・知識欲がわいた			3				
内容・構成が良かった			3				
具体的な事例、実践的な内容があった			2				
科目の学問的性質、位置付けが分かった			1				
複数の講師の講義を聞くことができた			1				
講師の熱意・熱心さが伝わった			1				

【大学院オンライン】「人文学」

改善点

(単位:人)

科目全般				オンライン教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
内容・構成が良くない			3	システム面の改善が必要			3
交流の場を用意してほしい			3	図・表・写真・映像を多く取り入れてほしい			2
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい			2				
関連する科目・基礎科目を開設してほしい			2				
講義回数を増やしてほしい、受講期間を長くしてほしい			2				
共用科目、必須科目にしてほしい			2				
もっと詳しい説明・解説をしてほしい			1				
内容の詰め込みすぎ			1				
内容が浅い			1				
参考文献・補助教材・問題集を紹介、発刊してほしい			1				
内容にまとまりがない			1				
新しい科目、広い分野をカバーする科目がほしい			1				
授業科目案内は内容が不十分だった			1				
内容が専門的で難しかった			1				
幅広い視点でのカリキュラム編成してほしい			1				

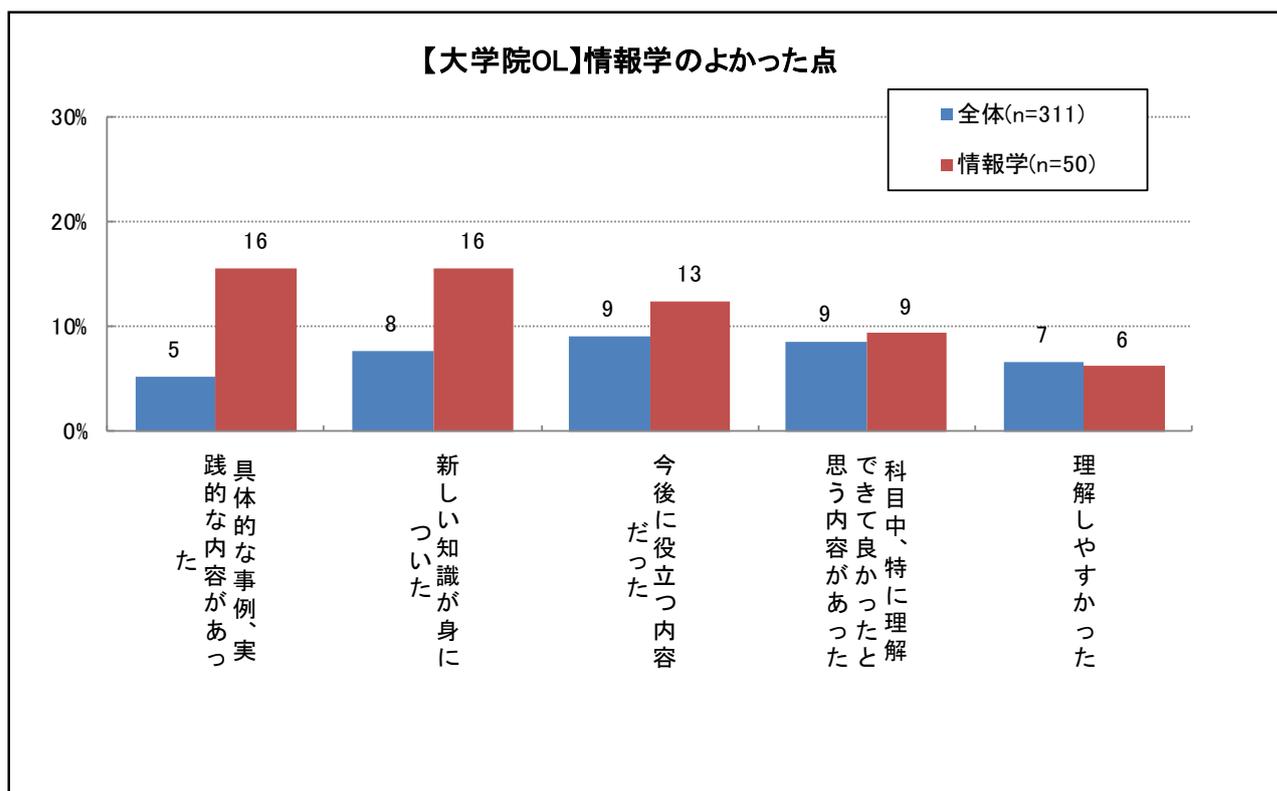
講義ノート・テキスト			
意見	テレビ	ラジオ	合計
印刷したPDF資料(講義ノート等)が見づらい			4
良い教材ではなかった			2
オンラインであっても冊子のテキストが必要			1
文字・画像が見づらい			1
講義ノート・テキストを印刷するのは大変			1

【大学院 オンライン】「情報学」の傾向

よかった点

「具体的な事例、実践的な内容があった」「新しい知識が身についた」が16%で最多。以下、「今後に役立つ内容だった」が13%、「科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった」が9%が続いていた。

図4-13 【大学院 オンライン】よかった点

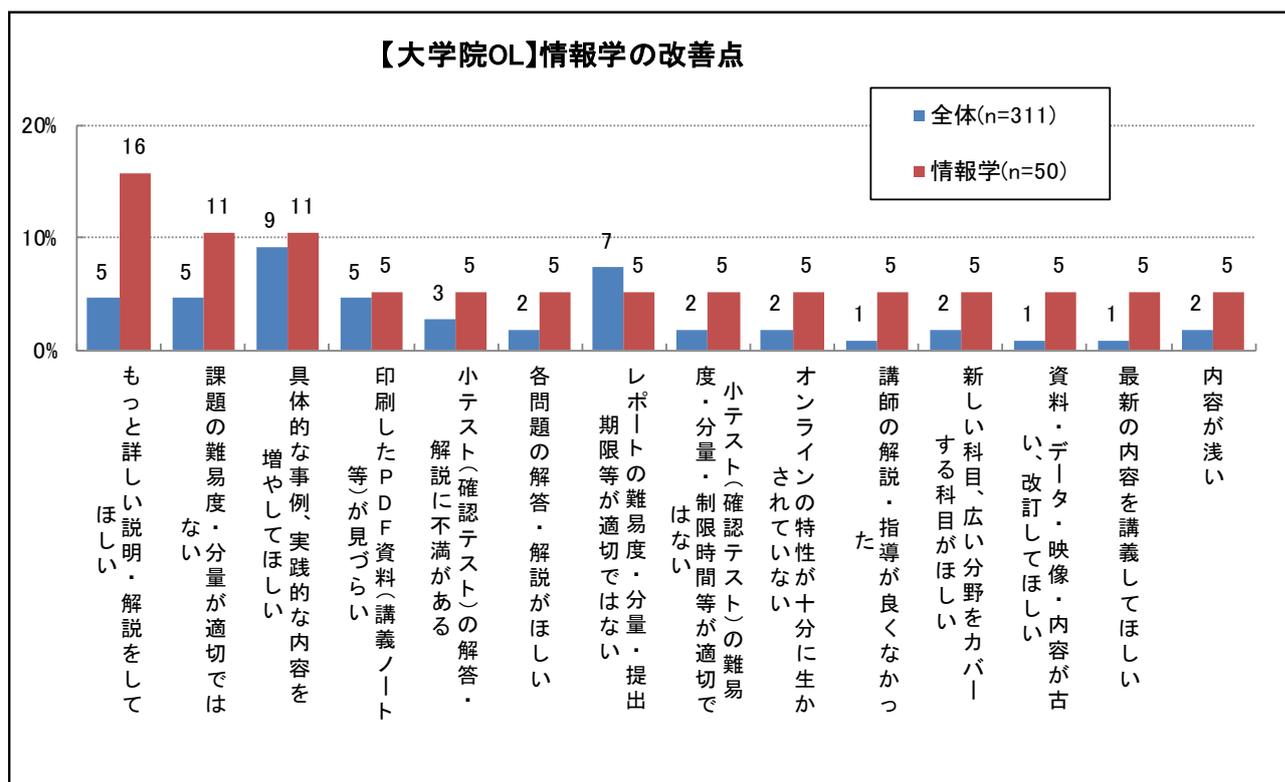


【大学院 オンライン】「情報学」の傾向

改善点

「もっと詳しい説明・解説をしてほしい」が16%で最多。「課題の難易度・分量が適切ではない」「具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい」が11%で続いていた。

図4-14 【大学院 オンライン】改善すべき点



【大学院 オンライン】「情報学」 抜粋

よかった点

- 自分のペースで受講できること 動画なので、何度も見られること C や Java との言語比較をしてもらえたのがとてもありがたかった。(ここでつまづいていたので)
- Python のパッケージについて、なじみのなかったものを含めて、理解することができた。独学でプログラミングを学んでいた者には、役に立つ内容だと思いました。
- 1) 以前 python を始めた時環境の設定に苦労したが、今回は Google colab を使えたのでとてもよかった。 2) 興味のあったディープラーニングを体験でき良かった。
- Python の各モジュールについて理解が深まった。
- Python プログラミング & Google Colab について学習できた。 Python と Google Colab を、これからの研究に役立てていくことができるようになってきた。
- 複数のプログラミングの授業を受けて、最近のプログラミングの傾向と動向が少し見えてきた。
- プログラミングについて段階を踏んで、知りたいことがどんどん明らかになってい行った点が良かったと思います。
- 新たな知識を得られた。特に機械学習に触れられたこと。
- AI をどのように使うか理解できた。
- 機械学習や深層学習など、実際的にすぐ使えるような内容で、理解しやすかった。今後、ビデオを再学習しながら十分に理解したいと考えている。また、授業内で説明された内容をフォローしてゆきたいと考えている。
- 放送大学大学院修士課程情報学プログラム全科生として進学する準備ができた。
- 特に第 8 回のテーマに関心が湧き、更に学習したいという動機が湧いた点。
- Python には様々なパッケージがあることがわかった
- Python について、新しい知識が身についた。
- データサイエンスに使用できるライブラリを新しく知ることができたのが良かった。専門出ないので有名なライブラリであっても知らないものが多いです。
- Google Colab を使うきっかけとなり、深層学習についてより深く知る事が出来た。
- python を利用してのデータ分析について体系的に学ぶことができた。
- Python を使ってできることが色々知ることができて、とても有意義でした。 これからさらに理解を深めるための入口としていい授業であったと思います。
- 入門と比較してかなりレベルが高いと感じた。とても良かった。
- 幅広いので、重要なプログラミング法を重点的に訓練してもよい
- 自分の研究分野に係る形でのデータ分析なので、自ら調べながら行うことがとても勉強になった。
- python のプログラミングについて理解できた。
- 自分のパソコンへの Python の学習環境をインストールせず、Google Colab で学習できたのはよかったです。 Google Colab の使い方の説明資料等が提供されていれば、もう少し学習しやすかったのではないかと、思います。
- Python の実際のコードを実行できる環境があるのが良かったです。
- 試行錯誤しながらであったが、プログラミングコードが書けるようになった。 それによって、データを可視化し分析できるようになった。
- 全体を通した。pdf 資料が有った方が良いと思います。
- 各講義でいいテキストと説明で分かりやすかったです。練習問題と小テストで知識を確認できたので、理解の助けになりました。

【大学院 オンライン】「情報学」 抜粋

改善点

- もう少しコードの解説の時間があってもよいのではと思いました。
- 本授業は、説明がわかりやすかったのと、新しい内容だったので、フォローしやすかった。何年が過ぎたときにビデオを改定してもらえると助かるのではないかな？
- 他の Python 科目「プログラミング入門 Python」のように、Google Colab を使用したノートがあれば良いと思った。
- 改善点は特にありません。さらに上級者コースのような続編があると良いと思います。
- Tensorflow が Python 3.13 に対応していないので、自宅環境で確認できない課題がありました。これはこの科目に対する改善要望ではありませんが、記載しておきます。
- Python ライブラリは日進月歩でバージョンアップされていくので、授業中の Python ライブラリのバージョンも毎年更新していくのが望ましいが、映像の撮り直しは厳しいので、ほかの方法を組み合わせるしかないかも？ただ、コードは、Google Colab で公開されていたので、実質的には、さほど問題ではありません。
- 限られた時間だから仕方がないが、全般的に内容が薄い。さらに勉強を進めるための指針を示して欲しい。
- 後半、パッケージの紹介に終止している感もあり、もう少し理論的説明も加えてよいのでは、と感じた。
- 実用レベルのプログラムの例を見たい
- プログラミングの応用として実践的な応用の具体例を示してほしかった。
- アナコンダのインストールの仕方についてももう少し詳しく説明してほしかった。
- 提示されたサンプル・プログラムを Google Colab に入力して動作するのは確認できますが、各回で説明されるパッケージ(pandas, Matplotlib, seaborn 等)を、どの様に連携させて使用すればよいのか、どのような時に、どのコマンドを使用するのか等の説明が少なすぎる為、実際にレポート課題でプログラムを作成する段階になって、どうすれば良いのか見当がつかず、困りました。機械学習等は、今回の ' ; プログラム応用 ; 科目に含めず、別科目の上級レベル科目とした方がよかったのではないかな、と思います。pandas, Matplotlib, seaborn 等のパッケージを連携させてプログラムを作成、動作させる実習等が、もう少しあれば、最終課題のレポート作成も、回答しやすくなったのではないかなと思います。
- 紙に教材を印刷して使っていたのですが、紙ベースだとコードの印刷が小さく見えづらいところがありました。
- 機械学習や深層学習の回の小テストの難易度が簡単に感じました。講義内容の中心的话题と設問がすこし離れているように思います。
- 1) 初級者にとってはレポートの課題が高いと感じました。 2) レポートは初級、中級と2段階であった方が良く感じます。
- 最終レポートで目安とされている A4 で 5~10 枚は少し多すぎると思う。
- 小テストの解答が少し不十分と感じた(授業で詳しく説明されていない内容は特に) 小テストの問題も、その回以前に学習した内容の確認と思われるものが多かったので、少し拍子抜けした。
- 講義内容と最終レポートの難易度に差があると感じた 生成 AI を用いる方法についてもよいのではないかな
- 自分ができなかった言い訳の部分も入ってしまうが、1~8 回の途中で最終レポートを作るうえでのヒントのようなものをちりばめてほしかった部分がある。やり方を学んだだけではどのようなものを作ればいいのかを掴むことができなかつたように思う。例えば、第〇回の技術を使うと「台風の進路予測が立てられます。」など。ただ、全体的にプログラミングのことが学べたため、講義自体は満足している。

【大学院オンライン】「情報学」

よかった点

(単位:人)

科目全般				設問解答			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
新しい知識が身についた			5	演習課題の説明が丁寧、分かりやすかった			1
具体的な事例、実践的な内容があった			5	学習内容の理解・整理に役立った			1
今後に役立つ内容だった			4				
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった			3				
理解しやすかった			2				
勉強になった			1				
興味・関心が持てた			1				
深く学ぶ(考える)ことができた			1				
学習意欲・知識欲がわいた			1				
体系的に学べた・理解できた			1				
最新の情報・研究が学べた			1				
内容・構成が良かった			1				
全体として満足している			1				

オンライン教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
受講しやすい環境だった			1

講義ノート・テキスト			
意見	テレビ	ラジオ	合計
良い教材だった			1

【大学院オンライン】「情報学」

改善点

(単位:人)

科目全般				オンライン教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
もっと詳しい説明・解説をしてほしい			3	オンラインの特性が十分に生かされていない			1
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい			2	講師の解説・指導が良くなかった			1
内容が浅い			1				
最新の内容を講義してほしい			1				
資料・データ・映像・内容が古い、改訂してほしい			1				
新しい科目、広い分野をカバーする科目がほしい			1				

設問解答			
意見	テレビ	ラジオ	合計
課題の難易度・分量が適切ではない			2
小テスト(確認テスト)の難易度・分量・制限時間等が適切ではない			1
レポートの難易度・分量・提出期限等が適切ではない			1
各問題の解答・解説がほしい			1
小テスト(確認テスト)の解答・解説に不満がある			1

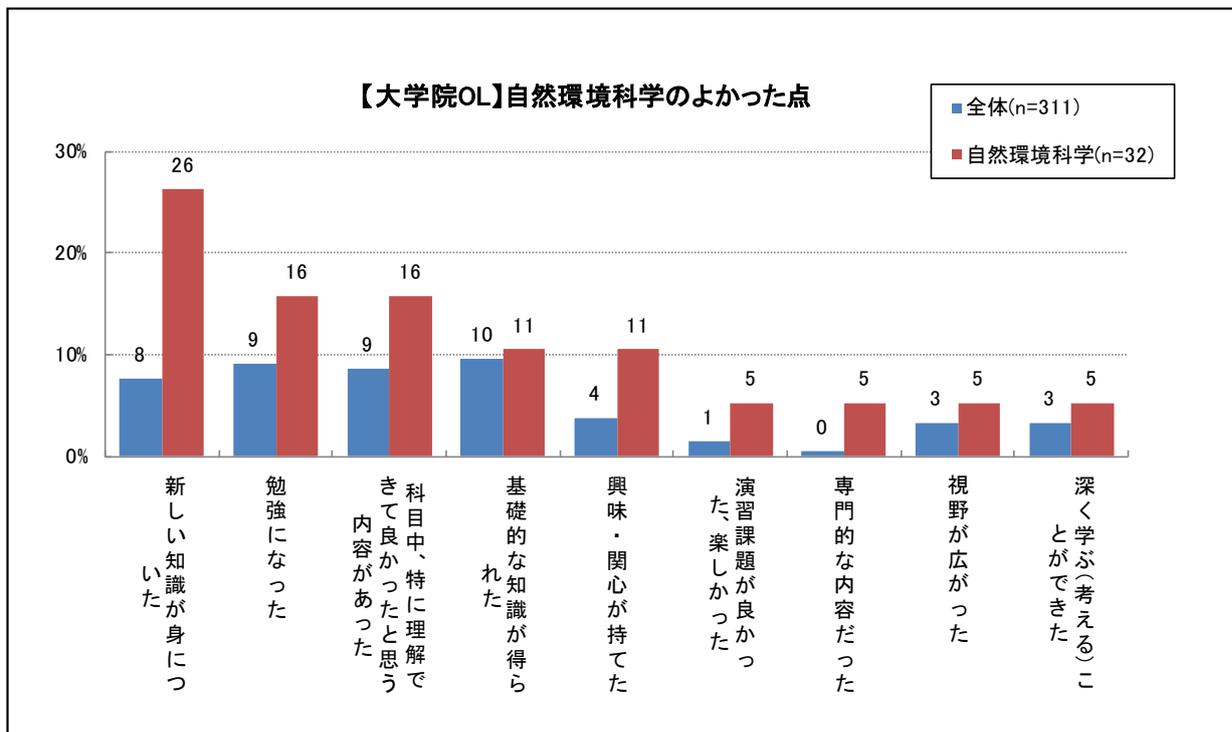
講義ノート・テキスト			
意見	テレビ	ラジオ	合計
印刷したPDF資料(講義ノート等)が見づらい			1

【大学院 オンライン】「自然環境科学」の傾向

よかった点

「新しい知識が身についた」が26%で最多。以下、「勉強になった」「科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった」が16%で続いていた。

図4-15 【大学院 オンライン】よかった点

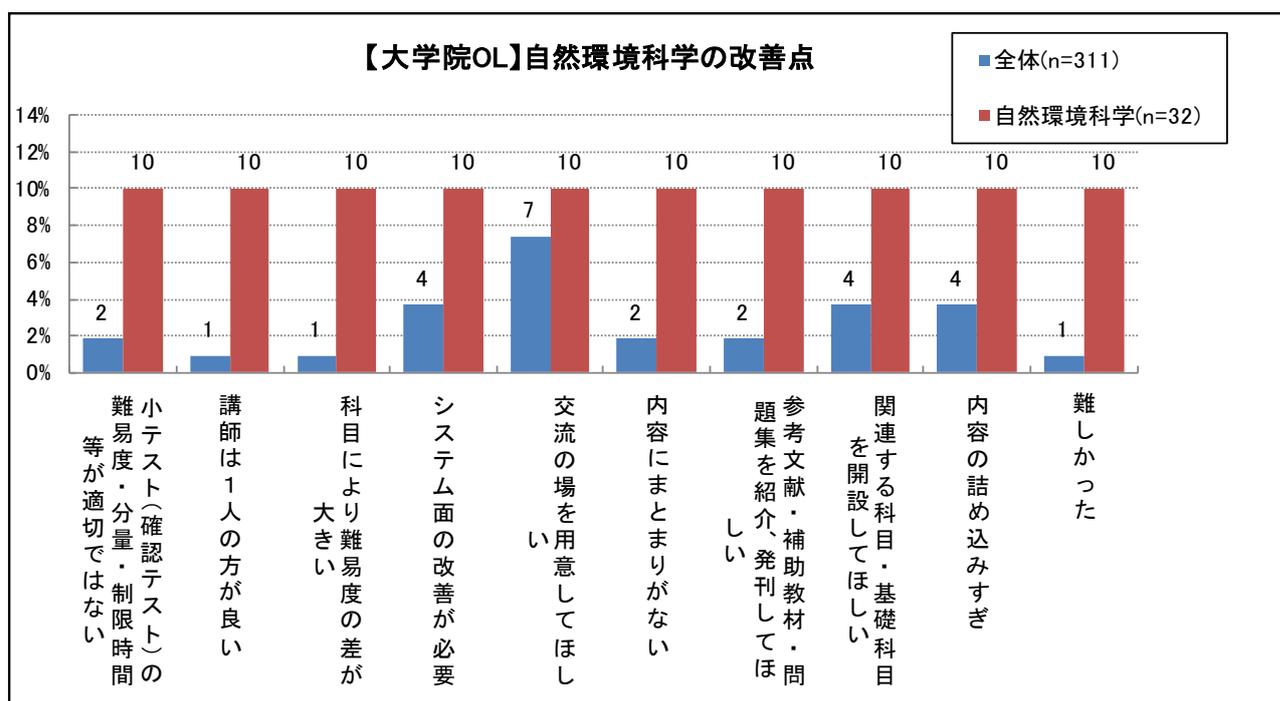


【大学院 オンライン】「自然環境科学」の傾向

改善点

サンプル数は少ないが、「小テスト（確認テスト）の難易度・分量・制限時間等が適切ではない」「講師は1人の方が良い」「科目により難易度の差が大きい」「システム面の改善が必要」「交流の場を用意してほしい」「内容にまとまりがない」「参考文献・補助教材・問題集を紹介、発刊してほしい」「関連する科目・基礎科目を開設してほしい」「内容の詰め込みすぎ」「難しかった。」が10%となった。

図4-16 【大学院 オンライン】改善すべき点



【大学院 オンライン】「自然環境科学」 抜粋

よかった点

- 新しい知識を学ぶことができたことは満足ですが、講義内容のレベルに差が大きい。頑張っついでいきました。ありがとうございました。
- 様々な分野の知識を得られた
- 生物、地学、化学、物理、数学を満遍なく学習できたことが有難かった。
- 長くナチュラルリストとして活動してきたが、いろいろと新しい視差が開け、勉強というものは一生のものだと感じた点
- 様々なことが学習できてとてもよかった。
- 広く自然科学の概要に触れることができた。
- 生物学、環境学、地球物理学、量子化学、量子光学、熱力学、解析学、論理学と、各御専門の先生方の御講義を通して拝聴できる、貴重な機会を頂き、有難うございました。
- 知らない分野の知識を知れたのはよかった。
- いろいろな分野の講義内容を聞くことができて今後の学習の参考になりました
- 新たな認識を得られた
- どの回も大変興味深い講話であり、様々な研究の講義を聞く機会を得られたこと、自分の研究に関連する講義を聞くことで振り返りができたことがよかった点です。放送大学の敷地内で研究をされている講義や初めて聞く研究の講義、以前履修した授業に関連した講義もどれも興味深く、今後、放送大学で学んでいることを外部で活かしていきたいと思いました。
- 様々な自然科学の最新の話題のいくつかを深く学ぶことができました。
- いろいろな専門分野のさわりについて知見を得ることができた。
- 分子量が適当な数字から始まったことを思い出させてくれた。(水素分子がほぼ1になるように炭素分子を決めた。) や、新しい知識(差分方程式の面白さ)が得られて、これから何に繋がっていくのかワクワクしています。きっと、奥深いところで、何かと繋がっていて、そうだったのかと思う日がくるような気がしました。
- 自分の専攻ではない科目についても学ぶことができとてもよかった。特に第8回の隈部先生の数学は、難しい数式ではなく、論理的思考を養うための授業であったため、非常に勉強になった。どの専攻の方でも深く理解できる内容であると感じた。
- 大学で学んだことや、学べなかったことを、網羅して解説していただいて、大変勉強になりました。40年間の間に、特に物理・科学の分野が、大きく変化していて、なかなかついていけない部分も多かったですが、そのことを認識できただけでも、良かったと思います。
- 大学院レベルの授業を体験できた。
- 各担当講師の講義概略を体験することが出来、有意義だった。
- 二河先生と、加藤先生の話で更に理解が深まった。加藤先生のレポートは提出はしなかったが、身近なスズメについて考えるいい機会を得られた。

【大学院 オンライン】「自然環境科学」 抜粋

改善点

- YouTube の講義内容を紹介下さるのは嬉しいのですが、広告が入ってくるのが少し煩わしいと思いました。苦手な内容なので落ち着いて聞きたいと思いました。
- 参考文献を充実してほしい。
- 各回、担当教官が異なるのは構わないが、講座全体を通してのコーディネーターのような人の存在がなく、今回、やや戸惑った。今年度から開設された科目なので、今後に向けてはご検討いただければ幸いである。
- 入門やイントロとしては難しすぎると感じます。
- 全 8 回の話題の一貫性が今いち、取れていなかったような印象を受けました。例えば、8 回の各講義の副主題として「風」というテーマを各先生方に共通して考えて頂ければ、生物の先生は、鳥が飛ぶ際の風と翼の動きや花粉の飛散を、地球物理学の先生は、地球上の風の分布を、物理学の先生は、流体力学から光化学スモッグ、大気汚染の話題を、解析学の先生は、ベクトル解析を、論理学の先生は、コンパイラの作り方から流体解析のプログラミングを、と一貫したテーマで共通して学ぶことも可能なのかなと感じました。
- 分野外の人がそれぞれの短い講義で何を理解してほしいかをもっと端的にまとめた内容にするべきだと思う。理解するのが難しく消化不良になってしまう。
- 自然科学全般の知識が浅いことにいまさらながら気づかされた。
- ディスカッションしたかった。(しずらい雰囲気だった。)
- 難易度に少しばらつきがあった。 専攻ではないからかもしれないが化学系が難しかった。
- 練習問題と小テスト間のレベル差が大きいので、できれば小テストを練習問題よりにして欲しい。
- 課題が同プログラムの他の科目の数倍の物量で、正直詰んだかと思った。2 科目くらいに分けてもよ

【大学院オンライン】「自然環境科学」

よかった点

(単位:人)

科目全般				設問解答			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
新しい知識が身についた			5	演習課題が良かった、楽しかった			1
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった			3				
勉強になった			3				
興味・関心が持てた			2				
基礎的な知識が得られた			2				
深く学ぶ(考える)ことができた			1				
視野が広がった			1				
専門的な内容だった			1				

【大学院オンライン】「自然環境科学」

改善点

(単位:人)

科目全般				オンライン教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
難しかった			1	システム面の改善が必要			1
内容の詰め込みすぎ			1				
関連する科目・基礎科目を開設してほしい			1				
参考文献・補助教材・問題集を紹介、発刊してほしい			1				
内容にまとまりがない			1				
交流の場を用意してほしい			1				
科目により難易度の差が大きい			1				
講師は1人の方が良い			1				

設問解答			
意見	テレビ	ラジオ	合計
小テスト(確認テスト)の難易度・分量・制限時間等が適切ではない			1

付録) 2025年度学生による授業評価集計結果の概要等について

2025年度学生による授業評価集計結果の概要

1. 調査の概要

(1) 調査目的 自己点検・評価の一環として、本学学生の授業に関する理解状況等を把握することにより、本学における教育内容及び方法の改善に資すること

(2) 調査方法 システムWAKABAを用いたオンライン調査

(3) 調査対象

①対象科目

【学部】

	基盤科目	基盤科目(外国語)	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報	自然と環境	看護師資格取得	計
R7(2025)	2	4	7	4	9	4	4	3	2	39

【大学院】

	生活健康科学	人間発達科学	臨床心理学	情報学	計
R7(2025)	3	3	2	2	10

②対象者 2025年度第1学期履修登録者

(4) 調査時期 調査期間: 7月26日～9月30日
調査結果の集計: 10月

2. 集計結果

(1) 回収状況

	標本数(人)			有効回答数(人)			回収率		
	全体	学部	大学院	全体	学部	大学院	全体	学部	大学院
R7(2025)	27,111	26,241	870	5,358	5,108	250	19.8%	19.5%	28.7%

付録) 2025 年度学生による授業評価集計結果の概要等について

(2) 回答者の属性

【学部】

年度	新コース所属全科履修生					
	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報	自然と環境
2023	13.5%	27.2%	9.5%	12.9%	7.0%	6.2%
	旧専攻所属全科履修生	全科履修生(計)	選科履修生	科目履修生		
	0.0%	76.3%	16.8%	6.9%		
2024	新コース所属全科履修生					
	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報	自然と環境
2024	12.7%	24.4%	9.2%	18.4%	6.9%	8.2%
	旧専攻所属全科履修生	全科履修生(計)	選科履修生	科目履修生		
	0.0%	79.8%	16.7%	3.5%		
2025	新コース所属全科履修生					
	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報	自然と環境
2025	13.1%	20.3%	10.6%	11.0%	8.5%	7.1%
	旧専攻所属全科履修生	全科履修生(計)	選科履修生	科目履修生		
	0.0%	70.6%	19.0%	10.4%		

年度	性別		年齢別						
	男	女	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
2023	43.6%	56.4%	1.2%	8.2%	8.9%	18.8%	29.5%	21.9%	11.5%
2024	43.8%	56.2%	2.2%	9.9%	9.7%	17.4%	28.4%	22.9%	9.6%
2025	39.6%	60.4%	3.0%	10.6%	11.3%	20.1%	27.1%	18.7%	9.2%

(2) 回答者の属性

【大学院】

年度	新プログラム所属修士全科生							
	生活健康科学	人間発達科学	臨床心理学	社会経営科学	文化情報学	情報学	人文学	自然環境科学
2023	-	2.2%	22.2%	2.2%	-	5.6%	2.2%	-
	修士全科生(計)	修士選科生	修士科目生					
	34.4%	61.1%	4.4%					
2024	新プログラム所属修士全科生							
	生活健康科学	人間発達科学	臨床心理学	社会経営科学	文化情報学	情報学	人文学	自然環境科学
2024	-	19.6%	2.0%	-	-	13.7%	2.0%	-
	修士全科生(計)	修士選科生	修士科目生					
	37.3%	54.9%	7.8%					
2025	新プログラム所属修士全科生							
	生活健康科学	人間発達科学	臨床心理学	社会経営科学	文化情報学	情報学	人文学	自然環境科学
2025	7.6%	7.6%	6.0%	2.4%	-	3.2%	3.2%	0.8%
	修士全科生(計)	修士選科生	修士科目生					
	30.8%	60.8%	8.4%					

年度	性別		年齢別					
	男	女	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
2023	53.3%	46.7%	1.1%	7.8%	23.3%	33.3%	32.2%	2.2%
2024	58.8%	41.2%	2.0%	11.8%	37.3%	27.5%	21.6%	0.0%
2025	51.6%	48.4%	4.0%	7.6%	20.4%	32.0%	25.2%	10.8%

※四捨五入の関係から内訳の合計が100%にならない場合がある

付録) 2025年度学生による授業評価集計結果の概要等について

(3) 評価結果: 各質問項目に対する4段階評価(「あてはまる」「ややあてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」)の回答に対して、順に4、3、2、1の得点を与え、平均値を算出した。)

【学部】

①項目別評価

	取組姿勢			授業評価全体			難易度・分量			放送授業			印刷教材			通信指導・単位認定試験			全体評価		
	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R
2023	3.33	3.36	3.27	3.33	3.38	3.22	3.31	3.34	3.26	3.26	3.36	3.03	3.32	3.37	3.20	3.38	3.40	3.32	3.41	3.44	3.33
2024	3.40	3.39	3.41	3.37	3.38	3.36	3.35	3.33	3.38	3.28	3.35	3.18	3.36	3.37	3.34	3.42	3.40	3.45	3.46	3.44	3.49
2025	3.32	3.29	3.37	3.34	3.34	3.36	3.32	3.30	3.36	3.27	3.30	3.23	3.34	3.33	3.36	3.40	3.39	3.41	3.42	3.39	3.46

②【B-21】満足度「この科目の内容には全体として満足している」の専攻科目別等の評価

	全体	メディア別		コース・科目区分別						
	全対象科目	TV	R	基盤科目	基盤科目(外国語)	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報
2023	3.41(3.83~2.84)	3.46	3.30	3.59	3.11	3.47	3.29	3.31	3.40	3.20
2024	3.46(3.80~2.98)	3.44	3.49	3.35	3.50	3.47	3.51	3.37	3.54	3.38
2025	3.42(3.72~2.87)	3.39	3.46	3.45	3.26	3.41	3.49	3.38	3.64	3.28

※()内の値は「最高値～最低値」

	コース・科目区分別	
	自然と環境	看護師資格取得
2023	3.35	
2024	3.38	
2025	3.47	3.19

	性別		年齢別						
	男	女	19歳以下	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上
2023	3.39	3.43	3.27	3.46	3.44	3.42	3.44	3.40	3.32
2024	3.46	3.46	3.59	3.51	3.38	3.45	3.53	3.41	3.40
2025	3.41	3.43	3.46	3.55	3.54	3.40	3.42	3.38	3.27

(3) 評価結果(4段階評価における評点平均)

【大学院】

①項目別評価

	取組姿勢			授業評価全体			難易度・分量			放送授業			印刷教材			通信指導・単位認定試験			全体評価		
	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R
2023	3.41	-	3.41	3.45	-	3.45	3.38	-	3.38	3.40	-	3.40	3.48	-	3.48	3.41	-	3.41	3.57	-	3.57
2024	3.48	-	3.48	3.42	-	3.42	3.47	-	3.47	3.27	-	3.27	3.41	-	3.41	3.38	-	3.38	3.51	-	3.51
2025	3.52	0	3.52	3.48	0	3.48	3.50	0	3.50	3.34	0	3.34	3.49	0	3.49	3.46	0	3.46	3.58	0	3.58

②【B-21】満足度「この科目の内容には全体として満足している」の専攻科目別等の評価

	全体	メディア別		コース・科目区分別						
	全対象科目	TV	R	生活健康科学	人間発達科学	臨床心理学	社会経営科学	情報学	人文学	自然環境科学
2023	3.47(3.69~2.57)	-	3.59	-	-	3.57	3.31	3.67	-	-
2024	3.51(3.58~3.43)	-	3.51	-	3.50	-	-	3.54	-	-
2025	3.58(3.81~3.28)	0.00	3.58	3.49	3.60	3.65	-	3.56	-	-

※()内の値は「最高値～最低値」

	性別		年齢別						
	男	女	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	
2023	3.56	3.62	3.00	3.43	3.90	3.53	3.45	4.00	
2024	3.43	3.48	-	4.00	4.00	3.37	3.36	3.36	
2025	3.60	3.55	-	3.60	3.68	3.67	3.55	3.51	

科目№

2025年度学生による授業評価調査票（学部）

次の科目についてお答えください。

科目名	
科目コード	

- I. この授業科目を学習して、あなたはどのような印象や感想をお持ちになりましたか。次の①～④及び(1)～(21)の項目について、あてはまる程度を4段階で評価し、4～1の番号にそれぞれ1つだけ○を付けてください。（この面が済みましたら、裏面にもお答えください。）

(注) 通信指導を提出していない方、単位認定試験を受験していない方についても、回答できる範囲でお答えください。

あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
-------	---------	------------	---------

A. 授業評価をしていただく前に、あなたの授業への取り組みについてお尋ねします。

① 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ。	4	3	2	1
② 放送授業を十分に視聴した。	4	3	2	1
③ 印刷教材を熱心に学習した。	4	3	2	1
④ 単位認定のための学習方法について、次の1～3のいずれか一つを選んでください。 1. ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ。 2. ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ。 3. 放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ。				

B. 以下のアンケートにお答えください。

＜授業の難易度・分量＞				
(1) 放送授業の難易度は適切だった。	4	3	2	1
(2) 放送授業の内容は適切な分量であった。	4	3	2	1
(3) 印刷教材の難易度は適切だった。	4	3	2	1
(4) 印刷教材の内容は適切な分量であった。	4	3	2	1
＜放送授業＞				
(5) 講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった。	4	3	2	1
(6) 放送授業は教材としてよくできていると感じた。	4	3	2	1
(7) (テレビ科目についてのみお答えください) テレビの特性が十分に生かされていると感じた。 (ラジオ科目についてのみお答えください) 映像がなくても十分理解できる内容だと感じた。	4	3	2	1
(8) (テレビ科目についてのみお答えください) ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった (ラジオ科目についてのみお答えください) ロケ音声や資料音声によって、理解が深まった	4	3	2	1
(9) ゲストや聞き手によって、理解が深まった	4	3	2	1
＜印刷教材＞				
(10) 印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった。	4	3	2	1
(11) 印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった。	4	3	2	1
(12) 図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った。	4	3	2	1
(13) 印刷教材は教材としてよくできていると感じた。	4	3	2	1
＜通信指導・単位認定試験＞				
(14) 通信指導のコメントは、納得のいくものだった。	4	3	2	1
(15) 通信指導は学習内容の理解に役立った。	4	3	2	1
(16) 単位認定試験の問題は、科目内容の理解度ををはかるのにふさわしい内容だった。	4	3	2	1

<全体評価>					
(17)	授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った。	4	3	2	1
(18)	学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった。	4	3	2	1
(19)	新しい知識が身につく視野が広がった。	4	3	2	1
(20)	この科目の内容を全体としてよく理解できた。	4	3	2	1
(21)	この科目の内容には全体として満足している。	4	3	2	1

Ⅱ. 次の点について、ご自由にお書きください。

(1) この科目を受講してよかったと思う点をお書きください。

(2) この科目を受講して、放送授業をさらによくするために改善すべきだと感じた点（例：ロケ、ゲスト、図表等の画像、演出の工夫等）をお書きください。

(3) この科目を受講して、その他のことで改善すべきだと感じた点をお書きください。

(4) この科目に限らず、本学の教育内容や教育方法等についてご意見やご感想があれば、どんなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。

Ⅲ. この科目の通信指導と単位認定試験についてお答えください。（あてはまる番号に○を付けてください。）

1. 通信指導を提出し、単位認定試験を受験した。 2. 通信指導を提出したが、単位認定試験は受験しなかった。 3. 通信指導を提出しなかった。

授業評価の組織的な活用

